

在旧ソ連朝鮮人関連年表

菅野裕臣作成 (2011 年)

1774 年(安永 3)	(清寶曆 39, 朝鮮英祖 50) 『続大典』「西北沿辺 犯越採蔘 佃獵者首從皆境上斬」 (李)
1840 年代	・朝鮮人の極東への一時的な出稼ぎが始まるといわれる。(半岡 ²⁾) (ニコライ 1 世) (朝鮮憲宗) (清道光) (徳川家慶)
19 世紀中葉	・朝鮮式に名前をつけた時期 (- 1920 年代)。(高)
以降	・ロシアが極東南部のアムル河流域とウスリー河左岸に進出。(ク - 岡)
1847 年(弘化 4)	・ (清道光, 朝鮮憲宗) ムラヴィヨフが東シベリア総督に任命される。(李)
1849 年(嘉永 2)	・朝鮮哲宗.
1851 年(嘉永 4)	・清咸豊.
1853 年(嘉永 6)	・咸鏡道の韓一歌という農民が始めて国禁を犯して豆満江を越えた。(半岡 ²⁾) (李) ・徳川家定.
-- 1856 年	・クリミア戦争。(ロシア)
1855 年(安政 2)	・日露通好条約. 両国の国境は択捉 (エトロフ), ウルップ両島間の水道に定める。(ロシア) ・アレクサンドル 2 世即位. ・プチャーチン来日. 下田で日露通商条約締結。(ロシア)
1856 年(安政 3)	・東シベリア総督の管轄下に創設された沿海州は, アムル河河口に近いニコライェフスク (後にニコライェフスク・ナ・アムレと改称) を州都とし, それより北の, カムチャトカ半島, チュコト半島, 北千島を含む地域をその領域とした。(ク - 岡) ・東シベリア総督ムラヴィヨフ黒竜江岸各地を視察, コザック兵をここに配置する必要性をロシア政府に建議。(李) ・ロシア宗務院の決定により他民族に対する布教が始まる。(李)
1857 年(安政 4) -- 1858 年	・ザバイカル州にコザック兵 2 個連隊及びウラル・コザック騎兵若干をアムル及びウスリー沿岸に駐屯させる。(李)
1858 年(安政 5)	・ロシアが愛琿条約によりアムル河左岸地域を獲得。(半岡 ²⁾)

	<p>アムル河左岸地域は、沿海州と、ゼーヤ河とブレヤ河の流域に新設されたアムル州に組み込まれた。(ク - 岡田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿海州移民規則制定。(李) ・徳川家茂。
1859 年(安政 6)	<ul style="list-style-type: none"> ・北カフカズ山岳民族指導者シャミル捕らわる。(ロシア)
1860 年(万延 1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアが北京条約によりウスリー江以東を獲得。(木) ・ロシア沿海州にロシア人と中国人のパイオニアがあわせて 2 - 3 千人。(半岡²) ・ヴラジヴォストークを建設。(ロ) ポシエト占領。(李)
- 1970 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア人の極東入植 4,400 人。(半岡²)
1860 年代	<ul style="list-style-type: none"> ・インノケンティ・イルグスキー(後にモスクヴァ大管長)の努力により南ウスリー地方のノヴゴロド附近でロシア正教を信じるようになった。(李) 伝道士はヴァレリアン(1865 - 1870)。彼がノヴォキーイエフスク、ポシエト区域に最初に礼拝堂を建てたといわれる。(李)
初半	<ul style="list-style-type: none"> ・沿海州で朝鮮人による稲作が行われたという説がある。(高) 稲作を計画したが、失敗した。(李)
初期 - 1968 年	<ul style="list-style-type: none"> ・チェホリムによる朝鮮人のロシアへの移住の第 1 期。(李愛)
末までに	<ul style="list-style-type: none"> ・ポシエト地区にさらに 4 つの朝鮮人村(ヤンチへ、シジミ、ケドロヴァヤ・パジ(チムへ)、バラノフカ)ができる。(ク)
1861 年(文久 1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア政府は勅令により、私費で極東に移住する者に 20 年間の人頭税免除および 1 世帯あたり土地百デシャチナ(1 デシャチナ = 1.09 ヘクタール)の無償供与という特惠を、ロシア人だけでなく外国人にも適用した。(半岡²) ・2 月 19 日ロシア農奴解放。
4 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・元老院令により朝鮮人はロシア人と同じく人頭税から開放され、土地税は 20 年間、地方自治体の賦役は 3 年間免除された。(ク)「東シベリアのアムルと沿海地方のロシア人と異国人の移民に対する規則」(李)
1862 年(文久 2) (清同治)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハバロフスク地方国立公文書館の文書によれば、初期の移民一家族連れは朝鮮人一が沿海州に現われ、ポシエト地区のチジンへ Tizinxe 川沿いに住み着いた。(ク) ・朝鮮人 13 家族極東に移住。(木)
1862 年頃	<ul style="list-style-type: none"> ・ザバイカル地方から約 1 万 4 千名ほどのコザック兵及びその家族と約 2,500 名ほどの刑罰を受けた兵士が

	<p>アムル河とウスリー川を離れ、清との国境地方に配置される。(李)</p>
1863 年(文久 3)	<p>・『帝政ロシア地理学会沿アムル支部紀要』にはこう書かれている：「南ウスリー地方へ初めて朝鮮人移民が現われたのは、1863 年のことであった。強欲な朝鮮人官僚に執拗な取立てを受け、貧困と飢えに苦しんだ 13 家族が、祖国を逃れてこっそりと我々のところにやってきたのである。」(ク)(李) 13 世帯がノヴゴロド湾沿岸のポシエト地域に定着。(李)</p> <p>・ロシア地理協会会員 A・V・キリルロフ「朝鮮北部に隣接するロシア領土への朝鮮人の移住は、1863 年に始まり、毎年増加し続けた。70 年代初めにはとくに盛んになり、移民の数は頂点に達した。」(ク)</p> <p>・朝鮮高宗。</p>
以前	<p>・V・V・グラージェ「1863 年以前にヴラジヴォストークと南ウスリー郡(当時は管区)で少数の朝鮮人がすでにぼつぼつと現われ始めていた。」(ク)</p>
1864 年(元治 1)	<p>・沿海州へ移住した朝鮮人はすでに 60 世帯に達した。(ク) 60 世帯 308 名が移住し、227 デシャチナを獲得。(李)</p> <p>・プルジェヴァリスキーの『ウスリー地方旅行(1864-1869)』によれば、この年にすでに 12 世帯がロシア領に移民した。3 つの村(チジンへ、ヤンチへ、シジミ)に男女 1,800 名が住んでいる。(李)</p> <p>・キム・スンファによれば、ポシエト地区の中の朝鮮人居住地はチジンへ、ヤンチへ(Janchixe)、シジミ(Sidimi)、アジミ(Adimi)、チャピゴウ(Chapigou)、クラッペ(Krabbe)、フドウバイ(Fudubaj)だった。(高)</p> <p>・春に茂山の崔運宝、慶興の梁応範の 2 人が豆満江を渡り、琿春を経由して地新墟(チジンへ)に来て開墾した。(李)</p> <p>・記録によると、ロシア人と接したとの理由で朝鮮は 2 人を死刑に処した。(李愛)</p>
9 月	<p>・沿海州軍務知事に届いた哨所長の報告書(「朝鮮人がチジンへ川沿いに定住し農業に着手した」)、(半岡²⁾ ノヴォキーエフスクから 200 露里(約 21 キロ)のところシェチェトンとチェピゴウ Chapigou という 2 つの分村からなっていた。(ク)</p> <p>・夏新たに移住してきた移住民地域を訪問した東部シベリア戦列大隊の監督官オルデンプルグ大佐の報告によれば、朝鮮</p>

	人が沿海州に移って来てノヴィゴロド哨所からチジンへ溪谷まで 15 ヴェルスタに至る地域に部落を作った。8 軒の非常に清潔な農家に住み、15 デシャチナの農地に大豆、大麦、小麦、トウモロコシを植えた。(李) ・秋ロシア沿海州軍務知事カザケーヴィチが朝鮮人が移住に協力するよう提案。(李)																										
1865 年(慶応 1)	・ロシア官吏 3 人がロシア軍士 10 名とともに通訳として崔運宝を伴い、慶興府使を訪ね、移住問題を交渉した。(李) ・ポシエト港を視察した参謀本部のゲルメルセン大尉の報告によれば、多くの朝鮮人が国境を越えて来るので、国境を越える者に対するもっと積極的な阻止策を取らなければならないと言っている。(李) ・夏総督がチジンへにある最初の朝鮮人定着地を訪問。(李) ・タシュケントを占領。トルキスタン省なる。(ロ)																										
12 月 1 日以前	・統計によれば、360 名以上の移住民がロシアに根拠地を持たないという。(李)																										
1866 年(慶応 2)	・チジンへ村の朝鮮人 100 世帯。(ク)(高) ・凶作になると、ロシア当局は極度に困難な朝鮮人に小麦粉 240 プードずつ分けてやり、代わりにポシエト炭鉱で労働することを求めた。(李) ・シジミで朝鮮人ロシア正教会信者。(李) ・徳川慶喜。																										
1867 年(慶応 3)	・下ヤンチへ、上ヤンチへ、シジミ、ケードロヴァヤ・パーチ Kedrovaja pad' に朝鮮人入る。(李) ・南ウスリースク地域の朝鮮人定住状況：(李愛) <table><tr><th rowspan="2">人数など 朝鮮人居住地</th><th colspan="2">朝鮮人</th><th rowspan="2">耕地面積 (デシャチナ)</th></tr><tr><th>世帯</th><th>人数</th></tr><tr><td>レザノヴォ村</td><td>124</td><td>161</td><td>395</td></tr><tr><td>シチミ村</td><td>11</td><td>54</td><td>16</td></tr><tr><td>レザノヴォ臨時居住</td><td>42</td><td>249</td><td>---</td></tr><tr><td>モンクガイ川流域</td><td>8</td><td>35</td><td>15</td></tr><tr><td>合計</td><td>185</td><td>999</td><td>426</td></tr></table> ・トムスク州駐屯の西シベリア・コザックの一部をセミレチェンスク・コザックに編成し、東部シベリアに配置。(李)	人数など 朝鮮人居住地	朝鮮人		耕地面積 (デシャチナ)	世帯	人数	レザノヴォ村	124	161	395	シチミ村	11	54	16	レザノヴォ臨時居住	42	249	---	モンクガイ川流域	8	35	15	合計	185	999	426
人数など 朝鮮人居住地	朝鮮人		耕地面積 (デシャチナ)																								
	世帯	人数																									
レザノヴォ村	124	161	395																								
シチミ村	11	54	16																								
レザノヴォ臨時居住	42	249	---																								
モンクガイ川流域	8	35	15																								
合計	185	999	426																								
までに	・極東居住朝鮮人は 1,400 人を越えたと思われる。(半岡 ²⁾)																										

	・沿海州に住む朝鮮人 1,415 人. (ク)
- 12 月 10 日	・フルゲルム Furugelm が東部シベリア総督コルサコフに送った報告書によれば, 朝鮮人のロシア領土への移住が今あまりに大量におこなわれているので彼の裁量によって朝鮮人たちがロシア領に移住することを阻止する措置を取ったと語った. またこのような市場を考慮して 12 月 10 日までには彼が直接ユジュノ・ウスリースクを訪ねて現地で朝鮮人の移住を防ぐ断固たる措置を取ると述べた. (李)
- 1869 年	・N・M・プルジェヴァリスキー, ウスリー地方調査. 朝鮮人と接触. チジンへ, ヤンチへ, シジミに 1,800 名が住んでいた. (高)
- 1872 年初	・朝鮮人に支給した救護品は小麦粉 6,223 プード, 春大麦 2,179 プード, 大麦 473 プード, きび 575 プード, 燕麦 283 プード, ジャガイモ 18 プード, 塩 24 プード, 金銭 495 ルーブリ等だった. (李)
1868 年(明治 1)	<ul style="list-style-type: none"> ・沿海州へ移住した朝鮮人は 165 世帯に達した. (ク) (李) ・ニコライェフカ (スチャン地区) に朝鮮人入る. (李) ・朝鮮北部で大飢饉. (李愛) 咸鏡道地方大凶作により数千戸がロシア極東に移住したという. (李) <ul style="list-style-type: none"> ・洪範図將軍平壤に生まれる. (在ソ) ・サマルカンド, プハラ占領, 服属. (ロ) ・明治維新.
- 1894 年	・チェホリムによる朝鮮人のロシアへの移住の第 2 期. (李愛)
1869 年 (明 2)	<ul style="list-style-type: none"> ・この年の沿海州への朝鮮人移民は 166 世帯. (李) ・沿海州へ移住した朝鮮人は 766 世帯に達した. (ク) (李) ・バラノフカ Baranovka に朝鮮人入る. (李) ・スイフン地区で最初の朝鮮人村 (プツィロフカ) ができる. 当初は 10 家族, 1 年後はすでに 70 世帯. (ク) クロウノフカ Krounovka できる. (李) ・バラノフカで朝鮮人ロシア正教会信者. (李) ・朝鮮凶作. (高)
9 月末	・「朝鮮人の移住は 1869 年 9 月末に始まった. 当初彼らは少人数でやってきたが, 11 月末から 12 月初めにかけて 4,500 人に急増した.」(ク)
10 月 8 日	・1,800 名の朝鮮人が各々別の経路を利用し, 冬服も非常用食料もなしにチジンへに到着したという. 彼らは, チヤチェン

	コ大佐が朝鮮に帰ることを勧めたが、帰るくらいなら飢え死にしようと言ったという。(李)
12 月	・ロシア政府は朝鮮側と越境者受け入れに関する協定を締結したが、朝鮮人の違法な越境を防ぐことは出来なかった。(李愛)
- 1870 年	・飢饉 沿海地方に朝鮮人 6500 人が移住。(木)(半岡 ²)
1870 年 (明 3)	<p>・プルジェヴァリスキー極東地域の探検旅行記を出版。朝鮮人が国境近くに住んで故国との精神的つながりを保持していることを憂慮し、国境から離れた場所に移住させるべきだと提案。(半岡²)</p> <p>・沿海州地域を視察した東シベリア総督シネリコフは、朝鮮人をアムル地域へ移すことを決めた。(李愛)(李)</p> <p>・キム・スンファによれば、沿海州の朝鮮人は 8,400 名に達し、スイフン川沿いにコンスタンチノフスキー (Konstantinovskij)、カザケヴィチェフカ (Kazakevichevka)、プツィロフカ (Pucilovka)、コルサコフカ (Korsakovka) 等の朝鮮人居住地ができた。(高)タウデミ Taudemi 部落できる。(李)</p> <p>・軍務知事がウスリー地域を視察当時ポシエト湾付近に定着した朝鮮人は 530 世帯 3,972 名 (男 2,020 名, 女 1,952 名)。レザノフ村とヤンチへの畑 427 デシャチナが開墾された。その土地に齒穀物、大豆、ジャガイモ等がブード播種され、農業には 402 名が従事した。他の地域の朝鮮人は播種する道具がなく、穀物を植えられなかった。(李)</p> <p>・春囑託官吏プツィロはスイフン川流域に移住した朝鮮人移住地の建設を視察するよう命令を受ける。(李)</p>
- 5 月までに	・448 名の朝鮮人男女がニコリスキーに到着。(李)
1870 年代	<p>・極東への移住者数で朝鮮人はロシア人を上回った。(半岡²)</p> <p>・朝鮮人稲作の計画は失敗。(李)</p>
1870 年代初	・アムル地方にはスタニーツァと呼ばれるコザック村 67 が形成され、13,209 名が定着。ウスリー地方にも 28 のスタニーツァに 5,310 名ほどのコザックが定着。(李)
1871 年 (明 4)	・朝鮮人約百世帯が土地供与などさまざまな特惠を与えられてアムル州に移住させられる。(半岡 ²) 最初の朝鮮人移民 103 家族 (男 246 人, 女 185 人)、全部で 431 人がサマラ川の川岸の河口から 3 露里 (約 3.2 キロ) のところにブラゴスロヴェン

	<p>ノイエ村をつくった。(ク) 朝鮮人の居住地としてブラゴスロヴェンノイエ村はアムル州行政の特別の保護下におかれた。(ク) [1972 年の条参照] ブラゴスロヴェンノイエに 103 世帯 431 人を移住させた。この村の朝鮮人はただちにロシアに同化し、ロシア正教に改宗した。彼らにはロシア国籍が認められ、ロシア人の移住者と同じように、世帯あたり 100 デシャチナの土地が与えられた。(李愛) [ただしブラゴヴェシチェンスク近隣地域に移住させたとある]。(李)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パタシに朝鮮人入る。(李) ポシエト地区に朝鮮人村ファタシができる。(ク) ・沿海州の州都がウラジヴォストークに移された。(ク - 岡) ・三条実美太政大臣。
- 1870 年	<ul style="list-style-type: none"> ・極東へのロシア人の入植 740 人。(半岡²⁾)
1872 年 (明 5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポシエト地区に朝鮮人村アジミ Adimi ができる。(ク) (李) ・キム・スンファによれば、サマルキ (Samarki) 河畔に最初の大きな朝鮮人村ブラゴスロヴェンノイエ (Blagoslovennoe) が建設された。ペトロフは今のブラゴヴェシチェンスク (Blagoveshchensk) から東に 570 キロ離れたアムル河畔にあるという。Kollarz は 1934 年に成立したユダヤ人自治州に位置するとしている。(高) (李) [1971 年の条参照] ・ヴァシーリー・ピヤンコフが初めて朝鮮人教会をチジンへ、ヤンチへに建てた。(李) 彼はまたチジンへに最初の朝鮮人学校を建てた。(李) ・クラーベで朝鮮人ロシア正教会信者。(李) <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア極東艦隊はニコライェフスクからウラジヴォトークに移動。(李)
1873 年 (明 6)	<ul style="list-style-type: none"> ・Krab 半島にある Hadzid 部落にアレクサンドロヴィチ大公の訪問を記念して朝鮮人教会を建てた。(李) アジミで朝鮮人ロシア正教会信者。(李)
1874 年 (明 7)	<ul style="list-style-type: none"> ・開拓里部落 (ポグラニーチナヤ街) 朝鮮式藁ぶきの家に男女 25 名が居住 (ゾロトイログ・シャリフ (金角湾) 北辺)。(李) ・М. П. Пуцилло М・Р・ブツィロ, Опыт русско-корейского словаря, 露韓辞典試論, С.-Петербургъ Санкт・ペテルブルク, xv+731c. (高)
1875 年 (明 8) (清光緒)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポシエト地区に朝鮮人村ペシシャナヤ=セーヴェルナヤ (ブクサホン), ナゴールナヤ (ニブルミ) とクラスノイエ・セ

	<p>ローができる。(ク)(李)</p> <p>・В. Г. Пьянков V・G・ピヤンコフ, Корейская азбука 朝鮮字母, С-Петербург Санкт・ペテルブルク。(言)</p> <p>・П. Кафаров Р・カファーロフ, Замечания о словаре Пуцилло Пужиоの辞典に関する覚書; в: Изв. И.Р.Г.О., N11, стр. 6. (言)</p> <p>・千島列島と交換に日本より南樺太を得る。(ロ)</p>
1876 年 (明 9)	<p>・Hadzid の朝鮮人教会を壊し、代わりにアンガウザ Angauza に新たに朝鮮人教会を建てた。この教会はポシエト布教の中心的教会である。(李)</p> <p>・コーカンド汗国併合。(ロ)</p>
1877 年 (明 10)	<p>・露土戦争。(ロ)</p>
1878 年 (明 11)	<p>・ポシエト地区に朝鮮人村チリへとブルシェができる。(ク)</p> <p>・パタシで朝鮮人ロシア正教会信者。(李)</p>
1879 年 (明 12)	<p>・アンバンビ Ambambi に朝鮮人入る。(李)</p> <p>・ノーヴァヤ・ジェレーヴニャで朝鮮人ロシア正教会信者。(李)</p>
9 月 2 日	<p>・安重根誕生。</p>
11 月 30 日 12 月 8 日	<p>・東部シベリア総督コルサコフが沿海州軍務知事フルゲルムに指示したところによれば、これらの日を期して朝鮮人のロシア領移住を禁止し、この問題で韓国の警備隊当局と接触を持つべく措置することを承認するとした。(李)</p>
1880 年 (明 13)	<p>・ポシエト地区に朝鮮人村リャザノフカとザレチカができる。(ク)</p> <p>・クラスノイエ・セロー, ナゴルナヤ, リャザノフで朝鮮人ロシア正教会信者。(李)</p>
1880 年代初	<p>・約 1 万人の朝鮮人が沿海州に居住, 30 を越える朝鮮人村が誕生。(半岡²⁾ ザレーチエ Zarech'e, リャザノフカ Rjazanovka 朝鮮人村落できる。(李)</p> <p>・春から秋まで沿海州で働き, 冬は朝鮮に戻る季節労働者が多く発生した。このような季節労働者は 3000 人に達した。(李愛)</p>
1881 年 (明 14)	<p>・アレクサンドル 3 世即位。</p>
1882 年 (明 15)	<p>・クラーベに朝鮮人入る。(李)</p> <p>・沿海州に住む朝鮮人 10,137 人。(ク)</p> <p>・ロシア政府は海路によって積極的にシベリアへの移</p>

	民政策を推進. (李)			
	・ 沿海州朝鮮人移住民の増加 (1882 - 1914) (李)			
	年度	人口	年度	人口
	1882	10,137	1898	27,000
	1890	12,857	1901	32,298
	1892	16,654	1907	46,430
	1897	23,000	1910	45,048
			1914	64,309
	・ ロシアの移住民と朝鮮人移住民の関係 (李)			
	年度	総住民	ロシア人	朝鮮人
1883 年 (明 16)	1882	92,708	8,385	10,137
	1892	147,517	57,000	16,654
	1902	312,541	66,320	32,710
	1908	525,353	383,083	45,397
	・ ウクライナ地方の農民と家族が早春にオデッサを出発, 晩秋にヴラジヴォストークに到着. (李) ・ 西シベリア総督政区は廃止され, ロシアに直属, 東シベリア総督政区はアムル総督政区 (沿海州, アムル州, ザバイカル州, サハリン州) と東シベリア総督政区 (ヤクート道, イルクーツク道, イェニセイスク道) に二分された. 沿海州とアムル州は合併して沿海州となった. 沿海州南ウスリー地方は直轄市 (ニコリスク・ウスリースキー, ヴラジヴォストーク), 警察区 (ポシエト, ラズドーリンスク, スイフン, ハンカ, 上ウスリー, スチャン), コザック区 (ポルタヴァ, グロデコヴォ) (李)			
- 1886 年	・ ロシア人海路極東移民 100 名, ただしうち罹患者 50 名. 後に陸路移送に転換. (李)			
1884 年 (明 17)	・ 沿海州へ移住した朝鮮人の総数はおよそ 5,500 人に達した. (ク) ・ ペシチャーニャ Peshchanja, クレルク Klerk に朝鮮人入る. (李) ・ 沿海州の朝鮮人は 1164 人になり, 沿海州の人口構成の首位を占めるに到った. (李愛) ・ プツィロフカに, 当局の指令により, スイフン朝鮮人自治体が開設され, コルサコフカ, プツィロフカ, シネリニコヴ			

	<p>アとクラウナフカの4つの朝鮮人村がその管轄下におかれた。(ク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハバロフカ (のちにハバロフスクと改称) に沿アムル総督府設立 (1917 年廃止). コルフ総督. (半岡²) 沿海州, アムル州, ザバイカル州を管轄 (ザバイカル州は 1906 年に総督府の管轄から除外). この領域は沿アムル地方とも呼ばれた. (ク - 岡) ・ペシチャーナヤ・パーチ, ケードロヴァヤ・パーチで朝鮮人ロシア正教会信者. (李)
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・朝露修好通商条約. (原) (ク) 朝鮮人のロシア移住問題は合意に達せず. (半岡²) 第 1 項, 1884 年以前の移住者には居住を許可するが, 国籍は必ずロシアとすること. 第 2 項, 第 1 項に該当しない朝鮮人は, 事業の整理のために許可された一定の期間が過ぎたら本国に帰還すること. 第 3 項, 一時的に來露した者には土地の貸与を禁止すること. (李愛)
- 1916 年	<ul style="list-style-type: none"> ・この間に沿海州地域の意移住してきた朝鮮人はまったく分余地を所有できなかった. これらの移住民はロシア農民やコザックまたは朝鮮人が所有する土地を小作した. (李)
1885 年 (明 18)	<ul style="list-style-type: none"> ・コルフ総督の開いた知事会議で, 朝鮮人移住者を国境地域から内陸地域に移住させるという決定が下された. (李愛) ・モングガイ монгугай Mongugai 集落できる. (李) ・スハノフカ, モングガイで朝鮮人ロシア正教会信者. (李)
1886 年 (明 19)	<ul style="list-style-type: none"> ・コルフ総督の開いた知事会議で, 朝鮮人の移住はこれ以上必要ではないと判断された. (李愛) ・スイフン朝鮮人自治体は朝鮮人からの要望を受け, 当局の指令によってプツィロフカ村からコルサコフカ村に移された. (ク) ・伊藤博文総理大臣.
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・移住朝鮮人がコレラを伝染させ, 朝鮮人とロシア人に死亡者が出たため, 沿海州軍務知事はヴラジヴォストークから朝鮮人がコレラを伝染させたという理由で郊外に分離, 移住させ, これらのうち無銭・無業者 296 名を強制的に日本の火輪船便で元山に追放した. (李)
1888 年 (明 21)	<ul style="list-style-type: none"> ・黒田清隆総理大臣.
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・朝露陸路通商章程. 朝鮮人のロシア入国に旅券の携帯を義務づけ. 他方ロシアに居住している朝鮮人については不法移

	住の罪を問わず，ロシア居住権を認める．（半岡 ² ）（李愛）
1889 年（明 22）	・ プルシエで朝鮮人ロシア正教会信者．（李）
1890 年（明 23）	・ アンドレフカ Andreevka 部落できる．（李）
1890 年代	<p>・ ロシア在留朝鮮人倍増，不法滞在者を加えると，さらに 3 割増し．帰化朝鮮人の増加は 3000 人強に留まる．（半岡²）</p> <p>・ 朝鮮人がロシア国籍を取得した時彼らは農民に編入され，土地の分配を受けた．その分配率は 1 戸当たり 15 デシャチナだった．その分配地には宅地，耕地，草地，放牧場等を合わせ 16,500 デシャチナに達している．このようにしてこの分配地に居住する人員は男 961 名，女 900 名，合計 1,861 名だった．分配地の主たる部分は南ウスリー郡内に通じる小川の両岸に沿ってあった．沿海州でロシアに帰化した朝鮮人は 12,837 名で，彼らに与えた分配地のうち耕地として適当なものは 36,300 デシャチナだった．特にこのうち宅地は 1,840 デシャチナ，耕地は 36,300 デシャチナだった．このうち草地は 934 デシャチナ，放牧場は 20,578 デシャチナ，山林は 869 デシャチナだった．人口の自然増加は 1 人当たりの土地の所有を漸次減らしていく．その結果農民は分配地の拡大或いは隣接官有地の賃貸を請願したが，請願は満足な結果をもたらさなかった．（李）</p> <p>・ 山県有朋総理大臣．</p>
1891 年（明 24）	<p>・ シベリア鉄道起工．（ロ）</p> <p>・ 松方正義総理大臣．</p>
2 月 15 日	・ 「沿海州に中国人と朝鮮人協会設立についての臨時規定」ウンテルベルゲル総督署名．（李）
7 月 21 日	<p>・ アムル総督府コルフ総督の命じた朝鮮人の 3 分類（命令 2,977）：第 1 種朝鮮人（1884 年の朝露修好通商条約の締結以前にロシアに定住した者）はロシア国籍の取得を許され，15 デシャチナの土地を分与され，第 2 種朝鮮人（1994 年以降にロシアに移住した者）は一時的な滞在者とみなされて土地の利用権を剥奪され，2 年以内のロシアからの退去を命じられ，第 3 種朝鮮人（以上に該当しない短期出稼ぎ者）は定住も農地利用も認められず，1 年ごとにロシアの居住許可の取得が求められた．また朝鮮人の自治団体の設立も命じられる．（半岡²）（ク）（李）</p>
- 1897 年	・ シベリア鉄道ウスリー線工事．（李）
- 1907 年	・ アムル州の朝鮮人鉱夫（朝鮮総督府）：（李愛）（李）

	年度	鉦夫の数	年度	鉦夫の数	
	1981	4,274	1899	9,000	
	1892	4,362	1900	11,755	
	1893	6,654	1901	9,565	
	1894	7,215	1902	10,000	
	1895	12,982	1903	12,000	
	1896	13,21	1904	14,900	
	1897	13,005	1907	30,000	
	1898	10,127			
1892 年 (明 25)	・ 極東朝鮮人全体に占めるロシア国籍取得者 78%. (半岡 ²) ・ 남만춘アムル州ブラゴスロヴェンノイエ村に生まれる. (権) ・ 伊藤博文総理大臣.				
6 月	・ 沿海州管区監督局では委員会に派遣された人々とともに朝鮮人全農家を対象として小規模の会議を開催し，総督の命令を公布した後，朝鮮人の各家庭に対する個別調査を実施した．調査結果は次の通り．朝鮮人家族の実際にロシアに到着した年度，各家庭の現在の状態と実質的な農耕の状態，そしてロシアに引き続き居住する権利を持っているかどうかに分類した．このほかにも農耕をしつつも少しも非難されるような行動を取らなかった者に対して格別の注意をはらったが，35 世帯ほどになった．また 1884 年以前に国境を越えた者でも道徳的に問題がある者，刑事上の処罰を受けた者は放置してはならないとした．また 1884 年以後にロシアに来た者はロシアに残ることも可能だが，いろいろな理由でそうでないこともあり得るとした．(李)				
- 1914 年	・ 帝政ロシアにおける朝鮮人の国籍取得状況．(李愛) (李)				
	ロシア国籍朝鮮人		非ロシア国籍朝鮮人		合計
年度	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	
1892	12,940	78	3,264	22	16,564
1899	14,980	58	10,673	42	25,655
1900	16,125	58	11,755	42	27,880
1901	16,163	55	13,445	45	29,608
1902	16,140	50	16,270	50	32,410
1905	16,500	58	12,000	42	28,500
1906	16,965	49	17,434	51	34,399

	1908	16,190	36	29,207	64	45,307
	1909	14,799	29	36,755	71	51,554
	1910	17,080	32	36,996	68	54,076
	1911	17,476	44	39,813	54	57,289
	1912	16,263	37	43,163	63	59,715
	1913	19,277	34	38,163	66	57,440
	1914	20,100	45	44,200	55	64,309
1893 年 (明 26)	<p>・ドゥホフスコイ・アムル総督。(半岡²⁾ コルフの規定は放棄され、朝鮮人は大量追放の脅威を免れることになった。ドゥホフスコイは沿海州の開拓に朝鮮人が有用であると考え、彼らのロシア化を進めた。ドゥホフスコイは朝鮮人に可能なかぎり国籍を与え、土地を支給しようとした。(李愛)</p> <p>・韓人村 1 区を作る。コレイスカヤ・スロボートカ Korejskaja slobodka (開拓里) 700 余世帯 7,500 名の朝鮮人。(李)</p>					
以降	<p>・1884 年以前に沿海州に移住し、1893 年以降にロシア国籍を取得した朝鮮人は、15 デシヤチナの土地を分配された。(李愛)</p>					
1894 年 (明 27)	<p>・アムル探検隊の調査資料によれば、朝鮮人学校—ほとんどが農家を間借りしたもの—が 10 校あった。そのうち 6 つがボシエト地区のザレーチエ村、クラスノイエ・セロー村、ノーヴァヤ・ジェレーヴニャ村 (チュリヘ村)、ヤンチヘ村、チジンヘ村、アジミ村にあり、4 つがスイフン地区のクロウノフカ村、シネリニコヴァ村、コルサコフカ村、ブツィロフカ村にあった。スチャン地区と上ウスリー地区には学校はなかった。生徒数は 277 名 (全員男子)、生徒はみな一中には妻帯者もいたが—18 歳以下で、通常、低学年、中学年、高学年の 3 つのグループに分けられ、旧約・新約聖書の神学、祈祷と礼拝、四則算法、読み書きを学んでいた。最初のうちは巡査が教えていたが、彼らは朝鮮語を知らず、生徒達はロシア語を理解できなかった。そのため巡査たちは中等師範学校 [=ウチーチェリスカヤ・セミナーリヤ] で教育を受けた朝鮮人に代えられ、6 年間教鞭を取ったが、朝鮮人であるために同じ村の出身者たちの言いなりにならざるを得なかった。(ク)</p> <p>・グロデコフ・アムル総督。朝鮮人移住者に関するドゥホフスコイ総督の政策を継承する。(李愛) 海路と陸路で 3995 人の朝鮮人がヴラジヴォストークへ、5985 人がアムル州へ移住。(李愛)</p>					

	<ul style="list-style-type: none"> ・第2種朝鮮人のために2年の猶予期間を与えた。この時ポシエト地域で1家族当たり1年10ルーブル、スイフン地域15ルーブルを納付せざるを得ず、1895年春から個人所有の財産をハバロフスクやニコライエフスカ市のうち1か所に移転させ得、そこからロシア人居住地に数家族を居住させた。(李) ・1894年に15デシャチナを基準にロシア国籍取得朝鮮人に対する土地分配があったが、以後いかなる追加的な措置もなかった。理由は人口は増加し、土地は減ることと関連があり、また減らない朝鮮人の移住は土地利用平均面積を15デシャチナから農家当たり2デシャチナに減らしてしまった。(李) ・ニコライ2世即位。
- 1905年	・チェホリムによる朝鮮人のロシアへの移住の第3期。(李愛)
1895年(明28)	<ul style="list-style-type: none"> ・スイフン地区の第一種朝鮮人はロシア国籍への宣誓を行った。(ク) ドゥホフスコイ総督の決定により次の指示が下達される。1) 1879年から定着したブラゴスロヴェンノイエ地域の朝鮮人はロシア国民と認める；2) 沿海州官民内で第1種朝鮮人に属する者はロシア国民と認める。(李) ・1万6700人の朝鮮人がスイフン地区、600人がハバロフスク州へ、1100人がアムル州のブラゴスロヴェンノイエ村に移住している。(李愛) ・日清戦争終結。日本台湾領有。(高木)
8月	・スイフン地域のコルサコフスク、プツィロフカ、シネロド地域等の朝鮮人のうち539世帯がロシア国籍を得、国民としての宣誓を行った。(李)
- 1900年	・シベリア鉄道ザバイカル線工事。(李)
1896年(明29)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポシエト地区の第一種朝鮮人はロシア国籍への宣誓を行った。(ク) チジンヘ村で宣誓が行われた。(李) ・松方正義総理大臣。
1月1日	・ロシア国籍を得た朝鮮人はすべて中央政府と地方の納税及び賦役の義務を負う。(李)
1897年(明30)	<ul style="list-style-type: none"> ・極東での朝鮮人2万4500人。アジア・ロシアで2万6159人。(木) ・ロシアの第1回国勢調査資料によると、サハリンの人口約2万8000人のうち朝鮮人は67人だった。全員がコルサコフ管区に住み、63人は朝鮮出身で、そのうち54人は自国、つまり朝鮮の国籍を持っていた。大部分は沿海州を経てサハリン島

	<p>に来た。(ク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアの第 1 回国勢調査資料によると、朝鮮人はウズベキスタン、クルグズスタンなどにも居住していたが、カザクスタンに比較的多く居住していた。当時、朝鮮人はセミレチェンスク州のヴェールヌイ市（現アルマトゥ市）、ジャルケント州ジャルケント市、シルダリャ州アウリエ・アタ市、ペロフスク県（現クズル・オルダ市）、アクモラ州に散在していた。（李愛） ・スイフン地区とポシエト地区でさまざまな理由からまだ宣誓をしていなかった朝鮮人がロシア国籍への宣誓を行った。（ク）チジンへ以外の地域で宣誓が行われた。（李） ・圣彦韓国に生まれる。（権） ・ロシアの国勢調査ではアイヌ語を母語とする 1,446 人がロシア領に居住した。（ウィ） <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアの国勢調査ではカザクスタンの総人口でカザク人は約 340 万人、81%であった。これに対し、ロシア人は 45 万 4000 人、ウクライナ人は約 8 万人で、両者で 12.7%を占めた。（李愛） ・李氏朝鮮国号を大韓帝国と改称。（半岡²）
- 1914 年	<ul style="list-style-type: none"> ・シベリアの人口 90 万から 160 万に 77.8%増加。（李）
1898 年（明 31）	<ul style="list-style-type: none"> ・日本旅順、大連を租借。（ロ） ・スイフン地区とポシエト地区でさまざまな理由からまだ宣誓をしていなかった朝鮮人がロシア国籍への宣誓を行った。（ク） ・アムル総督府グロデコフ総督。移民問題に関する特別委員会設置、まだロシア国籍を取得していない第 1 種朝鮮人を全員帰化させるとともに、第 2 種朝鮮人であっても、5 年以上ロシアに在留している場合は、強制執行せず、ロシア国籍を付与すると決定。この結果、第 1 種と第 2 種の区分は有名無実となる。（半岡²）グロデコフ（Grodekof）イマン（Iman）、ホル（Xor）、キイ（Kii）、アムル等の河畔に朝鮮人を定着させた。（高）（李） ・ロシア当局「中国及び韓国の諸港で労働者を乗せ、沿海州各港に渡来する船舶についての規則」で労働者の流入に関し、規制を始める。（李） ・А. И. Тайшин А・I・タイシン, Русско-корейский словарь

	<p>露朝辞典, Хабаровск ハバロフスク. (言)</p> <p>・伊藤博文総理大臣. ・大隈重信総理大臣.</p>
1899 年 (明 32)	<p>・沿海州に住む朝鮮人 27,000 人. (ク)</p> <p>・Ким Пен-Ок 金ピョンオク, Корейские тексты 朝鮮語テキスト; Ким Пен-Ок 金ピョンオク, Пособие к изучению корейского языка 朝鮮語学習教材, С-Петербург サンクト・ペテルブルク. (言)</p> <p>・ヴラジヴォストークに東洋大学設立 (学長 А・М・Позднеев Позднеев (モンゴル学者)). 中国語科, 日本語科, 朝鮮語科, モンゴル語科, 満洲語科, 西藏語科等. (言)</p> <p>・北海道旧土人保護法. (ウィ)</p> <p>・山形有朋総理大臣.</p>
- 1900 年	<p>・G・V・ポトスターヴィン Podstavin ソウルからロシア国境まで歩き, 民俗学研究のための 200 以上の資料を収集. (言)</p>
19 世紀末 までに	<p>・沿海州には 32 の朝鮮人村—ポシエト地区に 22, スイフン地区に 4 つ, 上ウスリー地区に 2 つ, スチャン地区に 3 つ, ソフィイスク管区に 1 つ—ができていた. またアムル河の右岸, ハバロフスクから 7 露里 (約 7.5 キロ) のところにはオシポフカ村があった. (ク)</p>
1900 年 (明 33)	<p>・義和団事件に乗じ, ロシアが満洲の実権掌握. (ロ)</p> <p>・アフナーシー・アルセニエヴィチ・キム (金) ポシエト地区の農村に生まれる. (半岡²⁾) (在ソ)</p> <p>・Описание Кореи 朝鮮に関する記述, С-Петербург サンクト・ペテルブルク. (言) [後に『韓国誌』という名で日本語の抄訳刊行; さらに 1945 年以後『한국지』(韓国誌)という名で北朝鮮で日本語からの重訳刊行]</p> <p>・К. Кузьмин К・クジミン, Элементарное пособие к изучению корейского языка 朝鮮語学習基本教材, Хабаровск ハバロフスク. (言)</p> <p>・G・V・ポトスターヴィン Podstavin 東洋大学教授. (言)</p> <p>・ロシア人のシベリア鉄道による極東移民 1 万 7 千名. (李)</p> <p>・伊藤博文総理大臣.</p>
6 月 22 日	<p>・アムル州と沿海州での移住及び予備区域造成のための暫定規定公布. この法律はロシア移住民を 1900 年以前に到着した移住民は 100 デシャチナ所有者と 1900 年以後の新しい移住者</p>

	に分けられるが、新しい二十社は男 1 人当たり 15 デシヤチナのみを受け取った。(李)
- 1901 年	・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin, 朝鮮語会話と易しい話. 東洋大学学生用実用朝鮮語入門書 (教材及び辞典), 138 ページ. (言)
- 1905 年	・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin 東洋大学副学長. (言)
20 世紀初頭	・ 極東での朝鮮人 32,000 人. うち半数はロシア国籍. (原)
1901 年 (明 34)	・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin, 朝鮮語教本, 第 1 篇, 69 ページ. (言) ・ ロシア人のシベリア鉄道による極東移民 11,304 名. (李) ・ 桂太郎総理大臣.
- 1905 年	・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin, 『尋常小学』漢文混じり解釈練習用文集, 140 ページ. (言語)
1902 年 (明 35)	・ シベリア鉄道完成. (ロ) ロシア人のシベリア鉄道による極東移民 5,862 名. (李) ・ 沿海州に住む朝鮮人 32,300 人. (ク) (李愛) ・ 極東朝鮮人全体に占めるロシア国籍取得者 50%. (半岡 ²) ・ ロシア人と黄色人種の労働者数の比率をロシア人 50%, 朝鮮人 25%と決め, 朝鮮人を労働者として使用する時には特別許可を与えるようにし, 請願内容の調査を厳格にした. (李) ・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin, 『実用会話』, 朝鮮話し言葉特別表現集, 36 ページ. (言) ・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin 朝鮮訪問. (言)
1903 年 (明 36)	・ キム・スンファによれば, 朝鮮人労働者 2900 名. (高) ・ В. Р. Вradий V・R・ヴラジー, Корейские и китайские названия древесных пород 植物の朝鮮名及び中国名; в: Сельское хозяйство и лесоводство, Т. CCC, С-Петербург Санкт・ペテルブルク, стр. 424-432. (言) ・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin, 韓国公文書, 事務文書文例集, 80 ページ. (言) ・ 奉天占領. (ロ) ・ ロシア人のシベリア鉄道による極東移民 8,911 名. (李)
1904 年 (明 37)	・ 沿海州地域に朝鮮人居住地 32, うち 31 が沿海州南ウスリースク所属. (李)

	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮人の民族学校 10 校開校 (ポシエト 6 校, スイフン 4 校). (李) ・ М. Хлыновский М・フルイノフスキー, Русско-японско-корейский военный переводчик 露日朝軍事通訳, Иркутск イルクーツク. (言) <ul style="list-style-type: none"> ・「光復会」創立. (権) ・シベリア鉄道沿バイカル線工事. (李) ロシア人のシベリア鉄道による極東移民 1,377 名. (李)
2 月 8 日	・日露戦争 (1905 年 9 月 5 日終了). (ロ) (在ソ) ロシアは敗戦後黄禍論が生じ, 非帰化朝鮮人の開拓した土地を強制的に掠奪するなどの弾圧を行なった. (李)
2 月 23 日	・日韓議定書. (在ソ)
8 月 22 日	・第 1 次日韓協約. (在ソ)
までに	・沿アムル総督府内で漁業を職業とする朝鮮人は約 3,000 名. (ク)
- 1905 年	・極東地域に居住していた朝鮮人は, 他の有色人種とともに「日本スパイ行為の予防」のためにロシア政府の命令によって, 警察の監督の下に極東地域からロシア内陸地域へ強制移住させられた. 朝鮮人は, トムスク, ペルム, ペンシュウ (?) などの都市と隣接した県に移住させられ, その後カザクスタンにも移住させられることとなった. (李愛)
1905 年 (明 38)	<ul style="list-style-type: none"> ・極東朝鮮人小作農は移住朝鮮人全体の 30% にすぎなかった. (李愛) (李) ・キム・スンファによれば, この年に稲作が始まる. (高) ・ロシアにおける最初の朝鮮人社会・政治団体「韓人民会」成立. (原) ・このころ, 朝鮮から多くの独立運動家が沿海州へ移り始める. (在ソ) ・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin, 標準朝鮮語読本, 24 ページ. (言) <ul style="list-style-type: none"> ・アムル総督府ウンテルベルゲル総督. (李) ・ロシア人のシベリア鉄道による極東移民 214 名. (李)
1 月 22 日	・血の日曜日. (在ソ)
9 月	・ポーツマス条約により南樺太は日本領となる. 北サハリンを領域とするサハリン州とカムチャトカ州設立. (ク - 岡)

11 月 17 日	・ 第 2 次日韓協約. 日本は韓国を保護国とした. (半岡 ²)																																																					
11 月 21 日	・ 伊藤博文初代統監.																																																					
以降	・ 当局は外国籍の朝鮮人に対し漁業を禁じたため, 5 年後には朝鮮人漁師は 1,000 人以下に減る. (ク) ウンテンベルグ総督の命令によって, 貴金属鉱坑での外国籍朝鮮人の雇用が中止される. その結果アムル州と沿海州だけで 7,000 人以上が生活手段を奪われた. (ク)																																																					
- 1922 年	・ チェホリムによる朝鮮人のロシアへの移住の第 4 期. (李愛)																																																					
1906 年 (明 39)	<p>・ ウンテルベルグ・アムル総督. (半岡²)</p> <p>・ 朝鮮人ロシア国籍 16,965 人, 非ロシア人国籍人 17,434, 合計 34,399 人. (ク) (高)</p> <p>・ キム・スンファによれば, 朝鮮人労働者 10,400 名. 金鉱の朝鮮人労働者 5,865 名 (ロシア人 4,484 名), 炭鉱の朝鮮人労働者 7,139 名 (ロシア人 1,829 名). (高)</p> <p>・ ロシア国籍を取得した 2,128 世帯の朝鮮人と韓国国籍を持つ 5,279 世帯に達する農家 (賃貸地に住む) そしてこのような個別農家に平均 1 名ずつの朝鮮人雇用労働者の数字を計算すると, 朝鮮人労働者数は少なくとも 7,500 名に達する. (李)</p> <p>・ 朝鮮人にロシア居住券を発給する問題に関する報告書によれば, 国境地帯の朝鮮人 10 名中 9 名は地方行政当局の監督網から外れ, 不法居住者である. これによるロシア政府の国庫の損失は 1 年に約 150,000 ルーブル. (李)</p> <p>・ 「外国人の宗教に関する規定」決定. (李)</p> <p>・ ヴラジヴォストーク・敦賀間の定期航路開設. (堀)</p> <p>・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin 朝鮮訪問. (言)</p> <p>・ アジミ及びヤンチへの農産物収穫量 (1906 - 1908) 単位ブード (李)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">年 度</th><th>耕作 面積</th><th colspan="2">大麦</th><th colspan="2">小麦</th><th colspan="2">じゃがいも</th></tr> <tr> <th>(デシ ャチナ)</th><th>播種</th><th>収穫量</th><th>播種</th><th>収穫量</th><th>播種</th><th>収穫量</th></tr> <tr> <td>1906</td><td>4,949</td><td>32</td><td>400</td><td>4,923</td><td>46,969</td><td>5,913</td><td>35,282</td></tr> <tr> <td>1907</td><td>5,657</td><td>52</td><td>495</td><td>5,216</td><td>59,602</td><td>10,639</td><td>89,444</td></tr> <tr> <td>1908</td><td>5,912</td><td>95</td><td>1,002</td><td>4,915</td><td>45,670</td><td>5,948</td><td>83,056</td></tr> <tr> <th>年</th><th>耕作 面積</th><th colspan="2">粟</th><th colspan="2">大豆</th><th colspan="2">亜麻及び大</th></tr> </table>							年 度	耕作 面積	大麦		小麦		じゃがいも		(デシ ャチナ)	播種	収穫量	播種	収穫量	播種	収穫量	1906	4,949	32	400	4,923	46,969	5,913	35,282	1907	5,657	52	495	5,216	59,602	10,639	89,444	1908	5,912	95	1,002	4,915	45,670	5,948	83,056	年	耕作 面積	粟		大豆		亜麻及び大	
年 度	耕作 面積	大麦		小麦		じゃがいも																																																
	(デシ ャチナ)	播種	収穫量	播種	収穫量	播種	収穫量																																															
1906	4,949	32	400	4,923	46,969	5,913	35,282																																															
1907	5,657	52	495	5,216	59,602	10,639	89,444																																															
1908	5,912	95	1,002	4,915	45,670	5,948	83,056																																															
年	耕作 面積	粟		大豆		亜麻及び大																																																

	<table><tr><td>度</td><td>(デシ ャチナ)</td><td>播種</td><td>収穫量</td><td>播種</td><td>収穫量</td><td>播種</td><td>収穫量</td></tr><tr><td>1906</td><td>4,949</td><td>1,423</td><td>67,985</td><td>2,900</td><td>40,608</td><td>21</td><td>3,232</td></tr><tr><td>1907</td><td>5,657</td><td>2,600</td><td>88,218</td><td>2,571</td><td>5,103</td><td>1,037</td><td>11,859</td></tr><tr><td>1908</td><td>5,912</td><td>2,908</td><td>71,612</td><td>3,045</td><td>30,031</td><td>311</td><td>75,945</td></tr></table>	度	(デシ ャチナ)	播種	収穫量	播種	収穫量	播種	収穫量	1906	4,949	1,423	67,985	2,900	40,608	21	3,232	1907	5,657	2,600	88,218	2,571	5,103	1,037	11,859	1908	5,912	2,908	71,612	3,045	30,031	311	75,945							
度	(デシ ャチナ)	播種	収穫量	播種	収穫量	播種	収穫量																																	
1906	4,949	1,423	67,985	2,900	40,608	21	3,232																																	
1907	5,657	2,600	88,218	2,571	5,103	1,037	11,859																																	
1908	5,912	2,908	71,612	3,045	30,031	311	75,945																																	
	・オシポフカ村の農産物収穫量 (1906 - 1908) 単位プード (李)																																							
	<table><tr><td rowspan="2">年 度</td><td>耕作 面積</td><td colspan="2">大麦</td><td colspan="2">燕麦</td><td colspan="2">じゃがいも</td></tr><tr><td>(デシ ャチナ)</td><td>播種</td><td>収穫量</td><td>播種</td><td>収穫量</td><td>播種</td><td>収穫量</td></tr><tr><td>1906</td><td>404</td><td>231</td><td>3,800</td><td>402</td><td>6,720</td><td>4,436</td><td>66,540</td></tr><tr><td>1907</td><td>215</td><td>485</td><td>1,557</td><td>584</td><td>1,095</td><td>1,920</td><td>2,800</td></tr><tr><td>1908</td><td>379</td><td>270</td><td>630</td><td>1,100</td><td>1,742</td><td>4,440</td><td>80,800</td></tr></table>	年 度	耕作 面積	大麦		燕麦		じゃがいも		(デシ ャチナ)	播種	収穫量	播種	収穫量	播種	収穫量	1906	404	231	3,800	402	6,720	4,436	66,540	1907	215	485	1,557	584	1,095	1,920	2,800	1908	379	270	630	1,100	1,742	4,440	80,800
年 度	耕作 面積		大麦		燕麦		じゃがいも																																	
	(デシ ャチナ)	播種	収穫量	播種	収穫量	播種	収穫量																																	
1906	404	231	3,800	402	6,720	4,436	66,540																																	
1907	215	485	1,557	584	1,095	1,920	2,800																																	
1908	379	270	630	1,100	1,742	4,440	80,800																																	
	<table><tr><td rowspan="2">年 度</td><td>耕作 面積</td><td colspan="2">粟</td><td colspan="2">大豆</td><td colspan="2">亜麻及び大麻</td></tr><tr><td>(デシ ャチナ)</td><td>播種</td><td>収穫量</td><td>播種</td><td>収穫量</td><td>播種</td><td>収穫量</td></tr><tr><td>1906</td><td>404</td><td>2</td><td>16</td><td>40</td><td>480</td><td>6</td><td>90</td></tr><tr><td>1907</td><td>215</td><td></td><td></td><td>4</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>1908</td><td>379</td><td></td><td></td><td>70</td><td>200</td><td></td><td></td></tr></table>	年 度	耕作 面積	粟		大豆		亜麻及び大麻		(デシ ャチナ)	播種	収穫量	播種	収穫量	播種	収穫量	1906	404	2	16	40	480	6	90	1907	215			4				1908	379			70	200		
年 度	耕作 面積		粟		大豆		亜麻及び大麻																																	
	(デシ ャチナ)	播種	収穫量	播種	収穫量	播種	収穫量																																	
1906	404	2	16	40	480	6	90																																	
1907	215			4																																				
1908	379			70	200																																			
	・西園寺公望総理大臣.																																							
- 1907 年	・極東の朝鮮人は 52,000 人以上. そのうちロシア国籍を持っていたのは 16,295 人に過ぎず, その分与地は 1 世帯あたり 15 デシャチナであった. ほかの多くの朝鮮人は土地を持たず, 国有地や私有地の小作人あるいは雇農 [=バトラーク] として農業に従事していた. (ク)																																							
- 1908 年	・カザリノフ朝鮮人の居住状況を調査, これによるとハバノフスクとウダスゲ郡に 2,500 名, 南ウスリー地域に 3,9789 名の朝鮮人, このうち 13,971 名は帰化人, 25,818 名は非帰化人. (李)																																							
- 1909 年	・ウラル以東へのロシア人移住者 1,552,439 名, うち移住地に定着した者 564,041 名, 故郷に帰着した者 284,984 名.																																							
1907 年 (明 40)	・沿海州に住む朝鮮人 46,400 人. (ク) ・沿海州で中国人により阿片栽培が行われていた. (李愛) ・ウンテルベルゲル総督 2,600 人以内の朝鮮人労働者の雇用を																																							

	<p>許可する。(李)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮人 O が韓人社会党について報告したところによれば, 1907 年東京で創設された後, 第 2 インターナショナルに加入した後, コミンテルンに加入することに決定したという。(権) ・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin, 現代朝鮮風刺文学抄, 52 ページ。(言) ・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin, ハングル速記教本, 32 ページ。(言) ・日露秘密協約。(原) ・朝鮮純宗。
4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・樺太庁成立。(ウィ)
以降	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア在留朝鮮人はかつてないペースで増え続けた。かつて半々だった帰化者と非帰化者の比率は一对二にまで拡大。(半岡²⁾)
1908 年 (明 41)	<ul style="list-style-type: none"> ・アムル総督府ウンテンベルグ総督の主宰で開かれた地元政財界代表の会議では, 外国席朝鮮人の借地や企業での雇用の制限とならんで, 帰化朝鮮人を国境地帯から遠ざけるために特惠をつけて沿海州北部やアムル州に移住させることも提案された。ウンテンベルグ総督は政府に具申した意見書の中で「日本ないし中国との戦争の場合, この分子の忠誠を期待することはできない。逆に, その場合は彼らはわれらの敵国がスパイ活動を広範に組織するのに極めて好都合な地盤をなすであろう」とした。(半岡²⁾) (ク) ・ウンテンベルグ総督は朝鮮人を雇用する必要がない程度に事業を縮小するよう金鉱業者に命令。(李) ・沿海州総督の命令で, 朝鮮人および中国人に対する官有地の貸与が禁止された。(李愛) ・沿海州居住朝鮮人移住民数 45,397 名, ロシア正教信者は沿海州居住の全朝鮮人の 23%ほどを占めた。(李) ・アレクセイ・イヴァノヴィチ・ヘガイ (許) がハバロフスクで生まれる。父親は朝鮮人学校教師。(半岡²⁾) ・ K. Вебер O・ヴェーベル, О корейском языке и корейском чтении китайских иероглифов 朝鮮語及び朝鮮漢字音について, С-Петербург サンクト・ペテルブルク。(言) ・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin, 現代韓国公用文文例集, 第 1 部, ハングル, 第 1 号, 官報 (王宮消息—中央行政

	<p>機関)。(言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の朝鮮語独学諸, 朝鮮語独学のロシア語教本, 東洋大学学生 G・F・ヤシチンスキー Jashchinskij ポトスターヴィン教授の指導のもとに編集, 32+128 ページ。(言) ・桂太郎総理大臣。
初	<ul style="list-style-type: none"> ・南ウスリー郡の 13 の村落ラズドーリン, スイフン, ハンカ, 上ウスリー等とスチャン警察区, ウスリー・コザック郡代官区, ポルタバ区とグロデコ区にロシアに帰化した男女 13,676 名 (2,290 世帯) が住んでいた。彼らはみな農業に従事した。ロシアに帰化した朝鮮人は 9,127 デシャチナを分配されたが, 残りの非帰化朝鮮人は 16,470 デシャチナの土地を小作した。(李)
2 月 - 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・在露朝鮮人の最初の新聞「海朝新聞」創刊。(在ソ - 劉)
3 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・205 号沿海州総督の命令で朝鮮人および清国人に対する官有地の貸与が禁止された。(李)
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジヴォストーク以外の露領沿海州各地の朝鮮人の設立した学校数は 11 だった。(李)
夏	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアで訓練を受けた朝鮮人軍事集団咸鏡北道で日本軍と戦闘。(原) 朝鮮の義兵運動はブラジヴォストーク郊外の新韓村を国外の重要な根拠地にしていた。(半岡²⁾)
- 1909 年	<ul style="list-style-type: none"> ・G・V・ポトスターヴィン Podstavin, 日本の入門書『日韓通話』の朝鮮語会話辞典, 付朝鮮話し言葉の重要な文法形態の説明。(言)
1909 年 (明 42) (清宣統)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア帝国政府は第一種朝鮮人が実際にロシア国籍取得件を有しているかどうかを調査した。(ク) ・朝鮮人ロシア国籍 14,799 人, 非ロシア人国籍人 36,755, 合計 51,554 人。(ク) (高) ・沿海州で朝鮮人が賃貸した土地は 10,550 デシャチナ。その内訳: ニコリスク・ウスリースク郡内 7,122 デシャチナ, イマン郡内 989 デシャチナ, オリガ郡内 2,318 デシャチナ, ハバロフスク郡内 35 デシャチナ, ウットスク郡内 86 デシャチナ, (李) ・アムル州の朝鮮人 2,000 名, 沿海州ウスリースク郡の朝鮮人 5,000 名は行政処分により砂金場から撤収したが, 沿海地方を離れず, 依然として都市または村落に残留した。(李) ・アメリカ人伝道士が家族を伴ってブラジヴォストークに入

	<p>り，韓人村に定着し始めた。（李）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin, 朝鮮語実用会話辞典。（言） ・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin, 露朝翻訳練習, 32 ページ。（言） <ul style="list-style-type: none"> ・ 大韓帝国は日本の指導に基づき民籍法を制定。（ウイ） ・ 前間恭作, 『韓語通』, 東京：丸善株式会社, 364 ページ [『前間恭作著作集』上巻, 京都：京都大学国文学会, 昭和 49 年に再録]。（小） ・ 高橋享, 『韓語文典』。（小）
6 月 14 日	・ 曾禰荒助第 2 代統監.
10 月 26 日	・ 朝鮮統監府伊藤博文元統監を安重根ハルビン駅で暗殺。（原）
- 1910 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ アムル遠征調査団（責任者ゴンダッチ）. アジア系移民の実態調査. 調査団は朝鮮人がむしろロシア社会に進んで同化している現実を指摘し，いたずらに有害分子と見なして排斥するのではなく，むしろ帰化を促進すべきだと提言。（半岡^{2）}） ・ ウンテルベルゲルの指示により沿海州とアムル地域でロシア国籍を持つことを促進させる朝鮮人の権利についての調査が行われた. その結果：沿海州管区 作業は農民監督官の監視下に国境人民委員会と監督局の各機関長がともに行った. 朝鮮人についてのすべての調査は 2 つの部類に分けて実施した. 1) A グループ ロシア国籍を全面的に立証する者で構成される. このグループには宣誓文と議定書（protokol），すなわち憲法 847 条で要求する資格を備えた者が該当する. 2,115 世帯 12,837 名がこのグループに登録されたが，このうち 253 世帯 1,198 名は長期間所在が不明確な状態として調査された. 2) B グループ ロシア国籍を受け入れない者として 417 世帯 2,432 名が該当する. この朝鮮人は大部分総督の報告書で分かるように，ずっと以前から 1870, 1871, 1873 そして 1882 年ここに住んでいる者である. 町や村の戸籍謄本上はこれらもロシア国民と扱われている. このグループには次のような者がいる. (1) 管区当局が一般的判決によってある村から他の村へ移転すべきことを指示した者，これらが所属を変更したとはいえ，ロシア国籍を立証する書類は作らなかった. (2) 1893 年 - 1895 年の間にスハノフスク管区監督局で発行した証明書

	<p>を所持していない者出、この証明書の内容は次の如し：「これらが家族とともにロシア国籍を受け入れることを許可する時までこれらの希望により南ウスリー管区で居住し得る。ただしこの村の公共団体に登録し、戸籍大腸にも記入しなければならない。」(3) 老人はロシア国籍を認める。(4) この区域から離れたロシア国籍所持者たちから彼らの財産を譲り受けた者は土地分割権と居住権を彼らの後を受けて引き続き所有する権利を持つ。最後に B グループの多くの朝鮮人がすでにロシア国民としての宣誓を終え、総督もチジンへ村で 1896 年に宣誓した事実が実際に存在したという事実とそれ以外の地域で 1897 年に異教徒たる朝鮮人の宣誓があったという事実について満足していた。</p> <p>アムル管区 この地域で朝鮮人をロシア国民と認めているところはブラゴスロヴェンノイエ（沙湍里）だけである。住民券についてのこれらの権利を調査する作業は国防長官傘下の人民委員会の補佐官ジュイエフと軍隊首脳部顧問の一等大尉ボルケナウが担当した。これらはすべての朝鮮人を新しいグループに区分し、個別の戸籍台帳をまた作成した。各グループは次の通り：1) 戸籍台帳第 1 号 ここに記入された朝鮮人は宣誓文を通してはっきりとロシア国民であることが立証される者である。2) 戸籍台帳第 2 号 ロシアの居住権を認めた朝鮮人の子供と一部の被養育者が該当し、全体の数字は 399 名である。これらは 12 歳になるまでは宣誓する資格を持たない。3) 戸籍台帳第 3 号 ロシアの住民としていかなる資格も持たない者である。ブラゴスロヴェンノイエにはこのような者が 28 世帯 158 名で、うち 26 世帯が生産業に従事しており、村の他の居住者と同じく土地を利用している。(李)</p> <p>・正教布教会ヴラジヴォストーク教区の報告書によれば、「朝鮮人はいまだに真の正教徒ではない。現在でもやはりそのような状態にある。彼らの生活にはシャーマニズムその他の異教の風習が残っている。彼らは明確な宗教意識が欠如しており、教理に通じておらず、祈祷の意義さえ知らない。」(李)</p> <p>ヴラジヴォストーク伝道組合の統計資料によると、朝鮮人信徒数は男 5,955 名、女 4,282 名、合計 10,237 名。(李)</p>
- 1917 年	<p>・ロシア極東はアムル州、沿海州、カムチャトカ州、サハリン州からなる。(李)</p>

1909 年頃	・朝鮮人が小作の形で耕作する農土の面積は 10,055 デシヤチナだった。ロシア人の地主のもとで小作農として農土を耕作する場合に朝鮮人移住民が支払う小作料は 1. 耕地1 デシヤチナ当たり 10 乃至 20 プード(1 プードは 16.38 kg) の穀物を提供するか, 10 乃至 18 ルーブルの現金を支払う。 2. 小作農家当たり 4 乃至 5 ルーブルを個別税として支払う。 3. 牧草を栽培する場合はその費用を地主と均等に負担する。 これが普遍的に実施されていた小作の条件だった。(李)				
1909 年以後	・韓国からヴラジヴォストークに移住して来た人の中に長老教徒が混ざっていた。(李)				
1910 年 (明 43)	・韓国とヴラジヴォストーク間の貿易額は 1910 年基準 1 年間の輸出 784,528 円, 輸出 444,000 円。輸出品は米穀と生牛, 輸入品は塩, 肉, 木材だった。(李) ・キム・スンファによれば, 日本の神戸や清津港からヴラジヴォストークに船で到着した朝鮮人は 2004 名に達する。(高) ・キム・スンファによれば, ヴラジヴォストーク, ハバロフスク, ニコリスク・ウスリースク等にはロシア国籍を持つ朝鮮人が生じた。ロシア市民権を持った朝鮮人をロシア市民権を持たない朝鮮人が“얼마우재 (オルマウジェ)”と呼び, 市民権を持たない移住朝鮮人を市民権を持った朝鮮人は“레베지 (レベジ)”と呼んだ。(高) ・沿海州に住む朝鮮人 51,000 人を越える。(ク) ・45,048 名は 13,208 名のロシア系混血児を含む。(李) ・朝鮮人ロシア国籍 17,080 人, 非ロシア人国籍人 36,996, 合計 54,076 人。(ク) (高) ・朝鮮人小作農は移住朝鮮人全体の 70%を占めた。(李愛) (李) ・サハリンのアレクサンドロフスク市では朝鮮人の政治亡命者からなる「相互扶助」協会が組織される。(ク) ・沿海州地域居住朝鮮人分布状況 (1910 年現在) (李)				
	地名	帰化朝鮮人		非 化朝鮮人	
		男	女	男	女
	ヴラジヴォストーク	147	101	2,138	1,079
	ハバロフスク	24	16	416	73
	ニコリスク	—	—	1,276	1,077
	ニコライェフスク	27	16	705	49
	ニコリスク・ウスリースク	6,315	5,613	11,579	5,212

イマン郡	453	384	1,737	141
オルギン郡	554	479	5,945	3,534
ハバロフスク郡	374	296	368	122
ウドゥ郡	—	—	946	258
ウスル, カザル, ボイスク	—	—	—	—
合計	7,894	6,905	25,110	11,545
総計	14,799		36,655	

・アムル州朝鮮人分布状況（1910年現在）（キム・スンファ）
（李）

地域	男	女	計
ブラジヴェーシチェンスク	315	42	357
ゼーヤ	576	3	579
アムル県	124	26	150
アムル・コザック管区	198	4	202
ゼーヤ鉾山・警察区	150	--	150
ブレン鉾山区	50	5	55
アムル移住地域	45	--	45
計	1,458	80	1,538

・ザバイカル地域朝鮮人分布状況（1910年現在）（李）

地域	人員
チタ	53
シルコイ・アルグン鉾山・警察区	28
ホロゴチン警察区	165
ウスチナリ警察区	14
バルグジン警察区	70
ネルチンスク県	48
計	378

・朝鮮国籍の朝鮮人に発給されたロシアの証明書の数（1910）
（李）

月	総計	流入	流出
3月	479	349	130
4月	496	470	26
5月	650	518	132
6月	171	133	38
7月	34	17	17

	<table><tr><td>8 月</td><td>79</td><td>19</td><td>60</td></tr><tr><td>9 月</td><td>194</td><td>70</td><td>124</td></tr><tr><td>10 月</td><td>1,008</td><td>54</td><td>954</td></tr><tr><td>11 月</td><td>615</td><td>145</td><td>470</td></tr><tr><td>12 月</td><td>920</td><td>101</td><td>819</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">・ 남만춘ギムナジヤ 5 年に入学, この時からネルチンスクのボリシェヴィキと関係を持ち, 革命運動をする. (権)・「光復団」(一種の統一戦線) 韓国で結成. 後に満洲へ, さらにシベリアに移動. (権)	8 月	79	19	60	9 月	194	70	124	10 月	1,008	54	954	11 月	615	145	470	12 月	920	101	819
8 月	79	19	60																		
9 月	194	70	124																		
10 月	1,008	54	954																		
11 月	615	145	470																		
12 月	920	101	819																		
1 月 1 日 --	・ アムル地方では無条件に黄色人種の労働を禁止した結果, ロシア労働力の欠如によって急な政府工事の遂行が極端に困難になった. その結果行政当局はアムル総督が決めた 5 年間権利を付与する条件で緩和措置を講じ, ロシアの労働力が不足するか突発的なことが起きる場合には外国人労働者を許可すれうことと決定した. (李)																				
3 月 26 日	・ 安重根旅順刑務所で絞首刑に処される.																				
5 月 30 日	・ 寺内正毅第 3 代統監.																				
8 月	<ul style="list-style-type: none">・ 沿海州の韓人居留民会がヴラジヴォストーク市に対してロシア国籍取得について訴えた. (ク)・ 日韓併合. (木) 日本側は 1884 年の朝露条約の締結に際してロシア領にいる朝鮮人が日本国籍であることと解釈したが, ロシア側はこれを拒否,. (原) (半岡²)																				
8 月 19 日	・ ヴラジヴォストークに 16 人の朝鮮人代表者が集まり, 朝鮮人 9780 人の国籍取得を申請した. (李愛)																				
8 月 22 日	・ 韓国併合条約. (在ソ)																				
9 月 27 日	・ ヴラジヴォストーク朝鮮人ロシア正教信奉者協会設置. (李)																				
10 月 1 日	・ 寺内正毅初代朝鮮総督.																				
までに	・ 沿海州の朝鮮人学校は 23, そのうち 20 校が宣教師団体によって運営されており, 国民教育省が運営したのは 3 校に過ぎなかった. (ク)																				
以後	・ 韓国駐在ロシア領事館で発給したヴィザと旅券を所持し, 沿海州に到達した移住朝鮮人はロシアに 1 年間滞留許可を得て居住する間に国籍主と行くが可能だった. (李)																				
- 1918 年	・ 朝鮮で土地調査事業開始. これにより土地・財産を失った農民が満洲, シベリアそして日本方面へ大量流出. (高木)																				

1911 年 (明 44)	<ul style="list-style-type: none"> ・コレラ発生とともにロシア当局はブラジヴォストーク近郊の朝鮮人をブラジヴォストーク市の北部に移転させる命令を下した。新韓村。(李) ・アムル総督府ゴンダッチ総督。(半岡²) (李) 朝鮮人に寛大な政策を取り、沿海州地域にある朝鮮人抗日団体を支援した。(李愛) ・朝鮮人ロシア国籍 17,476 人, 非ロシア人国籍人 39,813, 合計 57,289 人。(ク) (高) ・沿海州ロシア正教統計委員会の調査によれば, 沿海州地域の朝鮮人は 58,635 名, うち男 33,745 名, 女 24,890 名, うちロシア系は 17,188 名 (男 9,603 名, 女 7,585 名), 朝鮮系は 41,447 名 (男 24,142 名, 女 17,305 名)。(李) ・ある官吏の調査によればアジミとヤンチヘ地域で 13,383 名の朝鮮人を見たが, 詳細に調査すれば 10 万名に達するであろうと言った。また南ウスリー地域ではすでに 104 の朝鮮人部落が形成され, 朝鮮人は 50,000 名以上居住するとした。(李) ・西園寺公望総理大臣。
初	<ul style="list-style-type: none"> ・長老教会教徒はブラジヴォストーク 300 名, ニコリスク・ウスリー地域 100 名, ハルビン 200 名, 農村居住民の中に 200 名, 計 800 名に至った。(李)
1 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国駐劄憲兵隊の露領旅行復命報告によれば, 沿海州と黒龍州への移住者は約 10 万名と推定。(李)
1 月 31 日 --	<ul style="list-style-type: none"> ・「1911 年 1 月 31 日から 2 月 16 日までに作成したハバロフスク市保健執行委員会議執行令状」によれば, ハバロフスク市でロシア国籍を持たない中国人と朝鮮人の居住を提案した。(李)
1 月 - 9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴラジヴォストークに 2253 人の朝鮮人労働者が移住した。毎月 600 - 700 人の移住者が到着した。(李愛)
2 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・極東地域移住担当委員会では朝鮮人を採金業で働くべく許可する問題と彼らをロシア国民と認める問題について会議を開催, 委員会は次のように提案した: 1. 内務省では憲法が許す範囲内で, アムル国境地域に居住する朝鮮人をより特恵的な条件でロシア国民と認める問題について皇帝の許可を請願するよう提案した。2. 沿海州総督に朝鮮人の採金企業への参与を一時的に許可する問題を決定することを提案した。ただしロシア国籍を受け入れるという請願書を提出した者に限

	る。(李)
4月25日	・上記に関してロシア皇帝の許可が下りた。(李)
5月20日	・ブラジヴォストークで民族運動団体として勸業会結成。(在ソ)
6月1日	・日露犯罪人引渡し条約。(原)
11月1日	・朝鮮総督府は総督府令第124号「朝鮮人ノ姓名改称ニ関スル件」などの通牒によって、「内地人ニ紛ハシキ姓名」を許可しないこととし、出生届などでも内地風の名前を届けることに厳しい制限をつけた。(ウイ)
12月17日	・李相高, 李鍾浩等が抗日闘争のための経済的実力育成のために勸業会結成, 『勸業新聞』を発刊。(李)
1912年(明45/ 大正1)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮人ロシア国籍 16,263 人, 非ロシア国籍朝鮮人 43,452, 合計 59,715 人。(ク)(高) ・沿海州当局阿片栽培を禁止。(李愛) ・「光復会」尹世復, 申采浩, 李東輝, 李甲等によりブラジヴォストークに設置され, 後にブラジヴォストークに本部を置き, 間島회인県, 安東県に支会を設置。(権) ・金日成平壤近くの万景台に生まれる。(ラ) ・中華民国成立。・桂太郎総理大臣。
1913年(大2)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮人ロシア国籍 19,277 人, 非ロシア人国籍人 38,163, 合計 57,440 人。(ク)(高) ・この年に朝鮮人による稲作が始まったという説がある。(高) ・沿海州イマン官庁の調査によれば, 48,722 名の朝鮮人が農業に」従事していた。(李) ・山本権兵衛総理大臣。
10月25日	・ロシア当局はヤンチへの農民たち(崔ピョートル, 朴セイロン, アンドレイ)に朝鮮人移住 50 周年記念行事を許可。(李)・
1914年(大3)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次世界大戦による労働力の不足のために朝鮮人労働者の受け入れはいっそう促進された。(半岡²⁾) ・朝鮮人ロシア国籍 20,109 人, 非ロシア人国籍人 44,200, 合計 64,309 人。(ク)(高) ・アレクサンドラ・キム(金)ロシア社会民主党イエカテリンブルク委員会と関係を持ち, ウラルで朝鮮人及び中国人労働者を組織した。(権) ・アムル下流域がサハリン州に移管。(ク - 岡)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 남만춘ギムナジヤ卒業. (権) ・ 대한인정교보, 치따. (大韓人正教報, チタ) (高) ・ G・V・ポトスターヴィン Podstavin 朝鮮訪問. (言) <ul style="list-style-type: none"> ・ タンヌ・トゥバがロシアに併合. (田) ・ 大隈重信総理大臣.
3 月	・ 新韓村民会と勸業会が合併. 民族教育中心. (李)
9 月 28 日	・ 朝鮮人移住 50 周年記念行事ヴラジヴォストークで行われる. (李)
12 月 5 日	・ 駐露日本大使館数人の朝鮮人をロシアから追放すべきことを要求. (原)
- 1918 年	・ 第 1 次世界大戦. (ロ)
1915 年 (大 4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿海州の農村部に住んでいた朝鮮人 48,700 人. 実際には 6 万人かそれ以上 (ク) 沿海州の朝鮮人農耕移住民は 63,000 名以上だった. (李) ・ 在日朝鮮人人口 3989 人. (ウィ)
2 月	・ 남만춘少尉補となり, オムスクに配属, 1 年後に少尉となる. (権)
から	・ 沿海州で朝鮮人の阿片栽培が加速度的に増加し, 本業として阿片を栽培する者も少なくなかった. (李愛)
頃から	・ 満洲, 沿海州の朝鮮人 2 万人が戦時労働力としてシベリア, ヨーロッパ・ロシア, 中央アジアへ. (在ソ)
1916 年 (大 5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Е. Д. Поливанов Е. Д. ポリヴァーノフ, Гласные корейского языка 朝鮮語の母音; в: Восточный сборник, т. , Пет роград, стр. 344-348. (言) <ul style="list-style-type: none"> ・ 在日朝鮮人人口 5638 人. (ウィ) ・ シベリア鉄道完成. (ロシア) ・ 中央アジアで民族叛乱始まる. (ロシア) 労働力挑発を拒否して蜂起したカザク人 2000 人を虐殺した. (李愛) ・ 寺内正毅総理大臣.
10 月 16 日	・ 長谷川好道第 2 代朝鮮総督.
1917 年 (大 6)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 極東の朝鮮人人口 8-9 万人. (半岡²⁾) ・ 朝鮮人による稲作に大きな関心が持たれる. (高) 北海道から稲粃を輸入し, グロデコヴォ付近で試験栽培に成功した. (李) ・ 沿海州では 18,000 世帯の朝鮮人が土地を持っていなかった

が、そのうち 3,000 世帯がロシア国籍、15,000 世帯が外国籍であった。(ク)朝鮮人小作農は移住朝鮮人全体の 90%を占めた。

(李愛) (李)

・ロシア帝国政府の国勢調査によれば、沿海州では調査された 9808 世帯のうち、勤労分与地を持っていたのは 2311 世帯に過ぎない。(ク)

・極東農民のグループ別土地所有面積 (キム・スンファ) (李)

農村住民 グループ	土地総収量 (デシャチナ)		
	アムル州	沿海州	沿アムル地方
土着民	1,042,661	1,336,500	2,379,161
新移住者	3,416,770	1,503,038	4,919,808
朝鮮人農民	—	43,095	43,095
コザック	5,800,000	9,000,000	14,800,000

・ニコリスク・ウスリースキー市に開設された高麗中等師範学校は極東のみならずロシア共和国全体でも唯一の朝鮮人教師養成機関だった。(ク)

・フランスとイギリスは日米両国軍によるシベリア鉄道の共同占領や日本軍を主力とする連合軍の兵力派遣を提議する。(ロシア)

・崔南善がニコリスク・ウスリースクに 1 台の印刷機を持ち込む。(ク)

・丕亨沿海州に移住。(権)

・ハバロフスク市居住黄色人種職業別統計 (1917) (李)

知識階層及び主人的位置にある人々	中国人		朝鮮人		日本人		
	男	女	男	女	男	女	
官吏	—	—	—	—	—	—	
医者	—	—	—	—	—	—	
写真屋	3	—	—	—	6	—	
商人	206	12	22	8	14	7	
貸与業者	142	11	57	30	21	8	
家屋所有者	66	—	3	—	1	2	
其の他所有者	49	14	32	23	22	24	
商人, 手工業者	中国人		朝鮮人		日本人		
	男	女	男	女	男	女	
販売員	187	1	23	—	18	—	

	理髪師，美容師	40	11	5	—	35	4	
	大工	382	—	8	—	8	6	
	指物師	121	—	—	—	12	6	
	製材工，伐木	249	—	98	—	8	—	
	合金工	44	—	30	—	—	—	
	石工	369	—	—	—	—	—	
	塗装工，紙貼り職人	101	—	2	—	14	—	
	ブリキ職人	91	—	—	—	7	—	
	製靴職人	91	—	10	—	—	—	
	裁縫師，裁断師	71	21	21	9	—	—	
	洗濯職人	64	—	8	—	69	58	
	タバコ製造工	—	—	67	—	—	—	
	雑役人夫	1,892	—	490	39	—	—	
	時計製造，修理工	—	—	—	—	26	42	
	鍛冶屋	68	—	2	—	—	—	
	野菜畑労働者	11	—	21	—	—	—	
	個人業務 従事者	中国人		朝鮮人		日本人		
		男	女	男	女	男	女	
	作男	308	—	35	—	12	23	
	娼婦	—	8	—	—	—	150	
	部類別 合計	中国人		朝鮮人		日本人		
		男	女	男	女	男	女	
	第1部類合計	466	39	114	61	64	41	
	第2部類合計	3,881	22	785	71	187	112	
	第3部類合計	308	8	35	—	12	173	
	総計	4,655	69	934	132	263	326	
	・在日朝鮮人人口 1 万 4501 人。（ウィ）							
初	・アレクサンドラ・キム（金）ロシア社会民主党に加入。（権）							
3 月 8 日	・ロシア 2 月革命。（在ソ）							
3 月 17 日	・帝政終焉。（在ソ）							
3 月 29 日	・「ロシア朝鮮人会中央総会」は在露朝鮮人はケレンスキー臨時政府を支持するという声明を発表。（李愛）（権）							
4 月頃	・「韓人社会及び組織代表」を招集するためのアピール発表。代表を制憲議会に送ることについて。（権）							
4 月 10 日	・サハリンのアレクサンドロフスク労働組合本部はロシア人，							

	朝鮮人、中国人の同一賃金制度の導入を主張した。(権)
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ニコリスク・ウスリースキーで第 1 回全露朝鮮人中央総会で各地から集まった 130 人の代表は文昌範を会長に選出。しかし帰化人と非帰化人は会議の初めから対立した。帰化人は自分の土地を守るためケレンスキー臨時政府を支持し、非貴下人は新しい土地分配のためボリシェヴィキを支持した。(李愛) 朝鮮人自治に関する問題が論議された。この会議で朝鮮人は、ロシア国籍の有無と関係なく文化自治体を認めることをケレンスキー臨時政府に要求したが、許可されなかった。(李愛)「露領韓人革命団体連合総会」で全露韓族会中央総会が結成された。(権) ・남만춘連隊の 536 中隊を指揮し、前線で負傷し、イエカテリンブルクに召還された。(権)
5 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・労働節記念行事にボリシェヴィキによって組織された示威に約 500 名の朝鮮人が参加した。(権)
6 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・沿海州のニコリスク=ウスリースク(現ウスリースク)で「ロシア帰化韓族臨時代表者会議」が開かれ、憲法制定会議への代表派遣、文化的自治などが決議され、常設の「自治」機構として俄領韓族中央代表者会(のちに高麗中央総会)が設立された。これは非国籍朝鮮人を排除していた。(在ソ - 劉)
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・アレクサンドラ・キム(金)ロシア社会民主党イエカテリンブルク委員会から派遣されて極東に移住。極東ロシア社会民主党(ボリシェヴィキ)第 2 次大会の代表に選出される。後に極東でパルチザン活動に参加することになるヤリョメンコの弟子のうち朴チスン박지순, 朴ミンギュ박민규(イヴァン・ヴァシレーヴィチ)等の影響を受けていたが、10 月革命以前の朝鮮人のボリシェヴィキ化には遠かった。(権)
7 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ニコリスク・ウスリースキーで第 1 回朝鮮人代表総会ペトログラード・ソヴェトに民族自決権を支持する旨の電報。(原) ・多くは穏健派「青丘新報」発行を決定。反日派はヴラジヴォストークで「韓人新報」発行。(原)
7 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時政府「カルムク民族ステップ州」をもうける。(木)
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・シベリア中央(Centrosibir')の指導者は極東全域を自分の管轄下に置こうとした。(権)
10 月 29 日 - 11 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・シュミヤツキーは第 1 回全シベリア・ソヴェト総会でシベリア中央の議長となる。(権)

11 月 7 日	・ロシア 10 月革命（ソヴェト政権成立）。（在ソ）レーニン国家元首。
11 月 20 日	・ウクライナ人民共和国宣言。（李愛）
11 月 29 日	・ソヴェトによってブラジヴォストークで権力掌握。（権）
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・非帰化朝鮮人はハバロフスクで彼らだけの総会を構成，帰化人の大部分は制憲議会の選挙で社会革命党（SR）を支持した。（権） ・第 3 回〔極東〕ソヴェト大会で極東地方労兵農ソヴェト自治委員会創設。（ク） ・カザク人のアラシュ・オルダ自治政府成立。（中）
12 月 9 日	・「浦塩日報」創刊。（堀）
12 月 25 日	・極東地域第 3 回ソヴェト総会でソヴェト権力が宣布され，つづいて行政機関である極東人民委員会（Dal'sovnarkom）が組織された時，クラスノシチョーコフがこれの議長になった。（権）
12 月 29 日	・ソヴェトによって極東で権力掌握。しかし臨時政府の権力機構としてのゼームストヴォ zemstvo は維持された。制憲議会ではボリシェヴィキは 18.1%，社会革命党（SR）は 52.3%の支持を得た。ブラジヴォストークではボリシェヴィキは 49%の支持を得た。（権）
12 月末	・ハバロフスクで朝鮮人左派大会を召集。（原）
以前	<ul style="list-style-type: none"> ・沿海地方ではロシア人とウクライナ人が全分与地の 98.4%を握っており，朝鮮人が持っていたのは 1%強に過ぎなかった。しかし全農村人口に占める割合は，ロシア人とウクライナ人合わせて 72.2%であったのに対し，朝鮮人は 22.3%にのぼっていた。（ウ） ・朝鮮人学校 8 校設立。（李）
までに	・住民の寄付で建てられた朝鮮人学校が 182 校，官立学校が 43 校あった。生徒数 8,349 名，教師 345 名。（ク）
－ 1920 年	・圣亨イルクーツクで国際師団に服務。（権）
－ 1922 年	・内戦中朝鮮人の登録は全面中止，ただし朝鮮人の移動は継続した。（李）
革命前	・ロシアには 2 種類の国民学校，すなわちロシア人学校（純粋な君主制主義の学校）と異民族学校（ロシア化政策を強要する学校）があった。朝鮮人学校は基本的にロシア国籍の朝

	<p>鮮人だけを受け入れていた。授業はロシア語だけで行われ、学校では母語である朝鮮語で話すことも禁じた。これに従わなかった場合には、1年生からは1コペイカ、2年生からは2コペイカ、3年生からは3コペイカの罰金が徴収された。(ク)</p> <p>帝政時代には宗教的傾向を持つ朝鮮人学校もあった。そこでの授業が母語で行われており、カリキュラムは官立学校の2倍の早さで実施されていた。(ク)</p>
1918年(大7)	<ul style="list-style-type: none"> ・中東鉄道延辺ソスノーフカ駅付近、オリギンスキー郡のオトリフカ付近、ハンカ湖東岸の村落各地に稲の試験栽培が始まる。(李) ・ドイツ戦線に送られた朝鮮人兵士4,000人帰郷。(原) ・朝鮮人学校8校設立。(李) ・国際部隊内韓人武装隊イルクーツク、中国人及び韓人混成隊ペルム州に。(権)・韓人武装隊7。(権) ・在日朝鮮人人口2万2262人。(ウィ) ・原敬総理大臣。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・日英両国は居留民保護のためヴラジヴォストークへ軍艦を派遣。500余名の日本陸戦隊員は50名のイギリス陸戦隊員とともに同市警備の任につく。(ロシア) ・高麗中央總會に対抗する別の民族組織、俄領韓人会発足。これは非国籍者にも開かれていた。抗日独立を主張する。(在ソ - 劉) ・남만춘は除隊し、故郷に帰り、革命運動に従事。
1月14日	・韓人会と高麗会合併、全露韓族会となる。(原)(在ソ - 劉)
1月18日	・極東人民會議発足。議長クラスノシチョコフ。(堀)
1月22日	・ウクライナ人民共和国完全独立宣言。(李愛)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスノシチョコフは極東の政治問題を論議するため朝鮮人革命家たちの集会を開く。彼らのうち、左派は朝鮮の革命をボリシェヴィキ的に導いていこうと主張していたが、民族主義者は極東ソヴェト執行委員会の助けは受けるものの、ロシア革命には参加しないと主張していた。(李愛)出席者：이동휘, 양기택, 유동렬, 이동녕等。(権) ・「光復団」ハバロフスク大会。この大会で「韓人社会団」組織、中央委員会10名。左派運動始まる。(権) ・国有化実施。(権) ・リトアニア、エストニア独立宣言。(堀)

2月10日 -14日	・「沿海州農業の土地利用に関する臨時細則」発表。労働量による土地分配分が過度に高く割り当てられた。事実上朝鮮人は土地の分配にあずかる機会がなかった。(権)
3月	・アムル地方でソヴェト権力確立。(権) ・ラトヴィア独立宣言。(堀)
3月28日	・韓人社会団中央委員会拡大会議。中央委員会に組織、宣伝、軍事の3部門を置く。機関紙‘대중’を発行。(権)
4月	・極東人民委員会創設。(ク) ・極東ソヴェト第4次総会「土地利用に関する細則」発表。内戦のため実施されず。(権) ・ヨーロッパ・ロシアからの朝鮮人帰還者スチャンのニコライエフカ村に村ソヴェトを作る。(原) ・ザカフカズ連邦共和国成立。(中)
4月5日	・日本人商店殺害事件で日本と英国の陸戦隊ヴラジヴォストークに上陸。(ロシア)
4月10日	・ニコリスク・ウスリースキー中央執行委員会日本軍上陸に反対。(原)
4月28日	・非帰化人や新民会の亡命者など、全露朝鮮人中央総会に不満を持っていたボリシェヴィキ賛成派はハバロフスクで朝鮮人社会党を組織した。主なメンバーは李東輝(委員長)、呉英俊(副委員長)、ユ・ドンニョル(軍事部長)、キム・リプ(宣伝部長)、金・アレクサンドラ、李韓英、オ・ソンムク、オ・ハムク、リム・ホ、金一(李愛)であり、委員会はハバロフスクに置かれた。彼らはロシア革命の成功と朝鮮の独立を主要課題としたが、当分のあいだは革命への参加を優先し、ボリシェヴィキの赤軍に加わった。(李愛) 構成員: 이동휘, 박애, 이한영, 김립, 오성묵, 오하묵, 유 스테판, 이인섭, 오와실리, 립호, 전일, 알렉산드라 김。(権)
春	・アムル地方では私的土地所有の約1/10、教会の土地の約1/20が農民に分配されたというが、沿海地方の場合はその比率はもっと低く、朝鮮人には実質的恩恵はなかった。(権)
5月	・沿海州でソヴェト権力確立。(権) ・極東人民委員会(Dal'sovnarkom)の決定により少数民族に対する累進税の撤廃及び旅券制限規定の撤廃。(権) ・トルキスタン自治ソヴェト社会主義共和国成立。(中)

5 月 10 日	・ ヴラジヴォストークで韓人社会党（李東輝）成立。（原）（在ソ）
5 月 25 日	・ チェコスロヴァキア軍団の叛乱を契機にロシアで内乱が前面化し、ソヴェト政権に対する外国の軍事干渉も本格化する。（在ソ）
5 月 26 日	・ グルジア、アルメニア、アゼルバイジャン独立宣言。（堀）
6 月	・ 全シベリア朝鮮人学生青年大会召集。（在ソ） ・ 約 100 人の朝鮮人パルチザンを組織。（李愛） ・ 韓人社会党は約 100 名の韓人赤衛隊を組織。これはカライチ Karaich の指揮下にあるハバロフスク第 1 国際連隊に属しているブラジヴォストーク国際軍に編入された。この連隊はウスリー戦線で約 2 カ月間戦闘を行ったが、敵の圧倒的な力によってアムル地方に交替していた。（権）
6 月 13 日 6 月 24 日	・ 朝鮮人代表第 2 回総会ニコリスク・ウスリースキー〔ニコリスク・ウスリースク〕に招集。（原）（在ソ - 劉）
6 月 - 9 月	・ 韓人赤衛隊 100 名ウスリー前線で。（権）
夏	・ ヴラジヴォストーク付近から逃れてきた共産パルチザンが尼港に潜入して工作を開始。（ウィ）
7 月	・ ボリシェヴィキ党第 56 回全露ソヴェト大会で大規模な産業国有化令を発し、私有財産制を廃止して、すべての土地を国有化するという原則を明らかにした。（李愛）
7 月 16 日	・ ニコライ 2 世とその家族銃殺。
8 月	・ 干渉軍と白軍がハバロフスクに到着。（李愛）（権）
8 月 - 9 月	・ 韓人、中国人、マジャル人部隊反コルチャーク闘争混成部隊。（権）
8 月 - 1919 年春	・ シュミャツキーはパルチザン運動を指揮し、イルクーツク一帯で活動した。（権）
8 月 2 日	・ 日本は共同出兵の宣言を発する。（ロシア）
8 月 12 日	・ 日本軍ヴラジヴォストークに上陸。（ロシア）
8 月 19 日	・ アメリカ軍ヴラジヴォストークに上陸。（ロシア）
9 月 5 日	・ 日本軍ハバロフスク占領。（堀）
9 月 6 日	・ 日本軍チタ占領。（堀）
9 月 10 日	・ ボリシェヴィキの逃亡のための最後の船 ‘바른 꼬르프’（正しいコルフ？）号にアレクサンドラ・キムが文書運搬のため乗

	っていたが、白軍に拿捕され、キムは裁判にかけられた。(権)
9月16日	・明け方4時にハバロフスクの「死の峡谷」でアレクサンドラ・キム死刑執行。(権)
9月18日	・日本軍ブラゴヴェシチェンスク占領。(堀) ・最初の朝鮮人共産主義者アレクサンドラ・ペトロヴナ・キム銃殺。(原)(在ソ)
10月	・極東地区党大会。(原) ・イヴァン・D・パク(朴)パリチザン部隊ブラゴヴェシチェンスク、セプチュク関連パルチザン隊内(ニコライ・崔)인정거장付近に。(権)
10月19日	・沿ヴォルガ・ドイツ人勤労コムーナ形成。(木)
10月中旬までに	・日本軍約7万3000をシベリアに派兵。(ロシア)
秋	・極東のソヴェト政権崩壊。(ク) ・日本菊池総領事新韓村を視察。(原)
-1922年	・大多数の朝鮮人世帯は2デシヤチナ以下の土地しか持って居なかった。(ク)
1918年年頃 -	・ニコリスク地方に稲作に経験のある朝鮮人が来て耕作する者が多かった。(李)
1919年(大8)	・グロデコヴォ駅付近で190デシヤチナを水田に変え、プツィロフカ駅付近、ニコリスク駅付近、スチャン川地域に稲の試験栽培者が続出し、かなりの成果を収めた。(李)ニコリスク地方で初めて1デシヤチナの田を開拓して、白米28石を得る。(李) ・朝鮮人学校2校設立。(李) ・韓人パルチザン部隊17。(権) ・在日朝鮮人人口2万8272人。(ウィ)
2月	・篠田治策ヴラジヴォストークに派遣。(原)
2月8日	・ロシアはウクライナ人民共和国を倒し、ウクライナ社会主義共和国を樹立。(李愛)
2月25日	・全露高麗族会は大韓国民議会ヴラジヴォストーク支部と改称。(原)
3月17日	・大韓国民議会ヴラジヴォストーク支部独立宣言。この直後から上海臨時政府との統合交渉始まる。(在ソ)沿海州の朝鮮人代表はヴラジヴォストークの新韓村に集まり、全露朝鮮人総会を中心に大韓国民会議を結成して、文昌範を代表に選出

	した。会議は朝鮮の独立を宣言するとともに、この宣言文を英語、ロシア語、中国語に翻訳してヴラジヴォストーク駐在の12カ国の領事館に配った。(李愛)
-3月20日	・ソ連、中国、朝鮮国境地域で武装抗日独立運動、パルチザン部隊の形成。三・一運動に呼応して、ヴラジヴォストークなどでデモ。(在ソ)
3月26日	・朴殷植らヴラジヴォストークで老人同盟団結成。(在ソ)
4月	・朝鮮人社会党第2回総会。このときまで社会党の活動は実質的に中止。(李愛)(権)
4月11日	・上海で大韓民国臨時政府樹立。(在ソ)
4月末 -4月初	・韓人社会党は新民団と合併、政治活動を起す。(原)
5月1日 -4日	・篠田治策新韓村及び朝鮮人指導者訪問。(原)
5月11日	・菊地総領事沿海州政府にデモの監視を要請。デモ禁止。(原)
5月15日	・新韓村住民デモを計画。(原)
中葉	・朝鮮総督府警務局の報告によればヴラジヴォストークで일세당組織される。(権)
7月	・シュミヤツキーがレーニンと会った後、チュメーニ、トムスクの党委員会議長。(権)
8月2日	・老人同盟団の姜宇奎、ソウルで斎藤実朝鮮総督に爆弾投擲。(在ソ)
8月12日	・斎藤実第3代朝鮮総督。
9月11日	・ロシア領、上海、朝鮮の各臨時政府案を上海に統合。(在ソ)
11月10日	・ボリシェヴィキがオムスクを奪還。(権)
末	・朴・チンスンがコミンテルン執行委員会に送った報告書「朝鮮における社会主義運動」によれば、1910年に結成された「光復団」(Sojuz osvobodzhenija)は一種の統一戦線だったが、左派は日本の左派の協力を得ようとしていた。(権)
-1920年	・G・V・ポトスターヴィン Podstavin 東洋大学学長。(言)
-1921年	・ペトロフによれば、日本はシベリア出兵の期間沿海州の米作の可能性を調査したという。(高)
-1923年	・極東地方の朝鮮人6万4000人から10万6000人に増大。(木)

1920 年 (大 9)	<ul style="list-style-type: none"> ・南ウスリー地方のノヴォキーエフスク及びバラバシで稲の試験栽培が行われる。(李) ・アフナーシー・アルセニエヴィチ・キム (金) 共産党入党。(半岡 1) ・極東でのソヴェト政権樹立の闘いに朝鮮人パルチザンの参加継続。(在ソ)・韓人武装隊 31。(権) ・朝鮮人学校 22 校設立。(李) ・東洋大学は極東国立大学と名称変更, 初代学長 G・V・ポトスターヴィン Podstavin。(言) ・樺太で行われた第 1 回国勢調査によると, 当時樺太には 934 人の朝鮮人がいた。総人口 10 万 5,899 人, うち内地人 10 万 2,871 人, 土人 1,954 人, 外国人 170 人。朝鮮人は豊原市庁〔現ユジュノ・サハリンスク〕416 人, 真岡〔現ホルムスク〕176 人, 敷香〔現ポロナイスク〕153 人, 泊居〔現トマリ〕97 人, 大泊〔現コルサコフ〕92 人 (ク - 田中) ・在日朝鮮人人口 3 万 0175 人。(ウィ)
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・일세당過激派の手に掌握された後韓人社会党と改称。(権) ・コルチャーク政権崩壊。(ロシア) ・イルクーツクで国際共産党が組織去れ, 남만춘がそこで参謀長になり, ロシア共産党に加入した。(権)
1 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ等ロシア出兵打ち切りの方針を日本に通告。(ロシア)
1 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・コルチャークはボリシェヴィキ民兵帯に引き渡される。(権)
1 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・イルクーツクで南万春, 趙勲, 金哲勲らがロシア共産党韓族部結成。(在ソ) ここで選出された中央委員会は, 李東輝を中心とする既存の朝鮮人社会党指導部とは対立しており, 彼らが朝鮮人共産主義運動の中核となることはなかった。この大会以後, 朝鮮人共産主義団体は上海派とイルクーツク派に事実上分裂した。(李愛) 韓人部남만춘, 김봉기, 이재형, 조훈, 안화춘, 김성찬, 이동엽, 윤협等の発起により形成される。남만춘はイルクーツク党大会で党委員となる。(権)
1 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・尼港で共産パルチザンの使者が和議を申込むが日本軍守備隊はそれを拒否。(ウィ)
1 月以来	<ul style="list-style-type: none"> ・イルクーツク以西韓人共産組織の成立。カザン韓人共産党会長이대덕, イェカテリンブルク韓人共産党会長한규선, オムスク韓人共産党이다물, モスクヴァ韓人共産党会長강상주, ク

	ラスノヤルスク韓人共産党, ノルクツク Norkutsk 韓人共産党 会長박승만. (権)
1 月 - 2 月	・革命勢力ハバロフスク, ブラゴヴェシチェンスク, ヴラジ ヴォストークなどに相次いで入城. 日本軍は「中立」宣言. (堀)
2 月 7 日	・コルチャーク処刑される. (権)
2 月 8 日	・イルクーツク国産共産師団の軍人が主要メンバーである韓 人部はカペル軍と戦闘するために 22 名をズナーメンスコイ エ・プレーメンスコイ Znamenskoe-Bremenskoe に派遣した. (権)
2 月初頃	・김진, 張斗正 (張道定一 (権)), ロシア士官 Mixail 김は「排 日を目的とする革命主義の一政党」を組織して露国革命軍司 令部の承認を得て義勇兵を募集したが, 朝鮮人革命軍の編成 で武器と被服はロシア軍から供給を受け, 現在の党員は約 200 名, 義勇兵志願者は 80 名であり, これらは 機関銃, 小銃 及び爆弾若干を (権)
2 月 10 日	バラバシュ Barabash 方面に輸送したという. (権)
2 月 13 日	・尼港 (ニコライエフスク・ナ・アムーレ) 事件. (ロ)
2 月 17 日	・大韓国民議会議長韓蒼海, 書記전일の名前で 3・1 運動記念 式典を新韓村の正教寺院で挙げる目的で各地に通知書を発 送. (権)
2 月 24 日	・尼港で共産パルチザンから休戦の申込み. (ウィ)
2 月 28 日	・尼港で休戦交渉成立. しかしニコライエフスク港に入った 共産パルチザンは, 協約を無視して資産階級や知識階級者な ど反共勢力を投獄、虐殺し、また掠奪、強姦など不法の限り を尽くした。そして労働者を集めて過激派を編成、勢力を拡 大して、日本軍撃滅への準備を進めた. (ウィ)
3 月	・남만춘イルクーツク党少数民族部責任者となる. (権) ・ロシア共産党極東局 (Dal'bjuro) 組織. (権) ・バシュキル自治ソヴェト社会主義共和国成立. (中)
3 月 1 日	・三・一運動 (万歳事件). (木) [1 週間後に新韓村に 消息が伝わる]. (原). ニコリスク・ウスリースキー, ラズドーリノイエ, スパスクに波及. (原)] ・スボヴォドヌイの韓人たちは独立宣言記念式を行った. (権)
3 月 2 日	・モスクヴァでコミンテルン創立. (在ソ)
3 月 11 日	・尼港で共産パルチザンが守備隊の武装解除を要求したため, 守備隊は機先を制して翌未明、共産パルチザンの主要拠点を

	<p>不意急襲。参謀本部『出兵史』によれば、3月12日の時点で旧兵営とライチェン家に各600と300の中国人部隊、リュリ兄弟商会に約500の朝鮮人部隊が宿営していたとされる。彼ら武装した中国人、朝鮮人過激派に対する日本軍の敵愾心と恐怖が3月12日決起の一動機をなしていたことは疑いない（原暉之『シベリア出兵：革命と干渉1917-1922』523頁）、とされている。しかしパルチザン兵力ははるかに優勢で、激烈な市街戦となって戦況は逐次不利となり、大隊長以下大部分が戦死。市内の日本人居住民は老若男女問わず虐殺された。また、「在留日本人ハ全部一団トナリ日本軍トトモニ抵抗スルノ決心ヲナシ兩人亦コノ集団ニ加ワリ（中略）奮闘シタル日本軍ハ上下火中ニ投ジ在留民亦兵士ト行動、共ニ万歳ヲ叫ビ悉ク火中ニ投ゼリ」とする日本人居留民の絶望的な状況についてのアメリカ人毛皮商人の証言もある。（原、上同著524頁）（ウィ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新韓村で老人강문백は日本人スパイの嫌疑をかけられて拳銃で射殺された。（権） ・韓人新報主筆김하구는日本人スパイの嫌疑をかけられて暴行された。（権）
3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・新韓村で崔某は日本人スパイの嫌疑をかけられて殺害され、奥信組合長박병일은自宅で襲撃を受けた。（権）
3月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・新韓村で足立大尉の通訳김영철は新韓村宿泊中2名の怪漢により襲撃された。（権）
3月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・アレクセイェフスクで黒龍州韓人総会を構成し、徴募に着手し、400名1個大隊を構成し得た。主要人物は최고려, 박주런, 이륜, 이영섭, 최군실, 김진보, 김인현。（権）
3月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・韓人社会党は장도정, 이재익, 김동환の3人をラズドーリノイエの露国軍憲に派遣して朝鮮人義兵を露国兵営に入所させる交渉をした結果、300名まで許可され、同地のパルチザン隊に入営することになったが、応募者は70名で、月額1200ルーブルを給与し、武装及び被服は露軍から供給する約束となった。（権）
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本軍北サハリンの占領開始。この頃南部から日本国籍の朝鮮人が入ってきた。（ク） ・韓人共産主義運動の中心地はアムル地方のブラゴヴェシチェンスクとなる。（権） ・ホラズム人民ソヴェト共和国成立。（中）

4月1日	・アメリカ軍ヴラジヴォストーク撤退。(堀)
4月4日	・日本軍、ヴラジヴォストーク新韓村を襲撃(四月惨変)。(在ソ)(権)
-5日	・ヴラジヴォストーク新韓村近辺には朝鮮人学校、新聞社、教会などの公共施設もあり、遠く満洲地域へ武器や弾薬を供給する拠点でもあった。この襲撃による朝鮮人の死傷者は約百人、逮捕者は3000人に達した。日本軍は学校や新聞社に火を放ち新韓村を焦土化した。(李愛)(権)
4月5日	・日本軍沿海州各地で革命勢力を奇襲攻撃。(堀) 日本軍明け方4時に新韓村に駐屯したロシア軍を武装解除させ、韓人学校を焼却し、韓人39名を逮捕したが、その中には박 Moisej, 한성인等がいたという。C. F. Smithの研究によれば、新韓村で300人の韓人が殺害され、100余名が逮捕されたという。(権)
4月6日	・首都ヴェルフネウディンスク〔現ウラン・ウデ〕の極東共和国樹立宣言。首相兼外相クラスノシチョコフ。(堀)
4月以後	・韓人社会党のメンバーは沿海州で地下運動に入った気ア、あるいはアムル以東の地方で合法的組織を持って活動した。しかし韓人社会党はロシア共産党の密接な指導のもとに活動した。(権)
5月	・朝鮮総督府警務局の報告書によれば、中部シベリアでの日本軍の撤収以後国民議会がブラヴェシチェンスクに現われた。(権) ・シュミヤツキーが共産党シベリア局の一員として共産党極東局に派遣される。(権)
5月25日	・尼港で共産パルチザンは日本軍の襲来を察知し、監禁していた日本人と、残っていた反共市民を惨殺し、市内の建物全部を焼き払って、西方のアムグン河谷の森林内に逃走した。(ウィ) 5月に日本陸軍がニコライエフスクへ援軍を送るやパルチザンは全ての捕虜を惨殺した上で遁走した。また、日本人以外の白色(共産主義に同調せぬ)市民6000人を虐殺した上、町を焼き払った。(ウィ) のちにこの共産パルチザンの責任者はソビエト連邦政府により死刑に処せられることとなった。この事件による日本人犠牲者は約700名にのぼり、その半数は民間人であった。このため、国内世論は憤激の声が渦巻き、反共の気運が強まって、後々まで大きく尾を引くことになった。(ウィ) 尼港事件について、第一の虐殺を日本軍に

	<p>よる居留民自害強制事件、第二のそれを共産パルチザン組織が犯した虐殺事件とし、パルチザンに対する日本人居留民の抵抗を日本軍に強制された自害，いわゆる集団自決とする説もある。(原暉之『シベリア出兵：革命と干渉 1917-1922』1989年 筑摩書房) (ウィ)</p>
中頃	<p>・朝鮮総督府警務局の報告によればブラジヴォストークで일세당組織される。(権)</p>
6月	<p>・イルクーツク派は大韓国民会議に加入した。(李愛) 11月15日のコミンテルンの調査委員会の決定によれば，イルクーツク・グループは，大韓国民会議のブラゴヴェシチェンスク移転とともに，大韓国民会議に加入した。(権)</p> <p>・한명세はアムル州でロシア共産党に加入した。(権)</p>
6月3日	<p>・日本軍尼港(ニコライェフスク・ナ・アムール)占領。(ロ)</p>
7月	<p>・イルクーツクでロシア共産党シベリア・ビューローの主導下に「高麗共産団体中央幹部」を組織(「イルクーツク派」の形成)。(在ソ) シュミヤツキーの息がかかった。(権)</p>
7月1日	<p>・黒龍州韓人総会第2次代表会。大韓国民議会議に九州された。(権)</p>
7月3日	<p>・保護占領の名目で日本は北樺太への出兵を開始。(ロシア)</p>
7月12日	<p>・「朝鮮人共産団体大会」にヴェルフネウディンスク共産党朝鮮人部，沿海州の朝鮮人部などが参加した。最も重要な役割を果たしたのはイルクーツク共産党朝鮮人部だった。(李愛)</p> <p>「ソヴェト・ロシア及びシベリアの朝鮮共産組織大会」に参加した韓人社会党旧指導者たち박애, 이한영はロシア人が韓人組織を指導することに反対，民族ショヴィニズム，小ブルジョア的傾向と批判を受ける。(権) この大会は韓人社会党の旧指導部に対する朝鮮の意味を帯びていた。(権)</p>
7月19日	<p>・韓人社会党の代表，朴鎮淳ら，コミンテルン第2回大会に出席。(在ソ)</p>
夏	<p>・1922年の「朝鮮治安状況(国外)」によれば，김만경がブラジヴォストークから宣伝費4万円を携帯して上海に到着し，이동휘, 김립等とともに新大韓独立報，社会主義研究会，大韓共産党等の諸機関を設置し，活動するうち，최창식, 김립との間に対立が生じ，최창식은張鵬及び中国人姚作賓を利用して김만경を引き入れ，高麗共産青年党を組織して안병찬, 여운형을参与させて이동휘派に対立させた。(権)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・シュミャツキーはコミンテルン第3回大会に出席し、極東人民大会を組織した。(権)
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・レーニンの考えによりロシア共産党極東局 (Dal'bjuro) は直接中央委員会の管轄下に置かれる。(権) ・シュミャツキーはモスクヴァに行き、モンゴル問題についてモンゴル代表、レーニンと会合を持った。(権)
8 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ハバロフスクに韓人共産組織があり、10 名の党員がいた。(権) この日現在韓人共産党員はスパスクに 10 名、ニコリスク・ウスリースクに 10 名。(権)
9 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・この日現在韓人共産党員はソルバクアン, ナホトカ, コルサコフ, 신길동에 65 名。(権)
9 月 12 日 - 1921 年 5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本軍間島に大規模出兵 (琿春事件)。(在ソ)
9 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・大韓国民議会ブラゴヴェシチェンスクで宣言書発表, 共産主義との妥協を試みる。(権)
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア共産党極東局 (Dal'bjuro) 박애, 계봉우, 김진, 장도정, 박창은(이반) により韓人部組織。「高麗群衆に共産主義を宣伝」する目的。(権) ・韓人社会党の各派はシュミャツキーとクラスノシチョーフというロシアの 2 人の指導者を各々背景とした。(権) ・シュミャツキーがシベリア革命委員会 (Sibrevkom) に任命される。(権) ・ブハラ人民ソヴェト共和国成立。(中)
10 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・アムル州党韓人部会合, 「大韓国民議会は純然と民族的なしごとをしており, アムル州韓人たちの間の共産主義者たちの活動を防いでいる」としている。(権)
10 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本軍ザバイカル地方から撤退完了。(堀) (権)
10 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・青山里戦闘。(在ソ)
11 月 - 1921 年 5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・이동휘は上海で高麗共産党を指揮していた。(権)
11 月初	<ul style="list-style-type: none"> ・박진순一行と김립, 한형권はモスクヴァから活動資金を得てチタに到着。(権)
11 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・カルムク自治州形成。(木)
11 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> ・コミンテルン執行委員会書記コベツキー M. Kobetsky 韓人共産主義運動についての報告 (Internationale Communiste 誌 1921 年 1 月号に掲載) によれば, 朝鮮人 O が韓人社会党につ

	いて報告したところによれば、1907 年東京で創設された後、第 2 インターナショナルに加入した後、コミンテルンに加入することに決定したという。(権)
11 月 17 日	・テレク州諸民族大会で山岳自治共和国の成立を宣言。(木)
12 月	・박진순一行と김립, 한형권は上海に帰還。(権) ・シュミヤツキーはイエニセイ・ソヴェト執行委員会議長、党委員会幹部会のメンバーとなる。(権)
末まで	・米作は朝鮮人の労働力にほぼ全面的に依存していた。極東地方執行委員会少数民族問題全権委員の情報によると、水田の総面積のうちほぼ 90%が朝鮮人によって耕されていた。(ク)
- 1930 年代	・極東の朝鮮人ソ連国籍の取得コルホーズへの組織化進行。(半岡 1)
1920 年代	・トゥルケスタン共和国朝鮮人同盟 (Союз корейцев Туркестанской Республики) 成立。(V. Kim) ・ヴラジヴォストーク周辺を中心に極東地域の水田面積は急増した。(半岡 1) ・アフナーシー・アルセニエヴィチ・キム (金) 極東党組織で朝鮮人問題の専門家として活躍。(半岡 1) ・すでにこの頃のハングルによる出版物に고려 사람 goryeo saram (高麗人) という名称が用いられている。(高) ・ヴラジヴォストーク・タバコ工場内の朝鮮人演劇団が嚆矢 (高) ・新経済政策 (ネップ)。(ロシア) ・コレニザーツィヤ (土着化, 現地化) と呼ばれる少数民族の保護政策が展開される。(半岡 2)
後半	・明確な移住の意志をもって、極東地方からカザクスタンに移住してきた一部の朝鮮人がいた。彼らを中心に作られたのが、カザクスタン朝鮮人農業協同組合「カズリス (カザクスタンの米)」である。(李愛)
- 1930 年代	・朝鮮の名づけが支配的な伝統方式から変化する時期。(高)
1921 年 (大 10)	・極東での朝鮮人 57,289 人 (うちロシア国籍 17,476 人, 朝鮮籍 39,813 人)。(原) ・南ウスリー地方での水田耕作面積 762 丁歩, 稲の収穫量 19,241 石。(李)

	<ul style="list-style-type: none">・朝鮮人学校 33 校設立. (李)・洪範図將軍 700 名の戦士を率いてロシアに來た. 第 2 軍司令部の命令によって, 隊員 380 名はイマンに残し, 220 名のパルチザンとともに自由市 (ブラゴヴェシチェンスク) に行った. 自由市でカラダラシュヴィリ部隊に編入され, 5 月にこの部隊とともにイルクーツクに行った. ここで第 5 軍朝鮮旅団第 1 大隊長に任命された. (在ソ)・韓人武装隊 34. (権)・出身道別朝鮮人移住民数 (1921) (朝鮮總督府) (李) <table><tr><th>道別</th><th>移住民数</th><th>道別</th><th>移住民数</th></tr><tr><td>京畿道</td><td>1,032</td><td>黄海道</td><td>1,091</td></tr><tr><td>忠清北道</td><td>147</td><td>平安南道</td><td>3,288</td></tr><tr><td>忠清南道</td><td>125</td><td>平安北道</td><td>8,875</td></tr><tr><td>全羅北道</td><td>89</td><td>江原道</td><td>739</td></tr><tr><td>全羅南道</td><td>459</td><td>咸鏡南道</td><td>8,171</td></tr><tr><td>慶尙北道</td><td>574</td><td>咸鏡北道</td><td>20,362</td></tr><tr><td>慶尙南道</td><td>1,112</td><td>合計</td><td>46,064</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">・在日朝鮮人人口 3 万 5876 人. (ウイ)・モンゴル人民共和国, タンヌ・トゥバ人民共和国成立. (田)・高橋是清総理大臣.	道別	移住民数	道別	移住民数	京畿道	1,032	黄海道	1,091	忠清北道	147	平安南道	3,288	忠清南道	125	平安北道	8,875	全羅北道	89	江原道	739	全羅南道	459	咸鏡南道	8,171	慶尙北道	574	咸鏡北道	20,362	慶尙南道	1,112	合計	46,064
道別	移住民数	道別	移住民数																														
京畿道	1,032	黄海道	1,091																														
忠清北道	147	平安南道	3,288																														
忠清南道	125	平安北道	8,875																														
全羅北道	89	江原道	739																														
全羅南道	459	咸鏡南道	8,171																														
慶尙北道	574	咸鏡北道	20,362																														
慶尙南道	1,112	合計	46,064																														
初	・박진순一行が上海に帰還し, 上海が高麗共産党の中枢部の役割を果たした. (権)																																
1 月	<ul style="list-style-type: none">・韓人社会党代表会を開き, 党名を高麗共産党とし, 高麗共産党中央總部を設置. (権)・シュミヤツキーが第 5 軍政治将校として赴任し, コミンテルンの極東局の責任者となることにより, 高麗共産党を含めてシベリアの実質的な権力は第 5 軍の手に握られた. (権)																																
2 月	・大韓独立軍と極東共和国の間に共和国が独立軍の軍事養成に必要な援助を与えるという約束が成立した. (高)																																
2 月 22 日	・이동휘, 문창범, 박용만等の一派が在露領各地代表者 100 余名をハバロフスクに召集して韓族共産党本部を同時に設置することにする一方, 宣伝員を各地に派遣してニコライェフスクでのパルチザン部隊を糾合, 武力整備をし, 1921 年を期して間島に南下する計画だとした. (権)																																
2 月 14 日	・内務人民委員部通達「外国人への居住許可証交付について」. ロシア共和国内に恒常的もしくは一時的に居住するすべての																																

	<p>外国籍朝鮮人は所定の様式による居住許可証の所持を義務付けられる。(ク)</p>
3月 - 4月	<p>・日本ヴラジヴォストーク派遣軍は極東共和国と交渉してイマンの軍隊を武装解除させることを要求し、独立軍は漸次西に移動し、ブラゴヴェシチェンスクに移動することになった。(権)</p>
4月	<p>・大韓国民会議は共産主義組織となった。これに対し、大韓国民会議の一部は李東輝の朝鮮人社会党旧指導部と連合した。(李愛)</p> <p>・極東共和国の6名は中央委員会に電報を送り、クラスノシチョーコフの解任を要求した。(権)</p>
4月5日または25日	<p>・韓族共産党は本部をチタに移し、同地で韓族国民大会を開催しようとした。(権) 韓人社会党の支持勢力のチタ移転。チタが中心的役割をになった。(権)</p>
4月8日	<p>・김립, 원현준の2人は宣伝員として間島延吉県송례향명월구에現われ、7日間滞在して宣伝に従事した後支部を設置した。(権)</p>
4月15日	<p>・김립, 원현준の2人は명월구를発ち、영고탑に向かい、琿春県に支部を設置し、その地方で200余名の武力団体を組織した。(権)</p>
5月4日	<p>・イルクーツクで「統一高麗共産党(イルクーツク派)」結成。これに対抗して韓人社会党は上海でもう一つの高麗共産党を結成。(在ソ)</p> <p>・イルクーツク系の高麗共産党は共産党大会を開催し、中央委員会を組織し、この組織は極東に移動し、朝鮮内での共産主義を宣伝しようとするが、オムスク・シベリア革命委員会から多大の物質的援助を受けた。(権)</p>
- 15日	<p>・イルクーツクで高麗共産党創立総会。朝鮮人社会党のイルクーツク派が中心となり、国民会議アムル派の協力の下で開催。またコミンテルン極東局の緊密な協力と援助があった。(李愛)</p>
5月20日 - 23日	<p>・上海でも高麗共産党大会が開催された。これは朝鮮人社会党の第3次総会と高麗共産党創立総会を兼ねたもので、ロシア領および朝鮮の代表と在日朝鮮人の代表も参加していた。この大会で、海外亡命派を中心とする朝鮮人社会党上海派と1920秋に朝鮮で結成された「社会革命党」の二つの勢力が合</p>

	流した。(李愛) ロシア代表이동휘, 박진순, 김립, 장민섭, 조웅순, 中国代表김철수等, 朝鮮代表, 在日朝鮮人代表 2 名。(権)
5 月 26 日	・日本軍の支援でヴラジヴォストーク州政府転覆, メルクローフ政権樹立。(堀)
6 月 22 日	・突然「自由市」にいた大韓独立軍に武器を放棄せよとの通告があり, 独立軍とロシア側との交渉は水泡に帰し, 独立軍は武装抵抗するに到り, 独立軍の戦死者 372 名, 溺死者 31 名, 行方不明 250 名, 捕虜 917 名を出し, 残りは北部満洲に去った。その発端は「自由大隊」と「サカリン部隊」の間の衝突と見る者もいる。(高)
6 月 28 日	・自由市事変(アレクセイエフスク事件)[黒河事変ともいう(高)]. ソヴェト・ロシア, 極東共和国との関係設定をめぐる対立から起きた朝鮮人社会主義者(「上海派」と「イルクーツク派」)の武力衝突。(在ソ) 自由市事変以後, イルクーツク派のパルチザンはソ連軍に編入され, 上海派のパルチザンは高麗義勇隊を設けたため, 両者の分裂は決定的となった。(李愛)
8 月 26 日	・日本と極東共和国との大連会議開始。(堀)
9 月 1 日	・山岳自治共和国カバルダ・バルカル管区からカバルダ自治州分離。(木)
9 月まで	・クラスノシチョーク極東共和国を率いる。(権)
10 月 18 日	・クリミア自治共和国創設。(木)
11 月	・洪範図将軍は朝鮮パルチザン部隊の代表団に入り, モスクヴァのレーニンに報告しに行った。(在ソ)
末 - 1923 年初	・コミンテルン第 4 回大会とコミンテルン執行委員会東方分科常任幹部会で, 革命後初めて朝鮮人に政治的自治を与える措置が討論された。その結果, 東方分科内に朝鮮人問題特別機構を新たに設立することが決まった。(李愛)
1922 年(大 11)	・南ウスリー地方での稲の耕作面積 2,263 丁歩, 73,530 石。 ・極東でのソヴェト政権樹立。(半岡 ¹⁾) ・朝鮮人世帯数は沿海州全体で 22,994。(ク) ・極東朝鮮人の学校 45 校。(高) ・ソヴェト政権は新たな土地法を定め, すべての土地を国家の所有にしつつも, 労働可能なすべての人に, 一定の土地を使用することを認めた。しかし, ソ連国籍のない外国人が土

	<p>地をしようすることは不可能であった。（李愛）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓人武装隊 23.（権） ・G・V・ポトスターヴィン Podstavin 朝鮮に行く．国境の閉鎖に伴い，帰国不能．[亡命説がある]（言） <ul style="list-style-type: none"> ・在日朝鮮人人口 5 万 9865 人．（ウィ） ・加藤友三郎総理大臣．
1 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・カバルダ自治州とバルカル自治管区と結合してカバルダ・バルカル自治州となる．（木）
1 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・コミンテルン，モスクヴァで極東諸民族大会開催．参加者 148 人中 52 人の朝鮮代表団．（在ソ）
1 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・カラチャイ・チェルケス自治共和国形成．（木）
1 月 - 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・各地方について実際の調査をしたというシベリア朝鮮人教育研究会の発表によれば，朝鮮人が主体的に運営する学校は 161 校．ウスリー地方の朝鮮人学校は 72 校，その教員数は 110 名，児童数は 2,824 名．（李）
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・洪範図將軍モスクヴァからイルクーツクに戻る．（在ソ）
4 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本軍極東共和国軍と交戦．（堀）
4 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・スターリン書記長となる．（ロ）
4 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と極東共和国との大連会議決裂．（堀）
6 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本軍沿海州から撤兵表明．（堀）
9 月 4 - 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本，ソヴェト・ロシア，極東共和国の長春会議開始，決裂．（堀）
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルフネウディンスク（現ウラン・ウデ）で「上海派」と「イルクーツク派」の合同大会．対立解消せず決裂．（在ソ）（李愛） ・ヴェルフネウディンスク（現ウラン・ウデ）の朝鮮人共産主義者大会にアフナーシー・アルセニエヴィチ・キム（金）参加．（在ソ）
10 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・人民革命軍ヴラジヴォストーク入城．（堀）最後の日本軍シベリアから引き揚げる．（ロシア）日本の参謀本部と親日朝鮮人がすべての朝鮮人に対し日本人とともに撤退するよう呼びかけた宣伝ビラ．（ク）
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・極東共和国廃絶．（堀）まもなくこの領域に，沿海，ザバイカル，沿バイカル，アムル，沿アムルの 5 県および北サハリンからなる極東州設立．（ク - 岡） ・沿海県党ビューローに高麗部が創設され，党勢力の登録を

	<p>行った。1,000 名以上の党員が粛清の対象となり、その結果党への所属が確認されたのはわずか 250 名。(ク)</p> <p>・『赤旗 [=プルグンギ]』紙を 1 週間に 2 回、3000 部発行することが検討され始めた。この新聞は沿海県党ビューローと共産青年同盟および労働組合の県ビューローにある高麗部の機関紙にすることになっていた。(ク)</p>
11 月 15 日	・極東共和国ロシア共和国に併合。(堀)(在ソ)
11 月 30 日	・チェチェン自治州形成。(木)
12 月	<p>・韓明世が朝鮮人問題解決のための政策を「沿海州朝鮮人状況に関する簡略な報告書」として民族問題人民委員会に提出した。この報告書には、土地問題、国籍取得ないし臨時居住証とともに、自治問題と関連した政策提案が含まれていた。彼はこの報告書で日本の拡張政策を防ぎ、朝鮮人が反日抵抗運動を行う根拠地として民族文化自治体を建設するよう主張した。しかしソヴェト当局は、おもに 2 つの理由で、設立時期が不適當であると評価した。朝鮮自治体の建設が日本の反撥を招く恐れがあり、朝鮮人が政治的・経済的に自治を遂行する準備も整っていないとしたのである。(李愛)</p> <p>・ザカフカズ連邦共和国成立。(中)</p>
12 月 30 日	・ソヴェト社会主義共和国連邦樹立宣言。(ロ)(在ソ)
末	<p>・当局は沿海州地域の朝鮮人を他地域へ移住させる計画をたてた。(李愛) この計画は朝鮮人の強力な反撥にあい、また大規模な移住を実現させる誠司・経済的条件が整わなかったため、実行されずに終わった。(李愛)</p> <p>・高麗共産党のイルクーツク派も上海派もコミンテルンにより強制解散させられた。(李愛)</p>
末までに	<p>・何号かの新聞のほかにさまざまなアピールが発行されていた。(ク) 沿海州の党員数 600 名以上、26 の細胞に統合されていた。ポシエト地区には朝鮮共産党州委員会があり、独自の機関紙『群声 [=クンソン]』を持っていた。この機関紙はは全部で 102 号発行され、その後編集部は解散した。沿海州党ビューロー高麗部の決定により朝鮮共産党集委員会は党地区委員会に改組された。(ク)</p>
1922/23 年	<p>・ヴラジヴォストーク管区にある国立初等学校に関する資料によれば、朝鮮人学校 44 校、生徒数 3,139 人、教師数 60 人。(ク)</p>

1923 年（大 12）	<p>・人口調査。極東地域の朝鮮人 11 万人、地域人口の 10.7% を占める。（半岡²）朝鮮人 106,000 人。（李）沿海県の朝鮮人のうちソ連国籍を有する者は 3 割に過ぎない。（半岡²）沿海県の外国籍朝鮮人は約 7 万 2,000 人。（半岡²）ヴラジヴォストーク管区とされた地域の農村部で 93,000 人。（ク）沿海州居住の朝鮮人人口は 10 万 6817 人で、これは沿海州全人口の 17% を占める。そのうち 3 万 4559 人がソ連国籍を取得しており、残る 7 万 2258 人は外国人居留民という扱いだった。（李愛）ソ連国籍を持つ朝鮮人 931 世帯に土地が分与された。（李愛）国勢調査によると、極東州の人口は 1,568,769 人で、そのうち 110,280 人が朝鮮人であった。朝鮮人の多くはヴラジヴォストーク郡に集中していたが、この郡は沿岸地帯を占め、南北に 1,040 露里（約 110 キロ）以上、東西にほぼ 700 露里（約 747 キロ）にわたって延びていた。ヴラジヴォストーク郡の中には 8 つのかなり大きな郷、ポシエト、スチャン、オリガ、チェチュヘ、シュコトヴォ、ヴラジーミロ・アレクサンドロフスコイエ、キーエフカ、バラバシュが入っていた。この広大な領土に、ヴラジヴォストーク市を除く郡全人口の 56% にあたる 56,200 人の朝鮮人が住んでいた。（ク）ポシエト郡では朝鮮人が占める割合は 96% を越え、スチャン郡とポクロフカ郡では 40%。しかし北へ行くほど朝鮮人の人口密度は低くなり、オリガ郡近辺では朝鮮人があまりに分散していたため、特にスズヘ溪谷のようなところでは、大きくてもせいぜい 10 - 15 世帯からなる村が、100 - 150 露里ごとに 1 つ見つかる程度であった。（ク）</p> <p>・調査対象となった極東州の朝鮮人農家 10,643 世帯のうち 74% が貧農に分類され、20% が中農、6% が富農であった。（ク）</p> <p>・沿海州の米生産額を推定すれば、1 デシャチナの稲収穫量は 170 プード。沿海州で栽培するイネの品種は詳しい調査はないが、北海道の種と朝鮮在来種の 2 種類だった。（李）</p> <p>・極東では 224 校の朝鮮人学校が機能しており、11,000 人以上の生徒が学んでいた。この年に実施された改編によって、朝鮮人学校では初等学校の第 2 学年から必須科目として母語とロシア語両方の授業を導入。さまざまな宗教団体や政治団体の学校は閉鎖されることになり、私立学校は国の管理下に移された。朝鮮語による新しい教科書や教材の出版も行われ</p>
--------------	--

るようになり、そのために特別の翻訳委員会が設立された。
 修学期間は初等学校が 5 年間、中等学校が 6 年間と定められた。朝鮮人教師に対しては、専門的・政治的信頼性という観点から、教職への適正を明らかにするため肅清が行われた。すべての学校の教師たちは、国庫から俸給を受け取っている者と朝鮮人村の出費で雇われている者に二分された。(ク)

ハバロフスク地方国立公文書館の資料によれば、42 校の官立朝鮮人学校。(ク) 高麗中等師範学校は 5 年制のニコリスク・ウスリースキー師範専門学校 [=ウチーチェリースキー・チェフニクム] に合併されたが、1 学級しか開講することができず、その生徒 40 名のうち卒業したのは半分に過ぎなかった。(ク) 教師のうち大卒は 1 人で、大学中隊が 2 人、完全中等教育終了が 34 人、不完全中等教育終了が 43 人、初等教育が 23 人だった。技能資格では第 1 級が 10 人、第 2 級が 86 人、第 3 級が 5 人、審査委員会を通っていない者が 2 人であった。(ク)

・朝鮮文字のラテン化に関する会議の開催が提案されたが、極東地方党委員会は、極東地方に居住する朝鮮人の約 86% がハングルで教育を受けており、またソ連でも外国でも朝鮮語文献はすべてそれで記述されていることを理由に、この提案を承認しなかった。(ク)

・ソヴェト政権下の最初の 3 年間で沿海県に開設された農村読書室 [=イズバ・チターリニャ] 18、文化クラブ [=クラスヌイ・ウゴロク] 8、クラブ 3。全県唯一の朝鮮図書館は県立図書館の支部として機能、蔵書約 700。(ク)

・地方ソヴェト選挙のキャンペーン。参政権はソ連国籍を持たない朝鮮人にも与えられたが、10 年以上沿海州に在住し、労働し、革命的変革の積極的援護者であることを表明した者という条件つき。(ク) 極東州の最初の選挙キャンペーンの結果、1,713 の村ソヴェトが設立された。しかし沿海県では特別の民族機関は設けられなかった。(ク)

・韓人武装隊 2。事実上武装闘争中止。(権)

・北サハリンにはロシア人が 6571 人、外国人が 6191 人(軍人を除く)いた。外国人の内訳は、日本人が 3553 人、朝鮮人が 1431 人、中国人が 1207 人であった。

・在日朝鮮人人口 8 万 0617 人。(ウイ)

・山本権兵衛総理大臣。

1 月	・ロシア土地法典を極東地域にも適用。(半岡 ²⁾)
2 月	・キム・スンファ『ソ連朝鮮概史』によれば朝鮮人村ソヴェトが 122 あったという説は誤り。(ク)
3 月	・選挙で選出された各級ソヴェトの執行委員会のもとに高麗部を創設。沿海県執行委員会、ウラジヴォストーク郡、スチヤン郡、ニコリスク・ウスリースキー郡、スパスク郡、ハバロフスク郡およびイマン地区、ポシエト地区、オリガ地区の各執行委員会。(ク)
3 月 1 日 - 1937 年 9 月 12 日	・極東で朝鮮語新聞「先鋒」創刊。(半岡 ²⁾) 朝鮮語新聞『三月一日』創刊(第 4 号から「先鋒」と改称)。週刊、部数 2,000 部。(ク) (『レーニン・キチ』の前身)。(在ソ)
3 月 - 4 月	・イルクーツクから復員した朝鮮人赤軍兵士たちが沿海県へ帰り始めた。彼らはおおよそ 750 名ほどであったが、そのうち党员と党员候補が 130 名を占めていた。(ク)
4 月	・沿海県執行委員会と県内各地の自治体の国民教育部に朝鮮人学校問題全権委員の職務が設けられた。(ク)
5 月 8 日	・居住および移動のための朝鮮人の身分証明書は極東委員会決定によって廃止された。(ク)
5 月 30 日	・ソ連共産党中央委員会極東ビューロー常任委員会は、朝鮮人に自治権を提供することは、極東地域の政治的・経済的条件上、不適當であると評価した。(李愛)
8 月	・極東革命委員会は朝鮮人に対する土地分配規定を定めた：「極東のすべての朝鮮人にロシア人とコサックが所有した過大な分割地を分配する。土地を分配された朝鮮人は、他地域への移住を禁止する。すでに辺境に移住した朝鮮人にハバロフスクとアムル地区の土地を分け、今後の移住者に関しては北部辺境地域の土地分配規定に従う」。(李愛) ・アノーソフの著書に寄れば、朝鮮人学校 1,226 校(うち官立 44 校、私立 182 校)(ク訳注)
9 月 1 日	・関東大震災。
- 1924 年	・沿海県では 18,474 人の朝鮮人が申請書を提出し、そのうち 12,783 人がソ連国籍を取得。ただしソ連国籍を付与されたのは主に共産主義者、旧パルチザン、選挙によって選ばれ指導的な役職についている者や自分の分与地を得た者たちであった。このような制限があったために、社会的に有益な仕事につき極東地方の政治活動にも参加していた 83,000 人以上の朝

	鮮人がソ連国籍を取得できない状況に置かれていた。(ク)
ーから	・極東朝鮮人に農産組合、産業組合、消費組合等できる。(高)
1923/24 年	・ブラジヴォストーク管区にある国立初等学校に関する資料によれば、朝鮮人学校 82 校、生徒数 6,175 人、教師数 152 人。(ク)
ー 1924 年	・1 万 4598 人の朝鮮人がソ連国籍を申し込み、その 19.6%である 2269 人が国籍を取得した。(李愛)
ー 1925 年	<p>・約 1 万 5,000 人の朝鮮人が帰化申請、しかしそのうち 3 分の 1 しかソ連国籍の取得が出来ていない。(半岡²⁾)</p> <p>・アフナーシー・アルセニエヴィチ・キム (金) 朝鮮語新聞「先鋒 (アヴァンガールト)」(沿海県党委員会機関紙) 編集部員、沿海県コムソモール委員会朝鮮人部部長、その後沿海県全連邦共産党 (ボリシェヴィキ) 委員会朝鮮人部指導員。(在ソ)</p> <p>・チェチェン語、イングーシュ語文字創造。(木)</p>
ー 1926 年	<p>・毎年沿海州の朝鮮人の人口が 17% ずつ増加。1 年に 5-6 千家族約 3 万名が増加。朝鮮・ソ連国境だけでも年 300 人の増加だった。(高)</p> <p>・沿海県だけで 6,000 以上の朝鮮人世帯が土地の分与を受け、彼らが保有する土地は全部で 118,108 ヘクタールに達した。(ク)</p> <p>・スチャン地区で朝鮮人住民の手によって 2 つの新しい校舎が建てられた。(ク)</p>
ー 1927 年	・洪範図將軍イマン地区で農業に従事。(在ソ)
1924 年 (大 13)	<p>・極東州の朝鮮人人口 127,000 人。都市部では労働者が 13%, 投機師、密輸業者やその他の小商人が 87% (沿海県で 14,000 人以上) で、農村では小作人と貧農あわせて 75%, 中農が 20%, 富農 (= クラーク) が 5% であった。(ク)</p> <p>・ソ連国籍を持つ朝鮮人 717 世帯に土地が分与された。(李愛)</p> <p>・沿海県の朝鮮人村は全部で 475 であったが、そのうち 10 世帯未満の村が 191, 10 - 19 世帯が 129, 30 - 49 世帯が 56, 50 世帯以上が 99 であった。(ク)</p> <p>・ハンカ湖地方では広漠たる河沢地を田と変えた。耕作面積 100 丁歩, 3,000 石。(李)</p> <p>・ハバロフスク地方国立公文書館の資料によれば、168 校の朝鮮人学校。そのうち官立が 87 校、私立が 81 校。(ク) S・D・</p>

	<p>アノーソフ『ウスリー地方の朝鮮人』によれば、148 校の朝鮮人学校。そのうち官立が 117 校、私立が 31 校。（ク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公文書館の資料によれば、極東州で最初の朝鮮人村ソヴェトはその他の少数民族ソヴェトと同様、この年に活動開始。沿海県の村ソヴェトは 57、そのうち 43 がポシエト地区に、4 つがスチャン地区に、7 つがニコリスク・ウスリーキー郡に、3 つがハバロフスク郡にあった。（ク） ・ニコリスク=ウスリースクに 2 年制師範学校開校。（在ソ - 劉）第 1 次 5 ヶ年計画の期間中に 420 人の教員を養成した。（在ソ） ・朝鮮人の青年農民学校が 3 校。（李愛） ・アレクセイ・イヴァノヴィチ・ヘガイ（許）共産主義青年同盟加盟。（半岡²） ・新韓村に朝鮮人演劇劇場できる。ヴラジヴォストーク市の労働者劇団と関係を結ぶ。（高） ・タシュケント郊外に最初の朝鮮人アルテリ設立。（木）タシュケントに朝鮮人農業生産者協同組合が設けられていた。（李愛） ・前間恭作、『龍歌故語箋』（東洋文庫論叢第二）、157+9 ページ [『前間恭作著作集』下巻、昭和 49 年に収録]。（小） ・小倉進平、『郷歌及び吏読の研究』（京城帝国大学法文学部紀要第一）、598 ページ [『小倉進平博士著作集』（一）、京都：京都大学国文学会、昭和 49 年に収録]。 ・在日朝鮮人人口 12 万 0238 人。（ウイ） ・山岳自治共和国解消。（木） ・清浦奎吾総理大臣。・加藤高明総理大臣。
1 月 21 日	・レーニン死去。（在ソ）
3 月	・G・V・ポトスターヴィン Podstavin 死去。（言）
4 月	・S・D・アノーソフによれば、朝鮮人学校 161 校（うち官立 85 校、私立 76 校）。（ク訳注）
5 月	・コミンテルン東方部会議で韓明世（ハン・メンシェ）は「朝鮮人問題の根本的な解決策」は朝鮮人が集中して住んでいる沿海県の 3 地区を基盤にして朝鮮人自治州を設立することだと指摘。しかし現時点での設立はふさわしくないとして退け

	られる。(半岡 ²⁾)
半ばから	・極東の地方当局は朝鮮人の移住計画の検討を始めた。(半岡 ²⁾)
7月7日	・イングーシュ自治州成立。(木)
7月11日	・ブラジヴォストーク郡党高麗部の会議で「土地の利用をめぐってロシア人と朝鮮人の関係が深刻化して」いることを報告。(ク)「旧スチャン地区においてロシア人と朝鮮人の関係が緊迫していることを認める」。(ク)
12月	・S・D・アノーソフによれば、朝鮮人学校 148 校(官立 117 校, 私立 31 校)。(ク訳注)
12月19日	・ヴォルガ河沿岸ドイツ人自治共和国成立。(木)
1924/25 年	・ブラジヴォストーク管区にある国立初等学校に関する資料によれば、朝鮮人学校 119 校, 生徒数 9,463 人, 教師数 228 人。(ク)
1925 年(大 14)	<p>・極東地方の約 12 万の朝鮮人の大部分がソ連国籍を取る。(木)(高)・朝鮮人 2270 人がソ連国籍を取得。(李愛)</p> <p>・小作地のみで暮らす農民が朝鮮人で全体の 68.8%を占めたのに対し、ロシア人は 7.8%でしかない。また 1 世帯あたりの耕作面積は、朝鮮人の 1.6 デシャチナに対してロシア人は 4.1 デシャチナと、実に 3 倍近い開きがあった。(半岡²) 沿海県で朝鮮人全体に占めるソ連国籍取得者の割合が 55%まで増加。(半岡²) ソ連国籍を持つ朝鮮人 2931 世帯に土地が分与された。(李愛) 沿海県で土地を借りている朝鮮人は 11,831 人を数え、その面積は 1 世帯あたり平均して 1.43 デシャチナ(約 1.55 ヘクタール)であった。(ク)</p> <p>・沿海州土地庁の統計によれば、沿海州に 164 の朝鮮人村があった。(李)</p> <p>・米栽培 10 ヲ年計画。それによると、1926 年 13,000 ヘクタール、1936 年 94,000 ヘクタール。(高)</p> <p>・沿海県の朝鮮人の平均的な識字率 21.8%, ロシア人と比べるとその半分以下、ロシア語の読み書きができる朝鮮人 2%。女性の場合は都市部で 18.6%, 農村部で 9.5%。(ク)</p> <p>・極東の出版社「出版事業部 [=クニージュノイエ・ジェーロ]」から出された朝鮮語出版物 11 種。ソヴェト政権は初期の 6 年間だけで 18 万部の本とパンフレットを朝鮮語で発行した。(ク)</p>

	<ul style="list-style-type: none">・朝鮮人民族ソヴェトが沿海県だけで 87. 朝鮮人が最も密集していたヴラジヴォストーク郡では 18 の朝鮮人村ソヴェトと 22 の朝鮮人地区・村ソヴェト, 8 つの混合村ソヴェトと 7 つの混合地区・村ソヴェト, および村団 [=セーリスコイエ・オープンシチェストヴォ] が 1 つあった. (ク)・ 으. 이. 다이신 와 프. 프. 꼬슬롭으, 리중일역, 정치학독본政治学読本, 농촌순회학교와 독학용교과서農村巡回学校及び独学用教科書, 해산위海參威.・南沿海州の朝鮮人農家: (李愛) <table><tr><th>地域</th><th>帰化朝鮮人農家</th><th>非帰化朝鮮人農家</th><th>総数</th></tr><tr><td>ヴラジヴォストーク</td><td>7.704</td><td>2,449</td><td>10,153</td></tr><tr><td>ウ リースク</td><td>2,858</td><td>6,222</td><td>9,080</td></tr><tr><td>スパスク</td><td>710</td><td>889</td><td>1,599</td></tr><tr><td>ハバロフスク</td><td>352</td><td>367</td><td>719</td></tr><tr><td>合計</td><td>11,62</td><td>9,927</td><td>1,551</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">・在日朝鮮人人口 13 万 3710 人. (ウィ)・趙明熙カップ (朝鮮プロレタリア芸術同盟) 結成に参加. (在ソ)・前間恭作, 『鷄林類事麗言攷』. (東洋文庫論叢第三), 128+6 ページ [『前間恭作著作集』下巻, 昭和 49 年に収録]. (小)	地域	帰化朝鮮人農家	非帰化朝鮮人農家	総数	ヴラジヴォストーク	7.704	2,449	10,153	ウ リースク	2,858	6,222	9,080	スパスク	710	889	1,599	ハバロフスク	352	367	719	合計	11,62	9,927	1,551
地域	帰化朝鮮人農家	非帰化朝鮮人農家	総数																						
ヴラジヴォストーク	7.704	2,449	10,153																						
ウ リースク	2,858	6,222	9,080																						
スパスク	710	889	1,599																						
ハバロフスク	352	367	719																						
合計	11,62	9,927	1,551																						
1 月 20 日	・日ソ基本条約調印. (ロシア)																								
1 月直後	・1926 年末までの自治共和国設立の目標はロシア政府当局の同意を得られなかった. 「朝鮮人の教育程度が低く, 自治の能力がない」というのが理由だった. (在ソ - 劉)																								
4 月 17 日	・金在鳳らソウルで朝鮮共産党 (第一次) 結成.																								
5 月	・日本軍北樺太から撤兵. (ロシア)																								
5 月 14 日	・サハリンのアレクサンドロフスク市にソヴェト政権が樹立された. (ク)																								
半ば	・ヴラジヴォストーク管区の朝鮮人農民の約半数に相当する 9,000 世帯を 5 年間でハバロフスク方面へ移住させることにする. (半岡 ²⁾)																								
8 月	・サハリンのルイブノフスク地区の 2 つの朝鮮人集落ナウモフカとケフに民族合同村ソヴェトが設立された. (ク)																								
9 月	・サハリンのオハの石油利権企業には朝鮮人 46 人がいた. (ク)																								
12 月 17 日	・ソ連トルコとの友好中立条約締結. (木)																								

- 1926 年	<p>・朝鮮人村ソヴェトの細分化が行われ、極東地方におけるその総数は 105 に増加した。それらの朝鮮人村ソヴェトで選出された人々は 3,119 名で、社会的身分では農民が 2,913 名、雇農と労働者が 48 名、職員が 158 名。教育面では中等学校を終えた者が 139 初等が 1,193 名、読み書きがあまりできない者が 1,575 名、読み書きのできない者が 212 名。政党の所属では共産党員が 136 名、共産青年同盟員が 624 名、非党員が 2,359 名で、また女性が 381 名いた。(ク)</p> <p>・ヴラジヴォストーク国立大学と労働者農民予備校 [=ラブファク] に高麗科が、プツィロフカ村には農民青年学校が開設され、さらに 138 の識字センターも設立された。また極東地方国民教育部によって翻訳教授局が運営されていた。(ク)</p> <p>・若い朝鮮人党員と共産青年同盟員は「新被登用者 [=ノヴォヴィドヴィジェンツィ]」というグループを組織。活動の中心を沿海州から間島に移すことを提案。(ク)</p>																																																																																															
- 1927 年	<p>・アフナーシー・アルセニエヴィチ・キム (金) 管区全連邦共産党 (ポリシェヴィキ) ニコライェフスク・ナ・アムーレ扇動宣伝部長。(在ソ)</p>																																																																																															
- 1929 年	<p>・サハリン地区執行委員会委員における朝鮮人 (ク) : A 地区執行委員会委員総数 (人), B 朝鮮人の数 (人), C 朝鮮人が占める割合 (人)。(ク)</p> <table><tr><th colspan="2">地区</th><th>ポシ エト 地区</th><th>スイ フ 地区</th><th>スチ ヤン 地区</th><th>ポク ロフ カ地 区</th><th>グロ デコ ヴォ 地区</th><th>シュ コト ヴォ 地区</th><th>ハン カ地 区</th><th>オリ ガ地 区</th></tr><tr><td colspan="2">C</td><td>90.0</td><td>53.6</td><td>5 1</td><td>43.5</td><td>35.5</td><td>28.9</td><td>23.0</td><td>22.3</td></tr><tr><td rowspan="3">1925</td><td>A</td><td>13</td><td>15</td><td>15</td><td>11</td><td>11</td><td>13</td><td>11</td><td>13</td></tr><tr><td>B</td><td>8</td><td>5</td><td>5</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>61.5</td><td>33 3</td><td>33.3</td><td>18.2</td><td>18.2</td><td>15.4</td><td>9.1</td><td>7.7</td></tr><tr><td rowspan="3">1926-27</td><td>A</td><td>13</td><td>15</td><td>15</td><td>13</td><td>13</td><td>15</td><td>13</td><td>15</td></tr><tr><td>B</td><td>9</td><td>3</td><td>4</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>C</td><td>69.2</td><td>20 0</td><td>26.7</td><td>7.7</td><td>23.1</td><td>20.0</td><td>15.4</td><td>20.0</td></tr><tr><td>1</td><td>A</td><td>21</td><td>27</td><td>27</td><td>17</td><td>15</td><td>21</td><td>17</td><td>15</td></tr></table>										地区		ポシ エト 地区	スイ フ 地区	スチ ヤン 地区	ポク ロフ カ地 区	グロ デコ ヴォ 地区	シュ コト ヴォ 地区	ハン カ地 区	オリ ガ地 区	C		90.0	53.6	5 1	43.5	35.5	28.9	23.0	22.3	1925	A	13	15	15	11	11	13	11	13	B	8	5	5	2	2	2	1	1		61.5	33 3	33.3	18.2	18.2	15.4	9.1	7.7	1926-27	A	13	15	15	13	13	15	13	15	B	9	3	4	1	3	3	2	3	C	69.2	20 0	26.7	7.7	23.1	20.0	15.4	20.0	1	A	21	27	27	17	15	21	17	15
地区		ポシ エト 地区	スイ フ 地区	スチ ヤン 地区	ポク ロフ カ地 区	グロ デコ ヴォ 地区	シュ コト ヴォ 地区	ハン カ地 区	オリ ガ地 区																																																																																							
C		90.0	53.6	5 1	43.5	35.5	28.9	23.0	22.3																																																																																							
1925	A	13	15	15	11	11	13	11	13																																																																																							
	B	8	5	5	2	2	2	1	1																																																																																							
		61.5	33 3	33.3	18.2	18.2	15.4	9.1	7.7																																																																																							
1926-27	A	13	15	15	13	13	15	13	15																																																																																							
	B	9	3	4	1	3	3	2	3																																																																																							
	C	69.2	20 0	26.7	7.7	23.1	20.0	15.4	20.0																																																																																							
1	A	21	27	27	17	15	21	17	15																																																																																							

		B	16	7	11	6	4	4	2	2																																
		C	76.2	25.9	40.7	35.3	26.7	19.0	11.8	13.3																																
- 1930 年	・ アファナーシー・アルセニエヴィチ・キム（金）全連邦共産党（ボリシェヴィキ）ヴラジヴォストーク市地区委員会党機関と全連邦共産党（ボリシェヴィキ）ハバロフスク管区委員会.（在ソ）																																									
1925/26 年	・ ヴラジヴォストーク管区にある国立初等学校に関する資料によれば，朝鮮人学校 122 校.（ク）																																									
1926 年（大 15/昭和 1)	<p>・ ソ連初の国勢調査. 極東地域の朝鮮人 16 万 8,000 [8,009] 人. 地域人口にしめる朝鮮人の割合 14%. 朝鮮人はヴラジヴォストーク管区（旧沿海県の南半分）に集中しており，14 万 5,000 [5,511] 人だった.（半岡²）[] 内は（ク）. ヴラジヴォストーク管区での調査によれば，朝鮮人は 106,764 名.（李）</p> <p>・ 極東の人口 130 万.（木）</p> <p>・ 朝鮮人 7884 人がソ連国籍を取得.（李愛）</p> <p>・ ソ連国籍を持つ朝鮮人 1138 世帯に土地が分与された.（李愛）</p> <p>・ 極東の朝鮮人 16 万 7400. ただしコズロフは 8 万 7000 人.（木）</p> <p>カザクスタン在住朝鮮人 5 万 2000（カザクスタン人口の 0.8%）.（木）ソ連初の国勢調査によると，数十人の朝鮮人がカザクスタンの阿克モラ州，セミパラチンスク州，シルダリャ州に居住しており，個人的にはカラガンダ，クズル・オルダと他の地域に居住していた例もあった. ウズベキスタンのタシュケント，タシュケント州，ブハラ管区，スルハンダリャ管区，そしてクルグズスタンにも居住していた.（李愛）</p> <p>・ 極東とカザクスタンの朝鮮人計 22 万 - 25 万（?）. 朝鮮人はヴラジヴォストーク地域（管区オクルグ）に集中，この地域の人口の 4 分の 1 を占める.（木）</p> <p>・ ソ連朝鮮人都市人口の割合は 10.6%.（在ソ - 劉）</p> <p>・ ソ連における朝鮮人の数と分布（1926 年ソ連国勢調査）（言）</p> <table><tr><th rowspan="3">居住地域</th><th rowspan="3">全朝鮮人</th><th colspan="4">全体の数字</th></tr><tr><th colspan="2">都市住民</th><th colspan="2">農村住民</th></tr><tr><th>全体</th><th>%</th><th>全体</th><th>%</th></tr><tr><td>極東</td><td>84931</td><td>7667</td><td>84.8</td><td>77267</td><td>99.3</td></tr><tr><td>シベリア</td><td>678</td><td>470</td><td>5.2</td><td>208</td><td>0.3</td></tr><tr><td>中央産業地域</td><td>422</td><td>401</td><td>4.4</td><td>21</td><td>--</td></tr></table>										居住地域	全朝鮮人	全体の数字				都市住民		農村住民		全体	%	全体	%	極東	84931	7667	84.8	77267	99.3	シベリア	678	470	5.2	208	0.3	中央産業地域	422	401	4.4	21	--
居住地域	全朝鮮人	全体の数字																																								
		都市住民		農村住民																																						
		全体	%	全体	%																																					
極東	84931	7667	84.8	77267	99.3																																					
シベリア	678	470	5.2	208	0.3																																					
中央産業地域	422	401	4.4	21	--																																					

	<table><tr><td>その他</td><td>823</td><td>505</td><td>5.6</td><td>318</td><td>0.4</td></tr><tr><td>計</td><td>86854</td><td>9043</td><td>100.0</td><td>77811</td><td>100.0</td></tr></table> <p>・極東地方の朝鮮人の 60%以上が土地を保有していなかった。</p> <p>(ク) 沿海県土地管理局全権委員の情報によれば、沿海県では朝鮮人世帯は 20,636、そのうち土地を与えられていたのは 6,071 世帯。沿海県ソヴェト大会の資料では全世帯数は 21,000 以上、土地の分与を受けたのは 9,614 世帯。キム・スンファによれば、分与地を持っていたのは 5,717 世帯、持っていなかったのは 10,892 世帯。(ク)</p> <p>・国勢調査によると、読み書きができる朝鮮人は全体の 34.8%、そのうちロシア語を知っている者は 16.4%。(ク)</p> <p>・154 の朝鮮学校に 1 万人の生徒が学ぶ。(在ソ)</p> <p>・朝鮮語新聞『三月一日』週 2 回刊、部数 3,000 部。(ク)</p> <p>・ポシエト地区では朝鮮語新聞『レーニンの道〔レニネ・キル〕』発行。(ク) 朝鮮語雑誌『新生活』発行。(ク)</p> <p>・外務人民委員部が不法入国の取り締まり強化を指示。(半岡²⁾)</p> <p>・極東革命委員会廃止、極東地方執行委員会設立。(ク)</p> <p>・サハリンのオハの石油利権企業には朝鮮人 89 人がいた。(ク)</p> <p>・再び沿海州朝鮮人移住問題が提起された。(李愛)</p> <p>・在日朝鮮人人口 14 万 8503 人。(ウイ)</p> <p>・カラチャイ・チェルケス自治共和国がカラチャイ自治州とチェルケス民族管区に分離。(木)</p> <p>・若槻礼次郎総理大臣。</p>	その他	823	505	5.6	318	0.4	計	86854	9043	100.0	77811	100.0
その他	823	505	5.6	318	0.4								
計	86854	9043	100.0	77811	100.0								
初頭	・サハリン管区には 487 人の朝鮮人が住んでいた。(ク)												
1 月	・極東州は極東地方に再編成。極東地方はハバロフスクを中心とし、ヴラジヴォストーク、ハバロフスク、ニコライェフスク、アムル、ゼーヤ、スレテンスク、チタ、カムチャトカ、サハリンの 9 管区から構成。旧沿海県はヴラジヴォストーク、ハバロフスク、ニコライェフスクの 3 管区に分割。(ク - 岡)												
1 月 1 日	・極東地方の党組織には 749 名の朝鮮人党員がおり、うち沿海県が 662 名、アムル県が 51 名、ザバイカル県が 35 名、北サハリンが 1 名。(ク) 極東の党組織の朝鮮人党員は当初からイルクーツク派、上海派、民族ソヴェト派〔=ナツソヴェチキ〕の 3 つの派閥に分裂していた。(ク)												
3 月	・コミンテルン金在鳳らの朝鮮共産党(第一次)承認。(在ソ)												

5 月下旬	・極東地方朝鮮人代表会議の発表による朝鮮人人口：カムチャトカ 800, サハリン 4,500, ヴラジヴォストーク 125,000, アムル 30,000, ザバイカル 25,000, 合計 185,300. (李)
5 月 20 日	・サハリン党ビューロー書記 N・G・ルダコフから極東地方党委員会に宛てた書簡：「最近, オハの石油利権企業で労働者のストライキがあった. …ストライキには中国人と朝鮮人の 65 人が参加し, …」(ク)
6 月 10 日	・朝鮮で六・一〇万歳運動. (在ソ)
12 月	・トゥルケスタン共和国朝鮮人同盟 (Союз корейцев Туркестанской Республики) 解散. (V. Kim)
12 月 6 日	・全ロ中央執行委員会は朝鮮人の土地分与について決定. 1, ウスリー地方からハバロフスク市まで (朝鮮との国境から北緯 48.5 度まで) の地域で, 今後朝鮮人移民に土地を与えることを中止する. 2, これらの地域に居住し勤労分与地を受け取っていない朝鮮人移民は, 全員北緯 48.5 度以北のハバロフスク管区とブラゴヴェシチェンスク管区へ移住させる. 3, 一時的に占有している土地で農業を行っている朝鮮人移民にたいしては, 3 年以内にこれを注視させる. 4, 朝鮮人移民によって明け渡された土地へ, ロシア共和国の諸地域からの移民を直ちに入植させ, 今後朝鮮人によって無断で占有されることのないようにする. (ク) (李愛)
1926/27 年	・ヴラジヴォストーク管区にある国立初等学校に関する資料によれば, 朝鮮人学校 122 校, 生徒数 9,650 人, 教師数 267 人. (ク)
1927 年 (昭 2)	<ul style="list-style-type: none"> ・沿海州の朝鮮人 17 万名に達する. (高) ・移住問題特別委員会は朝鮮人移住五カ年計画を作成し, 初年度はハバロフスクとカザクスタンに 3,500 人を移住させると決定. ただし実際に移住したのは 1,600 人余り. (半岡²⁾) ・極東朝鮮人の間にコルホーズ運動が大々的に展開. (高) ・ロシア人が朝鮮人の労働力を使わずに耕作したのは米の作付け面積全体のわずか 1.7%に過ぎなかった. (ク) ・極東朝鮮人の学校 267 校. (高) ・洪範図将軍入党. (在ソ) ・새독본 (新読本) 붉은아이 (赤い子供) 데삼권 (第三卷), 허버롭쓰크-브라지보쓰또크 (ハバロフスク - ヴラジヴォストーク), 275 쪽. (高)

	<ul style="list-style-type: none"> ・십월혁명 십주년과 쏘베트 고려민족 (10月革命 10周年とソヴェト高麗民族), 109 쪽. (ハバロフスク, プラジヴォストーク) (高) (権) ・Е. Д. Поливанов Е. Д. 폴리ヴァーノフ, К вопросу о родственных отношениях корейского и алтайских языков 朝鮮語とアルタイ諸言語との親縁関係の問題によせて. [Е. Д. Поливанов Е. Д. 폴리ヴァーノフ, Статьи по общему языкознанию 一般言語学論文集, Москва モスクヴァ, 1968 に採録]. ・在日朝鮮人人口 17 万 5911 人. (ウィ) ・田中義一総理大臣.
1 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア共和国人民委員会議決定によって, 農業移民に対する土地分与の条件と方法に関する通達が承認された. (ク)
2 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> ・極東地方執行委員会幹部会は極東土地管理局に, 入植のための具体的な地域を決定するよう, また極東移民局に対しては, ソ連欧州部からの移民をヴラジヴォストーク管区に強制的に入植させる計画をたてるよう命じた. 調査の結果土地なしの朝鮮人を移住させるのに適した場所として, ハバロフスク管区のクル・ダルギ地区, ビジャン・ビラ地区, アムル管区のウルミ地区が選ばれた. (ク) (李愛)
4 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・宇垣一成第 3 代代理朝鮮総督.
12 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・第 15 回ソ連共産党大会. 農業集団化の開始. (ロシア) (在ソ)
12 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨半造第 4 代朝鮮総督.
- 1928 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ペトロフは非公式に 25 万の極東朝鮮人がいるとした. うち 10%が都市に, 90%が農村に住むと見る. (高) ・予定されていた 1,000 人の計画的入植及び 3,500 人の農民代表人の登録も失敗に終わった. (ク) (李愛) ヴラジヴォストーク管区の多くの地区に入植した者のうち, ニコリスク・ウスリースク地区からは 22.6%, ハンカ地区からは 100%が戻って行ってしまった. 朝鮮と中国に接するポシエト地区では逆戻りした者の割合は 90%に達していた. (ク)
1927/28 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴラジヴォストーク管区にある国立初等学校に関する資料によれば, 朝鮮人学校 129 校, 生徒数 9,950 人, 教師数 271 人. (ク) ・ヴラジヴォストーク管区国民教育部の資料によれば, ロシ

	ア人の就学率は 60－62%，朝鮮人の場合は 39.8%。（ク）
頃	・ 17 万人の朝鮮人がおり，非合法に居住している人をあわせると約 25 万人にのぼったという見解もある。（李愛）
1928 年（昭 3）	<p>・組織的な米栽培のソフホーズが出来た。（高）米作農家 11,378 名，うち 1,196 名がロシア人，6 名が中国人，残りは朝鮮人。（高）</p> <p>・全朝鮮人世帯のうち播種地を持たない農家は 11.5%，1 デシヤチナ以下の播種地を持つ農家が 36.4%，1－2 デシヤチナが 26.2%，2－4 デシヤチナが 18.9%，5－7 デシヤチナが 5.5%，7 デシヤチナ内情の播種地を持っているのは 1.5%であった。ほぼ半数の農家が役畜を持たず，18%が家畜を一切持っていなかった。（ク）</p> <p>・ポシエト地区での朝鮮人学校退学者は 439 名，13.7%。この地区の平均では，全入学者のうち 4 年後の退学者は 37.34%，5 年後は 9.9%，6 年後は 1.2%，7 年後は 0.2%，8 年後は 2.28%。（ク）</p> <p>・ブラジヴォストーク管区国民教育部の資料によれば，朝鮮人大卒が 5 名，大学中隊が 15 名，完全中等教育終了が 168 名，専門の師範学校卒は 12 名，不完全中等・初頭教育終了は 78 名。極東地方と県の再教育課程を修了した教師は全体の 44%で，郡や地区の課程を終えた者は 32%，再教育を受けていない者が 24%。社会的身分では，教師の 97%が農民出身で，2.5%が労働者出身だった。ただし農民出身者の大部分は朝鮮人村の富裕層や富農の出だった。（ク）</p> <p>・ブラジヴォストーク管区には朝鮮語のみで教える 68 の国立学校と 10 の私立学校。54 の学校で授業が朝鮮語で行われ，ロシア語は 1 つの科目として教えられていた。</p> <p>・洪範図將軍ハンカ地区の「ハンカの星」コミュニオンで労働。（在ソ）</p> <p>・カザクスタンのクズル・オルダ市近郊の米栽培集団である「カズリス」と「インターナショナル」が中央アジア朝鮮人による米栽培の嚆矢であるとされる。（高）</p> <p>・С. Д. Аносов アノーソフ, Корейцы в Уссурийском крае ウスリー地方の朝鮮人, Хабаровск-Владивосток, 98 с. （高）</p> <p>・日本外務省は 1928 年から毎月，「間島および満洲と朝鮮の接境地方の治安状況報告雑件」という文書で沿</p>

	<p>海州朝鮮人の状況を報告している。（李愛）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在日朝鮮人人口 24 万 3328 人。（ウィ） ・ユダヤ人自治州への移住が奨励される。（木）
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮人のソ連入国を公的機関の証明書を得た親族訪問，商業活動，農業移民に限定する旨の法律が公布される。（半岡²）
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ユダヤ人自治州建設の情報を得た沿海州朝鮮人社会は期待に揺れた。高麗共産党を中心に満洲と朝鮮半島の代表者 50 - 60 人がヴラジヴォストークに集まり，議論の結果，沿海州一帯での高麗共和国（朝鮮人自治州）建設を求めることとなった。その後，70 - 80 人の代表が集まって高麗共和国準備委員会が結成され，中央政府に自治州建設の請願書を提出した。（李愛）
春	<ul style="list-style-type: none"> ・カザクスタン農業人民委員会の招聘で，ヴラジヴォストークに居住していた 70 世帯 300 人以上の朝鮮人がセミレチェンスクに到着した。彼らはカズリスを結成した。（李愛）
6 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・張作霖爆殺。（在ソ）
7 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・コミンテルン第 6 回大会。（在ソ）
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・農村に機械=トラクター・ステーション創設開始。（在ソ）
11 月ごろ	<ul style="list-style-type: none"> ・コミンテルン朝鮮共産党の承認を取り消す。（在ソ）
12 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ・コミンテルン朝鮮共産党の再建を指令（12 月テーゼ）（在ソ）
下半期 - 1929 年上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・入植させることができた朝鮮人は 1,297 人で，目標のほぼ 3 分の 1 に過ぎなかった。（ク）（李愛）
1929 年（昭 4）	<ul style="list-style-type: none"> ・再び朝鮮人移住計画。予定人数の半分以下（1 万 3,000 人強）がハバロフスクへ移住。（半岡²）1229 人の移住が実行された。（李愛） ・富農清算によって，ソ連国籍を取得していた朝鮮人富農の土地と財産はすべて没収された。（李愛） ・ソ連領内の朝鮮人，この頃，満洲・朝鮮に大量に移動。（在ソ） ・沿海州の水田面積 19,000 ヘクタール。（ク） ・第 3 回極東地方ソヴェト大会開催。114 名の代議員のうち 11 名は朝鮮人。（ク） ・洪範図將軍年金生活を迎える。（在ソ） ・カザクスタン当局は横断鉄道周辺のトゥルクシプ区域に稲作のソフホーズを設ける命令を下した。（李愛）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ П. Ни, Т. Огай и Н. Оселедько, Русский букварь для корейских школ, Хабаровск, 54+xiv с. 朝鮮人学校用ロシア語教本. (高) ・ А. Н. Петров, Корейцы и их значение в экономике Дальнего Востока 朝鮮人と極東經濟におけるその意義, Северная Азия, Москва, No. 1 (25), сс. 41-49. (高) ・ 게르센체프 케르센체프, 「와.아. 레온찌예프 레온체프 데 2 권. 도시당학교 급 독학용 교과서 都市党学校及 び独学用教科書. 김철산역金 チョルサン 訳. 원동 당간부 소수민족과 교열極東党幹部会少数民族課校閱. 하바롭스크 하바로프스크. 119 쪽. ・ 田. 丑. 이, 오상일, 오창환, 새독본 (자란이의) 成人用読本, 데이권, 하바롭스크, 95 쪽. (高) ・ サハリンのオハの石油利権企業には朝鮮人 124 人がいた. (ク) ・ サハリン管区には約 900 人の朝鮮人が住んでいた. その内訳はアレクサンドロフスク地区に 110 人, ルイブノフスク地区に 330 人, オハ地区に 440 人であった. (ク) ・ ソ連共産党肅清. (ク) ・ 在日朝鮮人人口 27 万 6031 人. (ウィ) ・ トロツキー国外追放. ブハーリン, ルイコフ追放. (ロ) ・ 金沢庄三郎, 『日鮮同祖論』. (小) ・ 浜口雄幸総理大臣.
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ カザクスタンのセミレチェンスクに移住した朝鮮人農民は周辺の生産農場に新たな籽種を配給するようになった. (李愛)
2 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ サハリン管区党委員会書記 K・シヴァリベから極東地方党委員会に宛てた書簡: 「朝鮮人は親日分子であり, 日本の影響を一番先に受けやすい. 管区委員会は, 管区内の朝鮮人の居住禁止の必要性を, 緊急に提起する.」 (ク)
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の奉天領事がつかんだ情報によると, 朝鮮人が自治共和国の設立を全露中央委員会に請願したが, 却下されたという. (半岡²⁾) 「極東帰化高麗人民会」という名義で, 全ロシア中央執行委員会に「高麗人民共和国」建設の請願が出された. (在ソ - 劉)
4 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ サハリン外務人民委員部事務官 L・I・リヴォフに政治報告:

	「…要するに、朝鮮人をサハリンに留めておくべきではない。朝鮮人が当地に大量にやってくることは、中国人が来るのとは比較できないほど危険である。」(ク)
4月16日	・第16回党協議会。第1次5ヵ年計画を採択。(在ソ)
8月	・全ロシア中央執行委員会は「高麗人民共和国」建設の請願を却下した。(在ソ - 劉)(李愛)
8月17日	・斎藤実第5代朝鮮総督。
10月24日	・世界大恐慌始まる。(在ソ)
一までに	・1つの民族地区(ポシエト)と171の民族村ソヴェト設立。(半岡 ²)1つの朝鮮人民族地区執行委員会—ポシエト地区—、また朝鮮人だけからなる140の村ソヴェトと31の混合村ソヴェトがあった。ソヴェト機関における朝鮮人の代表は村ソヴェトに2,936名、地区執行委員会に71名、管区執行委員会に5名、極東地方執行員会に2名、全部で3,014名。(ク)
1929/30年	・沿海州およびウスリー州の朝鮮人初等教育207校、生徒16,090人；不完全中等教育8校、生徒1,197人。(ク)
1930年(昭5)	<p>・入植した朝鮮人1,625人、そのうち1,455人がハバロフスク管区に、170人がカザクスタンに入植した。その際431人に対しては強制的な措置が取られた。(半岡²)(李愛)</p> <p>・5000人の朝鮮人の移住が計画されていた。(李愛)</p> <p>・ヴラジヴォストーク、スチャン、ポシエトなどに居住する朝鮮人の90%が集団農場に属していた。(李愛)</p> <p>・ニコリスク・ウスリースキー市に地方高麗ソヴェト党学校開校。当初の学生数は126名、3年後には372名に増加。(ク)</p> <p>・ポシエトに2年制師範学校開校。(在ソ - 劉)280人の学生が学ぶ。(在ソ)クズル・オルダ移転後1938年閉鎖。(在ソ)</p> <p>・アレクセイ・イヴァノヴィチ・ヘガイ(許)共産党入党。アフナーシー・キム(金)が彼の入党推薦人。(半岡²)</p> <p>・ヴラジヴォストーク市に若い労働者の職業的な劇団ができた。(高)</p> <p>・И. О. Булатников J. О. Браун-Никоф, О латинизации корейской письменности 朝鮮語のラテン字化について；в: Просвещение национальностей, N 6, стр. 106-109。(言)</p> <p>・朝鮮総督府警務局は1930年から「露領在住朝鮮人の支那領転住状況」で沿海州朝鮮人の間島地方への移住状況を報告していた。(李愛)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・在日朝鮮人人口 29 万 8091 人. (ウィ) ・北海道アイヌ協会設立. (ウィ)
2 月	・アフナーシー・アルセニエヴィチ・キム (金) 極東地方党委員会の仕事に扇動宣伝部副部長として抜擢. (在ソ)
2 月 1 日	・極東地方党委員会ビューローは, 朝鮮人の移住の進行状況が極めて不十分であり, 断乎としてそれを強制する必要があるとした. (ク)
5 月 30 日	・間島五・三〇蜂起. (在ソ)
7 月	・ヴラジヴォストーク, ハバロフスク, ニコライエフスク, アムル, ゼーヤ, スレテンスク, チタ, カムチャトカ, サハリンの 9 管区は廃止, 管区内の地区は地方政府の直轄とされる. またチタ管区とスレテンスク管区は極東地方から極東地方から除外. (ク - 岡)
- 1931 年	・土地問題でロシア人と朝鮮人の衝突が深刻化し, 共産党委員会では特別会議を開いたが, 解決するには到らなかった. (李愛)
まで	・ユダヤ人自治州の朝鮮人 3200 人 (ユダヤ人より多い). (木)
末頃から	・沿海州朝鮮人社会で農業集団化が急速に展開. (李愛)
- 1933 年	<ul style="list-style-type: none"> ・約 150 万のカザク人が飢餓, 伝染病などで死亡し, 約 30 万人のカザク人がソ連以外の地域に逃れた. その結果, 1930 年に 587 万 3000 人のカザク人の総人口は, 1933 年には 249 万 3000 人にまで減少した. (李愛)
1930 年代	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮語新聞「先鋒」約 1 万部発行. (半岡²) ・在留朝鮮人の全面的帰化政策が打ち出される. (半岡²)
初め	<ul style="list-style-type: none"> ・当局は豆満江の国境を閉鎖するに至り, 朝鮮人の沿海州への移住は不可能になった. (李愛) ・カザクスタンの横断鉄道周辺のトゥルクシプ区域の開拓事業が本格化. (李愛)
中頃までに	・極東地方で朝鮮語によって『先鋒 [=ソンボン]』, 『労働者 [=ロドンジャ]』, 『労農新報 [=ロノンシンボ]』, 『赤星 [=チョクソン]』, 『レーニンの道 [レニネ・キル]』, 『新世界 [=シンセゲ]』, 『文化 [=ムンファ]』, 『スターリン的演壇 [=スタルリンジョク・ヨンダン]』の各紙および多数の雑誌を発行. (ク)
- 1950 年代	・日本の諜報員や国際ブルジョアジーとの接触, 反革命活動, 妨害行為, 破壊行為, 反ソ宣伝の罪という名目で, OGPU や

	NKVD 機関によって逮捕され、さまざまな刑罰を課された朝鮮人は〔北サハリンで〕何百人にもものぼった。(ク)
- 1960 年代	・ロシア式に名前をつける方法がだんだん増える。(高)
1931 年 (昭 6)	<p>・中央からの資金が得られなかったため、朝鮮人移住計画は事実上行われなかった。(ク) 1 万 9297 人の朝鮮人の移住が計画されていた。(李愛)</p> <p>・ヴラジヴォストークに朝鮮人師範大学 (歴史学部, 物理・数学部, 自然化学部, 文学部) 設立. 約 250 名の学生. 師範大学の建物の中に開設されていた高麗短期師範大学, 予科, 労働者農民師範予備校が全部で 800 名以上の学生を擁した.</p> <p>(ク) 1937 年クズル・オルダ移転。(在ソ)</p> <p>・В. И. Володин, Доходность рисосеющих хозяйств корейцев 朝鮮の稲作の収益性(Аналитический очерк интенсивности и состояния организации труда в хозяйстве), Труды опытных учреждений Дальнего Востока, Владивосток, вып. 2, сс. 89-130. (高)</p> <p>・サハリン管区の人口は 3 万 9119 人, 人口比で 1 位を占めるロシア人 2 万 6780 人, 3 位 (4.5%) は朝鮮人 1,767 人, 人口比率 3.1% は中国人 1,231 人, 日本人 (2.9%) 1,130 人. 読み書きのできる者の割合は日本人が一番高く 93.3%, 朝鮮人が 52%, 中国人が 34.8%. (ク)</p> <p>・カザクスタンでカラタル運河建設工事が行われた結果, 農耕地への灌漑が可能となり, 多くの収穫を得るに至った. これを受けて, この地域に「カラタルスキー」という稲作ソフホーズを設けることが決まった。(李愛)</p> <p>・В. К. Пашков V・K・パシュコフ, Неотложность латинизации корейской письменности 朝鮮文字のラテン字化の緊急性; в: Культура и письменности Востока, N IX, стр. 33-37. (言)</p> <p>・鮎貝房之進, 『雑攷』第 1 輯 [『雑攷新羅王号攷朝鮮国名攷』, 昭和 47 年に採録].</p> <p>・鮎貝房之進, 『雑攷』第 3 輯 [『雑攷俗字攷・俗文攷・借字攷』, 昭和 47 年に採録].</p> <p>・在日朝鮮人人口 31 万 8212 人。(ウィ)</p> <p>・若槻礼次郎総理大臣. ・犬養毅総理大臣.</p>
1 月 1 日	・朝鮮民族地区には 3.1 万人の朝鮮人が住み, それは全人口の

	絶対多数の 89%. (Nam)
2 月 1 日	・朝鮮人強制移住計画中止. (李愛)
6 月 17 日	・宇垣一成第 6 代朝鮮総督.
9 月 18 日	・柳条湖事件. 満洲事変. (木) (在ソ)
11 月 15 日から	・アフナーシー・アルセニエヴィチ・キム (金) モスクヴァの赤色教授学院に編入. (在ソ)
1932 年 (昭 7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア極東の全人口 156 万. (木) ・2 万 8619 人の朝鮮人の移住が計画されていた. (李愛) ・極東朝鮮人の間のコルホーズ運動終了. (高) ・ロシア極東では外国人の再登録が行われ, 2 年後には全住民に旅券が発行された. (ク) ・ヴラジヴォストークに朝鮮劇場開設. (半岡²) (在ソ - 劉) 団員 16 名. (高) ・朝鮮人小学校は 351 校 (学生数 2 万 8846), 中学 4 (700), コルホーズ青年学校 21 (3073), 工場学校 4 (976). このほかモスクヴァ, レニングラードの高等教育機関に 350 名以上が在学し, 1932 年閉校となる東方勤労者共産大学 (クートヴェ) などにも多くの朝鮮人」学生が学んでいた. (在ソ - 劉) ・朝鮮人学校が 380, 学生数も 3 万 3595 人にのぼった. (李愛) ・北サハリンに住む朝鮮人は約 3200 人に増加. 北サハリンにある 640 の総合漁業同盟のうち 88 は朝鮮人漁師から成り立ち, その 90%が集団化されていた. (ク) ・ペトロフは極東朝鮮人の自然増加を 19 万人と見る. (高) ・沿海州には 6 つの雑誌と 7 つの新聞があった. (李愛) ・Otto Heller, Wladi Wostok, Der Kampf um den Fernen Osten, Berlin, 310 SS. (高) <ul style="list-style-type: none"> ・農業集団化基本的任務完了. (ロシア) ・在日朝鮮人人口 39 万 0543 人. (ウィ) ・斎藤実総理大臣.
3 月 1 日	・満洲国建国宣言. (高木) (在ソ)
9 月 9 日	・ヴラジヴォストークに朝鮮劇場成立. 1937 年に中央アジアに移転. (在ソ)
9 月 25 日	・ヴラジヴォストークで市の演劇サークル, 文化旅団 [=クリトブリガーダ] とセミプロの劇団をもとに若い労働者たちが民族劇団を創設. (ク)
10 月	・極東地方に沿海州, アムル州, カムチャトカ州, サハリン

	州が復活。(ク - 岡)
- 1939 年	・ 朝鮮人 3 万 5000 人が数十のコルホーズを創設。(木)
までに	・ 北サハリンでは 298 人の朝鮮人からなる 79 のコルホーズができた。(ク)
1933 年 (昭 8)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 万 3614 人の朝鮮人の移住が計画されていた。(李愛) ・ 党中央委員会はアフナーシー・アルセニエヴィチ・キム (金) をポシエト機械=トラクター・ステーション政治部長として派遣。(在ソ) ・ アフナーシー・アルセニエヴィチ・キム (金) ポシエト党地区委員会第一書記に任命。(半岡²⁾) <ul style="list-style-type: none"> ・ 共産党粛清。(ク) ・ カザク人の総人口は、1933 年には 249 万 3000 人にまで減少した。(李愛) ・ 在日朝鮮人人口 46 万 6217 人。(ウィ)
3 月 27 日	・ 日本、国際連盟を脱退。(在ソ)
9 月 17 日	・ OGPU (統合国家保安部) 極東地方三人委員会は北サハリンの次の者を日本のスパイとして銃殺刑に処した。ハン・ヨンボ。(ク)
9 月 23 日	・ OGPU (統合国家保安部) 極東地方三人委員会は北サハリンの次の者を日本のスパイとして銃殺刑に処した。キム・ミョンソン (ク)
9 月 29 日	・ OGPU (統合国家保安部) 極東地方三人委員会は北サハリンの次の者を日本のスパイとして銃殺刑に処した。セク・ボング, ツオイ・マクシム・イヴァノヴィチ, カン・イルムン, ホ・ジャシム, キム・グァンオ, リ・セルゲイ・ミハイロヴィチ, キム・ハクス, キム・イヴァン・アレクセーヴィチ, キム・ムンソン (ク)
1933/34 年	・ 沿海州およびウスリー州の朝鮮人初等教育 287 校, 生徒 21,956 人; 不完全中等教育 40 校, 生徒 4,672 人; 中等教育 2 校, 生徒 70 人。(ク)
1934 年 (昭 9)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤軍 60 万から 94 万に増員。(木) ・ 極東地方の労働者勤務員の賃金増額, コルホーズ農民の穀物納入免除などの優遇策。(木) ・ 極東地方には [朝鮮人とロシア人などからなる] 混合コルホーズを除いて, 約 200 の朝鮮人コルホーズがあった。しかしそれらのコルホーズは決まった分与地をきちんと供与され

	<p>ていなかった。(ク) 朝鮮人に割り当てられた土地は明らかに不足しており、ロシア人との間にたびたび対立が起こった。(李愛)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極東地方全体で初等学校では 28,000 名近い朝鮮人児童が、また 6 - 10 年制の中等教育機関では 5,600 名の朝鮮人生徒が学んでいた。(ク) ・高麗師範大学は極東師範大学と改称。(ク) ・極東地方の朝鮮人作家 36 人、そのうち 22 名はロシア語に翻訳する能力を持っていた。極東地方図書出版所高麗部では 10 人の職員が働いていた。しかし朝鮮人作家のレヴェルは低く、原稿の校閲ができたのはたった 4 人だった。(ク) ・ユダヤ人自治州とウスリー州、ハバロフスク州、ゼーヤ州、下アムル州新設。極東地方は 8 州、1 自治州から構成される。(ク - 岡) ・沿海州に 64 の農村ソヴェトと朝鮮語で事務を行うポシエト朝鮮民族地区が存在した(～1937 年)。(在ソ) <ul style="list-style-type: none"> ・鮎貝房之進、『雑攷』第 6 輯 [『雑攷俗字攷・俗文攷・借字攷』、昭和 47 年に採録]。 ・在日朝鮮人人口 53 万 7576 人。(ウイ) ・日本政府「朝鮮人移住対策要目」を決定。朝鮮人の日本渡航を減少させると同時に、満洲、北朝鮮地域への移住振り分け措置を講ずることを決定。(ウイ) ・岡田啓介総理大臣。
1 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・アフナーシー・アルセニエヴィチ・キム (金) モスクヴァ開催の第 17 回党大会に参加。(半岡²) (在ソ)
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・樺太の朝鮮人人口は 5,813 人に達した。樺太の総人口 31 万 3,130 人 (ク - 田中)
12 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・党書記キーロフ暗殺。これを契機にスターリンの大粛清始まる。(在ソ) ・大粛清で在ソ朝鮮人も 2 - 3 千人行方不明。(在ソ)
1935 年 (昭 10)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮人自治区で朝鮮人は全人口のすでに 90% を占めていた。この地区には極東地方の朝鮮人のほとんど 7 分の 1 が住んでいた。1935 年の地方統計組織の資料によれば、極東地方の朝鮮人の人口は 20.4 万人をなしていた。同年には極東地方には 160 の純粹に朝鮮人のセローselo (村) ソヴェトが機能しており、その各々には 5 から 9 のデレーヴニャ derevnja (村) が

	<p>属した。(Nam)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の 95%が朝鮮人であるポシエト地区では 97.5%がコルホーズ化完了. 耕作地 123,565 ヘクタールのうち 36.5%が水田。(高) ・高麗師範学校への入学者は本科 120 名, 予科 90 名。(在ソ - 劉) ・沿海州の水田面積 11,615 ヘクタール (1929 年 19,000 ヘクタール)。(ク) ・Я. Тен (鄭), Корейцы Советского Союза ソ連の朝鮮人, Революция и национальности 革命と諸民族, Москва, No. 7, сс 44-48. (高) ・А. А. Холодович А・А・ホロドーヴィチ, О латинизации корейского языка 朝鮮語のラテン字化について, «Советское языкознание ソヴェト言語学», № 1, стр. 147-161. (言) ・在日朝鮮人人口 62 万 5678 人。(ウイ)
以来	・満ソ国境紛争が起こる。(木)
以降	・ソ連の西部国境地域では「立ち入り制限国境地帯」の制度によりドイツ人, ポーランド人, フィン人等の居住地からの強制立ち退きが立て続けに行われる。(半岡 ²⁾)
中	・赤軍総兵力 130 万。(木)
1 月	・蒙満国境紛争。(木)
3 月	・東支鉄道はソ連の手を離れる。(木)
4 月	・沿海州執行委員会はロシア語教育が不十分な状態にあることを認めた. 大部分の朝鮮人生徒のロシア語の知識はあやふやで, 多くの場合, 特にポシエト地区の 12 の学校とヴラジヴォストーク地区の 3 つの学校ではロシア語はまったく教えられていなかった. ポシエト師範専門学校の卒業生 17 名のうち, 学校で科目として教えるのに十分なロシア語の知識を持っていたのはたったの 3 人であった。(ク)
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ザバイカル軍管区が特別極東軍から分離, 新設。(木) ・蒙満国境紛争。(木)
7 月 25 日	・コミンテルン第 7 回大会。(在ソ)
9 月 6 日	・朝鮮劇場が「春香伝」初演。(在ソ)
10 月	・カルムク自治共和国に昇格。(木)
までに	・朝鮮人個人農の 80%以上が集団化されていた。(ク)

	・沿海州では182の村ソヴェトに選出された2,159名のうち、862名が朝鮮人で、さらにうち77名はこれらのソヴェトの議長、74名は書記。ポシエト地区では村ソヴェト議長のうち2名は女性。(ク)
- 1936年	・党員証の点検、交換。(ク)
- 1937年	・軍装備近代化に即応して軍制度を正規制・地域=民兵制の2本立てから単一の正規師団体制への再編成。(木)
1936年(昭11)	<ul style="list-style-type: none"> ・ペトロフは極東朝鮮人の自然増加を20万5千人と見る。(高) ・ウスリー州のヴォロシーロフ市とチェルニゴフカ畜ドミートリエフカ村に高麗農業技術専門学校開設。(ク) ヴラジヴォストークでは医科専門学校と漁業専門学校開校。(ク) ・朝鮮総督府「最近の朝鮮治安状況」という報告書によると、関東軍が沿海州朝鮮人の居住地域や住民数、出身地まで正確に把握していたことがわかる。(李愛) ・在日朝鮮人人口69万0501人。(ウィ) ・チェチェン・イングーシ自治共和国形成。(木) ・広田弘毅総理大臣。
1月	・ソ連政府中央執行委員会で東西両面で国防を強化する方針を決定。(木)
2月	・アフナーシー・アルセニエヴィチ・キム(金)「日本のスパイ」の罪状で逮捕。2年の刑期でウファに流刑。(半岡1)
3月	・ソ蒙相互援助条約締結。(木)
6月8日	・日本政府「帝国国防方針」。アメリカと並んでソ連を第1の目標とする。(木)(在ソ)
7月	・極東地方当局は「立ち入り制限国境地帯」の導入を中央に訴えていた。外務人民委員部は日本を無用に刺激しないために反対、決定は先送りになる。(半岡 ²)
8月5日	・南次郎第7代朝鮮総督。
8月25日	・ジノヴィエフ、カーメネフら16名死刑。(ロ)
10月	・アフナーシー・アルセニエヴィチ・キム(金)再逮捕、ハバロフスクに移送。(半岡 ²)
11月25日	・日独防共協定締結。(木)(在ソ)
12月5日	・カバルダ・バルカル自治州が自治共和国となる。(木)
	・アレクセイ・イヴァノヴィチ・ヘガイ(許)ポシエト朝鮮民族地区で共産主義青年同盟第1書記、半年後に共産党第2書記に就任。(半岡 ²)

1937 年（昭 12）	<ul style="list-style-type: none"> ・現地の土着民中心に組織されたカザクスタンの稲作ソフホーズ「カラタルスキー」はさまざまな運営上の限界に直面し、1937 年に瓦解してしまう。（李愛） ・日本外務省欧亜局報告書、「已ムナク蘇側国籍ヲ取得シタル為メ出国ニ困難ヲ来タシタルト共ニ国境線ノ警備強化セラレタル為メ最早出国スルコトヲ得ズ本籍ニ父母若クハ妻子ヲ残シタル儘数箇年別居生活ヲ営ミ居ルモノ少ナカラザル」（半岡²）「朝鮮等国外ト文通シ居ルモノ」が弾圧を受け、「帝国旅券所持者ノ如キモ異端ノ徒トシテ排斥シ就業又ハ居住ヲ困難ナラシメ居ル」,「在浦塩帝国総領事館ヘノ出入ヲモ厳ニ監視シ之ヲ妨害シ居ル」（半岡²） ・ヴラジヴォストーク、ハバロフスク、ビロビジャンなど、朝鮮人密集地域の党機関の会議録は、売国、反逆、スパイ行為などの理由で作成された起訴状と、その審議資料で満ちている。（李愛） ・А. А. Холодович А・А・ホロドーヴィチ, Грамматика корейского языка 朝鮮語文法. Часть I 第 1 部. Морфология 形態論, Москва モスクヴァ, 167 стр. （言） ・満ソ国境紛争頻発。（木） ・5000-7000 機. 世界第 1. （木） <ul style="list-style-type: none"> ・鮎貝房之進,『雑攷』第 7 輯, 831 ページ [『日本書紀朝鮮地名攷』, 1971 に採録]. ・鮎貝房之進,『雑攷』第 8 輯 (『雑攷姓氏攷及族姓攷・市廛攷』, 昭和 47 年に収録) [韓国に海賊版が出回る]. ・在日朝鮮人人口 73 万 5689 人. （ウィ） ・シベリア鉄道のコムソモリスクへの支線完成. （木） ・В・С・ヘタゲーロヴァの呼びかけで女子の極東地方移住運動. （木） ・除隊兵定住のための特典が決められる. （木） <ul style="list-style-type: none"> ・林銑十郎総理大臣. ・近衛文麿総理大臣.
3 月 16 日	・「プラヴダ」紙「日本のスパイ網」掲載. （李愛）
4 月 23 日	・「プラヴダ」紙「ソヴェト極東における外国スパイ行為」掲載. （李愛）
5 月 13 日	・ヴラジヴォストーク市マクシム・ゴーリキー記念劇場で始めて朝鮮語による翻訳劇を公演. （ク）
6 月	・アムール河の乾岔子島で武力衝突. （木）

	・ トハチェフスキー元帥ら 8 将軍銃殺。(ロ)
7 月	・ 極東地域が「立ち入り制限国境地帯」に指定。(半岡 ²⁾)
7 月 7 日	・ 盧溝橋事件。(木) 日中戦争始まる。(在ソ)
7 月 29 日	・ 「プラヴダ」紙「日本秘密諜報部の破壊的行為」掲載。(李愛)
8 月	<p>・ 極東の治安機関のトップが解任、逮捕され、リュシュコフが着任。彼は極東に派遣されるにあたってクレムリンに呼ばれ、スターリンから極東で行うべき任務について直々に指示を与えられていた。彼は後に日本に亡命するが、日本の官憲に「スターリンは朝鮮人を極度に信用せず、彼らが極東ソ連国境近くに住むかぎり、日満側の朝鮮人スパイの投入は続けられるものと考え、防諜上の見地から強制移住を命令した」と語っている。(半岡²⁾)</p> <p>・ 中ソ不可侵条約締結。(木)</p>
8 月 21 日	<p>・ ソ連共産党と政府は「極東への日本のスパイ活動の浸透を阻止する」ために国境地帯の朝鮮人を移住させるよう命じた。移住完了時期は 1938 年 1 月 1 日、移送先には中央アジアが指定された。立ち入り制限国境地帯に居住する朝鮮人だけを対象にする。(半岡²⁾) 新しい居住地域はカザク共和国の南カザクスタン州、アラル海とバルハシ湖沿岸地域、およびウズベク共和国と決められた。(ク)</p>
8 月 23 日	・ 極東地方党委員会決定採択。まず第一に 9 月 1 日より沿海州のポシエト地区、バラバシユ地区、ナジェジュジンスコイエ地区から朝鮮人を移住させることが決められた。(ク)
8 月 26 日	・ リュシュコフはイエジョフに朝鮮人の居住制限を提案した。これに対しイエジョフは、朝鮮人が移送列車に乗車する際、身分証を剥奪するようリュシュコフに命じたのである。(李愛)
9 月	・ 趙明熙連行される。(李愛)
9 月 2 日	・ ソコロフ極東地方内務人民委員部赤旗勲章国境軍管区部隊長の最初の報告がクレムリンで行われた。(ク)
9 月 9 日 - 23 日	・ 第 1 波極東朝鮮人強制移住。ポシエト地区などから。(半岡 ²⁾) 約 8,000 世帯が 39 の列車で送り出された。(ク)
9 月 10 日	<p>・ [9 月 10 日ゴレンキ駅より 57 車輦からなる第 501/9 列車が 10 月 1 日アラル海に到着。305 世帯, 1,418 名] (V. Kim)</p> <p>[9 月 10 日ヴォロシーロフスク駅より車輦数不明からなる第</p>

	<p>501/10 列車が 10 月 4 日アラル海に到着. 240 世帯, 1,225 名] (V. Kim)</p> <p>[9 月 10 日ラズドリナヤ駅より 58 車輛からなる第 501 列車が 10 月 1 日ジュマに到着. 417 世帯, 1,603 名] (V. Kim)</p>																									
9 月 11 日	<p>・ ソコロフ部隊長は再び以下のように報告した. (ク)</p> <p>①9 月 10 日 0 時 53 分スヴィヤギノ駅より 60 車輛からなる第 501 列車が出発. 358 世帯, 1,362 名. (ク)</p> <p>②9 月 9 日 23 時 30 分クノリング駅より 67 車輛からなる第 503 列車が出発. 366 世帯, 1,744 名. (ク)</p> <p>③9 月 10 日 13 時 00 分ゴレンキ駅より 62 車輛からなる第 502 列車が出発. 307 世帯, 1,412 名. (ク)</p> <p>④9 月 10 日 20 時 35 分ラズドリノイエ駅より 50 車輛からなる第 503 列車が出発. 417 世帯, 1,603 名. (ク)</p> <p>⑤9 月 10 日 23 時 00 分ゴレンキ駅より 57 車輛からなる第△△ (ヴォロシーロフで決定) 列車が出発. 328 世帯, 1,418 名. (ク)</p> <p>⑥ノヴォ・ペリマノフカ駅では 23 時 15 分に列車への乗り込みが終了する. 出発は 2 時間後. 乗車人数は 750 名. (ク)</p> <p>⑦9 月 11 日現在, イェヴゲニエフカ駅では①の列車が 1937 年 9 月 10 日 22 時 00 分乗車準備を終えた. ②の列車は 1937 年 9 月 11 日 8 時 00 分までに準備される. (ク) [9 月 11 日イェヴゲニエフカ駅より 76 車輛からなる第 503 列車が 9 月 30 日パフタに到着. 360 世帯, 1,737 名] (V. Kim) [9 月 11 日イェヴゲニエフカ駅より 67 車輛からなる第 501 列車が 9 月 30 日ジュマに到着. 338 世帯, 1,492 名] (V. Kim)</p> <p>ポシエト地区から朝鮮人を移送するためサハリン航路から汽船「クレチェト」及び「トゥルケスタン」、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー航路から汽船「イリイチ」が動員された. (以下略)</p>																									
9 月 12 日 / 13 日	<p>・ 第 1 次移住出発状況: (李愛)</p> <table><tr><td>乗車駅</td><td>出発日時</td><td>車輛数</td><td>人数</td><td>世帯数</td></tr><tr><td>ゴレンキ駅</td><td>9:10 (23:00)</td><td>57</td><td>1418</td><td>328</td></tr><tr><td>ラズドリーナヤ駅</td><td>9:10 (20:1)</td><td>50</td><td>1603</td><td>41</td></tr><tr><td>ノヴォペリマノフカ駅</td><td>9:10 (23:15)</td><td>42</td><td>920</td><td>181</td></tr><tr><td>イェヴゲネフカ駅</td><td>9:11(13:00)</td><td>67</td><td>1568</td><td>351</td></tr></table>	乗車駅	出発日時	車輛数	人数	世帯数	ゴレンキ駅	9:10 (23:00)	57	1418	328	ラズドリーナヤ駅	9:10 (20:1)	50	1603	41	ノヴォペリマノフカ駅	9:10 (23:15)	42	920	181	イェヴゲネフカ駅	9:11(13:00)	67	1568	351
乗車駅	出発日時	車輛数	人数	世帯数																						
ゴレンキ駅	9:10 (23:00)	57	1418	328																						
ラズドリーナヤ駅	9:10 (20:1)	50	1603	41																						
ノヴォペリマノフカ駅	9:10 (23:15)	42	920	181																						
イェヴゲネフカ駅	9:11(13:00)	67	1568	351																						

	<div> <div>イエヴゲネフカ駅</div> <div>9:11 (22:55)</div> <div>76</div> <div>1737</div> <div>360</div> </div> <div>合計</div> <div>292</div> <div>7246</div> <div>1637</div>
9月12日	<p>・ドルミ dont フカ駅 – ハカ駅間で、朝鮮人移住民を乗せたカザクスタン行きの列車が事故に遭い、その結果21名が死亡、51名が負傷した。(ク)</p> <p>・[9月12日イリインカ駅より54車両からなる第501/11列車が10月4日アラル海に到着。214世帯、1,169名](V. Kim)</p> <p>[9月12日ヴォロシーロフスク駅より車両数不明からなる第501/12列車が10月4日アラル海に到着。360世帯、1,337名](V. Kim)</p>
9月14日	<p>・[9月14日ホルヴァト駅より64車両からなる第501/13列車が10月5日アラル海に到着。270世帯、1,204名](V. Kim)</p>
9月15日	<p>・[9月15日マンゾフカ駅より69車両からなる第501/17列車が10月5日アラル海に到着。349世帯、1,549名](V. Kim)</p> <p>[9月15日グロデコヴォ駅より54車両からなる第509列車が10月6日ジュマに到着。338世帯、1,492名](V. Kim)</p> <p>[9月15日ラズドーリナヤ駅より45車両からなる第501列車が10月5日アラル海に到着。205世帯、915名](V. Kim)</p>
9月17日	<p>・[9月17日ムチナヤ駅より78車両からなる第50?列車が10月6日タシュケントに到着。315世帯、1,864名](V. Kim)</p> <p>[9月17日イリインカ駅より58車両からなる第501列車が10月7日タシュケントに到着。255世帯、1,217名](V. Kim)</p> <p>[9月17日エゲルシェリト駅より49車両からなる第503列車が10月8日ジュマに到着。273世帯、1,459名](V. Kim)</p>
9月18日	<p>・[9月18日ヴォロシーロヴォ駅より69車両からなる第507列車が10月8日フェルガナに到着。283世帯、1,648名](V. Kim)</p>
9月19日	<p>・[9月19日ラズドーリナヤ駅より79車両からなる第501列車が10月8日タシュケントに到着。281世帯、1,599名](V. Kim)</p> <p>[9月19日ラズドーリナヤ駅より54車両からなる第501列車が10月9日ジュマに到着。250世帯、1,143名](V. Kim)</p> <p>・琿春の特務機関から極東朝鮮人強制移住に関する第1報が届いている。(半岡²⁾)</p>
9月20日	<p>・[9月20日ラズドーリナヤ駅より60車両からなる第505列車が10月10日パフタに到着。212世帯、1,327名](V. Kim)</p>

	<p>[9月20日ムチナヤ駅より車輛数不明からなる第501列車が10月11日退避駅55に到着. 256世帯, 1,428名] (V. Kim)</p> <p>[9月20日エゲルシェリト駅より64車輛からなる第501/37列車がアラル海に向け航行中. 321世帯, 1,608名] (V. Kim)</p> <p>[9月20日エゲルシェリト駅より78車輛からなる第23列車が10月9日タシュケントに到着. 313世帯, 2,087名] (V. Kim)</p> <p>ウズベキスタン強制移住者総計 6,168世帯, 30,597名 (V. Kim)</p>
9月21日	<p>・リュシュコフの報告に基づくイエジョフのスターリン宛の報告:「極東地方の朝鮮人第1次移住は完了した. 1937年9月21日, 極東地方からカザクスタン共和国に2万1296人が, ウズベキスタン共和国に3万3人が移送され, 移住民の総数は1万369世帯, 5万1299人であった. すべての移送列車は現在計画通りに運行している.」(李愛)</p>
9月24日	<p>・ヴラジヴォストーク日本領事館報告「在浦塩帝国総領事館裏手ニ在リシ鮮人学生ノ寄宿舍ハ九月二十四日遂ニ閉鎖セラレ学生ハ何レモ貨物列車ニテ奥地ニ移送セラレタリ」(半岡²)</p> <p>またちょうどこの時期にソ連に拿捕されていた日本人漁船員の目撃証言「抑留地付近井戸ニ赴キタル際鮮人家屋八棟空家トナリアルヲ現認最近迄居住ノ形跡アリ」. このほか日本軍は朝鮮人スパイを現地に潜入させ, 情報の収集に努めた. (半岡²)</p>
- 10月3日	<p>・第2波極東朝鮮人強制移住. 国境地帯に住む朝鮮人約7万8,000人強制移住. (半岡²)</p> <p>・リュシュコフの報告に基づくイエジョフのスターリン宛の報告:「9月24日から国境周辺地域の第2次移住が実施される予定である. 移送列車を割り当て, 9月24日から10月3日までに極東地域から5400世帯, 2万4000人を移送する. これによって国境地帯から7万5000 - 7万8000の朝鮮人が移送されるが, この人数は当初の予定より1万8000人多い.」(李愛)</p>
- 10月5日	<p>・アムル州のミハイロフカ, アルハラ, ブラゴシチェンスク, スヴォボードヌイ, タンボフカの各地区とブラゴヴェシチェンスク市から移住が行われた. これと同時に, ユダヤ人自治州からの移住も実施された. (ク)</p>
9月25日	<p>・[9月25日ハバロフスク駅より第505 46/7列車が10月14日タシュケントに到着. 287世帯, 1,143名] (V. Kim)</p>

9 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・沿海州の三人委員会（ベッケル、ダニーロフ、ジメントマン）の報告によれば、ポシエト、バラバシュ、ナジェジュジンスコイエの各地区からの朝鮮人移住は完全に終了し、任務は決められた期間に正確に実行された。沿海州からの第 1 波の移住全体では 25,343 名の朝鮮人が移送され、残ったのはほぼ 58,000 名であった。（ク）ソコロフ極東地方内務人民委員部赤旗勲章国境軍管区部隊長の情報によると、第 1 波として送り出されたのは全部で 41 列車（12,144 世帯、総数 59,723 名）であった。（ク）
9 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ユダヤ人自治州からの第 2 波の移住の準備はに 1937 年 9 月 27 日に終了した。（ク） ・党中央委員会と人民委員会議による朝鮮人の強制移住に関する指令がサハリンに伝達された。（ク）
9 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・スターリン地区の 230 世帯 1100 名を 9 月 28 日 18 時、2 隻のはしけに載せ、汽船モロトフでブリュヘロヴォに移送。病人のいる 2 家族は現地に残留。（ク） ・ブリュヘロヴォ地区の 54 世帯 209 名を 9 月 28 日 20 時、はしけに乗船させ、スターリン地区の「住民を乗せた」はしけとともに 9 月 28 日 19 時、ハバロフスクに送る。（ク） ・スミドヴィチ地区の 79 世帯 415 名を 9 月 28 日 15 時、イン駅で乗車させ、ハバロフスクからの列車に連結したのち 18 時 30 分イン駅を出発。（ク） ・ビラ地区パシュコフスキー企業合同に属する居住区の 17 世帯 74 名を、9 月 28 日 22 時にオブルチエに移送し、車輛に乗車させ、9 月 19 日 13 時、ほかの列車に接続させるためアルハラ駅へ向かって発車。このようにして、州からは全部で 380 世帯、1798 名が移送された。（ク） ・[9 月 28 日シュタダヤ駅より第 54/47/14 列車が 10 月 18 日退避駅 55-128、ブレフスカヤ 276 に到着。402 世帯、1,486 名]（V. Kim） ・[9 月 28 日イマン駅より第 501 列車が 10 月 19 日タシュケント（中部チルチク地区）に到着。273 世帯、1,278 名]（V. Kim） ・2 度目の決定。極東に残る朝鮮人全員を 10 月中に移住させることが命じられる。（半岡²）
以降	<ul style="list-style-type: none"> ・州三人委員会と国境警備隊はすべての朝鮮人から船を接收し、9 月 28 日以降海に出るのを禁ずるよう現場に命令した。

	(ク)
9 月 29 日	<p>・(ハバロフスク地区から) アムル退避駅で車輛が準備されたのは 1937 年 9 月 29 日 4 時である。乗車は 10 時 30 分に終了した。クラスナヤ・レチカ駅(「化学製薬工場」支線)の車輛は 7 時 20 分に準備され、乗り込みと列車の点検は 12 時 30 分に終了した。列車が出発したのは 9 月 30 日 2 時 40 分である。(ク)</p>
9 月 30 日	<p>・ハバロフスク州ビキン地区にある 10 の居住区の朝鮮人移住者を乗せた第一の列車は、1937 年 9 月 30 日にビキン駅から発車した。全部で、移住者が乗った車輛が 43、貨物を積んだものが 5 両、衛生者用と客車がそれぞれ 1 両であった。(ク)</p> <p>・[9 月 11 日発イェヴゲニエフカ駅より 76 車輛からなる第 503 列車が 9 月 30 日パフタ(下部チルチク地区)に到着。360 世帯、1,737 名](V. Kim)</p> <p>[9 月 11 日発イェヴゲニエフカ駅より 67 車輛からなる第 501 列車が 9 月 30 日タシュケント(中部チルチク地区)に到着。351 世帯、1,568 名](V. Kim)</p>
10 月	<p>・朝鮮人コルホーズ「赤いサハリン」の労働者 235 人全員が大陸に移住させられた。(ク)</p>
10 月 1 日	<p>・(ハバロフスク地区から) 2 番目の車輛は 1937 年 10 月 1 日にクラスナヤ・レチカ駅(「化学製薬工場」支線)に準備されたが、7 時のはずが 17 時になった。乗車が終わったのは 20 時 30 分である。列車は上述の支線から 21 時 20 分に出発した。(ク)</p> <p>・(ハバロフスク州ビキン地区から) 10 月 1 日、移住者用 48 両、貨物用 8 両、衛星車 2 両からなる第 2 の列車が編成されて出発した。ビキン地区全体からは 436 の朝鮮人世帯、全部で 2202 名が移住したが、うち子供は 927 名であった。(ク)</p> <p>・10 月 1 日現在、極東から全部で 1 万 5620 世帯(7 万 5294 名)の朝鮮人が 55 の列車で移送された。(ク)</p> <p>・[9 月 10 日発ゴレンキ駅より 57 車輛からなる第 501/9 列車が 10 月 1 日アラル海に到着。305 世帯、1,418 名](V. Kim)</p> <p>[9 月 10 日発ラズドリナヤ駅より 58 車輛からなる第 501 列車が 10 月 1 日ジュマ(パスト・ダルゴム地区)に到着。417 世帯、1,603 名](V. Kim)</p> <p>・[10 月 1 日ブラゴヴェシチェンスク駅より第 501 列車が 10</p>

	月 18 日草原地帯（ウズベキスタン共和国）に到着. 312 世帯, 1,406 名]（V. Kim）																																																					
10 月 3 日	<p>・ハバロフスク地区三人委員会最終報告書：「全部で 606 の朝鮮人世帯, 2215 名が移住の対象として登録された. 没収した国内旅券は 1109, 武器は 110 丁である.」（ク）</p> <p>・[10 月 3 日ハバロフスク駅より第 61 列車が 10 月 23 日チムケント（カザクスタン共和国）に到着. 314 世帯, 1,103 名]（V. Kim）</p> <p>[10 月 3 日イポリトフカ駅より第 501 52/401 列車が 10 月 27 日草原地帯（カザクスタン共和国）に到着. 314 世帯, 1,103 名]（V. Kim）</p> <p>・北サハリンのドゥエとマカリョフカ全権委員の報告：「ドゥエ炭鉱とマカリョフカには 8 世帯が住む. 7 世帯は日本政府の身分証明書とソ連内居住の臨時査証を持つ日本国民であることが判明.」（ク）</p>																																																					
－ 14 日	<p>・第 3 波の朝鮮人移住. この期間に極東地方から強制移住させられたのは, 全部で 9284 世帯（4 万 4977 名）で, 31 の列車で移送された. そのうち 6551 世帯（3 万 1737 名）がカザクスタンへ, 2733 世帯（1 万 3240 名）がウズベキスタンへ送られた.（ク）</p>																																																					
－ 25 日	<p>・第 3 波極東朝鮮人強制移住. 最終的な強制移住の犠牲者は 17 万 2,000 に及ぶ.（半岡²）</p>																																																					
	<p>・ハバロフスク州からの朝鮮人移住：（李愛）</p> <table><tr><th>地区</th><th>世帯</th><th>人数</th><th>目的地</th><th>出発日</th></tr><tr><td rowspan="3">ポストシェフ</td><td>284</td><td>1,497</td><td>カザクスタン</td><td>10 月 3 日</td></tr><tr><td>244</td><td>1,451</td><td>カザクスタン</td><td>10 月 15 日</td></tr><tr><td>104</td><td>458</td><td>カザクスタン</td><td>10 月 16 日</td></tr><tr><td rowspan="2">カリーニン</td><td>278</td><td>1,277</td><td>カザクスタン</td><td>9 月 28 日</td></tr><tr><td>252</td><td>1,1 5</td><td>ウズベキスタン</td><td>10 月 1 日</td></tr><tr><td rowspan="2">ビキン</td><td>220</td><td>1, 75</td><td>カザクスタン</td><td>9 月 30 日</td></tr><tr><td>216</td><td>1,127</td><td>カザクスタン</td><td>10 月 1 日</td></tr><tr><td rowspan="4">ヴァーゼム</td><td>223</td><td>993</td><td>カザクスタン</td><td>9 月 26 日</td></tr><tr><td>297</td><td>1,308</td><td>カザクスタン</td><td>9 月 28 日</td></tr><tr><td>53</td><td>1,414</td><td>カザクスタン</td><td>9 月 30 日</td></tr><tr><td>225</td><td>816</td><td>カザクスタン</td><td>10 月 1 日</td></tr></table>	地区	世帯	人数	目的地	出発日	ポストシェフ	284	1,497	カザクスタン	10 月 3 日	244	1,451	カザクスタン	10 月 15 日	104	458	カザクスタン	10 月 16 日	カリーニン	278	1,277	カザクスタン	9 月 28 日	252	1,1 5	ウズベキスタン	10 月 1 日	ビキン	220	1, 75	カザクスタン	9 月 30 日	216	1,127	カザクスタン	10 月 1 日	ヴァーゼム	223	993	カザクスタン	9 月 26 日	297	1,308	カザクスタン	9 月 28 日	53	1,414	カザクスタン	9 月 30 日	225	816	カザクスタン	10 月 1 日
地区	世帯	人数	目的地	出発日																																																		
ポストシェフ	284	1,497	カザクスタン	10 月 3 日																																																		
	244	1,451	カザクスタン	10 月 15 日																																																		
	104	458	カザクスタン	10 月 16 日																																																		
カリーニン	278	1,277	カザクスタン	9 月 28 日																																																		
	252	1,1 5	ウズベキスタン	10 月 1 日																																																		
ビキン	220	1, 75	カザクスタン	9 月 30 日																																																		
	216	1,127	カザクスタン	10 月 1 日																																																		
ヴァーゼム	223	993	カザクスタン	9 月 26 日																																																		
	297	1,308	カザクスタン	9 月 28 日																																																		
	53	1,414	カザクスタン	9 月 30 日																																																		
	225	816	カザクスタン	10 月 1 日																																																		

	スターリン 中央 キーロフ	301	1,156	ウズベキスタン	9月25日
		324	1,344	ウズベキスタン	9月30日
		331	1,377	ウズベキスタン	9月26日
		181	949	ウズベキス ン	9月28日
	クルーウルミ ナナイ	249	1,316	カザクスタン	10月19日
		410	1,659	カザクスタン	10月22日
	合計	4,533	20,344		
10月4日	<p>・[9月10日発ヴォロシーロフスク駅より車輛数不明からなる第501/10列車が10月4日アラル海（グルレン地区）に到着。240世帯，1,225名]（V. Kim）[10月2日?]</p> <p>[9月12日発イリインカ駅より54車輛からなる第501/11列車が10月4日アラル海（グルレン地区）に到着。214世帯，1,169名]（V. Kim）[10月3日?]</p> <p>[9月12日発ヴォロシーロフスク駅より車輛数不明からなる第501/12列車が10月4日アラル海（グルレン地区）に到着。360世帯，1,337名]（V. Kim）[10月3日?]</p> <p>・[10月4日イポリトフカ駅より第505 66/5列車が10月27日タシュケント（中部チルチク地区）に到着。414世帯，1,683名]（V. Kim）</p>				
10月5日	<p>・[9月14日発ホルヴァット駅より64車輛からなる第501/13列車が10月5日アラル海（グルレン地区）に到着。270世帯，1,204名]（V. Kim）[10月4日?]</p> <p>[9月15日発マンゾフカ駅より69車輛からなる第501/17列車が10月5日アラル海（クングラト地区）に到着。349世帯，1,549名]（V. Kim）[10月7日?]</p>				
10月6日	<p>・[9月15日発グロデコヴォ駅より54車輛からなる第509列車が10月6日ジュマ（パスト・ダルゴム地区）に到着。338世帯，1,492名]（V. Kim）</p> <p>[9月15日発ラズドーリナヤ駅より45車輛からなる第501 [501/18] 列車が10月5日アラル海（クングラト地区）に到着。205 [204] 世帯，915 [909] 名]（V. Kim）</p> <p>[9月17日発ムチナヤ駅より78車輛からなる第50?列車が10月6日タシュケント（中部チルチク地区）に到着。315世帯，1,864名]（V. Kim）</p>				
10月7日	<p>・[9月17日発イリインカ駅より58車輛からなる第501列車が10月7日タシュケント（中部チルチク地区）に到着。255</p>				

	世帯, 1,217 名] (V. Kim)
10 月 8 日	<p>・ [9 月 17 日発エゲルシェリト駅より 49 車輛からなる第 503 列車が 10 月 8 日ジュマ (パスト・ダルゴム地区) に到着. 273 世帯, 1,459 名] (V. Kim)</p> <p>[9 月 18 日発ヴォロシーロヴォ駅より 69 車輛からなる第 507 列車が 10 月 8 日フェルガナに到着. 283 世帯, 1,648 名] (V. Kim)</p> <p>[9 月 19 日発ラズドーリナヤ駅より 79 車輛からなる第 501 列車が 10 月 8 日タシュケント (中部チルチク地区) に到着. 281 世帯, 1,599 名] (V. Kim)</p>
10 月 9 日	<p>・ [9 月 19 日発ラズドーリナヤ駅より 54 車輛からなる第 501 列車が 10 月 9 日ジュマ (パスト・ダルゴム地区) に到着. 250 世帯, 1,143 名] (V. Kim)</p> <p>[9 月 20 日発エゲルシェリト駅より 78 車輛からなる第 23 列車が 10 月 9 日タシュケント (中部チルチク地区, 他地区) に到着. 313 世帯, 2,087 名] (V. Kim)</p>
10 月 10 日	<p>・ [9 月 20 日発ラズドーリナヤ駅より 60 車輛からなる第 505 列車が 10 月 10 日パフタ (下部チルチク地区) に到着. 212 世帯, 1,327 名] (V. Kim)</p>
10 月 11 日	<p>・ [9 月 20 日発ムチナヤ駅より車輛数不明からなる第 501 列車が 10 月 11 日退避駅 55 (下部チルチク地区) に到着. 256 世帯, 1,428 名] (V. Kim)</p>
10 月 14 日	<p>・ [9 月 25 日発ハバロフスク駅より第 505 46/7 列車が 10 月 14 日タシュケント (チルチク地区) に到着. 287 世帯, 1,143 名] (V. Kim)</p> <p>・ 「第 3 次の移住が始まり, 午後 3 時から出発した 31 本の移送列車には, 9294 世帯, 4 万 4977 人が乗っていた. 彼らのうち, 6561 世帯, 3 万 1737 人はカザクスタン共和国へ, 2733 世帯, 1 万 3240 人はウズベキスタン共和国へ送られた. このようにしてハバロフスク州, アムル州, ニージュニー・アムル州など沿海州地域の移住がほぼ完了した. (李愛)</p> <p>・ 「大阪毎日新聞」は初めて 10 月 14 日, 「沿海居住半島人のソ連邦による虐殺説—親満・日傾向を恐れ」という見出しで, 9 月 13 日にハバロフスク付近で起きた朝鮮人移送列車転覆事故を報道した. (李愛)</p>
10 月 18 日	<p>・ [9 月 25 日発シュタダヤ駅より第 54/47/14 列車が 10 月 18</p>

	<p>日退避駅 55-128, プレフスカヤ 276 に到着. 402 世帯, 1,486 名] (V. Kim)</p> <p>[不明日発ズヴェレヴォ駅より第 52 401/963 列車が 10 月 18 日ゾロターヤ・オルダ (カザクスタン共和国) に到着. 177 世帯, 1,313 名] (V. Kim)</p> <p>[10 月 1 日発ブラゴヴェシチェンスク駅より第 501 列車が 10 月 18 日草原地帯 (ウズベキスタン共和国) に到着. 312 世帯, 1,406 名] (V. Kim)</p>
頃	<p>・北サハリンの朝鮮人移住者はヴラジヴォストーク市に到着. さらに中央アジアへの道が続いていた. (ク)</p>
10 月 23 日	<p>・[10 月 3 日発ハバロフスク駅より第 61 列車が 10 月 23 日チムケント (カザクスタン共和国) に到着. 314 世帯, 1,103 名] (V. Kim)</p>
10 月 25 日 までに	<p>・朝鮮人は極東全域から移住させられた. 追放された人々の総数は, 17 万 1781 名 (3 万 6442 世帯), そのうちウズベキスタンに送られたのが 7 万 6525 名 (1 万 6272 世帯), カザクスタンへは 9 万 5256 名 (2 万 170 世帯) であった. 極東に残った朝鮮人は約 700 名であったが, 彼らは以前にカムチャトカとオホーツクに特別移住者として追放されていた人々で, 11 月 1 日までに移送することになっていた. (ク) 移送列車 124 本. この時点で, 76 本の列車が移住地に到着して移住民を各地域に下車させ, 48 本は移動中であった. (李愛)</p>
10 月 27 日	<p>・[10 月 4 日発イポリトフカ駅より第 505 66/5 列車が 10 月 27 日タシュケント (中部チルチク地区) に到着. 414 世帯, 1,683 名] (V. Kim)</p> <p>第 2 次強制移住総計 2,540 世帯, 10,868 名 (V. Kim)</p>
11 月 6 日	<p>・日独伊防共協定. (在ソ)</p>
11 月 13 日	<p>・日本政府は駐ソ日本大使を通じてソ連政府に厳重抗議し, 特に前述の「帝国臣民」約千人の調査を要望. (半岡²)</p>
11 月 14 日	<p>・「大阪毎日新聞」は 11 月 14 日には「露領沿海州における半島同胞を追放—第一期の強制移住 12 万人」報道. (李愛)</p>
11 月 15 日	<p>・朝鮮人異住民を乗せた最後の列車が 11 月 15 日にノヴォシビルスクに到着したが, 移送中児童 6 人が死亡し, 発病者が 50 人出たという. (李愛)</p> <p>・ウズベク・ソヴェト社会主義共和国とカラカルパキアへの</p>

	<p>朝鮮人移住民の配置について：中部チルチク地区 2,488 世帯 11,948 人，下部チルチク地区 1,613 世帯 8,669 人，上部チルチク地区 307 世帯 1,814 人，パスト・ダルゴム地区 1,388 世帯 6,975 人，ミルザチュル地区 1,040 世帯 5,036 人，カリーニン地区 478 世帯 2,665 人，ホラズム州グルレン Gurlenskij 地区 1,197 世帯 5,799 人，カラカルパク自治共和国クングラト地区 2,300 世帯 10,620 人，ベゴヴァト Begovatskij 地区 1,214 世帯 4,438 人，チノズ地区 708 世帯 2,746 人，サマルカンド市 489 世帯 1,845 人，クズル・テピ Kizil-Tepinskij 地区 24 世帯 75 人，カッタ・クルガン地区 26 世帯 82 人，フェルガナ市 414 世帯 1,011 人，ヤンギ・ユル地区 19 世帯 26 人，コーカンド市 412 世帯 1,711 人，ナマンガン市 258 世帯 1,289 人，チュスト Chustskij 地区 24 世帯 120 人，ブハラ市 100 世帯 435 人，カラクル地区 30 世帯 137 人，ケルミニン Kermininskij 地区 68 世帯 280 人，ゼラブラク地区 46 世帯 299 人，カガン市 38 世帯 152 人，スルタン・アバト Sultan-Abatskij 地区 227 世帯 578 人，デナウズ Denauzskij 地区 8 世帯 29 人，クルガン・チュベ 13 世帯 89 人，ウチュ・クルガン 20 世帯 180 人，テンチャクサイ Tentjaksaj 綿花工場駅 30 世帯 191 人，シャリハン Sharixan 綿花工場駅 11 世帯 56 人，ナルン地区ハクル・アバト 25 世帯 48 人，ゼレン Zelenskij 地区アサカ駅 11 世帯 47 人，アンディジャン市 435 世帯 1,952 人，ヴォロシーロフ地区 107 世帯 659 人，ギジュドゥヴァン地区（ウズベク工業ソヴェトの線で）2 世帯 9 人，ウルグト（同）1 世帯 4 人，ベフ・ブディ（同）3 世帯 13 人，シャフリサブズ地区（同）2 世帯 10 人，パプ Pap（ウズベク商業 Uzbektorg）3 世帯 18 人，ウズベク商業 8 世帯 40 人，Uzbekbrljashu 13 世帯 73 人，マルギラン（ウズベク商業の線で）1 世帯 5 人，アルトゥ・アルク地区 1 世帯 13 人，ヌル・アタ地区（Narkomzem の線で）4 世帯 21 人，モロトフ地区 1 世帯 5 人，アラル海からの道路沿い 613 世帯 2,211 人，計 16,307 世帯 74,500 人。（V. Kim）</p>
11 月 27 日	<p>・ソ連は公文で日本政府の抗議を突っぱねる。（半岡²）</p>
12 月	<p>・ソ連海軍人民委員部創設を決定。（木）</p> <p>・日本外務省東亜局第二課報告書は移住の目的を「防諜及謀略的見地ニ基ヅクモノ」，「現下支那事変ニ関連シ日蘇間ニ於イテ早晚予期セラルル戦争準備ノ為ノ事前工作」と見ている。</p>

	また 9 月を実施時期に選んだ理由として「日本ノ勢力支那事 變ニ没頭シ鮮人移住ノ動搖ニ乗ゼラルル惧少々ナキ」ためと 推測した。(半岡 ²⁾)
12 月末	・朝鮮人強制移住完了。カザクスタンに移住させられた朝鮮 人は 2 万 789 世帯, 9 万 8454 人。(李愛)
秋	・洪範図將軍クズル・オルダに移住。当時カザクスタンの首 都だったクズル・オルダには先鋒新聞社, ヴラジヴォスト ーク〔高麗〕師範大学, 朝鮮劇場, 朝鮮ラジオ放送局, ハバロ フスク出版社朝鮮部などの朝鮮人の文化機関が移住してき た。(在ソ)
秋までに	・政治弾圧の朝鮮人犠牲者 2,500 人以上。(半岡 ²⁾)
末までに	・ウズベキスタンに 7 万 5,000 人, カザクスタンに 9 万 5,000 人の朝鮮人が送り込まれた。(半岡 ²) 朝鮮人は中央アジアに 到着した直後に国内旅券に「移住した地区以外での居住を禁 ずる」との条件が書き込まれた。後に居住地制限は「中央ア ジアの諸共和国, ただし国境地帯を除く」へと変更。(半岡 ²) ・シベリア鉄道の複線化ハバロフスクまで完成。(木)
- 1938 年	・大テロル
- 1942 年	・朝鮮劇場クズル・オルダに。(高)
1938 年 (昭 13)	・正規師団体制への再編成完了。(木) ・朝鮮語全国紙「レーニン・キチレニン기치 Renin gichi (レー ニンの旗)」創刊 (在ソ - 劉) ・極東地方はハバロフスク地方と沿海地方に分割。沿海州と ウスリー州が沿海地方, その他がハバロフスク地方の領域と された。(ク - 岡) ・А. А. Холодович А・А・ホロドーヴィチ, Строй корейского языка 朝鮮語の構造, Ленинград レニングラード, 40 стр. (言) ・鮎貝房之進, 『雑攷』第 4 輯, 568 ページ (『雑攷花郎 攷・白丁攷・奴婢攷』, 昭和 13 年に収録) [韓国に海賊 版が出回る]. ・ブハーリン, ルイコフら 18 名銃殺。(ロ) ・在日朝鮮人人口 79 万 9865 人。(ウィ) ・日本国民総動員法公布。(高木)
初	・ウズベキスタン内務人民委員部 (НКВД) 朝鮮人 1,515 名逮 捕 (194 名釈放): ブハラ州 176 (14), サマルカンド州 176 (39),

	<p>フェルガナ州 33 (7), タシュケント州 215 (19), ホラズム州 271 (42), カラカルパク自治共和国 127 (46), 内務人民委員部中央 668 (27), 計 1,515 (194). (V. Kim)</p> <p>・カザクスタンでは約 1 万人の学生が学ぶ 87 の学校が開校し, その中に 5666 名が学ぶ民族学校が 54 存在した. その他に朝鮮人学生は, ロシア語, カザク語で学ぶ学校の朝鮮学級で勉強した. (在ソ)</p>
1 月 17 日	<p>・日本政府は再度の抗議文を送って, 「蘇聯政府ノ猛省ヲ促シタ」が, ソ連側は「蘇聯邦は支那満洲ニ非ズ」と, 日本の主張を一蹴した. (半岡²⁾)</p>
1 月 19 日	<p>・カザクスタン人民委員会朝鮮人漁業コルホーズに関する決定. (李愛)</p>
1 月 24 日	<p>・全連邦共産党 (ボリシェヴィキ) 中央委員会決定「民族学校改変について」. (在ソ)</p>
1 月 29 日	<p>・西カザクスタンのグリエフ州ゼンギジョフ区域 (?) の」コルホーズに移住してきた朝鮮人代表がモロトフに送った請願書は, 到着から 3 ヶ月過ぎても職場に配置されていないことを訴えている. (李愛)</p>
2 月末	<p>・具体的な朝鮮人の配置計画を建てた. (李愛)</p>
2 月 20 日	<p>・カザクスタン人民委員会会議録: 「カザク共和国に移住した朝鮮人の定着に関する対策」 (李愛)</p>
3 月	<p>・民族語学校改編決定. 移設したばかりの朝鮮語教育施設はすべて閉鎖. (半岡²⁾)</p>
3 月 7 日	<p>・カザクスタン政令: 「人民委員会のイエジョフ同志の指令により, 我らには朝鮮人の 1 分散移住と定着に関する対策を考え, 監督する責任がある。」 (李愛)</p>
3 月 23 日	<p>・NKVD 極東地方管理局三人委員会により北サハリンのツオイ・ニコライを日本のスパイとして銃殺. 51 年後に名誉回復されようとしている. (ク)</p>
3 月 25 日	<p>・1 月 19 日付のカザクスタン人民委員会朝鮮人漁業コルホーズに関する決定を修正. この決定は 2400 世帯の朝鮮人を漁業に定着させようとするよう規定しているが, そこには 538 世帯の新たな漁業コルホーズを組織することも含まれている. この決定により多くの朝鮮人がさまざまな漁業地域に分散され, アルマトゥ州のバルハシ湖に 446 世帯, アラル海沿岸のクズル・オルダ州に 338 世帯, グリエフ州のカスピ海に 571</p>

	世帯が移住させられた。(李愛)				
3月31日	・カザクスタン内務人民委員部補佐は、ソ連内部人民委員会の副師団長に、朝鮮人の定着対策に着手したと報告している。(李愛)				
3月下旬 -5月上旬	・カザクスタン人民委員会の報告による臨時居住地から最終居住地への朝鮮人の移動。(李愛) [5月15日参照]				
	・ウシュトベ地域における朝鮮人世帯の配置。(李愛)				
	コルホ ズ	到着予定 世	到着した 世帯	到着時 (月)	計画し た区 数
	1. ダリヴォストク	217	212	1936.3-4	1
	2. ノーヴァヤ・ジズニ	86	80	3-4	2
	3. プリモリツ	30	207	5	3
	4. プロシロフ記念	184	11	5	4
	5. ブルヘル記念	265	267	2	7
	6. レーニン記念	170	171	3-4	8
	7. スターリン記念	295	262	3-4	9.10
	8. オソアバヒム	130	193	4	11
	9. 社会主義の道へ	75	8	4	12
	10. モブル	115	112	4	13
	11. イェジョフ記念	150	120	4	14
	12. トル	128	138	5	15
	13. イマノヴァク	167	139	5	16
	14. ノーヴィ・プーチ	82	43		17
	15. 領域なし	86	83	5	18
	16. 領域なし	179	--	--	5
	17. 領域なし	193	--	--	6
	18. 領域なし	121	--	--	19
19. 領域なし	127	--	--	20	
合計	3,000	2,277			
4月3日	・朝鮮で陸軍特別志願制度実施。(高木)				
4月8日	・クズル・オルダ州にあった高麗師範専門学校廃止。(在ソ)				
4月15日	・趙明熙ハバロフスクで銃殺刑。(在ソ)				
5月15日	・趙明熙処刑。(李愛)				
5月15日	・カザク共和国で朝鮮語新聞『レーニン・キチ』紙創刊。(在				

ソ)

・報告によると、朝鮮人の配置計画は次のように遂行された。
朝鮮人移住者配置現況。(李愛)

職業 州	朝鮮人独立 コルホーズ		既存の 農業コ ルホー ズ	漁業		企業 およ び公 共機 関	総数
	既存の コル ホー ズの 土地を 分配	国 予 備農地 を分配		漁業コ ツホー ズ	国 営 漁 業 企業		
アルマ・アタ	2,227	--	543	376	70	1,038	4,254
アクチュピンスク	287	--	296	--	--	293	876
グリイエフ	--	120	--	791	150	223	1,284
西カザクスタン	--	--	441	--	--	283	724
カラガンダ	317	--	392	--	--	1,372	2,081
クスタナイ	260	--	146	--	--	573	79
クズル・オルダ	107	2,89	1,885	2 6	353	1,600	7,136
北カザクスタン	970	--	--	--	--	326	1,196
南カザクスタン	--	134	836	21	--	557	1,584
合計	4,16	3,239	4,539	1,394	573	6,165	20,078

5 月 25 日

・アフナーシー・アルセニエヴィチ・キム (金) 銃殺刑。
(半岡²⁾)

6 月

・リュシュコフ日本に亡命。(V. Kim)

6 月 9 日

・カザクスタン人民委員会議長のソ連人民委員会に送った報告書：最終的な朝鮮人移住者配置計画。(李愛)

職業 州	朝鮮人独立 コルホーズ		既存の 農業コ ルホー ズ	漁業		企業 およ び公 共機 関	総数
	既存の コルホ ーズの 土地を 分配	国有予 備農地 を分配		漁業コ ツホー ズ	国 漁 業 企 業		
アルマ・アタ	3,000	--	1,000	423	236	114	4,774
アクチュピンスク	1,000	--	130	--	--	165	1,285
グリイエフ	--	--	--	683	343	294	1,322

	<table><tr><td>西カザクスタン</td><td>--</td><td>-</td><td>300</td><td>--</td><td>--</td><td>2 0</td><td>500</td></tr><tr><td>カラガダ</td><td>1,155</td><td>--</td><td>--</td><td>--</td><td>--</td><td>1,100</td><td>2,255</td></tr><tr><td>クスタナイ</td><td>103</td><td>3,258</td><td>1,490</td><td>375</td><td>357</td><td>913</td><td>6,465</td></tr><tr><td>クズル・オルダ</td><td>500</td><td>--</td><td>100</td><td>--</td><td>--</td><td>120</td><td>720</td></tr><tr><td>北カザクスタン</td><td>1,000</td><td>--</td><td>250</td><td>--</td><td>--</td><td>250</td><td>1,500</td></tr><tr><td>南カザクスタン</td><td>--</td><td>80</td><td>1,244</td><td>--</td><td>--</td><td>374</td><td>1,698</td></tr><tr><td>合計</td><td>6,758</td><td>3,358</td><td>4,504</td><td>1,484</td><td>916</td><td>3,530</td><td>20, 30</td></tr></table>	西カザクスタン	--	-	300	--	--	2 0	500	カラガダ	1,155	--	--	--	--	1,100	2,255	クスタナイ	103	3,258	1,490	375	357	913	6,465	クズル・オルダ	500	--	100	--	--	120	720	北カザクスタン	1,000	--	250	--	--	250	1,500	南カザクスタン	--	80	1,244	--	--	374	1,698	合計	6,758	3,358	4,504	1,484	916	3,530	20, 30
西カザクスタン	--	-	300	--	--	2 0	500																																																		
カラガダ	1,155	--	--	--	--	1,100	2,255																																																		
クスタナイ	103	3,258	1,490	375	357	913	6,465																																																		
クズル・オルダ	500	--	100	--	--	120	720																																																		
北カザクスタン	1,000	--	250	--	--	250	1,500																																																		
南カザクスタン	--	80	1,244	--	--	374	1,698																																																		
合計	6,758	3,358	4,504	1,484	916	3,530	20, 30																																																		
7 月	・カザクスタンのスターリン記念（朝鮮人）コルホーズの指導部は，1 日の労働時間は朝 5 時から 20 時まで，休息時間は 12 時から 14 時までとした．国営農場（ソフホーズ）の労働時間は 8 時間．（李愛）																																																								
7 月 11 日	・張鼓峰で日ソ両軍衝突（ハサン湖事件）．（在ソ）																																																								
8 月	・ハバロフスク方面潜入中にソ連当局に逮捕投獄され，その後脱走に成功した密偵の朝鮮人の満洲官憲に対する報告「以前ハ知人ガ居リマシテ宿泊ヤ食料ハ秘密裡ニ知人ノ家デ厄介ニナルコトガデキマシタガ満人ヤ鮮人ハ一昨年（原文のまま）ヨリ全部中部露西亜方面ニ強制移住セラレタ由デ今デハ一人モ知人ガ無ク其ノ後ノ行動ヲスルニモ非常ニ不安デシタ」（半岡 ² ）																																																								
8 月 6 日	・張鼓峰事件．（ウィ）																																																								
8 月 20 日	・カザクスタン人民委員会はクズル・オルダ州カルマクチンスク管区の朝鮮人コルホーズ「新世界」と「スターリン」の 236 世帯を，アクチュビンスク州へ移住させることを決定した．（李愛）																																																								
12 月 1 日	・カザク共和国州執行委員会などの統計資料によると，1 万 8525 世帯の朝鮮人家族は次のように配置された．アルマ・アタ州 4191 世帯，クズルオルダ州 7613 世帯，カラガンダ州 1225 世帯，アクチュビンスク州 756 世帯，クスタナイ州 1040 世帯，グリエフ州 1075 世帯，北カザクスタン州 778 世帯，西カザクスタン州（現ウラリ斯克州）513 世帯，南カザクスタン州（現チムケント州）1269 世帯．（在ソ）																																																								
1939 年（昭 14）	・Ким Тхя-хен キム・テヒョン（김태현），Современная корейская письменность 現代朝鮮文字，Ленинград レニングラード．〔ソ連で最初の朝鮮関係の論文〕 ・カザク共和国の朝鮮人 9 万 7000 人（カザク共和国の 1.6%），ウズベク共和国の朝鮮人 7 万 3000 人，計約 17 万人．ジャル																																																								

	<p>ルガシーノヴァは18万2000人, コズロフは18万2300人. (木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿海地方では沿海州が廃止される. ハバロフスク地方ではハバロフスク州が廃止され, 地方直轄となる. (ク - 岡) ・シベリア鉄道全線複線化. (ロシア) ・G. J. Ramstedt, "A Korean Grammar", Helsinki: Suomalais-Ugrilainen Seura, 199 pp. [ヨーロッパでの最初の朝鮮語文法] ・日本国民徴用令公布. ・在日朝鮮人人口96万1591人. (ウィ) ・日本「朝鮮人労働者募集要綱」, 「朝鮮人労働者移住に関する事務取扱手続き」制定. (高木) ・平沼麟一郎総理大臣. ・阿部信行総理大臣.
1月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・カザクスタン内務人民委員部移住担当課作成の文書によれば, 当時の朝鮮人人口は1万7870世帯, 7万3705人であり, 独立した朝鮮人コルホーズ, 農業および漁業コルホーズには8037世帯, 3万5724人がある. また, 203の地方コルホーズに3939世帯, 1万6488人, 91のソフホーズと機械・トラクター補給所, 工場, 林業協同組合およびさまざまな社会機関の労働者として5894世帯, 2万1493人が最終的に定着した. (李愛)
5月11日-31日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次ノモンハン事件. (木)
7月1日-6日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次ノモンハン事件. (木)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・再びノモンハンで戦闘. (ウィ) ・ドイツと不可侵条約. (ロ) ポーランド分割 (ロシア)
夏	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮人の樺太行き大量募集—大概是強制的な (ママ) —が日本の内務大臣の命令に基づいて始まる. (ヴィ)
9月 -1942年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮人樺太移住第1段階—募集. 日本の企業家は朝鮮において, 占領軍当局の援助のもとに, 地元役人を使って朝鮮人労働者の募集を行った. 募集は表向きは志願者を募るものであったが, 実際には次のような要素があったことを考慮に入れるべきである. 第一に, 植民地である朝鮮では人々の生活が極めて苦しく, 人々は募集に応じざるをえなかった. 第二に, 募集を拒否すれば, 要注意人物リストに加えられた. 第三に, 募集は賃金や期間などの契約条件に虚偽があるため詐欺的なものであった. (ク - Bok)
9月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次世界大戦 (-1945年8月15日). (在ソ)

9 月 16 日	・ 日本と停戦協定。(ロ)
10 月末	・ 水不足により凶作になったカザクスタンのクズル・オルダ州の朝鮮人コルホーズ「モロトフ」,「赤い種」,「赤い東方」は,許可なく現地のカザク人コルホーズと合流した。(李愛)
11 月	・ ソ連フィンランド領に侵攻。(ロシア) ・ 朝鮮総督府は「朝鮮人の氏名に関する件」(創氏改名令)を公布。(ウィ)
末 - 1940 年	・ シベリア鉄道の複線化ヴラジヴォストークまで完成。(木)
- 1940 年	・ 170 万人のバルト諸民族とポーランド人がシベリアに追放(木)
1940 年(昭 15)	・ 小倉進平,『朝鮮語学史』,東京,677+51 ページ. ・ 朝鮮で創始改名。(高木) 各月の累積届出数。2 月 0.39%, 3 月 1.54%, 4 月 3.92%, 5 月 12.49%, 6 月 26.98%, 7 月 53.71%, 8 月 80.34% (ウィ) ・ 文世栄,『修正増補朝鮮語辞典』,京城:永昌書館[1946 年東京:在日本朝鮮人連盟中央総本部影印]. ・ 在日朝鮮人人口 119 万 0444 人。(ウィ) ・ 米内光正総理大臣.・ 近衛文麿総理大臣.
2 月 4 日	・ イエジョーフ銃殺。(V. Kim)
2 月 3 日 - 15 日	・ カザクスタン党中央委員会の対策班の調査によると,クズル・オルダ州から 33%の朝鮮人が他地域に移住したことが明らかになった。彼らはおもにウズベキスタンのチルチク地区へ移っている。(李愛)
2 月 7 日	・ カザクスタンのケメロヴォ地区の農業協同組合の構成員らは総会で,世帯の移住を受け入れるだけでなく,彼らの財産を輸送,住宅を建設し,食料などの必需品を与えることを決定した。(李愛)
3 月 5 日	・ カザクスタン共和国内の 238 のコルホーズは移住者へよりよい居住地を供給しようと社会主義競争を展開するに至った。(李愛)
4 月-5 月	・ ロシアのスモレンスクから 18 キロのグニョーズドヴォとカティニで約 22,000 名のポーランド人がスターリンの命により処刑。(Сайт мемориала Катынь による)
12 月 10 日	・ カザクスタンのクズル・オルダ州執行委員会の移住担当課がまとめた資料によると,朝鮮人総移住者 5506 世帯(労働者

	は除外)のうち、1938年初めから世帯がウズベキスタンへ移住したことが明らかになっている。
末	・日本憲兵が満洲パルチザンに決定的打撃を与えたとき、金日成は数名の戦士とともにアムール河(黒竜江)を渡って、ソ連に避難した。(ラ)
1940年代	・北朝鮮で金日成が名目上の統治者となる。(ラ)
-1950年代	・サハリン州、カムチャトカ州、マガダン州、アムル州がハバロフスク地方から分離。下アムル州は廃止。(ク-岡)
1941年(昭16)	<p>・第2次世界大戦が勃発すると、18-50歳の朝鮮人男性は強制労働に動員された。「大祖国戦争」への参加は朝鮮人には認められず、18歳以上の大部分の男子が労働ラゲリに徴収されて、カザクスタンとソ連全域の炭鉱、軍需工場、防衛施設、北極圏の森林伐採などに送り込まれた。年寄りはずぐ戻ってきたが、多くの朝鮮人はカラガンダ、ロシア、コミ自治共和国などの鉱山に配置され、過酷な労働と劣悪な環境のため多くの死亡者が出た。(李愛)</p> <p>・強制移住以降、朝鮮人への課税は男女ともに年間100ルーブルだけで、他の納税義務は免除されていたが、1941年からは一般農民と同様の納税を命ぜられた。(李愛)</p> <p>・在日朝鮮人人口146万9230人。(ウィ)</p> <p>・日本対米宣戦布告。(高木)</p> <p>・東条英機総理大臣。</p>
3月5日	・カザクスタンのヴォロシーロフ・コルホーズをアラル地区のクバンダリャからチレンスキー地区に移住させる決定がなされた。(李愛)
4月13日	・日本と中立条約。(ロ)
6月22日	・ドイツの対ソ宣戦。大祖国戦争。(ロ)
8月	・バルト3国ソ連に編入。(ロ)
8月28日	・ヴォルガ河沿岸ドイツ人自治共和国解体。ドイツ人をカザクスタンなどに追放。(木)(李愛)
12月8日	・太平洋戦争始まる。(在ソ)
1942年(昭17)	<p>・朝鮮劇場がクズル・オルダからウシュトベに移された。(在ソ)(高)</p> <p>・日本閣議で「朝鮮人労務者活用に関する方策」決定。朝鮮総督府「鮮人内地移入斡旋要項」決定。「官斡旋」方式。(高木)</p>

	・在日朝鮮人人口 162 万 5054 人. (ウイ)
2 月 - 1944 年 9 月	・朝鮮人樺太移住第 2 段階—官斡旋募集. 1941 年に設立された「朝鮮労務協会」は日本内地と樺太に向けて若い朝鮮人労働者の強制的な募集を大っぴらに行った. (ク - Bok)
5 月 29 日	・小磯国昭第 8 代朝鮮総督.
秋	・カルムク自治共和国のかなりの部分がドイツ軍に占領される. (木) ・ドイツ軍チェチェン・イングーシ自治共和国西部を占領. (木)
末までに - 1943 年	・カルムク自治共和国解放される. (木) ・山岳共和国を形成していた 7 民族のうち 4 民族は特に強く反ソ的傾向を見せる. (木)
1943 年 (昭 18)	・沿海地方ではウスリー州が廃止された. (ク - 岡) ・在日朝鮮人人口 188 万 2456 人. (ウイ)
1 月	・チェチェン・イングーシ自治共和国解放. (木)
2 月 2 日	・スターリングラード (現ヴォルゴグラード) でドイツ軍ソ連軍に敗退. (ウイ)
10 月	・日本学徒出陣. 陸軍特別志願臨時採用規則 (陸軍省令) (ウイ)
10 月 14 日	・ソ連人民会議でカラチャイ自治州に居住するすべてのカラチャイ人を強制移住させるための命令. (李愛)
10 月 25 日	・洪範図将軍カザクスタンのクズル・オルダで死去 (75 歳). (在ソ)
末 - 1944 初	・カルムク人この地域から追放, 自治共和国解体. カラチャイ人中央アジア, カザクスタンに強制移住. (木)
1944 年 (昭 19)	・小倉進平, 『朝鮮語方言の研究』 (上・下), 東京: 岩波書店, (上) 514 ページ, (下) 665 ページ [韓国から海賊版が出回る]. ・在日朝鮮人人口 193 万 6843 人. (ウイ) ・ドイツ東部戦線より全面的後退. (ロ) ソ連軍東欧へ進攻. (ロシア) ・小磯国昭総理大臣.
1 月	・朝鮮人, 台湾人学徒出陣. (ウイ)
2 月	・チェチェン・イングーシ自治共和国解消. 住民をシベリアに追放. (木) (李愛)
3 月	・カバルダ・バルカル自治共和国からバルカル人解放,

	カバルダ自治共和国と改称。(木)(李愛)
5月	・赤軍クリミアをドイツ軍から解放, タタル人を中央アジアなどに追放。(木)(李愛)
7月24日	・阿部信行第9代朝鮮総督。
9月1日	・台湾に徴兵制実施。(高木)
9月 - 1945年8月	・日本国民徴用令朝鮮人に適用。(ウイ) ・朝鮮人樺太移住第3段階—徴用。1939年7月に日本政府によって公布された「国民徴用令」が, 1944年9月から朝鮮でも適用され, すべての朝鮮人が動員された者と見なされ, 拒否した場合は裁判にかけられた。(ク - Bok)
9月1日	・台湾に徴兵制実施。(高木)
10月13日	・トゥバ人民共和国ソ連に併合, トゥバ自治州となる。(田)
11月15日	・トルコ語を話すイスラーム教徒であった当時約10万人のメスフ人は秘密の内に中央アジアに強制移住。(木)
- 1945年	・赤軍による東欧解放。ドイツ人, ポーランド人, ハンガリー人, ブルガリア人, ルーマニア人など50万人がシベリアに追放。(木)
1945年(昭20)	・サハリン在住朝鮮人4万3000人。(岸) ・ソ連軍大尉金日成は、平壤駐屯ソ連衛戍司令官補佐官として活動する任務を受け、船で元山に上陸、平壤にやって来た。(ラ) ・在日朝鮮人人口210万人(諸説あり)。(ウイ) ・鈴木貫太郎総理大臣。・東久邇稔彦総理大臣。・幣原喜重郎総理大臣。
2月4日-11日	・ヤルタ会談。(ロ)
2月19日	・ソ連トルコとの友好中立条約破棄を通告。(木)
4月	・河野六郎, 『朝鮮方言学試攷—「鋏」語考』(京城帝国大学文学会論纂第11輯), 京城: 東都書籍株式会社 京城支店, 207+79 ページ [『河野六郎著作集』1, 1979に収録].
5月7日	・ドイツ無条件降伏。(ロ)
6月	・クリミア自治共和国解体。ソ連トルコに対して海峡問題における譲歩と南サムツへを含む領土の要求を行い, 失敗。(木)

8月6日	・アメリカ広島に原爆投下。(高木)
8月8日	・ソ連対日宣戦。満洲侵攻。(ロ)
8月9日	・アメリカ長崎に原爆投下。(高木) ・ソ連樺太武意加の国境警察に砲撃。(ウイ) ・サハリン在住日本人は39万人。[緊急疎開で約10万人が引揚げ。](岸)
－13日	・ソ連軍塔路(シャフチョルスク)港や恵須取(ウグレゴルスク)港,いくつかの飛行場を含めて,南サハリンの多数の軍事目標に爆撃を加える。(ヴィ)
8月11日	・ソ連軍南樺太に侵攻。(ウイ) ・ソ連軍人として鄭尚進,リ・チモフェイらの在ソ朝鮮人が雄基,羅津,清津で日本軍との戦闘に参加。(在ソ)
8月12日	・ソ連軍樺太の幌見峠要塞地区の背後に回り込み,古屯駅攻防戦に突入。(ヴィ)
－13日	・ソ連軍海路より朝鮮の雄基,羅南に上陸。(ウイ)
8月13日	・ソ連軍牡丹江占領。(ウイ) ・ソ連軍清津上陸。(ウイ) ・樺太庁が緊急疎開策を実施。(高木)
8月15日	・日本敗戦。第2次世界大戦終結。朝鮮解放。(在ソ) ・樺太古屯国境での防御戦闘。(ウイ)
8月16日	・ソ連軍樺太の古屯解放。(ヴィ)塔路(シャフチョルスク)近郊に上陸開始。(ヴィ) ・ソ連軍満洲の勃利占領。(ウイ) ・ソ連軍樺太の恵須取(ウグレゴルスク)攻撃。(ウイ)
8月17日	・ソ連軍樺太のドリンナヤ高地をめぐる戦闘に勝利。(ヴィ)
8月17日 －8月18日	・ポロナイスク地区レオニードヴォ(上敷香)で朝鮮人17人がスパイ容疑で警察署に連行され殺害された事件が起きたといわれる。(ク－田中)
8月18日	・ソ連軍樺太の幌見高地の要塞地区をすべて破壊し尽す。日本守備隊の生き残り－3000人以上の将兵－降伏。(ヴィ) ・樺太朝鮮人虐殺事件。(ウイ)[上敷香(レオニードヴォ)で朝鮮人18名スパイ容疑で銃殺。敷香(ポロナイスク)で朝鮮人6名日本人により虐殺。大泊(コルサコフ)で朝鮮人がソ連人に殺される。(高木)] ・カムチャツカ半島のロパトカ岬から千島に対し砲撃開始,

	ペトロパヴロフスク・カムチャツキーから出撃したソ連軍が占守（シュムシュ）島に上陸，日本軍と交戦．（ウイ） ・ソ連軍と日本軍清津で停戦．（ウイ）
8月19日	・リュシュコフを関東軍大連の旅館で銃殺．（V. Kim）
8月20日	・真岡（ホルムスク）郵便電信局事件．（ウイ）ソ連軍真岡に上陸．（ヴィ）
－21日	・樺太瑞穂（チェプラノヴォ）村在郷軍人会元陸軍曹長森下安雄以下20数名が朝鮮人老人，婦人，幼児27名を軍刀，槍，銃で惨殺．（朴）
8月21日	・占守（シュムシュ）島停戦．（ウイ） ・日本政府，朝鮮人徴用工の解除方針を決定．（高木）
8月22日	・樺太でソ日間で停戦協定．（ウイ） ・三船殉難事件．（ウイ）
－23日	・占守（シュムシュ）島の日本軍武装解除．（ウイ）
－23日まで	・樺太の日本人76,000人（少数の朝鮮人女性，子供を含む）が北海道に緊急疎開．同時にソ連軍の監視をかいくぐり密航脱出する者が続出．（高木）
8月24日	・ソ連軍樺太の豊原（ユジュノサハリンスク）占領．（ウイ）
－26日	・ソ連軍千島の幌筵（パラムシル）島，温禰古丹（オネコタン）島，捨子古丹（シャシコタン）島，松輪（マトウア）島，新知（シムシル）島占領．（ヴィ）
8月25日	・ソ連軍樺太の大泊（コルサコフ）上陸．日本人降伏．留多加（アニヴァ）占領．（ヴィ）
8月26日	・ソ連軍松輪（マツワ）島占領．（ウイ）
8月28日	・ソ連軍樺太全島占領．（ウイ）
－29日	・ソ連軍得撫（ウルップ）島占領．（ウイ）
8月29日	・ソ連軍と日本軍満洲で停戦．（ウイ）
8月末	・ソ連軍の北朝鮮進駐に伴い中央アジア朝鮮人12名が第一陣として平壤入り．（半岡 ² ）
9月 －10月	・中央アジア朝鮮人が学歴と政治傾向を基準に128人が選抜され，軍人として北朝鮮に派遣された．彼らは当初は通訳官として働く予定だったが，すぐさま行政機構を統括する幹部要員に回された．（半岡 ² ）
9月1日 －4日	・ソ連軍国後（クナシリ）島，色丹（シコタン）島上陸，制圧．（ウイ）

9月2日	・マカーサー司令官が朝鮮の分割占領を公表。(在ソ)
9月5日	・齒舞(ハボマイ)群島占領。(ウイ)
9月29日	・民生局長D・クリュコフは南サハリンの政治・経済状況に関して次のように報告している。「日本人は閉鎖的で、うわべは忠実で何でもするように見せているが、多くの者はあらゆる手をつくして仕事をさぼり、仕事ぶりも非常にまずい。朝鮮人はより悪質で、仕事を拒否したり、朝鮮へ帰せという要求を掲げて2回、大衆集会を行った。」(ク)
10月	・サハリンの恵須取(現ウグレゴルスク)と知取(現マカロフ)に2つの朝鮮学校が開かれる。(ク) ・金日成は、平壤でソ連将軍によって開かれた群衆大会で、北朝鮮の住民に紹介された。(ラ)
10月20日	・在日朝鮮人連盟結成。(高木)
11月	・アレクセイ・イヴァノヴィチ・ヘガイ(許)中央アジアから北朝鮮に通訳として派遣。(半岡 ²⁾)
12月	・サハリンの恵須取(現ウグレゴルスク)と知取(現マカロフ)の朝鮮人学校7校に増える。(ク)
12月17日	・在日朝鮮人の参政権停止。(高木)
戦後	<p>・どのくらいの朝鮮人が樺太に連れてこられ、かつ残されたか?</p> <p>①N・I・コレスニコフ(サハリンの歴史家)「南サハリンが日本の侵略者から開放されたのち、4万7000人以上の朝鮮民族が残された」</p> <p>②高木健一(日本)「植民地朝鮮から約200万人の若い朝鮮人が強制連行され、そのうち約6万人が樺太に送られた...戦後、約30万人の日本人と4万3000人の朝鮮人が残された」</p> <p>③J・ステファン(アメリカ)「樺太の朝鮮人住民は1940年に2万人に達し、第2次大戦末期には、その2倍になった」</p> <p>④1978年11月の『北海道新聞』は、日本外務省筋のデータとして、「6万人の朝鮮人がサハリンに強制連行され、戦後、当地に残された」と報道した。同新聞は1988年7月、「戦後、4万7000人の朝鮮人がサハリンに残された」と伝えた。</p> <p>樺太庁と第2極東方面軍事会議附属南サハリン民生局のデータによると、40年にわたる樺太時代において、朝鮮人の数は最も多い時で5万人に達したが、戦争末期には2万3500人に減少した。</p>

1945 年 9 月 29 日付の南サハリンの政治・経済状態に関する党中央委員会への報告によれば、南サハリンにいる民族でもっとも多いのは日本人で 35 万 8568 人で、その内訳は男性が 18 万 115 人、女性が 17 万 8453 人、朝鮮人は 2 万 3498 人で、内訳は男性が 1 万 5356 人、女性が 8142 人、北方民族は 812 人、そのほか、ロシア人が 360 人いる。

また、人民委員会と極東軍管区軍事会議の決定に従い、1946 年 4 月から 5 月にかけて作成された地方住民に関する文書も、当時南サハリンにいた朝鮮人の数を約 2 万 3000 人としている。

恵須取（現在のウグレゴルスク）地区では、戦前には 1 万 229 人を数えた朝鮮人が、1945 年 11 月には 5300 人になっていた。（ク）

・朝鮮人学生は 2－8 年生が 1 週間に 2 時間ずつ朝鮮語を学んだ。（在ソ）

・千島列島と南サハリンはハバロフスク地方に編入。（ク- 岡）

1946 年（昭 21）

・ソ連千島樺太領有宣言。（ロ）

・ソ連科学アカデミー民族学研究所は M・G・レヴィンの指導の下に N・P・デヴェツと I・V・ザハロヴァの参与の下に中央アジア地域を踏査し、朝鮮人について人類学的調査を行った。（高）

地区名 (日本時代の名称)	全人口 (人)	内 訳			
		日本人	朝鮮人	中国人	アイヌ人
ユジュノ・サハリンスク（豊原）	4 ,891	38,738	2,1 0	23	--
コルサコフ（大泊）	16,994	13,333	3,605	4	52
アニワ（留多加）	9,252	8,888	363	1	--
ネヴェリンスク（本斗）	22,418	18,715	3,682	21	--
ホルムスク（真岡）	39,696	37,912	1,770	14	--
ドーリンスク（落合）	28,326	24,667	3,570	17	72
マカロフ（知取）	20,255	18,943	1,295	17	--
ポロナイスク（敷香）	14, 10	14,429	279	2	--
トマリ（泊居）	16,628	16,213	403	12	--
ウグレゴルスク（恵須取）	51,153	46,606	4,491	10	46
レソゴルスク（名好）	14,243	13,014	1,229	--	--

	合計	274,566	251,458	22,817	121	170
	<p>(ク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カザクスタンのフルンゼ記念コルホーズの 40 人, 極東コルホーズの 94 人が「1841 - 45 年大祖国戦争での功労」により表彰. (李愛) ・조선어학회, 『訓民正音』 (影印), 서울, 66 페이지. ・文世栄, 『修正増補朝鮮語辞典』, 京城: 永昌書館, 1940 [東京: 在日本朝鮮人連盟中央総本部影印] ・在日朝鮮人人口 64 万 7006 人. 厚生省による在日朝鮮人の登録 (この時登録しない者がいたので 100 万人程いたと書く本もあり). (ウィ) ・吉田茂総理大臣. 					
2 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・GHQ が在日朝鮮人の帰国希望者を登録させるよう日本政府に指令. 同年 3 月 18 日の登録締め切り時に在日朝鮮人総数 64 万 7,006 人中, 帰国希望者は 51 万 4,060 名 (うち北朝鮮希望者 9,701 名) と発表. また 1945 年 8 月~1946 年 3 月に南朝鮮に帰国した数は 94 万 438 名と日本政府が発表. (高木) 					
3 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・GHQ が「引揚げに関する基本的指令」を発令. 在日朝鮮人帰国者の日本再入国を禁止. (高木) 					
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・仙崎, 博多港から在日朝鮮人の計画的輸送始まる. 年末までに 8 万 2,900 名帰国. (高木) 					
5 月 - 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連は北朝鮮との協定に従い, 約 2000 人の朝鮮人を募集し, 主に [サハリンの] 水産業に従事させた. (ク) 					
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・サハリンの日本語の地名をロシア語に変える. (ク) 					
春 - 1948 年春	<ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮から派遣労務者が数多くソ連極東に入ってくる. (朴) 					
夏	<ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮派遣の中央アジア朝鮮人の選抜が再度行われた. (半岡²⁾) 					
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮労働党結成時, 5 つの地方組織のうち 3 つで, また中央委員会の 8 つの部のうち 3 つでソ連系朝鮮人がトップの座についた. (半岡²⁾) 					
8 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連内務省第 196 号指令により, 極東から移住した朝鮮人全員に, その居住地でほかの住民と同様, 居住登録の制限がない新しい国内旅券が発行されることになり, 少なからぬ朝鮮人市民がそのような証明書を受け取った. (ク) 					
9 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・サハリンのウグレゴルスク地区, ネヴェリスク地区, ポロ 					

	ナイスク地区、ユジュノサハリンスク地区に朝鮮人学校各 1 校、レソゴルスク地区とドリンスク地区で各 2 校の計 9 校が開校。（ク）																																																
10 月 3 日	・ 在日朝鮮居留民団結成。（高木）																																																
11 月 3 日	・ 日本国憲法公布。（高木）																																																
11 月 20 日	・ GHQ 帰国しない在日朝鮮人は日本の法律に服従せよと声明。（高木）																																																
11 月 27 日	・ ソ連地区引揚米ソ暫定協定。（高木）																																																
12 月 5 日	・ ソ連地区からの前期集団引揚げ開始。（高木）																																																
12 月 19 日	・ ソ連地区引揚米ソ協定。（高木）																																																
12 月 26 日	・ 北朝鮮、臨時人民委員会決定第 139 号『日本から帰国する朝鮮人民に関する件』公布。（ウィ）																																																
1947 年ごろ	・ サハリン各地に自然に組織された「朝鮮人民会」は非合法組織とみなされ、姿を消してしまった。（朴）																																																
－ 1947 年	・ サハリンに朝鮮人民族学校開校。（朴）																																																
－ 50 年	・ 「ソ連地区引揚げに関する米ソ協定」により日本人のほとんどが樺太から帰還。（岸）																																																
末 － 1948 年	・ 北朝鮮の学校でロシア語を教える民間人教師として中央アジア朝鮮人約 100 人が北朝鮮へ渡った。しかし北朝鮮の人材不足のために、彼らもまた党や国家機関での仕事に回されることが多かった。（半岡 ² ）																																																
－ 1949 年	<div>・ 北朝鮮から 2 万 891 人の労働者と 5174 人の家族がサハリンに来て、1 万 2386 人の労働者と 2009 人の家族が帰国した。（ク）</div> <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="3">入 国</th><th colspan="3">出 国</th></tr><tr><th>合計</th><th>労働者</th><th>家族</th><th>合計</th><th>労働者</th><th>家族</th></tr><tr><td>1946</td><td>7,523</td><td>7,523</td><td>--</td><td>6,595</td><td>6,595</td><td>--</td></tr><tr><td>1947</td><td>6,474</td><td>5,083</td><td>1,391</td><td>--</td><td>--</td><td>--</td></tr><tr><td>1948</td><td>11,888</td><td>8,105</td><td>3, 83</td><td>5,403</td><td>4,113</td><td>1,293</td></tr><tr><td>1949</td><td>780</td><td>180</td><td>--</td><td>2,394</td><td>1,678</td><td>716</td></tr><tr><td>総計</td><td>26,065</td><td>20,891</td><td>5,174</td><td>14,395</td><td>12,386</td><td>2,009</td></tr></table>	年度	入 国			出 国			合計	労働者	家族	合計	労働者	家族	1946	7,523	7,523	--	6,595	6,595	--	1947	6,474	5,083	1,391	--	--	--	1948	11,888	8,105	3, 83	5,403	4,113	1,293	1949	780	180	--	2,394	1,678	716	総計	26,065	20,891	5,174	14,395	12,386	2,009
年度	入 国			出 国																																													
	合計	労働者	家族	合計	労働者	家族																																											
1946	7,523	7,523	--	6,595	6,595	--																																											
1947	6,474	5,083	1,391	--	--	--																																											
1948	11,888	8,105	3, 83	5,403	4,113	1,293																																											
1949	780	180	--	2,394	1,678	716																																											
総計	26,065	20,891	5,174	14,395	12,386	2,009																																											
－ 1950 年	・ ほとんどすべての学校で朝鮮人学生が朝鮮語を勉強した。（在ソ）																																																
1947 年（昭 22）	・ 閣僚会議の決定によって、2 万 2000 人の朝鮮人労働者が〔北朝鮮から〕極東向けに募集され、水産企業の通訳として、カザク共和国から 300 人の朝鮮人を派遣することも決まった。																																																

	<p>(ク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソ連政府は党及び行政事業の経験者・技術者ら 36 人を北朝鮮に派遣した。(在ソ) ・М. Левин, Полевые исследования Института этнографии в 1946 г. 1946 年の民族学研究所のフィールド・ワーク, Советская этнография, Москва, No. 2, сс. 207-212. (高) ・Н. М. Пржевальский プルジェヴァリスキー, Путешествие в Уссурийском крае 1867-1869 гг. 1867-1869 年ウスリー地方旅行, Москва. (高) ・サハリン州交響楽団の付属として朝鮮音楽軽演劇アンサンブルと演劇団創設。(ク) ・カザクスタンのヴォロシーロフ記念コルホーズの 45 人, レーニン記念コルホーズの 49 人, ノーヴァヤ・ジーズニ (新生活) コルホーズの 31 人が「1841 - 45 年大祖国戦争での功労」により表彰。(李愛) <ul style="list-style-type: none"> ・千島から日本人ほぼ全員本土へ引き揚げ。ただし朝鮮籍の住民は日本引き揚げを認められず。(ウィ) ・片山哲総理大臣。
3 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連内務省は再び朝鮮人の自由な移動と極東地区での移住を禁止した。(ク)
5 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本外国人登録令公布。朝鮮半島出身者は外国人とみなし登録義務を課す。同年末現在の在日外国人登録者総数 63 万 9,368 名中, 在日朝鮮人 59 万 8,507 名。(高木)
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連軍北朝鮮から完全撤退。その時に北朝鮮に残留したソ連系朝鮮人は 428 人。(半岡²)
- 1949 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連最高ソヴェト常任委員会が社会主義労働英雄の称号を授与したカザクスタンのカラタル地区の 28 人のうち 25 人が朝鮮人だった。レーニン勲章は 35 人中 31 人, 労働赤旗勲章は 46 人中 41 人が朝鮮人だった。(李愛)
- 1950 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連最高ソヴェト常任委員会が社会主義労働英雄の称号を授与したカザクスタンのカラタル地区の 36 人のうち 28 人が朝鮮人だった。(李愛)
- 1956 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連から抑留者 47 万 3000 人の日本人帰国。(ウィ) 確認された日本人死者 25 万 4000 人, 行方不明, 推定死亡者 9 万 3000 人と推計。(ウィ)

－1957 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 한글학회ハングル学会, “큰 사전大辞典”, 全 6 卷, 서울ソウル: 乙酉文化社, 3684 페지.
1948 年 (昭 23)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北朝鮮で中央委員の 4 分の 1, 政治局員の 3 分の 1 がソ連系朝鮮人だった. 一方国家機構では彼らが表に立つことは少なかった. (半岡²⁾) ・ 芦田均総理大臣. ・ 吉田茂総理大臣.
初頭	<ul style="list-style-type: none"> ・ サハリンの朝鮮人学校は 36 校. (ク)
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ サハリン州朝鮮演劇団を基盤に, 常設劇場を持たない移動劇場が誕生. (ク)
6 月 －8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 党中央とカザク, ウズベク両共和国から 107 人が [サハリンに] 派遣されてきた. こうして戦後の 7 年間に, 知識人や専門家を中心に約 2000 人の朝鮮人がやってきた. (ク)
8 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大韓民国成立. 李承晩大統領.
9 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝鮮民主主義人民共和国成立. 金日成最高指導者.
11 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 極東国際軍事裁判判決. (高木)
末	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソ連軍北朝鮮撤収. (ラ)
1949 年 (昭 24)	<ul style="list-style-type: none"> ・ アレクセイ・イヴァノヴィチ・ヘガイ (許) (朝鮮名허가이 Heo Gai ホ・ガイ) 北朝鮮労働党序列第 3 位にあたる第一書記. (半岡²⁾) ・ 中華人民共和国成立. (ロシア)
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本最高裁が在日朝鮮人は講和条約締結までは日本国籍を有するものとして処遇すべきと見解. (高木)
6 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樺太庁廃止. (権)
8 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユジュノ・サハリンスク市, サハリン州党委員会書記同志メリニク, 内務省サハリン州管理局長同志シェレデグ中将へ「南クリル諸島の位置が日本に近いこと, およびこの国境地域の現状から見て, 国境に接した地区から, あらゆる種類の危険分子を一掃することが急務とされる. とくにこの地域の島の水産企業に応募してきた 986 人の朝鮮人は, さまざまな不満を口にし, 亡命の気配を見せている. このことは彼らがアメリカや日本のスパイ活動に利用される下地があることを示している.」(ク) ・ サハリン州共産党委員会朝鮮語機関紙「レニネ・キルロ (レーニンの道に)」(現「新高麗新聞」) 創刊. (在ソ－劉)
9 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在日朝鮮人連盟に解散命令. (高木)
夏までに	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南サハリンとクリル諸島の日本国民はほとんど引き揚げた.

	しかし「ソ連地区引揚米ソ協定」による引揚げには朝鮮人は含まれていなかった。サハリンでの労働力の不足。(ク)
11 月	・サハリンで朝鮮人劇場。劇場のメンバーはおもに北朝鮮の応募労働者、後にタシュケント演劇芸術大学の卒業生で占められる。(ク)
1950 年 (昭 25)	・サハリンのポロナイスクに朝鮮人師範学校出来る [後にユジュノ・サハリンスクに移る]。(朴) ・Хван Юндюн В. А., Фонетика корейского языка, Москва. V・A・フヴァン (黄)・ユンジュン, 朝鮮語音声学, モスクヴァ.
5 月頃	・サハリンで「朝鮮共産党」事件。朝鮮民族学校教師申正雨他数名により帰国運動の一環としてビラをまいた。首謀者らは 10 年の懲役刑を受けたが、ソ連共産党第 20 回大会後に無罪。申正雨は後に北朝鮮に帰国。(朴)
6 月 25 日	・朝鮮戦争勃発。(ロ)
1950 年代	・カザクスタンのクズル・オルダに朝鮮語放送があったもよう。(高) ・カザクスタンのクズル・オルダでの稲作のヘクタールあたり収穫量 30-35 ツェントネル。(高) ・カザクスタンの北部地域と北西地域の処女地開拓のため 150 万人が移住し、機密の軍事目的で約 15 万人が移住してきた。
初期 - 1957, 1958 年	・若干数のサハリンの先住朝鮮人がソ連国籍を取得した。(朴) ナホトカ駐在朝鮮民主主義人民共和国領事館の、在サハリン朝鮮人(先住朝鮮人や派遣労働者をも含めて)への介入と懐柔工作があった。(朴)
中頃	・北朝鮮ですべての民族解放運動の老兵たちと、地下闘争の参加者たち、そして少しでも有能と思われる人物はすべて粛清の対象となった。(ラ)
中頃から	・ソ連フルシチョフによってスターリンの個人崇拜が清算される。(ラ)
中期	・サハリンで師範学校朝鮮科出身の少壮の教員が続々と赴任してきた。(朴)
まで	・カザクスタン朝鮮人のおもな作物が米から綿花、たまねぎ、スイカなど多様な商業作物栽培へと変わっていった。(李愛)
1951 年 (昭 26)	・北朝鮮で 18 の省で大臣になったソ連系朝鮮人は 2 人のみ、

	<p>ただし次官は 12 の省でのべ 14 人にのぼった。(半岡²⁾)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サハリン州に住む朝鮮人の数として統計上最大のものは 4 万 2900 人であるが、これは北朝鮮から募集で来た人々を加えた数である。(ク) ・サハリンの朝鮮人学校の教師のうち高等教育(大学)を受けた者は 38 人、高等(大学)中退者は 53 人、中等教育を受けた者は 68 人、7 年制中学卒業者は 11 人で、何ら教育を受けていない者も 57 人いた。(ク) ・Г. Рамстедт, Грамматика корейского языка, Москва. [G. J. Ramstedt, "A Korean Grammar", Helsinki: Suomalais-Ugrilaisen Seura, 199 pp., 1939 のロシア語訳] ・А. А. Холодович А・А・ホロドーヴィチ, Корейско-русский словарь 朝露辞典, Москва モスクヴァ.
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・サハリン朝鮮人合計 42,916 人, うち 16 歳以上男性 22,427 人, 女性 10,777 人, 16 歳未満 9,712 ; 水産業 5,410 人, 林業 1,650 人, 石炭業 1,579 人, 製髪業 1,096 人, 商業 441 人, 鉄道運輸 343 人, 家内工業 341 人, 農業 170 世帯, 非就労者 700 人。(ク)
8 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・サハリン州に居住する朝鮮人の数は 4 万 2916 人になっていた。(ク)
9 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・サンフランシスコ講和条約.
10 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本出入国管理令公布。(高木)
10 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日韓予備会談開始。(高木)
1952 年 (昭 27)	<ul style="list-style-type: none"> ・В. А. Хван Юндюн В・А・フヴァン (黄)・ユンジュン, Фонетический строй корейского языка 朝鮮語の音声構造, Москва モスクヴァ。(言) ・ソ連国籍を取得したサハリンの朝鮮人 72 人。(ク) ・サハリンの朝鮮人学校は 87 校. そのうち 50 校は初等学校, 37 校は 7 年制で, 生徒総数は 7000 人。(ク) ・サハリンのポロナISK 市の師範学校の附属として朝鮮語科ができた。(ク) サハリン朝鮮師範学校。(在ソ) ・千島列島での地震と津波の大災害で, 避難民たちのなかにまじっていた数千名の [北朝鮮] 派遣労働者がまた南サハリン (ホルムスク, チェーホフ, ネベリСК (旧本斗), トマリ (旧泊居)) に移ってきた。(朴)
2 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 次日韓会談。(高木)

4 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本法務省民事局長通達により，在日朝鮮人は日本国籍を失ったとされ，出入管理令の対象とされる。（高木）
4 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本外国人登録法公布施行．新しく指紋押捺義務が設定されることになる。（高木）
1953 年（昭 28）	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連朝鮮人居住制限解除．（半岡 1）（在ソ） ・ソ連国籍を取得したサハリンの朝鮮人 120 人．（ク） ・Мазур Ю. Н. Жу・N・マーズル，Становление норм литературного языка в КНДР 朝鮮民主主義人民共和国における標準語の成立，«П. Д. В. », № 1, стр. 116-131. （言） ・Л. Б. Никольский Л・В・ニコリスキー，К вопросу о неопределенных именах существительных в современном корейском языке 現代朝鮮語における不完全名詞によせて，Москва モスクヴァ．（言） ・М. А. Хегай М・А・ヘガイ，Лексические заимствования из русского языка в корейских переводах ロシア語から朝鮮語への借用語，Москва モスクヴァ．（言） ・シベリア鉄道電化開始（2002 年 12 月終了）．（ロシア） ・スターリン没．（ロ）マレンコフ共産党書記局筆頭書記．フルシチョフ国家元首．
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・アレクセイ・イヴァノヴィチ・ヘガイ（許）公式発表では自殺，金日成のしくんだ他殺説．（半岡 2）最も権威のあった許哥耳が殺された．（ラ）
7 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮戦争休戦． ・朝鮮戦争終結後，北朝鮮政府の要請によりソ連は朝鮮人技術者を 30 人北朝鮮に派遣する．（在ソ）
10 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日韓会談決裂．この後 4 年半中断．（高木）
12 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ベéria銃殺．（V. Kim）
1954 年（昭 29）	<ul style="list-style-type: none"> ・カザクスタンの水田 29000 ヘクタール，うち 27500 ヘクタールがクズル・オルダ．（高） ・ソ連国籍を取得したサハリンの朝鮮人 719 人．（ク） ・ニザーミー記念タシュケント教育大学に朝鮮語学科（～1964 年）．（在ソ） ・А. А. Холодович А・А・ホロドーヴィチ，Очерки грамматики корейского языка 朝鮮語文法概要，Москва モスクヴァ，319 стр. [2010 年再版；2009 年菅野裕臣による日本語訳（上）『韓

	<p>国語学年報』第 5 号, 神田外語大学韓国語学会 ; (下)『韓国語学年報』第 6 号, 神田外語大学韓国語学会].</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Ким Бенсу キム・ビョンス, Сказуемое в современном корейском языке 現代朝鮮語における述語, Москва モスクヴァ. (言) ・ Walter Kolarz, The Peoples of the Soviet Far East, London, 194 pp. (高) ・ ロシアはクリミア自治共和国をウクライナに譲渡. (木) ・ 鳩山一郎総理大臣.
- 1956 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ Хан Дык-пон ハン・ドゥクポン, Хван Юндюн В. А. フイヴァン (黄)・ユンジュン V・A, Учебник корейского языка 朝鮮語文法, 1-3, Москва モスクヴァ. (言)
1955 年 (昭 30)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソ連国籍を取得したサハリンの朝鮮人 299 人. (ク) ・ 劉昌惇, 『古語辞典』, 서울 : 東国文化社, 686 페이지.
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北朝鮮の南日外相が日本へ国交正常化を呼びかけ. (ウイ)
4 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本外国人登録に指紋押捺制度を実施開始. (高木)
5 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在日本朝鮮人総連合会結成. (高木)
7 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝鮮総連の主催で「朝鮮人帰国希望者東京大会」が開催される。全国の帰国希望者 415 名、うち東京に 100 名と発表. (ウイ)
1956 年 (昭 31)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 趙明熙名誉回復. (在ソ) ・ 在ソ朝鮮人の公民権回復. (在ソ) ・ ソ連国籍を取得したサハリンの朝鮮人 444 人. (ク) ・ Мазур Ю. Н. Жу・N・マーズル, Учебное пособие по иероглифике 漢字教本, Москва モスクヴァ. (言) ・ Л. Р. Зиндер L・R・ジンデル, Гласные корейского языка 朝鮮語の母音, «Советское востоковедение ソヴェト東洋学», № 3, стр. 91-103. (言) ・ 日ソ国交回復. (ウイ) ・ 日本人妻を持つ韓国・朝鮮人の樺太からの引揚げが可能となる. (高木) ・ 朝鮮共産党創建者朴憲永が、いわゆる「米帝と南朝鮮かいらい一味の雇用スパイ」との名のもとに処刑された. (ラ)

	<ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮で金日成が反対派を粛清、多数の死。（ラ） ・石橋湛山総理大臣。
2月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・第20回共産党大会でフルシチョフがスターリン批判の秘密報告。（ロシア）その中でフルシチョフはスターリンの専制の一例として民族強制移住を取り上げた。しかし朝鮮の強制移住には言及せず。（半岡²）
2月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・日朝両赤十字が平壤で共同コミュニケに調印。（ウィ）
4月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・48人の在日朝鮮人が、北朝鮮在留日本人の帰還船小島丸の往路への便乗を求めて、日本赤十字社前で座り込みを行なう。（ウィ）
4月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日していた赤十字国際委員会の代表が帰国を訴える在日朝鮮人を目撃。翌日より在日朝鮮人問題に関する情報収集を始める。（ウィ）
6月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字社で座り込みを行っていた在日朝鮮人が、イギリスの海運会社バタフィールド・アンド・スワイヤ社所属の船で北朝鮮に渡ることを承諾し、座り込みを解く。（ウィ）
6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮が内閣命令第53号『日本から帰国する朝鮮公民の生活の安定に関して』公布。小島丸での帰国を要求した在日朝鮮人への対応のためといわれる。（ウィ）
7月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字社で座り込みを行っていた在日朝鮮人が、東京を発ち三池に向かう。（ウィ）
7月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国政府の要請により、バタフィールド・アンド・スワイヤ社の湖南号が三池港への寄航を取りやめる。（ウィ）
7月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・赤十字国際委員会が日本・北朝鮮・韓国の赤十字に対して、在日朝鮮人問題を解決するために赤十字国際委員会が貢献することを提案。書簡・覚書の形で翌年まで数次にわたる。（ウィ）
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮労働党総会で公然と金日成に反旗。金日成反対派の粛清を加速。（半岡²）ソ連系朝鮮人キム・スンファ（金承化）（中央党学校校長、建設相）はこの時のクーデター計画のグループの一人だった。（半岡²）キム・スンファ（金承化）はソ連へ戻る。（半岡²）

12 月 6 日	・小島丸への乗船を求めて座り込みした者のうち 20 名がノルウェー船ハイリー号に乗り、門司港、上海経由で北朝鮮に帰国する。（ウイ）
－1957 年	・メスフ人名誉回復，帰還のためにモスクヴァ，トビリシに代表を送ったが，回答なし。（木）
1950 年代後半	・ソ連派 450 人が北朝鮮から引き揚げるが，今も 40 人以上が生死不明。（在ソ）
1957 年（昭 32）	<p>・ソ連国籍を取得したサハリンの朝鮮人 467 人。（ク）</p> <p>・Л. Скалозуб L・スカロズプ, "Сопоставительное описание согласных современных корейского и русского языков..." 現代朝鮮語・ロシア語子音の対照的記述，Киев キエフ</p> <p>・MacDonald, Donald Ross Hazelton, Russian Interest in Korea, to 1895. The Pattern of Russia's Emerging Interest in the Peninsula from the Late Seventeenth Century to the Sino-Japanese War, Cambridge, Massachusetts. (Not published) （高）</p> <p>・岸信介総理大臣。</p>
初	・カラチャイ・チェルケス自治州回復。（木）
1 月 9 日	・カルムク自治州回復．カバルダ・バルカル自治共和国回復．（木）
3 月 31 日	・小島丸への乗船を求めて座り込みした者の残り 2 名が日本漁船に乗り、北朝鮮の清津港に到着する。（ウイ）
4 月 9 日	・最高裁判所軍事法廷はアフナーシー・アルセーニエヴィチ・キムを無罪と認めた。（在ソ）
10 月	・第 19 回赤十字国際会議がインドのニューデリーで開かれる。各国の赤十字に離散家族への注意を喚起するとともに、「あらゆる手段を講じて、これらの大人及び子供が、その意思に従い、幼少の子供にあっては、何処に居住するとを問わず、家長と認められる人の意志に従って、その家族と再会することを容易ならしめる」責任を課すことを、決議第 20 として採択する。（ウイ）
－58 年	・サハリンで朝鮮人学校中学科を卒業した少なからぬ生徒たちが、北朝鮮へ民族的向学心に燃えて帰国して行った。一方

	では、この時期に朝鮮人学校を卒業した先住朝鮮人の子弟の青年たちが、ソ連本国に進学していった。（朴）
- 59 年	・日本人の樺太からの帰還再開。（岸）後期集団引揚げ。（高木）
- 60 年	・樺太から 2294 人が帰国。内訳は日本人が 592 人、朝鮮人が 442 人で、彼らの子供が 1260 人であった。（ク）
1958 年（昭 33）	<p>・「帰還韓国人会」運動開始。その後「樺太帰還在日韓国人会」改称。（高木）</p> <p>・ Вопросы корейского и китайского языкознания 朝鮮語学及び中国語学の諸問題, Ленинград レニングラード。（言）</p> <p>・ Ф. В. Мальков F・V・マリコフ, Морфология предикативных прилагательных в корейском языке 朝鮮語における形容詞述語の形態論, Москва モスクヴァ。（言）</p> <p>・ Г. А. Пак G・A・パク, Морфологические особенности слов в корейском языке 朝鮮語における単語の形態論的特殊性, «Вопросы корейского и китайского языкознания 朝鮮語学及び中国語学の諸問題», Ленинград レニングラード, стр. 99-117.（言）</p> <p>・ Г. Е. Скалзуб G・E・スコロズуп, Шумные смычные согласные в современном корейском языке 現代朝鮮語におけるシュー音閉鎖子音, «Вопросы корейского и китайского языкознания 朝鮮語及び中国語の諸問題», Ленинград レニ 9 ングラード。（言）</p> <p>・ Ф. З. Ким F・Z・キム, Звуковой состав корейского языка в XV в, и создание письма Хунмин чоным 15 世紀における朝鮮語の母音構成と訓民正音の創造, Москва モスクヴァ。（言）</p> <p>・ А. А. Холодович A・A・ホロドーヴィチ, О проекте реформы корейской орфографии 1948 г. 1948 年の朝鮮語正書法改革案について, «Вопросы корейского и китайского языкознания 朝鮮語学及び中国語学の諸問題», Ленинград レニングラード。（言）</p>
2 月 6 日	・第 4 次日韓会談で韓国が請求権など 4 委員会を設置。（高木）

6月26日 -7月6日	・長崎県大村入国者収容所（現・大村入国管理センター）で北朝鮮帰国希望者がハンガー・ストライキを行なう。（ウィ）
7月14日 -15日	・金日成、ソ連代理大使 V・I・ペリシェンコと会談。金日成が在日朝鮮人受け入れの意思を示すとともに、ソ連に支援を求める。（ウィ）
7月25日	<p>・サハリン州に居住する無国籍朝鮮人に関して閣僚会議（議長 N・フルシチョフ）決定：</p> <p>一、ロシア共和国閣僚会議に次のことを義務づける。</p> <p>①1958 年中にサハリン州勤労者代議員ソヴェト執行委員会を通じ、サハリン州に居住する無国籍朝鮮人に対し、ソ連国籍取得申請の権利を説明する作業を行う。ソ連国籍取得を希望する者の申請書は、ロシア共和国最高会議幹部会で審査する。</p> <p>②北朝鮮国籍の取得を希望する無国籍朝鮮人と、無国籍のままであることを希望する無国籍朝鮮人の名簿を、ソ連外務省と内務省に提出する。</p> <p>二、当作業のあと、北朝鮮国籍の取得を希望する無国籍朝鮮人の名簿を北朝鮮大使に提出することを、ソ連外務省に許可する。</p> <p>この作業で、ソ連国籍取得希望者は 1008 人、北朝鮮国籍取得希望者は 6346 人、ク国籍のままであることを希望する者は 1 万 5909 人と判明した。抽出調査によると、無国籍のままを希望した者の 63%は、その理由をあきらかにしなかった。（ク）</p>
7月29日	・カルムク自治共和国回復。チェチェン・イングーシ自治共和国回復（木）
8月11日	・神奈川県川崎市の朝鮮総連分会が金日成首相（当時）に帰国を嘆願する手紙を送ることを決議。集団的な帰国運動の嚆矢と位置づけられている。（ウィ）
9月8日	・金日成が在日朝鮮人の帰国を歓迎する旨言明。（ウィ）
9月16日	・南日が「在日朝鮮公民の帰国問題と関連して」との声明を発表。
10月	・在日朝鮮人には生活保護を受ける者が多く 8 万 1 千人、在日朝鮮人全体の 13.3%とされる。これは日本人受給者の需給比 1.8%を異常に上回っていた。（ウィ）
10月16日	・北朝鮮の金一第一副首相が帰国問題に関連した談話

	を発する。その中で帰国に要する船を用意することを明言。（ウィ）							
11 月 17 日	・ 在日朝鮮人帰国協力会が結成される。（ウィ）							
－ 1960 年	・ サハリンで 5011 人がソ連国籍を取得。内訳は無国籍の朝鮮人が 4067 人，北朝鮮市民が 715 人，そして無国籍の日本人が 229 人であった。（ク）							
－ 1961 年	・ 大半のソ連系朝鮮人が北朝鮮から出国し，ソ連の中央アジアに戻っていった。（半岡 ² ）							
1959 年（昭 34）	共和国	朝鮮人人口			%朝鮮人全体の数字			
		1959	1970	1979	1959	1970	1979	
	ロシア	91445	101369	97649	29.1	28.3	25.1	
	ウズベク	138453	147538	163062	44.1	41.3	41.9	
	カザク	74019	81598	91984	23.6	22.8	23.7	
	クルグズ	3622	9404	14481	1.2	2.6	3.7	
	タジク	2365	8490	11179	0.7	2.4	2.9	
	テュルク	1919	3493	3105	0.7	1.0	0.8	
	メン							
	その他	1912	5615	7466	0.6	1.6	1.9	
	（言）							
	・ ソ連朝鮮人の母語分布（国勢調査による比率）（言）							
	共和国	母語と見なす						
		朝鮮語を				ロシア語を		
		1959	1970	1979	1989	1959	1970	1979
	ロシア	81.5	66.8	45.2	36.2	18.2	33.0	54.5
	ウズベク	81.8	73.5	62.1	55.7	18.2	26.4	37.7
	カザク	74.2	64.0	56.0	51.7	25.7	35.9	43.8
	クルグズ	68.8	64.5	54.6	33.7	31.1	35.3	45.3
	タジク	70.5	68.6	58.2	54.6	29.4	31.3	41.7
	テュルクメン	67.0	73.0	51.0	55.3	32.8	26.8	48.9
	その他	79.3	68.6	55.4	49.4	20.5	31.3	44.4
	・ ウズベク共和国朝鮮人の母語としての朝鮮語（ソ連国勢調査による％）（言）							
		1959		1970		1979		
		全体		全体		全体		
	全共和国	138453	81.8	147538	73.5	163062	62.1	

	男	68400	80.1	72180	72.4	80024	60.8		
	女	70053	83.3	75358	74.6	83038	63.4		
	都市	44112	72.9	85417	67.9	117327	59.5		
	農村	94341	85.9	62121	81.3	45735	68.8		
・ ソ連都市，農村の母語による分布（言）									
共和国	母語と見なす								
	朝鮮語を			ロシア語を			他の言語を		
	1959	1970	1979	1959	1970	1979	1959	1970	1979
I. 都 市									
ロシア	80.7	65.1	44.2	19.1	34.8	55.6	0.2	0.1	0.2
ウズベク	72.9	67.9	59.5	27.0	32.1	40.3	0.1	--	0.1
カザク	68.0	59.7	53.2	31.9	40.2	46.7	0.1	0.1	0.1
クルグズ	58.3	59.7	52.0	41.4	40.1	47.9	0.3	0.2	0.1
タジク	65.5	66.7	64.6	34.5	33.3	44.3	--	--	0.1
テュルクメン	62.0	67.0	52.4	38.0	32.7	47.5	--	0.3	0.1
その他	74.0	64.2	52.8	25.9	35.7	47.1	0.1	0.1	0.1
II. 農 村									
ロシア	83.0]	72.7	50.5	16.5	26.9	48.8	0.5	0.4	0.7
ウズベク	85.9	81.3	68.8	14.0	18.7	31.1	0.1	--	0.1
カザク	81.9	75.6	67.9	17.9	24.1	31.8	0.2	0.3	0.2
クルグズ	52.0	75.7	73.1	47.9	20.3	26.7	0.2	--	0.2
タジク	79.4	85.6	81.0	20.3	14.2	18.8	0.3	0.2	0.2
テュルクメン	91.5	88.2	45.6	8.0	11.8	53.8	0.4	--	0.6
その他	84.3	77.9	64.7	15.5	21.9	34.9	0.2	0.2	0.4
・ 朝鮮人人口（単位：千人）：ソ連全体 313.7（100%），ロシア 91.4（29.3%），ウズベキスタン 138.5（44.1%），カザクスタン 74.0（23.6%）[カザクスタン全体の 0.8%]，クルグズスタン 3.6（1.1%），タジキスタン 2.4（0.8%），テュルクメニスタン 1.9（0.6%）。（李愛）									
・ ソ連朝鮮人の都市人口の割合 48.3%。（在ソ - 劉）									
・ 朝鮮劇場ウシュトベからクズルオルダに移る。（高）									
・ Мазур Ю. Н. Жу・N・マーズル, Учебник корейского языка 朝鮮語教科書, 1-2, Москва モスクヴァ。（言）									
2 月 16 日	・ 北朝鮮が内閣決定第 16 号『日本から帰国する朝鮮公民の歓迎に際して』決定。（ウィ）								

2 月 13 日	・ 日本政府が在日朝鮮人の北朝鮮帰還に関する閣議了解を行なう。（ウィ）																																
5 月 28 日	・ 柳韓国大使が在日朝鮮人の帰還事業を武力で阻止する旨申し入れ。（ウィ）																																
6 月 15 日	・ 韓国が帰還事業への対抗として対日通商断交を明。（ウィ）																																
8 月 13 日	・ インドのカルカッタにて、日本赤十字社の葛西副社長、朝鮮赤十字会の李一卿副社長との間で「日本赤十字社と朝鮮民主主義人民共和国赤十字会との間における在日朝鮮人の帰還に関する協定」（カルカッタ協定）が結ばれる。（ウィ）																																
12 月 10 日	・ 第 1 次帰国団を運ぶための専用列車が品川駅を出発。（ウィ）																																
12 月 14 日	・ 第 1 次帰国船が新潟港を出港。（ウィ）																																
12 月 16 日	・ 第 1 次帰国船が清津港に入港。（ウィ）1984 年までに 93,340 人が北朝鮮へと渡り、そのうち少なくとも 6,839 人は日本人妻や子といった日本国籍保持者だった。（ウィ）																																
- 1961 年	・ サハリンからの北朝鮮への帰国者は 5096 人で、その内訳は成人が 3066 人、子供が 2030 人であった。多くの者が帰国を拒否した。（ク）サハリン西海岸地方では、少なくない先住朝鮮人が北朝鮮に帰国した。特に朝鮮民族学校中学卒業の生徒の大半が大学進学を目指して帰国した。（朴）																																
- 1966 年	・ クズル・オルダ州では 2389 人からなる 142 のグループの 2 - 8 年生が、アルマ・アタ州では 2284 人の生徒からなる 109 のグループが、タシュケント州では 227 のグループに属する 7149 人の生徒が母語教育を受けた。（在ソ）																																
- 1989 年	<table><tr><td>・ 朝鮮人の使用言語（％）。（李愛）</td></tr><tr><td></td><td>1959 年</td><td>1970 年</td><td>1979 年</td><td>1989 年</td></tr><tr><td>朝鮮語</td><td>79.3</td><td>68.6</td><td>55.4</td><td>47.2</td></tr><tr><td>ロシア語</td><td>20.5</td><td>31.3</td><td>44.4</td><td>49.9</td></tr><tr><td>その他</td><td>0.2</td><td>0.1</td><td>0.2</td><td>2.9</td></tr></table> <table><tr><td>・ 少数民族の使用言語（％）。（李愛）</td></tr><tr><td></td><td>1959 年</td><td>1970 年</td><td>1979 年</td><td>1989 年</td></tr><tr><td>民族語</td><td>87.6</td><td>87.0</td><td>85.6</td><td>82.8</td></tr></table>	・ 朝鮮人の使用言語（％）。（李愛）		1959 年	1970 年	1979 年	1989 年	朝鮮語	79.3	68.6	55.4	47.2	ロシア語	20.5	31.3	44.4	49.9	その他	0.2	0.1	0.2	2.9	・ 少数民族の使用言語（％）。（李愛）		1959 年	1970 年	1979 年	1989 年	民族語	87.6	87.0	85.6	82.8
・ 朝鮮人の使用言語（％）。（李愛）																																	
	1959 年	1970 年	1979 年	1989 年																													
朝鮮語	79.3	68.6	55.4	47.2																													
ロシア語	20.5	31.3	44.4	49.9																													
その他	0.2	0.1	0.2	2.9																													
・ 少数民族の使用言語（％）。（李愛）																																	
	1959 年	1970 年	1979 年	1989 年																													
民族語	87.6	87.0	85.6	82.8																													

	ロシア語	12.4	11.5	13.0	11.4
	その他	0	1.3	1.4	5.8
1960 年 (昭 35)	<p>・キム・スンファ (金承化) 「19 世紀末から 20 世紀初頭のロシア極東の朝鮮人農民」で博士候補. (半岡²⁾)</p> <p>・ソ連の公式発表では水田 95000 ヘクタール. (高)</p> <p>・Мазур Ю, Н. Жу・N・マーズル, Корейский язык 朝鮮語, Москва モスクヴァ. (言)</p> <p>・Л. Б. Никольский L・B・ニコリスキー, Из истории становления национального литературного языка в Корее 朝鮮における民族標準語成立の歴史抄, «Проблемы востоковедения 東洋学の諸問題», № 6, стр. 115-133. (言)</p> <p>・Ф. З. Ким F・Z・キム, Принципы построения корейских графем 朝鮮文字建設の原則, «Вопросы языкознания 言語学の諸問題», Москва モスクヴァ, № 4, стр. 85-96. (言)</p> <p>・Р. Ш. Джарылгасинова ジャルルガシノヴァ, Культура и быт корейцев совхоза "Раушан" Кунградского района Кара-Калпакской АССР カラカルパク自治ソヴェト社会主義共和国クングラト地区の朝鮮人ソフホーズ「ラウシャン」の文化と習慣, Краткие сообщения Института этнографии, Москва, сс 54-63. (高)</p> <p>・北朝鮮과학원 언어 문학 연구소 사전 연구실 科学院 言語文学研究所, «조선말 사전 朝鮮語辞典», 1:ㄱ - ㄴ, 평양平壤: 과학원 출판사 科学院出版社, 819 페이지 [1962 年日本影印].</p> <p>・南広祐, 『고어사전(古語辞典)』 서울ソウル: 東亜出版社, 553 페이지.</p> <p>・1960 年の第 9 次帰国船で北朝鮮に渡り、1963 年に停泊中の日本船に密航して日本に戻った金鍾国は、船内では白いご飯がおかわり自由で、肉・魚・野菜がふんだんに使われた食事が供されたことや、菓子や煙草はいくらでも取って構わなかったと手記に書いている。これに対し、同時期に帰国船に乗り、1994 年に脱北して韓国に亡命した鄭箕海は、帰国船の食事は、後から思えば北朝鮮ではご馳走だったが、ご飯も肉もすえた匂いがして食べる気がしなかったと記した。(ウイ)</p> <p>・池田勇人総理大臣.</p>				

4月16日	・北朝鮮が内閣命令第19号『日本から帰国した技術者及び企業家の事業条件と生活活動を積極保障することに対して』決定。(ウイ)
4月19日	・韓国で四月革命。李承晩大統領が退陣。(ウイ)
5月6日	・第4次日韓会談中断。(高木)
	・韓国尹潽善大統領。
秋	・サハリンから北朝鮮に帰国した学生2名がサハリンに戻る。数年後にソ・中・朝国境を越境逃亡し、途中で射殺されたり、凍傷にかかったり、北朝鮮に護送されるなどの事件が起きた。(朴)
1960年代	<p>・カザクスタンのクズル・オルダでの稲作のヘクタールあたり収穫量50ツェントネル。(高)</p> <p>・中央アジアを訪れた韓国人の手記によれば、中央アジア朝鮮人の一般生活、服装、食生活は基本的に朝鮮と変わらない。(高)</p> <p>・モスクヴァと平壤の間に、敵対性がきわめて悪化。(ラ)</p>
中頃	・ソ朝関係は再び好転し始める。(ラ)
－まで	・朝鮮人民族学校存続。(ロシア)
末期 －1970年代初期	・ナホトカ朝鮮総領事がサハリン州共産党第一書記レオノフに、サハリンに居住する朝鮮公民を一つの地区に集団居住させること、朝鮮公民を先進労働者・技術者として表彰しないことを請願した。第2の点は実行される。(朴)
－1970年代	・カザクスタンの朝鮮人コルホーズは急激に減少し、朝鮮人は大挙して都市に移り住むようになった。(李愛) [1970年－1999年「カザクスタン朝鮮人の都市・農村人口比」参照]
1961年(昭36)	<p>・Е. К. Гусева Е・К・グーセヴァ, Система видов в современном корейском языке 現代朝鮮語におけるアスペクト体系, Москва モスクヴァ。(言)</p> <p>・А. Г. Васильев А・G・ヴァシーリエフ, Инфинитив на -ki в современном корейском языке 現代朝鮮語における体言形 -ki, «Ученые записки ЛГУ Ленинград国立大学紀要», №294, Ленинград レニングラード, стр. 163-188。(言)</p> <p>・Мазур Ю, Н. Ju・N・マーズル Ju・N・マーズル, Структура слова в корейском языке 朝鮮語における単語の構造, «Корейский язык: сборник статей 朝鮮語論集», Москва Мос</p>

	<p>クヴァ, стр. 114-148. (言)</p> <p>・ Г. А. Пак G・A・パク, Словообразование на базе изобразительных слов 擬声擬態語を基礎とする造語, «Корейский язык: сборник статей 朝鮮語論集», стр. 182-201. (言)</p> <p>・ Л. Р. Концевич L・R・コンツエーヴィチ, Природа фонетической длительности гласных-монофтонгов корейского языка 朝鮮語の単母音の音声的長さの性質, «Корейский язык: Сборник статей 朝鮮語論集», Москва Москвва, стр. 30-62. (言)</p> <p>・ И. В. Васильев I・V・ヴァシリエф, К вопросу о количестве гласного в современном корейском языке 現代朝鮮語の母音の質についての問題によせて, «Archiv Orientalní», 28, стр. 368-398.</p> <p>・ 北朝鮮과학원 언어 문학 연구소 사전 연구실科学院言語文学研究所, «조선말 사전朝鮮語辞典», 2 권 - 口, 평양平壤:과학원 출판사科学院出版社, 774 페이지; 3 권 - 入, 973 페이지 [1962 年日本影印].</p> <p>・ 北海道アイヌ協会を北海道ウタリ協会と改称. (ウイ)</p>
5 月 16 日	<p>・ 韓国軍事クーデター. (ウイ)</p>
1962 年 (昭 37)	<p>・ カザクスタンにおけるカザク人の人口は最低の 29% にまで低下した. (李愛)</p> <p>・ О. Ким О・キム, О языке корейцев СССР ソ連朝鮮人の言語について, Илмий асарлари, Ташкентский государственный университет им. В. И. Ленина タシュケント国立大学論文集, Тошкент, 1962, вып. 202, сс. 162-167. (言)</p> <p>・ Мазур Ю, Н. Ju・N・マーズル, Склонение в корейском языке 朝鮮語の格変化, Москва Москвва. (言)</p> <p>・ Мазур Ю, Н. Ju・N・マーズル, Ф. В. Никольский F・V・ニコリスキー, Форма слова и словосочетания в современном корейском языке 現代朝鮮語における単語と単語結合の形, «Труды XXV Международной конгрессии востоковедов 第 25 回国際東洋学会議論集», V, стр. 285-290. (言)</p>

	<p>・ Г. Е. Рачков G・E・ラチコフ, Предельные глаголы в современном корейском языке 現代朝鮮語における限界動詞, «Филология стран Востока 東方諸国フィロロロジー(Ученые записки ЛГУ Ленинградского государственного университета 306)», стр. 32-45.</p> <p>・ 北朝鮮과학원 언어 문학 연구소 사전 연구실科学院言語文学研究所, «조선말 사전朝鮮語辞典», 4 스 - 엇, 평양平壤:과학원 출판사科学院出版社, 945 페이지; 5 코 - 짜, 883 페이지; 6 토 - 게, 660+4 페이지 [1963 年日本影印] .</p> <p>・ 北朝鮮과학원 언어 문학 연구소 사전 연구실科学院言語文学研究所, «조선말 사전朝鮮語辞典», 상 ㅏ - ㅓ, 평양平壤:과학원 출판사科学院出版社, 2566 pp. [日本東京影印] .</p>
11 月 28 日	<p>・ サハリン・トマリ（泊居）在住の許照が州民警署より日本が入国許可するならソ連からの出国を許可するとの回答を得る．しかし日本政府は「国籍喪失」を理由に旅券発給を拒否．また永住を目的とする日本への渡航を認めないとの見解を示す．（高木）</p>
1963 年（昭 38）	<p>・ «뽉라르나야 즘베즈다폴랴르나야・즈ヴ예즈다（北極星）» 코르호즈で朝鮮人 2,045 名, 우즈베크人 1,708 名.（高）</p> <p>・ А. А. Холодович А・А・ホロドーヴィチ, О предельных и неопредельных глаголах (по данным корейского и японского языков) 限界動詞と非限界動詞(朝鮮語と日本語を例として), «Филология стран Востока: Сборник статей 東方諸国フィロロロジー論文集», Ленинград Ленинград, стр. 3-11.（言）</p> <p>・ Л. Б. Никольский L・B・ニコリスキー, Об употреблении корейских падежных окончаний 朝鮮語格語尾の用法について, «Краткие сообщения Института народов Азии アジア諸民族研究所簡報», Москва 모스크바.（言）</p> <p>・ Г. Е. Рачков G・E・ラチコフ, Категория времени глагола в современном корейском языке 現代朝鮮語における動詞テンスの範疇, Ленинград Ленинград.（言）</p> <p>・ А. Г. Васильев А・G・ヴァシーリエフ, Субстантивированный инфинитив на -m в корейском языке 朝鮮語における体言形 -m, «Сборник статей 論文集», Ленинград, стр. 12-31.（言）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ю. В. ИONOBA, У корейцев Средней Азии 中央アジアの朝鮮人のもとで, Краткие сообщения Института этнографии 民族学研究所簡報, XXXVIII, Москва, сс. 23-34. (高) ・ Корейцы 朝鮮人, Народы Средней Азии и Казахстана 中央アジアとカザクスタンの諸民族, Москва, II, сс 564-580. (高) ・ 北朝鮮과학원 언어 문학 연구소 사전 연구실科学院言語文学研究所, «조선말 사전朝鮮語辞典», 하 스 - 계, 평양平壤:과학원 출판사科学院出版社, 2567-5054 pp. [日本東京影印]. ・ 中ソ論争開始. (ロシア) ・ 韓国朴正熙大統領.
5 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ サハリン州執行委員会はソヴェト政府の指令にもとづき, 朝鮮人学校を一般のロシア共通の学校に再編成する決定を下した. それは, サハリンの 9 地区で 7000 人にのぼる生徒が学ぶ民族集団としての朝鮮人学校を完全に解体することを意味した. ポロナISK 師範学校付属朝鮮語科も閉鎖された. (ク)
1964 年 (昭 39)	<ul style="list-style-type: none"> ・ В. Н. Дмитриева V・N・ドミートリイェヴァ, ЗалогИ в современной литературном корейском языке 現代朝鮮標準語におけるヴォイス, Москва МОСКВА. (言) ・ А. Г. Васильев А・G・ヴァシリイェフ, Конструкции с видовыми глаголами в корейском языке 朝鮮語におけるアスペクト動詞の構造, «Вопросы грамматики языков стран Азии Азия諸国語文法研究», Ленинград ЛЕНИНГРАД, стр. 19-25. (言) ・ 小倉進平著, 河野六郎補注, 『増補補注朝鮮語学史』, 東京, 677+51+235 ページ. ・ 劉昌惇, 『李朝語辞典』, 서울:延世大学出版部, 830 페지 ・ 佐藤栄作総理大臣.
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ タシュケントでメスフ人集会. (木)
5 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソ連最高会議幹部会命令はメスフ人の問題を認める. (木)
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国原子力院放射線医学研究所が在韓被爆者調査を実施. 1965 年初めに調査結果発表, 広島 164 人, 長崎 39 人, 計 203 人. (高木)
8 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソ連最高会議幹部会命令はソヴェト・ドイツ人に対するあらゆる不公平な断罪を廃す. (木)

10 月 14 日	・フルシチョフ解任. プレジュネフ共産党第一書記（後に書記長）に就任.（在ソ）
- 1965 年	・サハリンで朝鮮人民族学校閉校.（朴）その後サハリン朝鮮人社会での一切の民族行事は禁止され, 二・三世にはソ連式教育の普及が徹底し, 民族言語も公的にも家庭内でも消滅する方向に追いやられている.（朴）
1964, 1965 年まで	・サハリンでソ連系朝鮮人の先住朝鮮人に対する差別・侮辱行為はこの頃まで続いた.（朴）
1965 年（昭 40）	<p>・キム・スンファ（金承化）『ソ連朝鮮人概史』, アルマ・アタ.（半岡²） Ким Сын Хва, Очерк по истории советских корейцев, Алма-Ата, 251 с.（高）</p> <p>・Ким, Нам Сек, М. Хегай, Учебник корейского языка, Для 3-4 классов, Ташкент, 175 с. 김남석, 허가이 엠, 조선어 교과서. 朝鮮語教科書, タシュケント.（高）</p> <p>・М. А. Хегай М・А・ヘガイ, О морфологии русских заимствований в корейском языке 朝鮮語におけるロシア語の借用語の形態論について, «Народы Азии и Африки» アジア・アフリカ諸民族, № 5, стр. 151-154.（言）</p> <p>・サハリンのソ連国籍取得者 98 人.（ク）</p> <p>・北朝鮮の体制が梗塞し始める.（ラ）</p>
1 月 4 日	・サハリン・トマリ（泊居）在住の金永培が州民警署より日本が入国許可するならソ連からの出国を許可するとの回答を得る. 同回答はサハリン内に広まり, 日本への帰還希望者の書信が多数在日韓国人会のもとに届く.（高木）
5 月 22 日	・民団広島本部が韓国へ被爆者実態調査団を派遣. 韓国政府, 韓国赤十字などに実態調査を要望.（高木）
6 月 7 日	・ソ連最高会議幹部会議長ミコヤンはヴォルガ河中下流沿岸地方ドイツ人代表団との会談でその功績を認める.（木）
6 月 22 日	・日本国と大韓民国との間の基本関係に関する条約（日韓基本条約）が調印される.（ウィ）
8 月 1 日	・大韓赤十字社が在韓被爆者実態調査の受付を行う. 総数 462 名（うち死亡 8 名）.（高木）
10 月 4 日	・日本政府がサハリン残留韓国人の日本人妻 2 人に対し個別引揚げのための「未帰還日本人証明書」を発給.（高木）
12 月 17 日	・日本出入国管理特別法公布.（高木）

1966 年 (昭 41)	<ul style="list-style-type: none"> ・ А. Г. Васильев А・G・ヴァシリイェフ, Об одном типе неэлементарных предложений в корейском языке 朝鮮語における非基本文の 1 つのタイプについて, «Исследования по филологии стран Азии и Африки アジア・アフリカ諸国語文学研究», стр. 26-31. (言) ・ Р. Ш. Джарылгасинова Жарлугашнов, К вопросу о культурном сближении корейцев Узбекской ССР с соседними народами (Традиционное и новое в хозяйстве и материальной культуре)ウズベク・ソヴェト社会主義共和国の朝鮮人の近隣諸民族との文化的接近の問題によせて (経済と物質文化における伝統的なものと新しいもの), Советская этнография (ソヴェト民族学), Москва, No. 5, сс 54-63. (高) ・ サハリンのソ連国籍取得者 88 人. (ク) <ul style="list-style-type: none"> ・ クリミア・タタル人は 13 万人以上が署名した「名誉回復と自治共和国の回復と現地帰還を求める請願書」を提出. (木)
1 月 17 日	・ 日韓法的地位協定発効. (高木)
6 月までに	・ サハリン残留韓国人 (無国籍, ソ連籍, 北朝鮮籍) 1744 世帯 6924 名中, 韓国永住希望者 1410 世帯 5348 名, 日本永住希望者 334 世帯 1578 名. (高木)
8 月 23 日	・ 日本政府がカルカッタ協定の延長を今回のみとし、1 年後に在日朝鮮人の北朝鮮帰国申請の受理を打ち切ることで閣議了解. (ウイ)
1967 年 (昭 42)	<ul style="list-style-type: none"> ・ サハリンのソ連国籍取得者 82 人. (ク) ・ ХОН, Гимун 洪起文. Иероглифическое письмо. Корейский язык 漢字. 朝鮮語/ Пер. с кор.- М.: Изд-во Воен. ун-т иностр. яз. (?).
7 月 10 日	・ 韓国で社団法人韓国原爆被害者援護協会発足. (高木)
8 月 12 日	・ 日本赤十字社が在日朝鮮人の北朝鮮帰国申請の受理を締め切る. (ウイ)
8 月 25 日 - 9 月 23 日	・ 日朝両赤十字社によるモスクワ会談。決裂. (ウイ)
9 月	・ 北朝鮮でベネズエラの詩人アリ・ラメラがいっしょに働いていた一外国人とともに逮捕 [1974 釈放]. (ラ)
9 月 5 日	・ ソ連最高会議幹部会命令によってクリミア・タタル人の名誉回復. (木)

11 月 27 日—	・ 日朝両赤十字社による北朝鮮帰国のためのコロンボ会談開始。（ウイ）
11 月 4 日	・ 韓国被爆者 20 人が在韓日本大使館（ソウル）に保証要求デモ。（高木）
1968 年（昭 43）	<p>・ Р. Ш. Джарылгасинова <i>Жарлугашинова, Традиционное и новое в семейной обрядности корейцев Северной Азии</i> 中央アジア朝鮮人の家庭の慣習における伝統的なものと新しいもの, <i>История, археология и этнография Средней Азии</i> 中央アジアの歴史, 考古学, 民族学, Москва. (高)</p> <p>・ サハリンのソ連国籍取得者 129 人. (ク)</p>
1 月 24 日	・ 日朝両赤十字社による北朝鮮帰国のためのコロンボ会談が決裂。（ウイ）
1 月 21 日	・ 韓国青瓦台襲撃未遂事件。（ウイ）
2 月 29 日	・ 日本赤十字社新潟センターが廃止される。（ウイ）
3 月 31 日	・ 国際赤十字の特別代表団が日本から撤収。（ウイ）
4 月	・ 6000 人のメスフ人タシュケント付近で集会。（木）
5 月 20 日	・ 日本で原子爆弾被爆者に対する特別措置に関する法律公布（施行は同年 9.1）.（高木）
5 月 30 日	・ 7000 人のメスフ人トビリシで集会. 共産党第 1 書記にグルジアへの入植を認めさせる.（木）
8 月	・ 朴魯学らが作成したサハリン「帰還希望者名簿」が韓国政府から日本政府, さらにソ連政府へと提出され, 外交交渉の一資料とされる.（高木）
8 月 6 日	・ ソウルで第一回韓国原爆犠牲者慰霊祭.（高木）
10 月 2 日	・ 原爆症治療のため密入国した孫貴達逮捕. 同年 11.4. 懲役 6 ヶ月, 執行猶予 2 年の判決（山口地裁. 同年 11.8. 強制送還）.（高木）
12 月 21 日	・ 韓国京釜高速道路漢南 IC-水原 IC (22.4km) 開通（大韓民国初の高速道路）.（ウイ）
1969 年（昭 44）	<p>・ В. Н. Дмитриева V・N・ドミートリエヴァ, <i>Отрицательные предложения в современном корейском языке</i> 現代朝鮮語における否定文, «Вопросы языка и литературы (МГИМО)言語及び文学の諸問題（モスクヴァ国立国際関係大学）», № 3(1), стр. 103-124.（言）</p> <p>・ サハリンのソ連国籍取得者 118 人.（ク）</p> <p>・ 朝鮮劇場クズル・オルダからアルマ・アタへ.（高）</p>

2月14日	・観光ヴィザで来日した韓国被爆者2名に対し日本厚生省は被爆者手帳公布を拒否。(高木)																																												
12月10日	・大韓航空機YS-11ハイジャック事件。(ウィ)																																												
までに	・サハリンのソ連国籍取得者6414人。(ク)																																												
1970年(昭45)	・Т. Г. Бугаева Т・G・ブガーイエヴァ, Классификаторы в корейском языке 朝鮮語における分類詞, «Лингвистические исследования 言語研究», Ленинград レニングラード, стр. 337-370. (言)																																												
	・Р. Ш. Джарылгасинова Жарлугашнова, К характеристике современной антропонимической модели корейцев, проживающих в сельских районах Узбекской ССР ウズベク・ソヴェト社会主義共和国の農業地区に住む朝鮮人の現在の人名学的特徴によせて, Ономастика Средней Азии 中央アジア地名学, Москва, сс 203-205. (高)																																												
	・朝鮮人人口:ウズベク共和国147,538名(都市57.9%;農村42.1%), カザク共和国81,598名(都市73.9%;農村26.9%) [カザクスタン全体の0.6%], クルグズ共和国9,404名(都市63.9%;農村36.1%), タジク共和国8,490名(都市89.8%;農村10.2%), テュルクメニスタン共和国3,493名(都市71.7%;農村28.3%)。ロシア連邦共和国内の朝鮮の人口:サハリン35,396, ハバロフスク19,249, 沿海州8,003, ロストフ4,966, カバルダ・バルカル自治共和国3,773, 北オセチア自治共和国2,521, カムチャトカ2,484, コリヤーク民族管区276. (高)																																												
	・中央アジア諸共和国の朝鮮人人口(高):																																												
	1) カザク共和国																																												
	<table><tr><th>州</th><th>全人口</th><th>都市居住人口</th><th>農村居住人口</th></tr><tr><td>クズル・オルダ</td><td>13,429(100%)</td><td>10,279(76.5%)</td><td>3,150(23.5%)</td></tr><tr><td>カラガンダ</td><td>13,391(100%)</td><td>12,811(96.7%)</td><td>580(4.3%)</td></tr><tr><td>タルドゥ・クルガン</td><td>12,514(100%)</td><td>6,251(50.0%)</td><td>6,236(50.0%)</td></tr><tr><td>チムケント</td><td>9,862(100%)</td><td>6,669(67.6%)</td><td>3,193(32.4%)</td></tr><tr><td>ジャンブル</td><td>8,228(100%)</td><td>6,003(74.1%)</td><td>2,135(25.9%)</td></tr><tr><td>アルマ・アタ市</td><td></td><td>6,908</td><td></td></tr><tr><td>アルマ・アタ</td><td>4,391(100%)</td><td>599(13.6%)</td><td>3,792(86.4%)</td></tr><tr><td>グリエフ</td><td>2,988(100%)</td><td>2,644(86.5%)</td><td>344(11.5%)</td></tr><tr><td>クスタナイ</td><td>2,730(100%)</td><td>2,359(86.4%)</td><td>371(13.6%)</td></tr><tr><td>ツェリノグラード</td><td>1,872(100%)</td><td>1,499(80.1%)</td><td>373(19.9%)</td></tr></table>	州	全人口	都市居住人口	農村居住人口	クズル・オルダ	13,429(100%)	10,279(76.5%)	3,150(23.5%)	カラガンダ	13,391(100%)	12,811(96.7%)	580(4.3%)	タルドゥ・クルガン	12,514(100%)	6,251(50.0%)	6,236(50.0%)	チムケント	9,862(100%)	6,669(67.6%)	3,193(32.4%)	ジャンブル	8,228(100%)	6,003(74.1%)	2,135(25.9%)	アルマ・アタ市		6,908		アルマ・アタ	4,391(100%)	599(13.6%)	3,792(86.4%)	グリエフ	2,988(100%)	2,644(86.5%)	344(11.5%)	クスタナイ	2,730(100%)	2,359(86.4%)	371(13.6%)	ツェリノグラード	1,872(100%)	1,499(80.1%)	373(19.9%)
州	全人口	都市居住人口	農村居住人口																																										
クズル・オルダ	13,429(100%)	10,279(76.5%)	3,150(23.5%)																																										
カラガンダ	13,391(100%)	12,811(96.7%)	580(4.3%)																																										
タルドゥ・クルガン	12,514(100%)	6,251(50.0%)	6,236(50.0%)																																										
チムケント	9,862(100%)	6,669(67.6%)	3,193(32.4%)																																										
ジャンブル	8,228(100%)	6,003(74.1%)	2,135(25.9%)																																										
アルマ・アタ市		6,908																																											
アルマ・アタ	4,391(100%)	599(13.6%)	3,792(86.4%)																																										
グリエフ	2,988(100%)	2,644(86.5%)	344(11.5%)																																										
クスタナイ	2,730(100%)	2,359(86.4%)	371(13.6%)																																										
ツェリノグラード	1,872(100%)	1,499(80.1%)	373(19.9%)																																										

2) ウズベク共和国

州	全人口	都市居住人口	農村居住人口
タシュケント	73,349(100%)	130,378(41.4%)	42,971(58.6%)
タシュケント市		18,186	
スル・ダリョ	11,661(100%)	6,585(56.5%)	5,076(43.5%)
カラカルパク	8,958(100%)	7,352(82.1%)	1,606(17.9%)
サマルカンド	7,708(100%)	5,540(71.9%)	2,168(28.1%)
フェルガナ	6,438(100%)	5,396(83.8%)	1,042(16.2%)
ホラズム	6,368(100%)	2,608(41.0%)	3,760(59.0%)
スルハンダリョ	3,666(100%)	1,912(52.2%)	1,765(47.8%)
ナマンガン	3,641(100%)	1,789(49.1%)	1,852(50.9%)
アンディジャン	4,660(100%)	3,135(67.3%)	1,525(32.7%)
ブハラ	2,257(100%)	2,023(89.6%)	373(10.4%)

3) クルグズ共和国

州	全人口	都市居住人口	農村居住人口
フルンゼ市		4,095	
共和国少数区域	3,453(100%)	470(13.6%)	2,983(87.4%)

4) タジク共和国

州	全人口	都市居住人口	農村居住人口
ドゥシャンベ		3,280	
共和国少数区域	2,881(100%)	2,129(73.9%)	752(26.1%)
レニナバード	2,323(100%)	2,213(95.3%)	110(4.7%)

5) テュルクメン共和国

州	全人口	都市居住人口	農村居住人口
タシャウズ	2,536(100%)	1,700(67.0%)	836(33.0%)

・サハリンの朝鮮人総人口 35,400 人。(ク) このうち朝鮮語を母語と考える人は 2 万 8000 人。(ク) 同族内結婚世帯 : 5,996 世帯, 28,930 人 : 2 人 622 世帯, 3 人 1,070 世帯, 3 人 1,070 世帯, 4 人 1,224 世帯, 5 人 1,045 世帯, 6 人 890 世帯, 7 人 579 世帯, 8 人 304 世帯, 9 人 166 世帯, 10 人以上 96 世帯. 異族間結婚世帯 : 665 世帯. 異族間結婚の夫婦の国籍 : ①夫婦の一方がソ連籍で, 他方が北朝鮮国籍 412 世帯, ②夫婦の一方がソ連籍で, 他方が旧北朝鮮国籍 203 世帯, ③夫婦の一方がソ連籍で, 他方が日本国籍 50 世帯. 就労・職業 : サービス業 2,418 人, 教育・文化 1,973 人, 建設業 1,722 人, 林業・製紙

	業 1,384 人, 農業 892 人, 石炭業 737 人, 漁業 650 人, 運輸業 618 人, 石油業 29 人, 社会的に有益な仕事に就いていない 5,200 人, 矯正労働施設にいる 145 人. (ク) ・メスフ人のための自治州を創設するかトルコへの移住を認めるようトルコと国連にアピールを送る. (木)																																																																																													
4 月 22 日	・韓国セマウル運動. (ウィ)																																																																																													
7 月 7 日	・韓国京釜高速道路大田 IC-東大邱 IC 開通. (これをもって全線開通). (ウィ)																																																																																													
後半から	・朝鮮語が学校の教育要綱からなくなる. (在ソ)																																																																																													
12 月 3 日	・原爆症治療のため密入国した孫振斗逮捕. 翌 71.4.30. 懲役 10 ヶ月の判決 (佐賀地裁唐津支部). (高木)																																																																																													
12 月 8 日	・朴鐘碩が日立製作所に対し解雇無効確認を求めて横浜地裁に提訴 (日立就職差別事件). 74.6.19 勝訴. (高木)																																																																																													
12 月 10 日	・韓国で樺太抑留僑胞帰還促進会結成 (その後「中蘇離散家族会」と改称). (高木)																																																																																													
12 月 30 日	・韓国湖南高速道路懷徳 JCT-全州 IC 開通. (ウィ)																																																																																													
- 1989 年	・朝鮮人の言語使用者構成 (%). (李愛) <table><tr><td></td><td colspan="2">1970 年</td><td colspan="2">1979 年</td><td colspan="2">1989 年</td></tr><tr><td>朝鮮語のみ</td><td colspan="2">18.3</td><td colspan="2">7.8</td><td colspan="2">4.3</td></tr><tr><td>第 1 言語ロシア語, 第 2 言語朝鮮語</td><td colspan="2">50.2</td><td colspan="2">47.6</td><td colspan="2">42.9</td></tr><tr><td>第 1 言語朝鮮語, 第 2 言語ロシア語</td><td colspan="2">0</td><td colspan="2">0</td><td colspan="2">0</td></tr><tr><td>ロシア語のみ</td><td colspan="2">31.4</td><td colspan="2">44.4</td><td colspan="2">49.9</td></tr><tr><td>その他</td><td colspan="2">0</td><td colspan="2">0</td><td colspan="2">2.9</td></tr></table> ・少数民族の言語使用者構成 (%). (李愛) <table><tr><td></td><td colspan="2">1970 年</td><td colspan="2">1979 年</td><td colspan="2">1989 年</td></tr><tr><td>少数民族語のみ</td><td colspan="2">50.6</td><td colspan="2">37.2</td><td colspan="2">35.2</td></tr><tr><td>第 1 言語ロシア語, 第 2 言語民族語</td><td colspan="2">36.4</td><td colspan="2">48.4</td><td colspan="2">47.7</td></tr><tr><td>第 1 言語民族語, 第 2 言語ロシア語</td><td colspan="2">2.7</td><td colspan="2">3.2</td><td colspan="2">2.3</td></tr><tr><td>ロシア語のみ</td><td colspan="2">8.8</td><td colspan="2">9.8</td><td colspan="2">6.9</td></tr><tr><td>その他</td><td colspan="2">1.5</td><td colspan="2">1.4</td><td colspan="2">7.5</td></tr></table>											1970 年		1979 年		1989 年		朝鮮語のみ	18.3		7.8		4.3		第 1 言語ロシア語, 第 2 言語朝鮮語	50.2		47.6		42.9		第 1 言語朝鮮語, 第 2 言語ロシア語	0		0		0		ロシア語のみ	31.4		44.4		49.9		その他	0		0		2.9			1970 年		1979 年		1989 年		少数民族語のみ	50.6		37.2		35.2		第 1 言語ロシア語, 第 2 言語民族語	36.4		48.4		47.7		第 1 言語民族語, 第 2 言語ロシア語	2.7		3.2		2.3		ロシア語のみ	8.8		9.8		6.9		その他	1.5		1.4		7.5	
	1970 年		1979 年		1989 年																																																																																									
朝鮮語のみ	18.3		7.8		4.3																																																																																									
第 1 言語ロシア語, 第 2 言語朝鮮語	50.2		47.6		42.9																																																																																									
第 1 言語朝鮮語, 第 2 言語ロシア語	0		0		0																																																																																									
ロシア語のみ	31.4		44.4		49.9																																																																																									
その他	0		0		2.9																																																																																									
	1970 年		1979 年		1989 年																																																																																									
少数民族語のみ	50.6		37.2		35.2																																																																																									
第 1 言語ロシア語, 第 2 言語民族語	36.4		48.4		47.7																																																																																									
第 1 言語民族語, 第 2 言語ロシア語	2.7		3.2		2.3																																																																																									
ロシア語のみ	8.8		9.8		6.9																																																																																									
その他	1.5		1.4		7.5																																																																																									
- 1999 年	・カザクスタン朝鮮人の都市・農村人口比. (李愛) <table><tr><td rowspan="2">年度 州</td><td colspan="2">1970 年</td><td colspan="2">1979 年</td><td colspan="2">1989 年</td><td colspan="2">1999 年</td></tr><tr><td>都 市</td><td>農 村</td><td>都 市</td><td>農 村</td><td>都 市</td><td>農 村</td><td>都 市</td><td>農 村</td></tr></table>										年度 州	1970 年		1979 年		1989 年		1999 年		都 市	農 村	都 市	農 村	都 市	農 村	都 市	農 村																																																																			
年度 州	1970 年		1979 年		1989 年		1999 年																																																																																							
	都 市	農 村	都 市	農 村	都 市	農 村	都 市	農 村																																																																																						

	<p>カザクスタン全体</p> <p>朝鮮人全体</p> <p>アルマトゥ市</p> <p>カラガンダ州</p> <p>クズル・オルダ州</p> <p>ジャンプル州(タラス)</p> <p>南カザクスタン州</p> <p>タルドゥクルガン州</p> <p>アルマトゥ州</p>	<p>50.3</p> <p>73.1</p> <p>--</p> <p>95.7</p> <p>76.5</p> <p>74.1</p> <p>67.6</p> <p>50.0</p> <p>13.6</p>	<p>49.7</p> <p>26.9</p> <p>--</p> <p>4.3</p> <p>23.5</p> <p>25.9</p> <p>32.4</p> <p>50.0</p> <p>86.4</p>	<p>53.5</p> <p>80.4</p> <p>--</p> <p>96.7</p> <p>88.2</p> <p>84.0</p> <p>76.8</p> <p>55.1</p> <p>21.0</p>	<p>46.5</p> <p>19.6</p> <p>--</p> <p>3.2</p> <p>11.8</p> <p>16.0</p> <p>23.2</p> <p>44.9</p> <p>79.0</p>	<p>57.1</p> <p>84.2</p> <p>--</p> <p>97.2</p> <p>91.6</p> <p>85.8</p> <p>84.7</p> <p>61.7</p> <p>30.2</p>	<p>47.9</p> <p>15.8</p> <p>--</p> <p>2.8</p> <p>8.4</p> <p>14.2</p> <p>15.8</p> <p>38.2</p> <p>69.8</p>	<p></p> <p>86.6</p> <p></p> <p>96.6</p> <p>93.0</p> <p>88.0</p> <p>86.6</p> <p></p> <p>59.3</p>	<p></p> <p>13.4</p> <p></p> <p>3.4</p> <p>7.0</p> <p>12.0</p> <p>13.4</p> <p></p> <p>40.7</p>
1970 年代	<p>・カザクスタンで田植えの面積 81300 ヘクタール, 平均収穫量ヘクタールあたり 33.7 ツェントネル. (高)</p> <p>・一, [サハリンの] 北朝鮮市民からソ連国籍を取得したいという請願が増加した. しかし, ほとんどの場合, 北朝鮮政府機関の同意を証明する書類が提示されず, 請願は受理されなかった.</p> <p>二, [サハリンの] 北朝鮮市民の多くが民族身分証明書の起源が切れたとき, 延長や新規取得を拒否し, 無国籍者用の居住許可証を受けた. だが, それには「北朝鮮市民」という但し書きが付き, 外国市民として登録された.</p> <p>三, 定住を目的に北朝鮮に帰国する者は激減した. 一方, 調査によると, 無国籍者の約 7%が, 南朝鮮または日本で暮らすため出国したいと希望した. (ク)</p>								
- 1980 年代	<p>・多数の日本人が極秘裏に北朝鮮に拉致された. (ウィ)</p>								
1971 年 (昭 46)	<p>・콘체비치コンツェーヴィチ (간노 히로오미 역주菅野裕臣訳注), 소련의 한국어학ソ連の韓国語学, “아세아연구亜細亜研究”, 고려대학교高麗大学校, 제 14 권 제 2 호, 187-216 페이지. (言)</p> <p>・이지택イ・ジテク, 시베리아의 3・1 운동シベリアの 3・1 運動, 서울, 월간중앙月刊中央, 1971 년 3 월호, 186-187 페이지. (高)</p> <p>・サハリンから孫致奎が単独帰還. (高木)</p> <p>・鮎貝房之進, 『雑攷 日本書紀朝鮮地名攷』, 831 ページ [韓国に海賊版が出回る].</p>								
8 月 23 日	<p>・韓国実尾島事件. (ウィ)</p>								
9 月	<p>・極東朝鮮公民学習組幹部が北朝鮮を訪問した際, 団長, 副団長が外務部労働党代表にサハリンに民族学校が姿を消した</p>								

	現在，個別的に児童たちに祖国語を教えるための教科書の必要性を伝え援助を要請したが，けんもほろろに断られた。（朴）
1972 年（昭 47）	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連の水田 46 万 2 千ヘクタール。（高） ・현규환ヒョン・ギュファン，재소 한국인의 사적고찰在ソ 韓国人の史的考察，교포정책 자료僑胞政策 No. 13, 서울, 200 pp.（高） <ul style="list-style-type: none"> ・鮎貝房之進，『雑攷新羅王号攷朝鮮国名攷』，452 ページ [韓国に海賊版が出回る]． ・鮎貝房之進，『雑攷俗字攷・俗文攷・借字攷』，924 ページ [韓国に海賊版が出回る]． ・鮎貝房之進，『雑攷花郎攷・白丁攷・奴婢攷』，570 ページに収録 [韓国に海賊版が出回る]． ・日中共同声明発表。（高木） ・田中角栄総理大臣．
2 月 17 日	・ニクソン米大統領訪中。（ウィ）
7 月 4 日	・南北朝鮮共同声明．
10 月 2 日	・孫振斗が被爆者手帳却下処分の取り消しを求める訴訟を福岡地裁に起す。（高木）
1973 年（昭 48）	<ul style="list-style-type: none"> ・『レーニン・キチ』発行部数 1 万 3500 部。（在ソ） ・鮎貝房之進，『雑攷花郎攷・白丁攷・奴婢攷』，568 ページ [韓国に海賊版が出回る]． ・三木武夫総理大臣．
5 月 16 日	・日ソ赤十字会談でソ連赤十字のトロヤン総裁が，サハリン在住朝鮮人帰還問題について，日本政府が彼らの日本居住あるいは日本を経由して韓国帰還を許可するなら，その出国に協力すると発言。（高木）
8 月 8 日	・日本で金大中事件。（ウィ）
8 月 15 日	・モスクヴァ・ユニヴァーシアードに韓国参加．北朝鮮不参加。（在ソ）
1974 年（昭 49）	<ul style="list-style-type: none"> ・Л. Б. Никольский L・B・ニコリスキー，К интерпретации случаев отсутствия падежных форм в корейском языке 朝鮮語における格の形の欠如の場合の解釈によせて，«Исследования по восточной филологии к семидесятилетию профессора Г. Д. Санжеева G・D・サンジエーイエフ教授 70 歳記念東方フィロロジー研究》，стр. 180-184.（言）

	<ul style="list-style-type: none"> ・『前間恭作著作集』上下巻，京都：京都大学国文学会，（上）574+（下）580 ページ[韓国に海賊版が出回る]. ・北朝鮮でラメラ釈放 [1967 年 9 月参照].（ラ）
3 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ・孫振斗が被爆者手帳裁判に勝訴（福岡地裁）.（高木）
4 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国民青学連事件.（ウイ）
7 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国被爆者援護協会会長で自身被爆者の辛泳洙が東京都に被爆者手帳申請. 7.25.手帳公布. 以降，来日した韓国被爆者が次々に手帳を申請.（高木）
8 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・元三菱徴用工朴海君らが三菱重工広島造船所に対して未払い賃金の支払いを要求，三菱側は拒否.（高木）
8 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・文世光事件（陸英修大統領夫人暗殺）.（ウイ）
- 1976 年	<ul style="list-style-type: none"> ・『小倉進平博士著作集』（一）-（四），京都：京都大学国文学会，（一）598（二）+694（三）+698（四）+702+20 ページ [韓国に大量に海賊版が出回る].
1975 年（昭 50）	<ul style="list-style-type: none"> ・И. Д. Скорбатиук I・D・スコルバチューク, Тенденции развития лексики корейского литературного языка 朝鮮標準語語彙の発展の傾向, Москва モスクヴァ.（言） ・И. Д. Скорбатиук I・D・スコルバチューク, Неологизмы в лексике современного языка КНДР 朝鮮民主主義人民共和国語彙における新語, Москва モスクヴァ.（言） ・И. Д. Скорбатиук I・D・スコルバチューク, О демократизации литературного языка в КНДР 朝鮮民主主義人民共和国における標準語の民主化について, Москва モスクヴァ.（言） ・Л. Р. Концевич L・R・コンツェーヴィチ, Из истории лингвистических учений на Востоке 東方における言語学学説抄, «Народы Азии и Африки アジア・アフリカ諸民族», № 4, стр. 114-148.（言）
1 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市営住宅の入居資格から国籍条項を撤廃. 以降，1.20.大阪府営住宅，2.7.大阪市営住宅で定住外国人への入居差別撤廃が相次ぐ.（高木）
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・樺太抑留帰還韓国人会が中心となって，サハリン裁判提訴のための訴訟委任状と経歴書約 60 人分をサハリンから取り寄せる.（高木）
7 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本弁護士会人権委員会が樺太抑留韓国人会より申し立てを受け，人権問題として調査を開始.（高木）

7月17日	・被爆者手帳控訴審判決（福岡高裁）で孫振斗が勝訴。（高木）
8月11日	・日本外務省が朴魯学に対しサハリン残留韓国人のための渡航証明書の発給申請書を2,000部交付。（高木）
9月1日	・日本厚生省が「適法入国なら外国人にも被爆者手帳交付」と広島市の照会に回答。（高木）
12月1日	・樺太残留者帰還請求訴訟（サハリン裁判）を東京地方裁判所に提訴。（高木）
1976年（昭51）	<p>・«Большой корейско-русский словарь»（朝露大辞典）（Л. Б. Никольский ニコーリスキー, Цой Ден Ху チェ・ジョンフ編）,Москва モスクヴァ: «Русский язык», Том I, 811 стр.; Том II, 671 стр.</p> <p>・Ю. Н. Мазур Ju・N・マーズル, Основные вопросы морфологического анализа корейского слова 朝鮮語形態論分析の基本問題, «Вестник МГУ Моスクヴァ国立大学通報: Серия XIV. Востоковедение 東洋学», № 1, стр. 61-67.（言）</p> <p>・福田赴夫総理大臣.</p>
1月22日	・稲葉法務大臣が参議院決算委でサハリン残留朝鮮人問題について「強制連行された人たちについて、日本国が原状回復の形で復帰させることは、道義上の責任として残っている」と発言。（高木）
2月20日	・第1回サハリン裁判. 補佐人として韓国から樺太抑留僑胞帰還促進会の韓栄相会長が出廷し、韓国の留守家族の思いを陳述。（高木）
3月	・日本政府がサハリン残留朝鮮人に対する渡航証明書の発給, 申請書の受理について方針決定。（高木）
3月18日	・サハリンから崔正植が単独帰還。（高木）
春	・ユジュノ・サハリンスク市出入国管理局が朝鮮人の出国希望者, それも南朝鮮への帰国希望者は申請せよという張り紙を出した. 3千人以上の申請者がいたらしい. いつの間にか沙汰ヤミになってしまった. ナホトカ朝鮮総領事館の断固たる異議申し立てのためらしい.（朴）
6月 - 7月	・「ナホトカの4人」事件. ソ連の出国許可を受けた黄仁甲, 白楽道, 安泰植, 姜明壽の4人がサハリンからナホトカに渡ったが, 出国許可期限内に日本政府からの渡航証明書を取得出来ず, サハリンに引き返す（後, 3人はサハリンで死亡）.

	(高木) (朴)
6 月 28 日	・サハリンから金花春が単独帰還。(高木)
1977 年 (昭 52)	<p>・ Ю. Н. Мазур Ju・N・マーズル, Кальки в 文法構造におけるなぞり (日本語と朝鮮語を例として) грамматических конструкциях (на примере японского и корейского языков), «Вопросы японской филологии 日本フィロロジーの諸問題», № 4, стр. 51-59. (言)</p> <p>・ И. Д. Скорбачук I・D・スコルバチューク, Некоторые аспекты выражения форм вежливости в корейском языке 朝鮮語における尊敬形表現のいくつかの局面, «Национально-культурная специфика речевого повеления 言語行動の民族=文化的特徴», Москва モスクヴァ, стр. 306-319. (言)</p> <p>・日本または南朝鮮への出国を求めたサハリンの無国籍朝鮮人 5 家族 40 人を北朝鮮に追放。(ク)</p> <p>・大平正芳総理大臣。</p> <p>・原暉之, 「ロシア革命, シベリア戦争と朝鮮独立運動」。(半岡¹⁾)</p> <p>・菊地昌典編, 『ロシア革命論—歴史の復権—』, 田畑書店, 171-216. (半岡¹⁾)</p> <p>・Хван М. Г., Колхоз "Политотдел" Колхоз "政治部", Москва: «Колос», 126 стр.</p>
1 月 30 日	・シベリア・ノリンスクから張田斗が単独帰還。(高木)
3 月 20 日	・А. А. Холодович А・А・ホロドーヴィチ死去。
8 月 13 日	・12 人の台湾人元日本兵が日本政府に対し, 一律 500 万円の補償を求めて提訴 (東京地裁)。(高木)
9 月 19 日	・久米裕 (53 歳) 北朝鮮に拉致される。(ウィ)
10 月頃	・松本京子 (29 歳) 北朝鮮に拉致される。(ウィ)
11 月 15 日	・横田めぐみ (13 歳) 北朝鮮に拉致される。(ウィ)
1978 年 (昭 53)	<p>・Adami, Norbert, Die Russische Koreaforschung ロシア朝鮮研究: Bibliographie 文献 1682-1974, Wiesbaden. (言)</p> <p>・『レーニン・キチ』新聞社クズル・オルダからアルマ・アタに移転。(高)</p> <p>・田中了 / D・ゲンダーヌ, 『ゲンダーヌ: ある北方少数民族のドラマ』, 東京: 現代史出版会, 303 ページ。</p>

3月2日	・園田直外相が衆院内閣委でサハリン残留朝鮮人の帰還問題で日本に法律的責任以上の道義的、政治的責任があると発言。(高木)
3月30日	・被爆者手帳裁判。最高裁で孫振斗が勝訴の判決。(高木)
4月20日	・大韓航空機銃撃事件。(ウィ)
4月30日	・福岡県が申請時にさかのぼって孫振斗に被爆者手帳交付。(高木)
5月30日	・園田直外相が国連で国際人権規約に署名。(高木)
6月29日頃	・田口八重子(22歳)北朝鮮に拉致される。(ウィ)
7月	・自民党政調会訪韓の際、釜山で韓国被爆者と接触。(高木)
7月7-8日	・地村保志(23歳)、濱元富貴恵(23歳)北朝鮮に拉致される。(2002年10月本人、2004年5月22日娘1人、息子2人帰還)(ウィ)
7月31日	・蓮池薫(20歳)、奥戸祐木子(22歳)北朝鮮に拉致される。(2002年10月本人、2004年5月22日娘1人、息子1人帰還)(ウィ)
8月12日	・増本るみ子(24歳)北朝鮮に拉致される。(ウィ) ・曾我ひとみ(19歳)、曾我ミヨシ(46歳)北朝鮮に拉致される。(2002年10月曾我ひとみ、2007年7月9日夫と娘2人帰還)(ウィ) ・日中平和友好条約調印。中国は賠償請求権を放棄。(高木)
9月24日	・在日朝鮮人公忠君(朝鮮籍)がサハリンを訪問し、肉親と再会。(高木)
1979年(昭54)	・Т. Г. Бугаева Т・G・ブガーイエヴァ, Нумеративы в корейском языке 朝鮮語における分類詞, «Исследования в области этимологии алтайских языков アルタイ諸語語源研究», Ленинград レニングラード, стр. 206-255. (言) ・Л. Р. Концевич L・R・コンツェーヴィチ, Хунмин Чоным 訓民正音, Москва モスクヴァ. (言) ・ソ連朝鮮人の都市人口の割合 78.0%. (在ソ - 劉) ・『レーニン・キチ』発行部数 1万 1000部. (在ソ) ・在ソ朝鮮人人口 38万 9000人. (高)(在ソ) うちウズベク共和国 16万 3千名, カザク共和国 9万 2千名 [カザクスタン]

	<p>全体の 0.6%]. (高)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在ソ朝鮮人 38 万 9000 人のうち 55.4%が朝鮮語を母国語と考え, 44.4%がロシア語を母語としている. また朝鮮人のうち 49.9%ga ソ連内の他の民族語の 1 つを第 2 外国語として駆使することが出来, 2.2%がその他の言語を第 2 外国語とすると言う. (高) 朝鮮人の 92.1%がロシア語をがよく出来るか, ロシア語を母語とする (テュルクメン人の場合 26.4%しかロシア語を解さない). 朝鮮人のロシア語駆使率はユダヤ人 (97.0%), ベムセ人 (96.6%), カレリア人 (95.4%), カライム人 (94.5%), ドイツ人 (94%) に次ぐ. ・Б. Д. Пак 朴, Россия и Корея ロシアと朝鮮, Москва, 303 с. (高)
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・カザクスタンでドイツ自治州設置に反対するツェリノグラード事件起こる. (中)
6 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政府が国際人権規約の一部批准. (高木)
6 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・自民党政調会と韓国民共和党政策委員会の間で, 韓国被爆者に対する初の医療援護の合意書が交わされる. ①韓国医師の日本派遣訓練. ②日本医師の韓国派遣. ③在韓被爆者の渡日治療. (高木)
8 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府八尾市が一般職員の受験資格要件から国籍条項撤廃. (高木)
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ウズベキスタンを訪れた韓国人の手記によれば, 中央アジア朝鮮人の家にはオンドルがあり, 冷麺を好んで食するとある. (高)
10 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・朴正熙大統領、金載圭中央情報部長に射殺される (10・26 事件). (ウイ)
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連アフガニスタンに軍事侵攻. (中)
12 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国統一主体国民会議, 崔圭夏を大統領に選出. (ウイ)
12 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国肅軍クーデター, 全斗煥保安司令官実権掌握. (ウイ)
- 1980 年	<ul style="list-style-type: none"> ・『河野六郎著作集』1-3, 東京: 平凡社 (1) 597+ (2) 560+322+ (3) 448+53 1 ページ [韓国で海賊版が大量に出回る].
1980 年 (昭 55)	<ul style="list-style-type: none"> ・고송무, 제정 러시아에서의 한국어 및 한국 연구, “한글”, 제 169 호, 193-212 페지. (言)

	・ 鈴木善孝総理大臣。
4 月 1 日	・ 韓宗碩が外国人登録に際して指紋押捺拒否の第 1 号。 (高木)
5 月 17 日	・ 韓国非常戒厳令を全国に拡大 (五・一七非常戒厳令 拡大措置)。(ウィ)
5 月 18 日 - 27 日	・ 韓国で戒厳軍、光州で武装した学生・市民と衝突 (光 州事件)。(ウィ)
5 月頃	・ 石岡亨 (22 歳) 北朝鮮によってヨーロッパで拉致さ れる。(ウィ)
6 月頃	・ 原勅晁 (43 歳) 北朝鮮 (辛光洙) によって拉致さ れる。(ウィ)
8 月 27 日	・ 韓国で統一主体国民会議, 全斗煥を大統領に選出。 (ウィ)
10 月 8 日	・ 日韓両国政府間で「在韓被爆者渡日治療実施に関す る合意書」作成。治療期間 2 ヶ月原則, 経費面は治療 費は日本側, 渡航費が韓国側など渡日治療の基本線作 られる。(高木)
11 月 17 日	・ 韓国被爆者 10 人が渡日治療テスト・ケースとして来 日。(高木)
12 月 11 日	・ 原爆被爆者対策基本問題懇談会が園田構成大臣へ意 見書提出。国家補償の見地に立った対策を講ずべきと しながらも, 戦争被害に対する「国民受忍論」を展開, 現行法を追認。(高木)
以降	・ 朝鮮人の韓国への一時, 永住帰国が可能になる。(ロシア)
- 1980 年	・ サハリンで多くの朝鮮人が生産現場や労働組織で優れた能 力を発揮した。(ク)
1980 年代	・ ソ連強制移住の誤りを公式に認める。(半岡 ¹⁾)
中頃から	・ 北朝鮮金正日の威信は落ち始める。(ラ)
1981 年 (昭 56)	・ A. Г. Васильев А・Г・ヴァシリイェフ, Выражение общего и частного вопроса в старокорейском языке 古朝鮮語における 一般的及び個別的疑問の表現, «Ученые записки ЛГУ Ленин градского университета», № 405 (Серия востоковедческих наук 東 方諸科学系 24), стр. 35-39. (言) ・ Harald Haarmann, Aspekte der koreanisch-russischen Zweisprachigkeit. Studien zur Gruppenmehrsprachigkeit der Koreaner in der Sowietunion 朝露 2 言語使用の様相, ソ連朝鮮

	人のグループ多言語使用に関する研究, Hamburg, 214 SS. (高)																																																																																																								
3 月	・中国残留日本人「孤児」47名の第1次肉親探し団が来日。(高木)																																																																																																								
4 月	・全国抑留者補償協会62名が「シベリア強制労働補償訴訟法」を提訴(東京地裁)。(高木)																																																																																																								
6 月 5 日	・難民条約法案国会を通過。出入国管理令改正案成立。(高木)																																																																																																								
7 月 18 日	・日弁連人権委員会が「樺太期間在日韓国人会申立事件第一次調査報告書」発表。(高木)																																																																																																								
9 月 30 日	・東京都が国民年金受給中の孫鎬敬に対し、国籍を理由に受給資格剥奪。(高木)																																																																																																								
11 月 20 日	・サハリン・チェーホフ在住の朴亨柱一家が肉親との再会のための一時訪日(家族再会のためのサハリンからの一時訪日第1号)。(高木)																																																																																																								
12 月 20 日	・渡日治療のための韓国被爆者19人が来日。(高木)																																																																																																								
- 1987 年	・サハリン残留朝鮮人の朝鮮帰国(ク) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年次</th><th rowspan="2">請願 (人)</th><th colspan="2">内 訳</th><th rowspan="2">許可 (人)</th><th colspan="2">内 訳</th><th rowspan="2">拒否 (人)</th><th colspan="2">内 訳</th></tr> <tr> <th>ソ連 市民</th><th>無国 籍・ 外国 市民</th><th>ソ連 市民</th><th>無国 籍・ 外国 市民</th><th>ソ連 市民</th><th>無国 籍・ 外国 市民</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1981</td><td>17</td><td>11</td><td>6</td><td>9</td><td>6</td><td>3</td><td>8</td><td>5</td><td>3</td></tr> <tr> <td>1982</td><td>8</td><td>8</td><td>--</td><td>8</td><td>8</td><td>--</td><td>--</td><td>--</td><td>--</td></tr> <tr> <td>1983</td><td>15</td><td>13</td><td>2</td><td>9</td><td>8</td><td>1</td><td>6</td><td>5</td><td>1</td></tr> <tr> <td>1984</td><td>17</td><td>13</td><td>4</td><td>8</td><td>7</td><td>1</td><td>9</td><td>6</td><td>3</td></tr> <tr> <td>1985</td><td>14</td><td>11</td><td>3</td><td>7</td><td>6</td><td>1</td><td>7</td><td>5</td><td>2</td></tr> <tr> <td>1986</td><td>48</td><td>38</td><td>10</td><td>27</td><td>22</td><td>5</td><td>21</td><td>16</td><td>5</td></tr> <tr> <td>1987</td><td>58</td><td>34</td><td>24</td><td>58</td><td>34</td><td>24</td><td>--</td><td>--</td><td>--</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>177</td><td>128</td><td>49</td><td>126</td><td>91</td><td>35</td><td>51</td><td>37</td><td>14</td></tr> </tbody> </table>									年次	請願 (人)	内 訳		許可 (人)	内 訳		拒否 (人)	内 訳		ソ連 市民	無国 籍・ 外国 市民	ソ連 市民	無国 籍・ 外国 市民	ソ連 市民	無国 籍・ 外国 市民	1981	17	11	6	9	6	3	8	5	3	1982	8	8	--	8	8	--	--	--	--	1983	15	13	2	9	8	1	6	5	1	1984	17	13	4	8	7	1	9	6	3	1985	14	11	3	7	6	1	7	5	2	1986	48	38	10	27	22	5	21	16	5	1987	58	34	24	58	34	24	--	--	--	合計	177	128	49	126	91	35	51	37	14
年次	請願 (人)	内 訳		許可 (人)	内 訳		拒否 (人)	内 訳																																																																																																	
		ソ連 市民	無国 籍・ 外国 市民		ソ連 市民	無国 籍・ 外国 市民		ソ連 市民	無国 籍・ 外国 市民																																																																																																
1981	17	11	6	9	6	3	8	5	3																																																																																																
1982	8	8	--	8	8	--	--	--	--																																																																																																
1983	15	13	2	9	8	1	6	5	1																																																																																																
1984	17	13	4	8	7	1	9	6	3																																																																																																
1985	14	11	3	7	6	1	7	5	2																																																																																																
1986	48	38	10	27	22	5	21	16	5																																																																																																
1987	58	34	24	58	34	24	--	--	--																																																																																																
合計	177	128	49	126	91	35	51	37	14																																																																																																
1982 年(昭57)	・カザクスタンのある朝鮮人コルホーズのヘクタールあたり収穫量75ツェントネル。(高) ・И. Ким, Советский корейский театр, Алма-Ата, 202 с. ソヴェト朝鮮劇場。(高) ・サハリンからの家族再会のための一時訪日者1組1名。(高木)																																																																																																								

	<ul style="list-style-type: none"> ・アンドロポフ国家元首. ・中曽根康弘総理大臣.
1 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・難民条約日本に対し発効. 出入管理及び難民認定法制定. (高木)
5 月 17 日以降	<ul style="list-style-type: none"> ・この年 2 回合計 26 人の韓国被爆者が渡日治療. (高木)
8 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人登録法改正案成立. 登録更新期間 3 年から 5 年へ. (高木)
8 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・国立大学における外国人教員の任用等に関する特別措置法成立. (高木)
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮劇場 50 周年に際して栄誉表彰授与. (在ソ)
12 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日韓議員連盟総会 (於東京) 特別委員会で, 渡日治療に冠する両国代表との話し合いが行われ, 韓国内での専門医療機関建設問題と説こう費用負担問題が議題となる. (高木)
1983 年 (昭 58)	<ul style="list-style-type: none"> ・О. С. Мусаев О · S · ムサーイエフ, Нарния в корейском языке 朝鮮語における副詞, Москва モスクヴァ. (言) ・Л. Д. Скорбачук L · D · スコルバチューク, Языковые различия в КНДР и Южной Кореи 朝鮮民主主義人民共和国と南朝鮮の言語差, «Развитие языков в странах зарубежного Востока 国外東方諸国における言語の発展», Москва モスクヴァ, стр. 140-145. (言) ・김연수, 모스크바, 한국인, 서울, 국풍, 128-160. ・ソ連の米の生産は 300 万トン, そのうち 80 万トン (37.5%) がカザクスタン, 50 万トン (16.6%) がウズベキスタン. (高) ・カザクスタンのある朝鮮人ソフホーズのヘクタールあたり収穫量 41-55 ツェントネル, アバイ記念ソフホーズで 90 ツェントネル. (高) ・カザクスタンの田植えの面積 13 万 4 千ヘクタールのヘクタールあたり収穫量 47.5 ツェントネル. (高) ウズベキスタンでの平均収穫量 48-50 ツェントネル. (高) ・이문웅 이 · ムヌン, 중앙 아시아 한인사회에 있어서의 민족예술 활동에 관한 고찰 中央アジア韓人社会における民族芸術活動に関する考察, 동아연구 東亜研究, 제 2 집, 서울, 163-187 페이지. (高) ・ウズベクの綿花汚職摘発始まる. (中)

春	・金日成ソ連訪問。(ラ)
2月1日	・日弁連が「サハリン残留朝鮮民族の故郷帰還実現への協力要請」を関係機関へ送付。(高木)
4月1日	・公立小・中・高校教員は日本国籍が必要と政府閣議が見解。(高木)
4月6日	・日本法務省が外国人の帰化者に母国名の使用をはじめて承認。(高木)
4月9日	・ソ連サハリン沖で大韓航空機を撃墜。
4月10日	・ラングーン爆弾テロ事件。韓国の副総理ら死亡。
4月25日以降	・3回計69人の韓国被爆者の渡日治療実施。(高木)
6月21日	・『レーニン・キチ』通巻1万号。(在ソ)
7月頃	・有本恵子(23歳)北朝鮮によってヨーロッパで拉致される。(ウィ)
7月16日	・日本法務省が帰化使命は本人の意思を尊重と通達。(高木)
7月25日	・サハリンを訪問した草川昭三衆議院議員が、サハリン州当局が「サハリン在住韓国人と留守家族の若干名が今年中に東京で再会できるように便宜を図る」と発言したと報告。(高木)
8月5日	・韓国原爆被爆者協会が中曽根首相宛て、国家補償に基づく特別立法案の援護策をはじめ、渡日治療の拡大、韓国に原爆病院建立等6項目の要望書を提出。(高木)
10月20日	・国民年金裁判で金鉉鈞に勝訴判決(東京高裁)。(高木)
1984年(昭59)	<p>・「レーニン・キチ」に載った「朝鮮人の料理法」を見ても、基本的に朝鮮の料理と違いがないようだ。두부, 설렁탕, 국수, 명태국, 명태어채, 명태 만두, 고자전, 명란젓, 명태젓, 명태전, 명태산적, 명태잡채, 명태식혜, 창란식혜, 된장, 김치等。김치의材料としては배추, 무우, 고춧가루, 소금, 파, 생강, 새우젓, 생굴, 미나리, 낙지, 조기젓等があり、基本的に朝鮮と同じである。(高)</p> <p>・朝鮮劇場の団員は100名。うち70名以上が高等教育を受けている。(高)</p> <p>・サハリンからの家族再会のための一時訪日者3組4名。(高木) 3家族3名。(ク)</p> <p>・チェルネンコ国家元首。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 고송무 (高松茂), “쏘련 중앙아시아의 한인들” (ソ連中央アジアの韓人たち), 서울: 한국국제문화협회 (韓國國際文化協會), 243 페이지, 1984. ・ 한로관계 100 년사韓露關係 100 年史, 서울: 한국사연구협의회韓國史研究協議會, 376 쪽. (高) ・ 北朝鮮合弁企業法. (ラ) ・ 北朝鮮「申フィルム」映画撮影所. (ラ)
2 月 6 日 以降	・ 5 回にわたって計 88 人の韓国被爆者の渡日治療実施. (高木)
2 月 23 日	・ 中国残留韓国人の墓参について安倍晋太郎外相が仲介することを明らかにしたと新聞報道. (高木)
5 月 16 日	・ 카자크共和国ラジオ放送局が朝鮮語放送開始(週 1 時間)(在ソ) (高)
5 月 18 日	・ 父母両系主義の国籍法改正. 国会を通過(施行は 1985 年 1 月 1 日). (高木)
8 月 12 日 - 13 日	・ 東京でシンポジウム「いま, サハリン残留韓国人の帰国問題を考える」開催. (高木)
9 月 8 日	・ クズル・オルダに洪範図の銅像を建立. (在ソ)
12 月 21 日	・ 内閣官房長官の私的諮問機関・戦後処理問題懇談会が報告書を出し, 「もはやこれ以上国において措置すべきものはない」と述べる. (高木)
1985 年 (昭 60)	<ul style="list-style-type: none"> ・ サハリンからの家族再会のための一時訪日者 5 組 6 名. (高木) (ク) ・ ゴルバチョフ国家元首. ペレストロイカ, グラスノスチ推進. (半岡²⁾) ・ 劉孝鐘, 「極東ロシアにおける朝鮮民族運動—『韓国併合』から第一次世界大戦の勃発まで—」, 『朝鮮史研究会論文集』(22), 135-166. (半岡¹⁾)
3 月 27 日 以降	・ 5 回にわたって計 58 人の韓国被爆者の渡日治療実施. (高木)
9 月	・ 니ザー미記念タシュケント師範大学に朝鮮語兼ロシア語教員養成の学科復活. (在ソ)
12 月 16 日	・ 第 45 回サハリン裁判で原告の一人李致明の志望判明. (高木)
1986 年 (昭 61)	・ А. А. Холодович А・А・ホロドーヴィチ, Материалы по грамматике корейского языка XV века 15 世紀朝鮮語資料,

	<p>АН СССР ソ連科学アカデミー, Институт востоковедения 東洋学研究所. (言)</p> <p>・ А. В. Вовин А・V・ヴォヴィーン, О древнекорейско-древнеяпонских связях 古代朝鮮語=古代日本語の関係について, «Народы Азии и Африки アジア・アフリカ諸民族», № 5, стр. 98-102. (言)</p> <p>・ А. А. Холодович А・A・ホロドーヴィチ (Л. Р. Концевич L・R・コンツェーヴィチ編集), Материалы по грамматике корейского языка XV века 15世紀朝鮮語文法資料: Фонетика 音声学, приложения 付録 АН СССР Институт востоковедения ソ連科学アカデミー東洋学研究所. Предварительные публикации Отдела языков. Выпуск 5, 68 стр. Выпуск 6 – Морфология 形態論. Приложения 付録, 64 стр. (言)</p> <p>・ 장흥권, 러시아와 소련에서의 조선어 학습 및 연구, “조선어어문”(중국 연길), 제 3 호, 40-44.</p> <p>・ サハリン, ソ連本土からの家族再会のための一時訪日者 28組 50名. (高木) 13家族 20名. (ク)</p> <p>・ モーロトフ死去. (V. Kim)</p>
1月15日	<p>・ ソ連のソロメンツェフ政治局員(党統制委員長)宛て日本対外文化協会松前重義会長の書簡に対し, ソ連がサハリン在住朝鮮人に対して出国する場合があると回答してきた, と新聞報道. (高木)</p>
1月16日	<p>・ ソ連のシェワルナゼ外相が日ソ外相定期協議(東京)でサハリン在住朝鮮人の出国問題について前向き発言. (高木)</p>
2月22日	<p>・ 安倍晋太郎外相が衆院予算委でサハリン在住朝鮮人の出国問題について日ソ外相会談ほか日ソ協議でソ連の協力を求めていくと発言. また小林法務相入国管理局長も, ソ連が受け入れるならば, ソ連と国交のない韓国に代わり旅券に準ずる再入国許可書発行の便宜を図る方針をはじめて表明. (高木)</p>
3月13日	<p>・ 北朝鮮に拉致されていた映画監督・申相玉、女優・崔銀姫、オーストリアから米国に脱出. (ウィ)</p>
4月18日	<p>・ 辛泳洙韓国原爆被爆者協会会長, 日弁連人権擁護委員会へ「韓国在住被爆者の補償と救済についての申立書」を提出. (高木)</p>
4月26日	<p>・ チェルノーブイリ原子力発電所事故. 以降グラスノ</p>

	スチ（情報公開）を中心にペレストロイカが進展。（在ソ）
5月31日	・ソ連のシェワルナゼ外相が日ソ外相会談（モスクヴァ）でサハリン在住朝鮮人の出国問題につき北朝鮮の反対がある以上前向きになれないと後退姿勢示す。（高木）
7月21日	・中国残留韓国人の韓国一時帰郷が軌道に乗り，同年は400人を越えそうと新聞報道。（高木）
8月7日 －12日	・日弁連が在韓被爆者調査研究特別委員会（高木健一委員長）を結成．国内調査に続いて調査団（4人）が訪韓，調査活動を行う。（高木）
10月	・同特別委員会「在韓被爆者問題第一次報告書」作成．日韓両政府に提出．渡日治療の継続を要請．（高木）
11月6日	・ソ連政府がソ連邦改正出入国規制の追加条項を発表（発効は87.1.1.）．（高木）
11月10日	・在韓被爆者問題で日本外務，厚生両省の担当者が訪韓．日韓双方で渡日治療についての最終的な詰めを行うが，韓国側は渡日治療打ち切りの行こう．（高木）
11月20日	・5年の期限で進められてきた韓国被爆者の渡日治療が事実上打ち切り，入院患者合計349名．（高木）
12月	・カザク共和国でアルマトゥ事件起こる．（中）
1987年（昭62）	<ul style="list-style-type: none"> ・곽충구, “노한 소사전”의 국어학적 가치, “관학어문 연구” (서울대), 제12권, 27-63. (言) ・『レーニン・キチ』発行部数9600部．（在ソ） ・サハリン州で10年制中学校の選択授業に朝鮮語を再開．（在ソ） ・サハリン，ソ連本土からの家族再会のための一時訪日者13組21名．（高木）28家族51名．（ク） ・竹下登総理大臣． ・Songmoo Kho, “Koreans in Soviet Central Asia”, Helsinki: Societas Orientalis Fennica, 262 pp. ・“Koreans in the Soviet Union”, edited by Dae-Sook Suh (徐大肅), Honolulu: the Center for Korean Studies, University of Hawaii, 138 pp. ・劉孝鐘, 「極東ロシアにおける10月革命と朝鮮人社会」, 『ロシア史研究』(45), 23-51. (半岡¹⁾) ・董玩, 金鶴秀, 『露韓辞典』, ソウル: 主流, 1248 ページ.

5 月 27 日	・サハリン裁判傍聴のため来日した中蘇離散家族会の辛斗勲会長ら韓国の留守家族 6 名が国会議員に協力要請。(高木)
6 月	・韓国政府、渡日治療打ち切り後の国内治療対策を打ち出す。①韓国赤十字、保健社会部、韓国原爆不買者協会の 5 人による診療登録審査委員会を構成、②医療保険点数適用。本人負担 10%、国負担 90%、③一人最高、国の負担額が 60 万ウォン、超過した分は本人負担。(高木)
7 月 17 日	・サハリン残留韓国・朝鮮人問題議員懇談会設立。超党派の衆参合計 170 名の議員が参加。(高木)
8 月 23 日 - 9 月 4 日	・サハリン議員懇の五十嵐広三事務局長が訪ソ、ログャチョフ外務次官らに協力要請。(高木)
9 月	・ユジュノ・サハリンスク市の数校で朝鮮語の授業再開。北朝鮮から教師らが来島し、支援した。(ク)
9 月 18 日	・議員立法により「台湾住民である戦没者の遺族に対する弔慰金等に関する法律」が成立。台湾人元日本兵の遺族と戦傷病者に一人 200 万円の弔慰金支給決定(1988 年度予算より)。(高木)
10 月 15 日	・最高会議幹部会議長グロムイコを長とする特別委員会はクリミア・タタル人に関する是正策を決定したが、居住制限はやむをえないというもの。(木)
11 月 1 日 - 4 日	・サハリン議員懇の原文兵衛会長が訪ソ、ログャチョフ外務次官らに協力要請。(高木)
11 月 2 日	・ゴルバチョフ書記長、革命 70 周年演説。党中央委員会政治局に復権問題の検討委員会設置。(在ソ)
11 月 29 日	・ビルマ沖上空で大韓航空機爆破事件。
11 月 30 日	・韓国原爆被爆者協会代表ソウルの日本大使館を訪れ、日本政府に対して 23 億ドルの補償要求を行う。(高木)
1988 年 (昭 63)	・『レーニン・キチ』創刊 50 周年に際して人民親善勲章授与。(在ソ) ・サハリン州居住朝鮮人総人口 35,000 人、 <u>国籍構成</u> ：ソ連国籍(ソ連市民)約 32,000 人、無国籍 2,621 人、北朝鮮国籍(北朝鮮市民) 456 人; <u>年齢構成</u> ：16 歳以下約 10,000 人、17 - 30 歳 8,800 人、31 - 50 歳 12,200 人、50 歳以上 4,000 人； <u>家族構成</u> ： <u>同族内結婚世帯</u> 7,669 世帯(内訳) 2 人家族 1,603 世帯、3

	<p>人家族 2,081 世帯, 4 人家族 1,805 世帯, 5 人家族 798 世帯, 6 人家族 247 世帯, 7 人家族 86 世帯, 8 人以上家族 49 世帯, 異族間結婚世帯約 2,000 世帯. <u>教育程度</u>: 初等教育 5,228 人, 不完全中等教育 7,279 人, 完全中等教育 10,619 人, 中等専門教育 3,113 人, 高等 (大学) 中退 249 人, 高等 (大学) 1,905 人; <u>職業</u>; (ク) 商業, 公共外食 1,901 人, 生活サービス 1,841 人, 国民教育・文化 1,815 人, 建築業 1,613 人, 製紙・林業 1,273 人, 石炭業 1,651 人, 農業 904 人, 漁業 883 人, 公益事業 764 人, 軽・食品工業 623 人, 運輸業 495 人, 石油業 226 人. (ク) ・ Ю. Н. Мазур Ju・N・マーズル, Л. Б. Никольский L・B・ニコリスキー, Русско-корейский словарь 露朝辞典, Москва モスクヴァ: «Русский язык», 501 стр.</p> <p>・ Русско-корейский, Корейско-русский словарь 露朝・朝露辞典, Москва モスクヴァ: «Русский язык», Пхеньян 平壤: «Наука и Энциклопедия», 900 стр. [1989 年ソウル: 白衣から影印刊行].</p> <p>・ 신승권, 한소 문화 및 학술교류 증진을 위한 연구, 성남, 일해 연구소, 38 쪽.</p> <p>・ サハリンに常住する北朝鮮市民と無国籍の朝鮮人は, 居住許可証の有効期限内であれば何回でも自由に島内を往来できるようになった. (ク)</p> <p>・ サハリン, ソ連本土からの家族再会のための一時訪日者 53 組 134 名. (高木)</p> <p>・ アゼルバイジャン共和国ナゴルノ・カラバフ自治州でアルメニア共和国への帰属を要求する運動が活発化. (ロシア)</p> <p>・ 韓国盧泰愚大統領.</p>
2 月	<p>・ アゼルバイジャンのスムガイトでアゼルバイジャン人とアルメニア人が衝突. ナゴルノ・カラバフ問題が暴力化. (中)</p>
3 月 20 日 - 22 日	<p>・ 在韓被爆者の援護問題を考えるシンポジウム東京で開催. (高木)</p>
5 月 20 日	<p>・ 在韓被爆者問題市民会議発足. (高木)</p>
5 月 24 日	<p>・ 「平和祈念事業特別基金等に関する法律」公布. シベリア抑留者に慰労金 (国債で 10 万円) ほか. (高木)</p>
5 月 30 日	<p>・ 戦後初の日本政府在韓被爆者調査団 (団長: 渋谷治</p>

	彦外務相アジア局参事官) 韓国を訪問。(高木)
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・サハリン議員懇から 4 名の国会議員代表団がソ連モスクヴァ、サハリンを訪問(原文兵衛団長)。肉親再会のため訪日するサハリン在住朝鮮人が韓国を訪問できるよう呼びかけ。(高木) ・ソウル・オリンピック開催。
6 月 28 日 - 7 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・第 19 回党協議会。「民族間関係について」の決議で自治領域を持たない民族の民族的文化的要求に言及。(在ソ)
7 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・盧泰愚韓国大統領、社会主義との関係改善を盛り込んだ 7・7 宣言発表。(在ソ)
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ナホトカ北朝鮮総領事館代表が始めてサハリンの朝鮮語新聞社を訪ね、当時の朱筆金コンスタンチンに、朝鮮語新聞社がソウル・オリンピックの記事を載せないように頼み込んでいる。(朴) ・サハリンから韓元洙が日本経由で韓国へ永住帰国。(高木)
8 月 - 1989 年末	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮語新聞「レーニン・キチ(レーニンの旗)」では朝鮮人強制移住をめぐって活発な紙上討論が展開され、当事者の回想や調査報告が次々と発表された。また粛清された朝鮮人幹部の復権も進んだ。(半岡²⁾)
8 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ユジュノ・サハリンスク市で日本からの解放記念日。北朝鮮から代表団。(ク)
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ユジュノ・サハリンスク国立教育大学に朝鮮語科開設。(ク) ・キーロフ記念カザク総合大学記者学部に朝鮮班開設。(在ソ)
9 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・フルシチョフ書記長、クラスノヤルスクで演説(対韓経済関係改善の可能性。極東経済特区構想)。(在ソ)
9 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ソウル・オリンピック。(在ソ) ・ソ連選手として在ソ朝鮮人もソウル・オリンピックに参加。(在ソ)
9 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・肉親との面会のためサハリンとソ連本土から訪日していた金徳順、宋圭永らが韓国を訪問。(高木)
10 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・エストニアで「人民戦線」正式結成。以後各地で民族運動。共和国主権の宣言等活発化。(在ソ)
12 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ・タシュケントのナヴォイー記念文学博物館に趙明熙コーナー開設。(在ソ)
1989 年(昭 64 /	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連国勢調査。朝鮮人全ソ 43 万 9000 (100%)。うちウズベ

平成 1)	<p>キスタン 18 万 3140 人 (41.7%), ロシア 10 万 7051 人 (24.4%) (うちサハリン州 3 万 5191 人, カザクスタン 10 万 3315 人 (24.4%)) [カザクスタン全体の 0.6%], (木) (半岡¹⁾) クル グズスタン 1 万 8400 人 (4.1%), タジキスタン 1 万 3400 人 (3.1%), テュルクメニスタン 2800 人 (0.6%). (李愛)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウズベキスタンでの首都タシュケントでは総人口 (183,100 人) の 24% (44,000 人) が朝鮮人. ウズベキスタンにおける 朝鮮人総人口の 80% (146,000 人) が都会に住み, 20% (37,000 人) が農村に住んでいる. (Tsay) ・ソ連国勢調査によれば, ソ連極東には 5 万 3900 人の朝鮮人 がおり, 大部分はサハリン州に集中しており, その数は 3 万 5200 人で, 州全体のほぼ 5% を占めている. 沿海地方 8454 人, ハバロフスク地方 8301 人, カムチャツカ地方 1952 人. (ク) ・沿海地方の朝鮮人 8000 人強. (ロシア) ・朝鮮語新聞『レーニン・キチ』の発行部数 8300 部. (在ソ) ・サハリンで朝鮮語を母語と考える人は 1 万 2900 人に減少. (ク) ・サハリン, ソ連本土からの家族再会のための一時渡航者約 450 名 (うち援護会経由 376 名). なお韓国永住帰国者は 16 組 24 名. (高木) ・ソ朝友好協会サハリン支部設立. (ク) ・Русско-корейский, Корейско-русский словарь 露朝・朝露 辞典, Москва モスクヴァ: «Русский язык», Пхеньян 平壤: «Наука и Энциклопедия», 900 стр. [1989 年ソウル: 白衣か ら影印刊行]. ・조제수, 한국, 소련 속의 우리 언어문화, “말과 글” (평양), 제 8 호, 10-14. (言) ・日韓の赤十字によって支援を行う「在サハリン韓 国人支援共同事業体」設立. ・平壤市内で数十名の大学生と実習生からなるかなり 大規模の反金日成団体が摘発される. (ラ) ・宇野宗佑総理大臣. ・海部俊樹総理大臣.
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・サハリン州の指導者と朝鮮人住民の初会議. ペレストロイ カにおける国家と社会制度の民主化, 民族問題について話し 合った. (ク) ・朝鮮語新聞「レーニン・キチ (レーニンの旗)」に初めてロ

	シア語の記事が登場。(半岡 ²⁾)
1月22日	・ソ連商工会議所副会頭が訪韓。(在ソ)
1月25日	・『レーニン・キチ』月1回のロシア語ページ掲載を開始。(在ソ)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮人に対するサハリン内での移動制限が実質的に撤廃された。(ク) ・ユジュノ・サハリンスク市で、「朝・日離散散家族再会協力会」結成。(ク) ・ソ連アフガニスタンから完全撤退。(中)
2月7日	・『レーニン・キチ』紙上に初めて強制移住を主題とした記事掲載。(在ソ)
2月28日	・カザクスタンで反核運動「ネヴァダ=セミパラチンスク」始まる。(在ソ)
2月以降	・サハリン、ソ連本土在住韓国人(ソ連籍、無国籍)の韓国訪問(日本経由)可能に。(高木)
3月1日	・『今日のソ連邦』(駐日ソ連大使館発行)「カザフ共和国の朝鮮人」特集。(在ソ - 劉)
3月25日	・文益煥牧師、北朝鮮訪問(帰国後逮捕)。(ウィ)
4月3日	・ソウルにソ連商工会議所代表部設置。(在ソ)
4月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮劇場傘下のアリラン歌舞団(アルマ・アタ)とウズベク共和国協奏団傘下の青春歌舞団(タシュケント)が初めて朝鮮の地を踏む。(在ソ) ・平壤で第7回「四月の海」国際親善芸術祝典。(在ソ)
4月14日	・日本からの訪問団と共に韓国の中蘇離散家族会の3名がサハリンを初訪問。(高木)
4月25日	・アルマ・アタで朝鮮人青年センター「高句麗」が高麗文化のタペ開催。(在ソ)
4月29日	・タシュケント州コムニスチーチェスキー地区で文化センター設立。(在ソ)
5月5日	・モスクヴァ高麗人協会成立。(在ソ - 劉)
5月23日	・韓国外務部、サハリン問題解決に向け、ソ連政府又は赤十字レベルでの直接交渉を行う方針を決定。(高木)
5月26日	・クズル・オルダで「朝鮮文化の日」開催。(在ソ)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・カザク共和国でチムケント朝鮮人文化センター結成。(在ソ) ・ウズベク共和国フェルガナ州でウズベク人によるメスフ人に対する殺人、放火、暴行。(木)

	<ul style="list-style-type: none"> ・カザクスタンのノーヴィ・ウゼニでカザク人と北カフカズ出身者が衝突。(中) ・天安門事件。(中)
6月2日	・韓国金泳三統一民主党(当時)ら訪ソ、タシュケント訪問。(在ソ)
6月12日	・韓国国会議員団、初のサハリン訪問。(高木)
6月15日	・樺太残留者期間請求者(サハリン裁判)取り下げで、終了。(高木)
6月18日	・アルマ・アタ朝鮮人文化センター結成。(在ソ)
6月 - 7月	・在日韓国人としてはじめて李甲秀がサハリンの親族の招請により訪問。(高木)
7月1日	・平壤第13回世界青年学生祝典に韓国女子大生林秀卿(全国大学生代表者協議会)参加(帰国後逮捕)。(ウイ)(在ソ)
7月3日	・アルマ・アタで朝鮮人青年センター「高句麗」が北朝鮮の映画上映会開催。(在ソ)
7月7日	・モスクヴァに大韓貿易振興公社代表部設置。(在ソ)
7月14日	・日韓両赤十字が、在サハリン韓国人の親族再会を支援するため、「在サハリン韓国人支援共同事業体」を発足。事業体が主催するグループによる母国訪問団の実施と従前から市民団体による日本経由個人と校舎への支援金支給(対象者1人当たり64,500円)を当面の課題とする。(高木)
7月22日	・タジク共和国で「言語法」採択。(在ソ)
7月24日	・韓国の財閥、現代グループ鄭周永名誉会長ら財界人訪ソ。ソ韓経済協力本格化。(在ソ)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連共産党政綱「現状況下での党の民族政策について」が発表され、ここで初めて、朝鮮人を含む諸民族に対して行われた強制移住が言及された。(ク - 岡)(在ソ - 劉) ・ウズベクのフェルガナで朝鮮人文化センター結成。(在ソ)
8月8日	・韓国政府、政府調査団をサハリンへ派遣、実態等を調査。(高木)
8月13日	・アルマ・アタで初の8・15解放節祝典。(在ソ)
8月17日	・平壤サーカス団が中央アジアを巡回公演。(在ソ)
9月14日	・タシュケントで北朝鮮の書籍・写真・工芸展。(在ソ)
9月20日	・民族問題を検討するソ連共産党中央委員会開催。総会で党民族政策綱領が採択される。第一に、ここで朝鮮人が、クリ

	ミア・タタル人やドイツ人などとともに、この時初めて公式の場で犠牲者として認められた。第二に、領域自治と並んで文化自治が浮上し、「領域自治に代わりうる民族全体の自治機構」として全国規模の民族文化センターを設立し、これを通じて民族の権利を保障、行使することを想定した。(半岡 ²⁾)
9月22日	・カザク共和国で「言語法」採択。(在ソ)
9月23日	・クルグズ共和国で「言語法」採択。(在ソ)
9月25日	・韓国政府が世界韓民族体育大会にサハリン在住韓国人一世40名を招待。初の韓ソ直行チャーター便(ハバロフスク→ソウル)を運航。(高木)
9月26日	・韓国で開かれた「世界韓民族体育大会」にサハリンの朝鮮人一世40人が参加。(ク)約140人。(在ソ)
10月	・タジク共和国ソ連朝鮮人協会は沿海州地方に朝鮮人の民族自治形成体をつくることを最大綱領とした。(在ソ - 劉) ・平壤学生少年団音楽舞踊協奏団がウズベク共和国公演。(在ソ)
10月5日	・アルマ・アタで北朝鮮の書籍・写真・工芸展。(在ソ)
10月7日	・『レーニン・キチ』と韓国の『東亜日報』と業務提携。(在ソ)
10月12日 - 14日	・サハリン州共産党機関紙『ソヴェツキー・サハリン』に2250人の名誉回復対象者(1945年 - 1953年に粛清された協和会幹部、また解放後政治・思想犯として罰せられた朝鮮人)の名簿が記載される。そのなかには朝鮮名、日本名が並んでいる。(朴)
10月13日	・韓国の中蘇離散家族会の30名がソ連、サハリンを始めて団体訪問。(高木)
10月21日	・ウズベク共和国で「言語法」採択。(在ソ)
11月	・ソ連人民代議員大会は強制移住を不法、犯罪と非難する決議を採択した。(半岡 ²⁾) ・ナマンガン州サマルカンドダリア地区で朝鮮人文化センター結成。(在ソ) ・ベルリンの壁崩壊。(ロシア)
11月14日	・ソ連最高会議は声明「強制移住された諸民族に対する弾圧的決定の違法性・犯罪性の承認および諸民族の権利の保障について」を出し、そのなかで強制移住が「国際法の原則に反

	<p>する最も重い犯罪」であるとしたうえで「ソ連最高会議は、国家レベルの人権および人道的規範の侵害は我が国で二度繰り返されないことを保障する」と宣言した。(ク - 岡)(在ソ)</p>
11 月 18 日	<p>・ソ連で北朝鮮系の「朝鮮統一促進協会」結成。(半岡¹⁾) タシケントで朝鮮統一促進委員会結成(ソ連国籍を問わない)。(在ソ)</p>
12 月	<p>・ソヴェト代表者会議で朝鮮人に関する活動が討議され、朝鮮人のための社会・文化センターの設立が決定。(ク)</p> <p>・チェコスロヴァキアでピロード革命。(ロシア)</p> <p>・マルタ島で米ソ首脳会談。冷戦終結宣言。(ロシア)</p>
12 月 8 日	<p>・ソ連、ソウルの貿易事務所に領事処設置。事実上の外交関係を締結。(高木)</p> <p>・ソ韓両国が領事館設置合意。(在ソ)</p>
12 月 14 日	<p>・朝鮮劇場「1937 年通過列車」上演。(在ソ - 劉)(在ソ)</p>
12 月 15 日	<p>・サハリン共同事業体による第 1 回母国訪問団 23 名を、ソ連航空、大韓航空の定期便、新潟乗継ぎで実施。(高木)</p>
12 月 16 日	<p>・クルグズ共和国朝鮮人文化啓蒙協会「親善」結成。(在ソ)</p>
- 1990 年	<p>・各地で朝鮮人文化センター・協会が設立される。(在ソ)</p>
1990 年(平 2)	<p>・고송무, 서련의 한인들. 고려사람. 유네스코 한국위원회 엮음, 서울, 이론과 실천, (言)</p> <p>・해외 한국학의 개황과 발전 방향, 서울, 한국 학술 진흥 재단, 141-161. (言)</p> <p>・朝鮮語新聞『レーニン・キチ』発行部数 8800 部。(在ソ)</p> <p>・サハリン、ソ連本土からの家族再会のための韓国への一時帰国者約 1,700 名(うち援護会経由 551 名、共同事業体分 11 次 1,129 名)。なお韓国永住帰国者は 30 名(韓赤発表)(高木)</p> <p>・日本 朝鮮人 567,598 人。登録外国人総数の 64.1%。(木)</p> <p>・高木健、『サハリンと日本の戦後責任』, 東京: 凱風社, 261 ページ.</p> <p>・朴亨柱 [著], 民濤社 [編集], 『サハリンからのレポート—棄てられた朝鮮人も歴史と証言』, 東京: 御茶の水書房, 200 ページ.</p> <p>・宇野淑子, 『離別の四十五年 戦争とサハリンの朝鮮人』, 東京: 潮出版社, 227 ページ.</p> <p>・韓国に到達した脱北者 9 名。(ウィ)</p>

1 月	・バクー事件。(ロシア)
1 月 2 日	・韓国放送公社, ソ連中央テレビが衛星生中継でサハリン韓国人離散家族捜し番組を放映。(高木)
1 月 27 日	・カザク共和国ジャンブル州朝鮮人協会結成。(在ソ)
2 月	<p>・ユジュノ・サハリンスク空港から初の韓国への直行便「ボーイング」で, 120 人が母国を訪問。韓国赤十字代表が随行。(ク)</p> <p>・韓国・中蘇離散家族会, サハリンからの永住帰国者の実態調査を報告。日韓両政府へ生活支援, 日本政府に戦後補償を要求。(高木)</p> <p>・タジキスタンのドゥシャンベで都市騒乱。(中)</p>
2 月 1 日 - 2 日	<p>・モスクヴァで「ソ連朝鮮人の民族自決問題」をめぐる, ソ連朝鮮人文化協会及びセンターの代表者全国会議という名の円卓会議が開かれた。在ソ高麗人全国協会の創設組織委員会の結成をかねたこの会議では, 「現段階における民族問題に関するソ連共産党の綱領とソ連朝鮮人の切迫した自決の諸問題」, 「ソ連朝鮮人の文化, 民族再生の諸問題」, 「ソ連朝鮮人の民族再生の国際的観点」の 3 つのテーマとならんで「民族自治領土創設に関する経済的諸問題」が取り上げられ, 報告と討論が行われた。言語, 経済, 領土が少数民族にとって「三位一体の生命水」であることが再確認され, 「遠東」(=極東)への帰還とそこでの自治共和国レベルの民族自治領土の創設が出席者 40 名中 38 名の圧倒的多数で支持された。会議では「ソ連朝鮮人自治領土創建のための社会政治および技術, 経済的根拠の講究および作成小委員会」を選出した。(在ソ - 劉)</p>
2 月 8 日	・サハリン共同事業体による第 2 回母国訪問団 30 名を, サハリン-ソウル直行チャーター便で実施。(高木)
2 月 16 日	・ハバロフスクで朝鮮民族文化センター「団結」結成。(在ソ)
2 月 27 日	・タシュケント高麗人センター開設。(Tsay)
3 月	<p>・サハリンの朝鮮人の権利や文化を守り, 離散家族の再会を目ざす初の統一組織「サハリン朝鮮人協会」設立。(ク)</p> <p>・サハリン共同事業体, 日本経由韓国への個人渡航者への支援金を増額(対象者 1 人当たり 149,600 円。ただし日韓間の航空券現物支給を含む)。(高木)</p> <p>・クラスノヤルスク市で在ソ朝鮮人文化教育協会「再生」結</p>

	<p>成. (在ソ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴルバチョフ大統領就任. (ロシア) ・リトアニアが独立宣言. (ロシア)
3 月 17 日	・カザク共和国朝鮮人文化センター結成. (在ソ)
3 月 20 日	・韓国の金泳三民自党代表最高委員が訪ソ. (在ソ)
3 月 24 日	・サハリン在住朝鮮民族約 35,000 人の権利擁護や離散家族再会を要求する初の統一組織「サハリン朝鮮人協会」(現サハリン州高麗人協会) 結成. (高木)
3 月 25 日	・韓国の文益煥牧師が北朝鮮訪問. (在ソ)
3 月 27 日	・モスクヴァ - ソウル間に直行定期航空路開設. (在ソ)
3 月 30 日	・マイスキー市で朝鮮人文化センター「親善」創立大会. (在ソ)
4 月	・ソ連最高会議「民族発展法」公布. (半岡 ²⁾)
4 月 13 日	・カザク共和国中央博物館で「朝鮮民俗展」開催. (在ソ)
4 月 18 日	・サハリン問題で日本政府が公式に謝罪 (衆議院外務委で中山外相). 郵政省も未払いの郵便貯金の払い戻しに前向きに対応すると発言. (高木)
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスノヤルスク総合大学で朝鮮語講座開講. (在ソ) ・サハリン・韓国友好協会の創立会議. (ク) ・サハリン在住日本人第 1 次帰国. (岸)
5 月 5 日	・モスクヴァ高麗人協会結成. (在ソ)
5 月 14 日	・日韓, 韓日両議員連盟がサハリン初訪問, 実態を調査. (高木) (ク)
5 月 18 日	・朝鮮戦争についてのテレビ塔論傘下のための北朝鮮での高位職経験者, 知識人ら 在ソ朝鮮人 18 人が訪韓. (在ソ)
5 月 18 日 - 19 日	・モスクヴァで第 1 回在ソ朝鮮人全国大会開催. 在ソ高麗人全国協会創設. 「民族自治」は大会の報告から落とされた. (在ソ - 劉) モスクヴァで全ソ朝鮮人協会設立大会開催. 朝鮮自治領の再建問題は, 大会の中心議題の一つになるはずだったが, 開催直前になって当局側から「自治領問題だけは出さないでほしい」という要請があり, 結局議題からはずされた. (半岡 ²⁾) 大会では「慎重な検討」のために「ポシエト民族地区」について研究する委員会を設けることになった. (在ソ - 劉)
5 月 20 日	・サハリン共同事業体, サハリンーソウル間の定期直行便の運行 (月 1 回) を決定. チャーター運行日は日本政府が全額負担する (1 億円). (高木)

5月24日	・盧泰愚韓国大統領来日。韓国側が強制連行の名簿提出を求める。(高木)
5月27日	・タシュケントの民族文化センターが「端午の祭り」開催。(在ソ)
6月	・クルグズスタンでオシュ事件。(中)
6月4日	・韓ソ両国大統領が初会談。(高木)
6月5日	・サンフランシスコの盧泰愚・ゴルバチョフ会談で早期国交樹立に合意。(在ソ)
6月12日	・ロシア連邦ソヴェト社会主義共和国人民代議員大会で「国家主権に関する宣言」採択。共和国の主権と対立するソ連邦の法令の効力は、共和国領内では停止されるとなっている。(在ソ - 劉)
6月18日	・アルマ・アタで朝鮮文化センター結成。(在ソ)
7月26日	・韓国から解放45周年慰問団(歌手、舞踊団)、留守家族がサハリンを訪問。(高木)
8月	・[サハリンの]日本軍国主義からの解放5周年祭に韓国の芸能団が参加。(ク)
8月23日	・サハリン共同事業体による初の韓国内無縁故者=親族捜しのための訪問団、第6回母国訪問団(110名)を実施。訪問者全員の親族等が判明。(高木)
8月29日	・サハリン残留者、永住帰国者、遺族ら21名が日本政府へ1人1,000万円の補償を求めて東京地裁に提訴(「サハリン残留韓国・朝鮮人補償請求裁判」)。(高木)
9月2日	・ソ朝外相会議でソ韓国交樹立通告。北朝鮮は反対のメモをソ連に提出。(在ソ)
9月4日	・第1回南北朝鮮首相会談。(高木)
9月28日	・自民・社会・朝鮮労働党共同声明発表。(在ソ)
9月30日	・北朝鮮の反対を押し切って、ソ連と韓国の国交樹立が成立。(半岡 ²⁾)(ク) ニューヨークのソ韓外相会談で。(在ソ)
10月	・「サハリン州韓人老人会」が強制連行一世の聞き書き調査を実施。(高木) ・東西ドイツ統一。(ロシア)
11月29日	・日本の超党派の国会議員で作る「サハリン友好議員連盟」発足。(高木)
12月	・南オセチア紛争。(中)

12 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・盧泰愚大統領訪ソ. 冷戦終息へ協調. 経済協力拡大に合意. (在ソ)
1991 年 (平 3)	<ul style="list-style-type: none"> ・サハリン, ソ連本土からの家族再会のための韓国への一時帰国者約 1,350 名 (うち共同事業体分 12 次 1,259 名). なお韓国永住帰国者は 10 名 (韓赤発表) (高木) <ul style="list-style-type: none"> ・宮沢喜一総理大臣. ・Нам С. Г., Корейский национальный район. Пути поиска исследователя 朝鮮民族自治区. 研究者の探索の道, Москва: "Наука", 23 стр. ・김 뿌.그 Ким П. Г., 우즈베티스탄 고려인들 Корейцы Узбекистана Koreans of Uzbekistan ウズベキスタン高麗人, Ташкент-Сеул: Ассоциация советских корейцев, 13 стр. ・Ким, Брутт, Ветры наших судеб: Советские корейцы. История и современность 운명의 회오리 속에서 わが運命の風 : ソヴェト朝鮮人. その歴史と現在, Ташкент: «Ўзбекистон», 180 стр. ・金 뿌뜨르 계로노비치, 우즈베티스탄에서의 고려인 (高麗人) 역사 (歴史) ウズベキスタン高麗人の歴史, 타시켄트: 우즈베티共和國高麗文化協會, 13 페지. ・金 뿌뜨르 계로노비치, 우즈베티스탄에서 조선어교육의 절박한 제 문제들ウズベキスタンにおける朝鮮語教育の緊急の諸問題, 타시켄트, 7 페지. ・King, Julian Ross Paul, "Russian Sources on Korean Dialects", Cambridge: Harvard University, 498 pp. ・『소련에서의 한국어학과 한국어 교육ソ連における朝鮮語学と朝鮮語教育』, 서울: 二重言語學會, 706 페지. ・現代語学塾, 『レーニン・キチ』を読む会 (翻訳), 『在ソ朝鮮人のペレストロイカ』, 262 ページ, 東京: 凱風社. (半岡¹⁾) ・岸本葉子, 『さよならニナーダ サハリンに残された人々』, 東京: 凱風社, 140 ページ.
1 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮語新聞「レーニン・キチ (レーニンの旗)」が「高麗日報고려일보 Goryeo Ilbo コリョ・イルボ」と改称. カザクスタン以外ではほとんど講読されなくなった. (半岡²⁾) (在ソ) 土曜の付録にロシア語版「コリョ」発行. (在ソ) <ul style="list-style-type: none"> ・リトアニアで「血の日曜日事件」. (ロシア) ・湾岸戦争勃発. (ロシア)

1 月 21 日	・ウズベキスタン高麗人文化センター協会成立。(Tsay)
1 月 22 日	・韓国, ソ連に 3 年間で 30 億ドルの借款供与に合意。(在ソ)
1 月 30 日	・第 1 回日朝国交正常化交渉。(高木)
1 月 31 日	・鄭商根氏が戦傷病者戦没者遺族等援護法を受ける地位にあることの確認と 1,000 万円の国家賠償を求めて大阪地裁に提訴(「在日韓国人傷痍軍人損害賠償請求裁判」)。(高木)
2 月 11 日	・日本のサハリン友好議員連盟がサハリンを訪問, 離散家族会関係者と懇談。(高木)
2 月 22 日	・日本政府, サハリン残留韓国・朝鮮人の対日請求権認める(衆議院予算委での政府見解を変更)。(高木)
3 月 5 日	・日本労働省が強制連行者 90,804 名分の名簿を韓国に提出。(高木)
4 月	・最高会議によってロシア連邦法「弾圧された諸民族の復権について」が採択され, 「弾圧された諸民族に関して採択されたすべての非合法的な決定の廃止」が宣言された。(ク - 岡) ・内閣がソ連における外国市民の滞在に関する新規則を承認, この規則は無国籍者にも適用される。(ク)
4 月 16 日	・ゴルバチョフ・ソ連大統領初来日。(高木) 訪韓。(在ソ)
5 月	・ユーゴスラヴィア内戦勃発。(ロシア)
5 月 8 日	・中韓国交樹立。
5 月 22 日	・韓国側家族 80 名がサハリンを訪問。(高木)
6 月	・ソ連閣僚会議は政令「以前弾圧された諸民族に対する国家的措置の廃止について」を定めた。(ク - 岡) ・イエリツィン・ロシア共和国大統領。(ロシア) ・コメコン(慶在相互援助会議)解体。(ロシア)
7 月	・ワルシャワ条約機構解体。(ロシア)
7 月 19 日	・サハリン共同事業体による, サハリンから大陸ハバロフスク地区への移住者を初の対象とする, 第 21 回母国訪問団 109 名を実施。(高木)
8 月	・ロシアの保守派のクーデター失敗。ソ連共産党解散。(ロシア)
8 月 3 日	・東京で「アジア・太平洋地域戦後補償国際フォーラム」が開始。ソ連サハリンをはじめ, 中国, 韓国, 香港, 台湾, フィリピン, マレーシア, インドネシア,

	ベラウ, 日本の 10 カ国, 地域から被害者が参加. (高木)
8 月 20 日	・1945 年 8 月 18 日に樺太の上敷香で日本軍憲兵と警察官によって父と兄を虐待された韓国在住遺族会金景順氏らが日本政府に陳謝と 2 億円の慰謝料を求めて東京地裁に提訴 (「上敷香韓人虐殺事件に基づく陳謝等請求裁判」). (高木)
9 月	・ソ連がバルト 3 国の独立を承認. (ロシア)
9 月 15 日	・ソ連アエロフロート, ハバロフスクーソウル間に定期航空便を就航. (高木)
9 月 17 日	・韓国, 北朝鮮, 国連同時加盟. (高木)
9 月 30 日	・韓国在住の金景錫氏が日本鋼管に対し損害賠償と陳謝を求めて東京地裁に提訴 (日本鋼管訴訟). (高木)
10 月	・チェチェンで独立宣言. (中)
11 月	・日本政府がソ連政府に樺太郵貯金原簿の存在について調査を要請中であると報道. (高木) ・イエリツィン大統領訪独の際ドイツ人自治共和国の再興を約束する. (木)
11 月 12 日	・「韓国・朝鮮人 BC 級先般者の国家補償等請求裁判」東京地裁に提訴. (高木)
11 月 19 日	・樺太帰還在日韓国人会が日本政府及び自民, 社会両党に在日サハリン帰還韓国人への補償問題を求める提言を提出. (高木)
11 月 22 日 - 24 日	・第 3 回二重言語学会 Korea Society of Bilingualism 「소련에서의 한국어학과 한국어교육ソ連における朝鮮語学と朝鮮語教育」モスクヴァ国立師範大学 Moscow Lenin Pedagogical University. (言)
12 月	・日本政府は 92 年度予算案で, サハリンから韓国へ永住帰国した韓国人の生活実態を調べる「在サハリン韓国人支援に関する調査費」5,374,000 円を始めて計上. (高木) ・独立国家共同体 (CIS) 創設協定. ソヴェト社会主義共和国連邦消滅. ロシア連邦成立. イェリツィン大統領. (ロシア) ・アゼルバイジャン, ラテン文字化に着手. (中)
12 月 6 日	・元日本軍人, 軍属, 従軍慰安婦ら 35 名が日本政府に対し 1 人 2,000 万円の補償を求めて東京地裁に提訴 (「アジア太平洋戦争韓国人犠牲者補償請求裁判」). (高木)

1992 年 (平 4)	<ul style="list-style-type: none"> ・タシュケントに韓国教育センター開設。朝鮮語教育を担当。(Tsay) ・劉孝鐘, 「2 月革命と極東ロシアの朝鮮人社会」, 中村喜和編, 『ロシアと日本』 (3) 61-82. (半岡¹⁾) ・Бугай И. Ф. (сост.), Иосиф Сталин – Лаврентию Берии: «Их надо депортировать...»: Документы, факты, комментарии Юсиф・スターリンからラヴレンチー・ベリヤへ「彼らを強制移住せよ...」文書, 事実, 論評, Москва: Дру (半岡¹) ・Ли У Хе, Ким Ен Ун (сост.), Белая книга о депортации корейского населения России в 30-40 годах. Книга первая 30 – 40 年代における朝鮮人強制移住に関する白書 第 1 巻, Москва: Интерпракс. (半岡¹) ・Советские корейцы Казахстана (энциклопедический справочник) カザクスタンのソヴェト朝鮮人 Алма-Ата: «Казахстан», 165 стр.
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・サハリン州高麗人協会が慰霊碑建立を推進と報道。(高木) ・イエリツィン大統領地元ロシア人の反対のためドイツ人自治共和国の再興断念を表明。(木)
1 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・加藤官房長官が朝鮮半島出身の従軍慰安婦問題で旧日本軍の関与を認め謝する談話を発表。
1 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・宮沢首相訪韓。従軍慰安婦問題で「謝罪」発言。(高木)
1 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ウズベキスタンと韓国が国交樹立。(Tsay)
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・全ソ朝鮮人協会「朝鮮人協会国際連盟」と改称。しかし傘下の各共和国組織の独立性が強く、この団体は当初の目的を達成できていない。(半岡²)
2 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・日朝国交正常化交渉で北朝鮮側が従軍慰安婦問題に対する真相解明と謝罪, 補償を要求。(高木)
2 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国政府がサハリン残留韓国人に対する補償問題を政府レベルで正式に提起する方針を固めるとの報道。(高木)
3 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ人自治共和国の段階的再興のためヴォルゴグラード, サラトフ両州に民族管区の設立をめざすという大統領令。(木)
5 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア連邦最高会議はクリミア自治共和国のウクライナへの譲渡の無効を決議。(木)

6 月	・タジキスタン内戦始まる。(中)
8 月	・グルジアで中央政府とアブハジアの間に内戦勃発。(中)
12 月	・ユジュノ・サハリンスク市に日本帝国主義の犠牲になったサハリンの朝鮮人の慰霊碑が建立された。(ク)
1993 年 (平 5)	<ul style="list-style-type: none"> ・サハリン高麗人協会がサハリン韓人協会と改称。(ク) ・韓国金泳三大統領。 ・北朝鮮大水害 (ウィ) ・細川護熙総理大臣。 ・木村英亮, 『スターリン民族政策の研究』, 東京: 有信堂高文社, 353+xx ページ「第七章 ソ連の朝鮮人と日ソ関係—補強制移住させられた少数民族について」。 ・劉孝鐘, 「シベリア戦争とロシアの朝鮮人」, ロシア史研究会編, 『日露 200 年—隣国ロシアとの交流史—』, 彩流社, 141-161. (半岡¹⁾) ・劉孝鐘, 「チェコスロヴァキア軍団と朝鮮民族運動—極東ロシアにおける三・一運動の形成—」, ソビエト史研究会編, 『旧ソ連の民族問題』, 木鐸社, 109-163. (半岡¹⁾) ・Пак Б. Д., Корейцы в Российской империи (Дальневосточный период) ロシア帝国の朝鮮人 (極東期), Москва: Московский Государственный университет, 261 стр. ・Пак Чон Хё, Россия и Корея 1895 - 1898 ロシアと朝鮮 1895 年 - 1898 年, Москва: Московский Государственный университет, 181 стр. ・Бок Зи Коу 朴壽鎬, Корейцы на Сахалине サハリンの朝鮮人, Южно-Сахалинск: Южно-Сахалинский государственный педагогический институт ユジュノ・サハリンスク国立師範大学, 218 стр. ・Ким П., Корейцы Республики Узбекистан (история и современность) ウズベキスタン共和国の朝鮮人 (歴史と現在), Ташкент: “Ўзбекистон”, 175 стр. ・Анатолий Т. Кузин, Дальневосточные корейцы: жизнь и трагедия судьбы, Южно-Сахалинск: Дальневосточное книжное издательство, Сахалинское отделение и Литературно-издательское объединение (日本語訳: アナト

	<p>ーリー・T・クージン著，岡奈津子・田中水絵訳，『沿海州・サハリン 近い昔の話（翻弄された朝鮮人の歴史）』，東京：凱風社，317 ページ，1998）．</p> <p>・Ким, Г.Н.; Кинг, Росс G・N・キム, ロス・キング. История, культура и язык <i>Корё сарам</i> (Историография и библиография) 高麗人の歴史，文化，言語（歴史と文献）．— Алматы アルマトウ，1993. — 128 с.</p> <p>・ Коре́йско-ру́сский разгово́рник 韓露会話 / Общество женщин-корейнок г. Москвы. — М., 1993. — 130 с.</p> <p>・Yugai, I.G. Ob Etnicheskoy identifikacii sovetskix korejcev (Po materialam konkretno-sociologicheskogo issledovanija). <i>News on Koreans in Kazakhstan and Central Asia</i> 4:25-31. (Tsay)</p>
2 月	<p>・ ニューヨーク世界貿易センター爆破事件. (中)</p>
4 月	<p>・ ロシア連邦最高会議ロシア朝鮮人の名誉回復に関する決定. (V. Kim)</p>
9 月	<p>・ ウズベキスタン，新しいラテン文字アルファベットの導入を決定. (中)</p>
1994 年 (平 6)	<p>・ タシュケント国立東洋学大学に朝鮮語学科設立. (Tsay)</p> <p>・ 金日成死亡.</p> <p>・ 韓国に到達した脱北者 54 名. (ウィ)</p> <p>・ 羽田孜総理大臣. ・ 村山富市総理大臣.</p> <p>・ Пак Б. Д., <i>Корейцы в Советской России (1917 – конец 30-х годов)</i> ソヴェト・ロシアの朝鮮人—1917 年 – 1930 年代末, Москва-Иркутск: Иркутский государственный педагогический институт. (半岡¹⁾)</p> <p>・ Пак Б. Д., <i>Корейцы в Российской империи</i> ロシア帝国の朝鮮人, Москва: Московский Государственный университет, 236 стр.</p> <p>・ Коре́йско-ру́сский сло́варь 露朝辞典 / Под ред. Ко Хёна и Л.Б. Никольского. — Москва – Пхеньян: Русский язык, 1994.</p> <p>・ Южно-Сахалинский государственный педагогический институт: история и современность ユジユノ・サハリンスク国立師範大学. 歴史と現在, Южно-Сахалинск: Южно-Сахалинский государственный педагогический институт, 84 стр.</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Костанов А. Н., И. Ф. Подлубная, Клоейские школы на Сахалине サハリンの朝鮮人学校：歴史的経験と現在, Южно-Сахалинск: Архивный отдел администрации Сахалинской области, Сахалинский центр документации новейшей истории, 24 стр. ・ Ким В. Д., Туманган – пограничная река...国境の川豆満江, Ташкент: "Ўзбекистон", 148 стр. ・ Звено нежность. Рассказы и повести корейских писателей 柔和の環. 朝鮮人作家の小説, Алматы: "Гылым", 383 стр.
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ サハリン韓人協会は韓国政府の要請でサハリン全土の朝鮮人を対象にアンケートを実施。回答者は3万2,685人。①無条件で韓国に永住帰国を希望する者：1,443人（大部分は戦前にサハリンに来た、あるいは連行された一世）。②韓国での新生活に適応するための物質的援助がなされることを条件に永住帰国を希望する者：2万1,699人。③日本政府から補償を受けることを条件にロシアで暮らすことを希望する者：8,610人。④ロシアで暮らすことを希望する者：933人。（ク）
8 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村山富市首相元慰安婦に対して謝罪の談話。（ウイ）
1995 年（平 7）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国に到達した脱北者 41 名。（ウイ） ・ Кан Г. В., История корейцев Казахстана カザクスタン朝鮮人史, Москва: Наука.（半岡¹） ・ Пак Б. Д., Корейцы в Российской империи ロシア帝国の朝鮮人, Иркутск: Иркутский государственный педагогический институт.（半岡¹） ・ Ким Г. Н., Мен Д. В., История и культура корейцев Казахстана カザクスタン朝鮮人の歴史と文化, Алматы: "Гылым", 346 стр. ・ Ким Г. Н., Корейцы за рубежом: прошлое, настоящее и будущее 外国の朝鮮人：過去, 現在, 未来, Алматы: "Гылым", 201 стр. ・ Ким В., Эшелон 58 輸送列車 58, Ташкент: "Ўзбекистон", 76 стр. ・ Угай Дегук, Избранное ウガイ・チェグク選集, Москва: Интер – Весы, 144 стр. ・ Yoon, Chil-Seok. Socioeconomic Conditions of Koreans in Central Asia. <i>Japanese Slavic and East European Studies</i> 16:107-122. (Tsay)

5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア連邦政治的抑圧犠牲者名誉回復に関する法律. (V. Kim)
1996 年 (平 8)	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国に到達した脱北者 56 名. (ウィ) ・橋本龍太郎首相元慰安婦に対して謝罪の手紙を出す. (ウィ) ・橋本龍太郎総理大臣. ・李尙根, 『韓人 露領移住史 研究』, 서울: 探求堂, 354 페이지. ・Санкт・Петербург 国立大学東洋語学部朝鮮フィロロギー学科 Отделение корейской филологии Восточного факультета Санкт-Петербургского университета を中心とする朝鮮言語, 文学センター Центр корейского языка и культуры は 1996 年以来『朝鮮言語, 文学センター通報』Вестник Центр корейского языка и культуры を刊行し始めた. ・1989 <i>USSR Population Census</i> (CD-ROM), Minneapolis: East View Publications. (半岡¹⁾)
1997 年 (平 9)	<ul style="list-style-type: none"> ・金正日北朝鮮最高指導者. ・北朝鮮へ渡った日本人配偶者を対象として、初めての里帰り事業が行われた. (ウィ) ・韓国に到達した脱北者 85 名. (ウィ) ・Ли У Хе, Ким Ен Ун (сост.), Белая книга о депортации корейского населения России в 30-40 годах. Книга вторая 30 – 40 年代における朝鮮人強制移住に関する白書 第 2 巻, Москва: Интерпракс. (半岡¹⁾) ・Масанов Н., Положение этнических меньшинств в суверенном Казахстане 独立カザクスタンにおける少数民族の地位, Алматы: Фонд им. Фридриха Эберта. (半岡¹⁾) ・Тян В. В., Дорогой горьких испытаний. К 60-летию депортации корейцев России 辛酸の道のり—ロシア弔意先人強制移住 60 周年によせて—, Москва: Экслибрис-Пресс. (半岡¹⁾) ・Хан Г. Б., Прошлое и настоящее корейцев Казахстана カザクスタン朝鮮人の過去と現在, Алматы: s.p. (半岡¹⁾) ・Книга памяти. Архивные списки депортированных российских корейцев в 1937 году. Часть 1 1937 年強制移住ロ

	シア朝鮮人名簿, Москва: Ассоциация корейцев России, Международный Центр корееведов при МГУ им. М. В. Ломоносова,
1 月	・アジア女性基金は償い金の給付と医療福祉援助を行う。韓国, 台湾, オランダ, フィリピン女性などが受給。(ウィ)
3 月	・北朝鮮による拉致被害者家族連絡会(家族会)。(ウィ)
6 月	・タジキスタンで内戦終結。(中)
7 月 1 日	・[日本] アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律(アイヌ文化振興法)。(ウィ)
9 月 20 日	・ウズベキスタンの『高麗新聞』はロシア語と朝鮮語で刊行。国営テレビで「親善」という朝鮮関係の番組が流れる。(Tsay)
12 月	・カザクスタン首都をアルマトゥからアクモラ(現アスタナ)に移す。(中)
末	・ウズベキスタンのナマンガンで暗殺や銃撃事件が続発。(中)
1998 年(平 10)	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国金大中大統領。 ・韓国に到達した脱北者 72 名。(ウィ) ・韓国政府はアジア女性基金の償い金の受領を認めない方針を示す。(ウィ) ・小渕恵三総理大臣。 ・岡奈津子, 「ロシア極東の朝鮮人—ソビエト民族政策と強制移住—」, 『スラヴ研究』(45), 163-196。(半岡¹⁾) ・岡奈津子, 「ソ連における朝鮮人強制移住—ロシア極東から中央アジアへ」, 『岩波講座世界歴史第 24 巻 解放の光と影 1930 年代 - 40 年代』, 岩波書店, 65-90。(半岡¹⁾) ・Бугай И. Ф., Социальная натурализация и этническая мобилизация (опыт корейцев России) 社会的帰化と民族動員—ロシアの朝鮮人の経験—, Москва: ЦИМО。(半岡¹⁾) ・Сим Енг Соб, Ким Г. Н. (сост.), История корейцев Казахстана: сборник архивных документов Казакстан朝鮮人史 史料集, Алиаты-Сеул, т. 1: s. n. (半岡¹⁾) ・Корё ильбо Ленин кичи Сенбон 75. Время газетной строкой, 高麗日報, レーニンの旗, 先鋒 75 周年, Алматы:

アルマトゥ：ある 39.6；ない 60.4

ウシュトベ：ある 13.8；ない 86.2

8. 生活上の被害を受ける場面（％）.

	教育	就職	昇進	財産形成	影響なし
1996 年	18.8	24.8	50.7	14.6	6.9
1999 年	10.4	43.3	10.4	26.9	9.0

9. 民族関係の改善方法（％）.

経済と法の改革 31.2, 人権の尊重 21.9, 公正な議会選挙 16.7, 政府機関の少数民族平等雇用 12.6, 政権の交代 9.8, ロシア語を公用語にする 7.9

10. 今後の民族関係（％）.

	変わらない	悪くなる 少し悪くなる	良くなる 少し良くなる
1996 年	1.2	76.1	22.7
1999 年	32.3	38.6	29.2

11. 少数民族としての自覚（％）.

アルマトゥ：ある 47.5；ない 52.5

ウシュトベ：ある 78.3；ない 21.7

12. 朝鮮人として誇りをもって生きるために必要なこと（％）.

	アルマトゥ	ウシュトベ	全体
民族の言語を話せること	24.7	49.6	34.8
民族どうしの結婚	6.3	4.7	5.6
民族文化を学ぶこと	20.0	10.1	16.0
民族の歴史を学ぶこと	16.8	10.1	14.1
民族の風習を学ぶこと	23.7	20.2	22.3
民族的生活様式を大事にすること	4.7	3.1	4.1
民族にこだわる必要がない	3.7	2.3	3.1

13. 民族の文化・伝統を守るべきか?（％）

	守るべき	守らなくても良い	どちらでもよい
アルマトゥ	82.4	9.1	8.5
ウシュトベ	83.2	15.7	1.1

14. 言語の習得（％）.

	ロシア語		カザク語	
	必要	不必要	必要	不必要
1996 年	72.8	27.2	76.7	20.9

1999 年	27.2	16.0	20.9	15.8
--------	------	------	------	------

15. 朝鮮語を習得した期間 (%)。

	アルマトゥ	ウシュトベ	全体
シュコーラの 11 年間	5.8	6.9	6.2
シュコーラの 7 年間	9.4	27.6	16.4
大学の 5 年間	0.7	3.4	1.8
大学の 4 年間	1.4	0.0	0.9
私設期間で 1 年以上	8.7	1.1	5.8
私設期間で 1 年未満	18.8	13.8	16.9
習ったことがない	55.1	46.0	51.6

16. 自分が受けた民族教育 (%)。

	アルマトゥ	ウシュトベ	全体
母国に留学、修学した	23.8	9.1	18.8
シュコーラで受けた	14.3	59.1	29.8
朝鮮人協会を通じて受けた	9.5	9.1	9.4
韓国教育院を通じて受けた	11.9	9.1	10.9
大学で受けた	14.3	4.5	10.9
その他	26.2	9.1	20.3

17. 次の世代の民族教育の方法 (%)。

	アルマトゥ	ウシュトベ	全体
母国に留学、修学させる	52.6	46.8	50.5
シュコーラで受けさせる	4.4	13.9	7.9
朝鮮人協会を通じて受けさせる	12.6	26.6	17.8
韓国教育院を通じて受けさせる	23.0	7.6	17.3
大学で受けさせる	3.7	3.8	3.7
その他	3.7	1.3	2.8

18. 守っている伝統行事 (%)。

	アルマトゥ	ウシュトベ	全体
誕生日の祝い (百日チャンチ)	9.2	2.5	6.2
1 歳の誕生日 (トルジャンチ)	37.4	44.8	40.6
還暦	27.5	27.1	27.3
葬式	17.9	25.1	21.1
その他	8.0	0.5	4.7

19. 本貫 (%)。

アルマトゥ：知っている 60.3；知らない 39.7

ウシュトベ：知っている 42.7；知らない 57.3

20. 親戚との付き合い（％）.

	アルマト ウ	ウシュ トベ	全体
親戚どうしでよく集まり，互いの行事には必ず参加する	57.5	55.7	56.8
困った時は相談したり助け合う	26.0	40.2	11.7
結婚式や葬式など大きな行事だけ参加する	9.6	3.1	7.0
挨拶程度で，特に深いつきあいはしない	2.7	0.0	1.6
ほとんどつきあっていない	4.1	1.0	2.0

21. コボンジル歴（％）.

	アルマトウ	ウシュトベ	全体
5 年以下	27.3	32.2	29.3
5-10 年	19.3	18.6	19.0
10-20 年	13.6	27.1	19.0
20-30 年	3.4	8.5	5.4
30-40 年	2.3	1.7	2.0
50 年以上	34.1	11.9	25.2

22. 高麗日報の講読（％）.

	アルマトウ	ウシュトベ	全体
講読していた	26.8	53.6	37.7
講読していない	73.2	45.2	62.3

23. 朝鮮人ラジオ・テレビ放送の視聴（％）.

	アルマトウ	ウシュトベ	全体
ラジオをよく聞く	17.4	14.3	16.1
テレビをよく見る	33.0	70.2	49.2
両方よく視聴する	10.1	3.6	7.3
あまり視聴しない	39.4	11.9	27.5

24. 自分が所属する社会（％）.

	朝鮮人社会	ソヴェト社会	カザクスタン社会
1996 年	37.9	16.7	27.5
1999 年	90.4	7.1	2.5

25. 国外への移住希望（％）.

1996 年 希望する 63.5；希望しない 30.5

1999 年 希望する 48.4；希望しない 53.6

・韓国に到達した脱北者 148 名。（ウイ）

・日本側はアジア女性基金の医療施設建設など事業転換を提案したが、韓国側は改めて拒否を通告。これにより、韓国政府はアジア女性基金による償い金受けとらないと誓約した元日本軍慰安婦には生活支援金を支給することとし、韓国政府認定日本軍慰安婦 207 人のうち、アジア女性基金から受給した元慰安婦や既に亡くなったものを除く 142 人に生活支援金の支給を実施している。一方、アメリカ軍相手の売春を強制されていた女性達は謝罪と補償を求めているが、自発的な売春婦であるとして謝罪も補償も一切ない。アメリカ軍相手の売春を韓国政府やアメリカ人により強制されていた女性達は韓国政府の日本に対する絶え間ない賠償要求は韓国自身の歴史に対する欺瞞であると訴えている。（ウィ）

・ロシア連邦プーチン大統領。

・カザクスタン国勢調査。朝鮮人 9 万 9665 人 [全体の 0.7%]。
(半岡¹⁾) 朝鮮人の 99.7%がロシア語を、25.7%が朝鮮語を「自由に操る」ことができると回答。（半岡²⁾）

・韓国が外交通商部の推計によると、旧ソ連諸国に 48 万 7000 人の朝鮮人。（半岡²⁾）

・ウズベキスタンで「高麗新聞고려신문 Goryeo Sinmun コリョ・シンムン」がロシア語と朝鮮語で発行される。（半岡²⁾）

・В. Ким (V・キム), "Правда – полвека спустя" (50 年後の真実) О депротации корейского населения из Дальневосточного края в 30-40-х годах в Узбекистан 30-40 년대 러시아극동에서 우즈베키스탄으로의 강제이주 (30-40 年代ロシア極東からウズベキスタンへの高麗人強制移住), 248 стр., Ташкент. ウズベキスタンの朝鮮人 24 万は旧ソ連の朝鮮人の 40%を占め、80%は現地生まれ。

・半谷史郎, 「ソ連ドイツ人の自治区復活と西ドイツー戦後のカザフスタンを中心にー」, 『ロシア史研究』(65), 40-56. (半岡¹⁾)

・李愛俐娥, 「カザフスタンの独立と朝鮮人社会の変化」, 『中央アジア乾燥地における大規模灌漑農業の生態環境と社会経済に与える影響—1998 年調査報告書—』(JRAK 調査報告書 No.7), 日本カザフ研究会 (12 月), 57-92. (半岡¹⁾)

	<ul style="list-style-type: none"> ・백테현, “중아시아 고려인의 사회경제적특성”, 神戸学生青年センター発表論文 (1 月). (半岡¹⁾) ・백테현, “Socioeconomic changrs in Kazakhstan and Korean society – Focusing on the Karatal raion”, 『아시아文化研究』 (4), 목포: 목포대학교아시아문화연구소. (半岡¹⁾) ・Сим Енг Соб, Ким Г. Н. (сост.), История корейцев Казахстана: сборник архивных документов 카자クスタン朝鮮人史 史料集, Алматы-세ул, т. 2: s. n. (半岡¹⁾) ・『우즈베크스탄 한인동포의 생활문화 (ウズベキスタン高麗人同胞の生活文化)』, 서울: 국립민속박물관, 327 페이지. ・권희영 (權熙英), “한인 사회주의운동 연구 (韓人社会主義運動研究)”, 서울: 국학자료원 (国学資料院), 591 페이지. ・堀江則雄, 『極東共和国の夢—クラスノシチョコフの生涯—』, 未来社, xi+234 ページ. ・Xegaj, A.Y. Pravovoe polozhenie korejcev Central'noi Azii i Voprosy ix rehabilitacii. <i>Izvestija Koreevedenija Kazaxstana</i> 6:108-116. (Tsay) ・Kim, P.G. O korejskoj diaspore Uzbekistana. <i>Izvestija Koreevedenija Kazahstana</i> 6:46-56. (Tsay)
2 月	・ウズベキスタンでタシュケント爆弾テロ事件. (中)
8 月	・クルグズスタン南部でバトケン事件起こる. (中)
一末	・在日朝鮮人人口 54 万 6553 人. (ウイ)
2000 年 (平 12)	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国に到達した脱北者 312 名. (ウイ) ・森喜一郎総理大臣. ・韓国・ソウルから電車で約 1 時間の安山市に、サハリンからの永住帰国者約 1000 人が住む「故郷の村」のアパート群がある。2000 年に日本が建設費約 27 億円を出して造った (土地代・維持費は韓国側が負担) 施設だ。 ・李愛俐娥, 「社会変動下にある少数民族の適応に関する実証的研究—カザフスタンにおける朝鮮人社会を事例として—」, 京都大学大学院人間・環境学研究科博士論文. (半岡¹⁾) ・백테현, 이애리아, “중아시아 고려인의 고향질”, 『비교문화연구』 6 (1):서울개학교 비교문화연구소, 63-131. (半岡)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ким Г. Н., Коре Сарам 고려사람: историография и библиография 高麗人—史学史と文献紹介, Алматы: “Қазак университеті”, 318 стр. ・ Ли Герон, Гобонди: записки наблюдателя о любви корейцев к земле コボンジー朝鮮人の土地への愛着についての観察者の記録—, Бишкек: s. n. (半岡¹) ・ Сим Енг Соб, Ким Г. Н. (сост.), История корейцев Казахстана: сборник архивных документов カザクスタン朝鮮人史 史料集, Алматы-Сеул, т. 3: s. n. (半岡¹) ・ Цхай Ю. А., Г. Б. Хан, И. Т. Пак и др., Ассоциация корейцев Казахстана カザクスタン朝鮮人協会, Алматы: Дайк-Пресс. (半岡¹) ・ ПЕТРОВ, А.И. Корейская диаспора на Дальнем Востоке России. 60–90-е годы XIX века 1960-90年代ロシア極東における朝鮮ディアスポラ. — Владивосток: ДВО РАН, 2000. — 304 с. (Ин-т истории, археологии и этнографии народов Дальнего Востока, ДВО РАН ロシア科学アカデミー極東支部極東諸民族歴史・考古・民族研究所) ・ King, Ross, Blagoslovennoe: Korean Village on the Amur, 1971-1937, <i>The Revue of Korean Studies</i>, Vo. 4, No. 2 Dec), 133-176. ・ 『까자흐스탄 한인동포의 생활문화 카ザクスタン高麗人同胞の生活文化』, 서울: 국립민속박물관, 330 페지. ・ M・S・ヴィソーコフ他著, 板橋正樹訳, 『サハリンの歴史: サハリンとクリル諸島の先史から現代まで』, 札幌: 北海道撮影社, 237 ページ. ・ Kim, G. On Inter-Ethnic Marriages among the Korean Population in the City of Almaty. <i>International Journal of Central Asian Studies</i> 5:14-26. (Tsay) ・ Yoon, In-Jin. Forced Relocation, Language Use, and Ethnic Identity of Koreans in Central Asia. <i>Asian and Pacific Migration Journal</i> 9:35-64. (Tsay) ・ Ку Светлана, Корейцы – жертвы политических репрессий в СССР, 1934-1938 г, Кн. 1. ソ連政治弾圧朝鮮人犠牲者
6 月	・ カザクスタン朝鮮人協会創設 10 周年. (半岡 ¹)
6 月 13 日	・ 金大中大統領、平壤訪問。金正日北朝鮮国防委員長

	と会見. (ウィ)
10 月 13 日	・ 金大中大統領、ノーベル平和賞受賞. (ウィ)
2001 年 (平 13)	・ 韓国に到達した脱北者 583 名. (ウィ) ・ 小泉純一郎総理大臣.
	<p>・ 和田春樹, 劉孝鐘, 水野直樹, 「コミンテルンと朝鮮—コミンテルン文書資料に基づく若干の考察—」, 『青丘学術論集』 (18), 181-243. (半岡¹⁾)</p> <p>・ 백태현, 「中央アジア高麗人の社会経済生活」, 『中央アジア高麗人の社会・文化生活と民族性に関する研究』, (財) 韓国在外同胞財団. (半岡¹⁾)</p> <p>・ Back Tae Hyeon, “The Social Reality by Ethnic Koreans in Central Asia” <i>Koryŏ Saram: Koreans in the Former USSR (Korean and Korean American Studies Bulletin)</i> 12 (2/3), 45-88. (半岡¹⁾)</p> <p>・ Kim, German N. and V. S. Khan, “The Korean Movement in Kazakhstan: Ten Years Later” , <i>Koryŏ Saram: Koreans in the Former USSR (Korean and Korean American Studies Bulletin)</i> 12 (2/3), 114-140. (半岡¹⁾)</p> <p>・ Kim, German N. and Ross King, “The Koryŏ Saram: An Annotated Bibliography. 1900-2000” , <i>Koryŏ Saram: Koreans in the Former USSR (Korean and Korean American Studies Bulletin)</i> 12 (2/3), 141-189. (半岡¹⁾)</p> <p>・ Oka, Natsuko, “The Korean Diaspora In Nationalizing Kazakhstan: Strategies for Survival as an Ethnic Minority” , <i>Koryŏ Saram: Koreans in the Former USSR (Korean and Korean American Studies Bulletin)</i> 12 (2/3), 89-113. (半岡¹⁾)</p> <p>・ レフ・ラファイーロヴィチ・コンツェーヴィチ Лев Рафаилович Концевич. «Корееведение. Избранные работы» 『朝鮮研究論文集』, Москва: «Муравей-Гайд», 637 стр., 2001.</p> <p>・ Бэ Ын Гиёнг, Краткий очерк истории советских корейцев ソ連朝鮮人概史 (1922-1938), Москва: Издательство Московского университета. (半岡¹⁾)</p> <p>・ Корейский язык (<i>Корё маль</i>)高麗語”. — “Языки Российской Федерации и соседних государств. Энциклопедия Россия連邦及び近隣諸国の諸言語”. В трех томах. Т. 2. М.: Наука, 2001, с. 126–146 (Л. Р.</p>

	<p>Концевич совм. с Ю.Н. Мазуром L・R・コンツェーヴィチ, Ju・N・マーズル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Ока Нацуко, Корейцы в современном Казахстане: стратегия выживания в роли этнического меньшинства 現代カザクスタンの朝鮮人—少数民族としての生き残り戦略—, «Диаспоры», 2/3, 194-220. (半岡¹⁾) ・ Полян П. М., Не по своей воле...: История и география принудительных миграций в СССР 自らの意思に反して...—ソ連の強制移住の歴史と地理—, Москва: ОГИ-Мемориал. (半岡¹⁾) ・ Торопов А. А. (отв. ред.), Корейцы на российском Дальнем Востоке (вторая половина XIX – начало XX вв.): документы и материалы ロシア極東の朝鮮人. 19 世紀末後半 – 20 世紀初頭—文書と史料—, Владивосток: Издательство Дальневосточного университета. (半岡¹⁾) ・ Хан В. С. (отв. ред.), Десять лет спустя (К 10-й годовщине Ассоциации корейских культурных центров Узбекистана) 10 年を経て—ウズベキスタン朝鮮人文化センター協会の 10 周年によせて—, Ташкент-Сеул: s.p., 167 стр. ・ 생활 예절 [生活禮節], Ассоциация корейских культурных центров Узбекистана 우즈베타 공화국 고려인 문화 협회, 32 стр.
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上海ファイヴが上海協力機構となる.
9 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北朝鮮への帰還事業において朝鮮総連が正しい説明を行わなかったとして、韓国に在住する男性が朝鮮総連を相手取って慰謝料を求める訴えを日本の東京地方裁判所に起こした。この男性は、1961 年に北朝鮮に渡ったが現地での生活に失望し、1 年半後に軍事境界線を越えて韓国に脱出している。裁判は 1 審、2 審ともに民法上の時効が成立しているとして請求を認めず、2004 年 9 月、最高裁判所も上告を棄却して原告の訴えを退けた。(ウィ)
2002 年 (平 13)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国に到達した脱北者 1,141 名. 累計 1,000 人を越える。(ウィ) ・ ロシア国勢調査. 朝鮮人 14 万 8556 人. (半岡¹⁾) ・ 李愛俐娥, 『中央アジア少数民族社会の変貌 カザフスタ

	<p>ンの朝鮮人を中心に』, 京都: 昭和堂, 239 ページ.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Arel, Dominique, "Language Categories in Censuses: Backward or Forward-looking?" In <i>Census and Identity: The Politics of Race, Ethnicity, and Language in National Censuses</i>. eds. David I. Kertzer and Dominique Arel, Cambridge: Cambridge University Press, 92-120. (半岡¹⁾) ・ Бугай И. Ф., Российские корейцы и политика «солнечного тепла» ロシア朝鮮人と太陽政策, Москва: Готика. (半岡¹⁾) ・ Ким А. (сост.), Тула, где кончается солнце: воспоминания, свидетельства, документы 太陽の果つるところへ—回想, 証言, 文書—, Москва: Текст. (半岡¹⁾) ・ "Корейцы -- жертвы политических репрессий в СССР. 1934-1938" 1934-1938 年ソ連政治弾圧犠牲朝鮮人 / Сост. Светлана Ку (Дегай) и др. スヴェトラーナ・ク (ジェガイ) 等編 М. [2011 年現在第 15 輯刊行準備中] ・ Корейский язык. Вводный курс (초급한국어, 1) / Авторы: Чжон До Ён (Чжон Сун), М. В. Авдеев, О Кён Сук, К.В. Ермаков. — М.: Корейская школа «Вон-Гванг» в Москве, 231 с. (с аудиокассетой). Был у меня? ・ Ку Светлана, Корейцы – жертвы политических репрессий в СССР, 1934-1938 г, Кн. 2. ソ連政治弾圧朝鮮人犠牲者 ・ Федеральная служба государственной статистики 連邦国家統計庁, Итоги Всероссийской переписи населения 2002. Национальный состав населения 2002 年ロシア国勢調査—住民の民族構成—, http://www.perepis2002.ru/ct/doc/TOM_04_01.xls (2005 年 8 月 19 日) (半岡¹⁾) ・ Schlyter, B. Korean Business and Culture in Former Soviet Central Asia. <i>Asian Cultures and Modernity</i>. Research report No.2. (Tsay)
9 月 17 日	・ 小泉純一郎首相らが訪朝し、日朝首脳会談. (ウイ)
10 月	・ 曾我ひとみ, 地村保志, 濱元富貴恵, 蓮池薫, 奥戸祐木子北朝鮮から帰還. (ウイ)
12 月	・ シベリア鉄道電化完成. (ロシア)
2003 年 (平 15)	・ ウズベキスタンの総人口 25,427,900 人 (1989 年の総人口 19,810,100 より増加), うち朝鮮人 166,100 人 (1989 年の 183,100

人より減少), 総人口の 0.6%. なお首都タシュケントの人口は 1989 年の 183,100 人から 2.1 百万人に増加. (Tsay)

・ 韓国に到達した脱北者 1,281 名. (ウィ)

・ 韓国盧武鉉大統領.

・ 「中央アジアの高麗人の社会経済的特性」(堀内稔・訳), 徐龍達編, 『21 世紀韓朝鮮人の共生ビジョン—中央アジア・ロシア・日本の韓朝鮮人問題—』, 日本評論者, 472-492. (半岡¹⁾)

・ 和田春樹, 「ロシア沿海州からの朝鮮人の強制移住」, 徐龍達編, 『21 世紀韓朝鮮人の共生ビジョン—中央アジア・ロシア・日本の韓朝鮮人問題—』, 日本評論者, 442-444. (半岡¹⁾)

・ «Российское корееведение. Альманах 3 Korean Studies in Russia. Vol. 3», Москва Moscow: Московский государственный университет им. М. В. Ломоносова Институт стран Азии и Африки, Российская Академия наук Институт востоковедения, «Муравей», 311 стр., 2003.

・ Бугай И. Ф., Сим Хон Енг, Общественные объединения корейцев России: конститутивность, эволюция, признание
ロシア朝鮮人の社会団体—構成, 発展, 承認, Москва: Новый хронограф. (半岡¹⁾)

・ Земсков В. И., Спецпоселенцы в СССР 1930-1960 ソ連の特別入植者—1930 年 – 1960 年—, Москва: Наука. (半岡¹⁾)

・ Ханья С., Целиноград, июнь 1979 г: к вопросу о несостоявшейся немецкой автономии в Казахстане ツェリノグラード, 1979 年 6 月—失敗したカザクスタンのドイツ自治領について—, *Acta Slavica Iaponica* (20): 230-236. (半岡¹⁾)

・ Цой Броня (ред.), Энциклопедия корейцев России: 140 лет в России
ロシア朝鮮人百科事典—ロシアでの 140 年—, Москва: Российская Академия естественных наук (РАЕН). (半岡¹⁾)

・ Эдиев Д. М., Демографические потери депортированных народов СССР
ソ連の強制移住民族の人口損失, Ставрополь: Издательство СтГАУ (АГРУС). (半岡¹⁾)

・ ИВАНОВ, А.Ю. Учебное пособие по корейскому языку (лингвострановедческий аспект) 韓国語教科書. — Хабаровск: ХГПУ, 80 с. См. ИВАНОВ, А.Ю. Корея: Лингвострановедение. Уч. пособие...

	<p>・ ТЕН, А.Н. Очерки корейской литературы. XX век (до 1945 г.) 朝鮮文学史 (1945 年まで) . — Сеул: Центральнаяазиатская ассоциация корееведения, 460 с. (Сб. статей по корееведению, Вып. 5).</p> <p>・ 『旧ソ連高麗人の民族文化の継承と変遷に関する研究—言語・伝承説話・墓制を中心として—』, 平成 13 年度～平成 14 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C) (2)) 研究成果報告書 研究代表者 柳田賢二, 仙台: 東北大学, 237 ページ.</p>
2004 年 (平 16)	<p>・ 韓国に到達した脱北者 1,830 名. 累計 6,000 人を越える. (ウイ)</p> <p>・ ウズベキスタン朝鮮人 16 万 9600 人 (?). (半岡¹⁾)</p> <p>・ 半谷史郎, 「フルシチョフ秘密報告と民族強制移住—クリミア・タタール人, ドイツ人, 朝鮮人の問題積み残し—」, 『ロシア史研究』 (75), 85-100. (半岡¹⁾)</p> <p>・ 『ロシア朝鮮研究の過去及び現在. ロシアの朝鮮研究, その歴史と現在』 (Ju・V・ヴァーニン編) 第 2 巻 «Российское корееведение в прошлом и настоящем: Корееведение в России: история и современность» (Сост.Ю. В. Ванин), Том II, Москва, 382 стр., 2004.</p> <p>・ ユーリー・ニコラーイェヴィチ・マーズル Юрий Николаевич Мазур. «Грамматика корейского языка (Морфология. Словообразование). Теоретический курс» (『朝鮮語文法 (形態論, 単語形成 [造語]). 理論講義』), Москва: Издательский дом «Муравей» – Издательская фирма «Восточная литература» РАН, стр. 309., 2004.</p> <p>・ Dadabaev, Timur, <i>Post-Soviet Realities of Uzbekistani Society</i>. IOC Discussion Papers (37) (March) , Tokyo Institute of Oriental Culture, University of Tokyo. (半岡¹⁾)</p> <p>・ Dave, Bhavna, “A Shrinking Reach of the State? Language Policy and Implementation in Kazakhstan and Kyrgyzstan” In <i>The Transformation of Central Asia: States and Societies from Soviet Rule to Independence</i>. ed. Pauline Jones Luong, Ithaca and London: Cornell University Press, 120-155. (半岡¹⁾)</p> <p>・ Uehling Greta, <i>Beyond Memory: The Crimean Tatars' Deportation and Return</i>, New York: Palgrave Macmillan. (半岡¹⁾)</p>

- ・ Бугай И. Ф. (ред), Корейцы в Союзе ССР – России: XX-й век (История в документах) 20 世紀ソ連=ロシアの朝鮮人—文書から見た歴史—, Москва: Инсан. (半岡¹⁾)
- ・ Ванин Ю. В. (отв. ред.), Корейцы в СССР. Материалы советской печати 1918-1937 гг.ソ連の朝鮮人—1918 年から 1937 のソ連の雑誌新聞記事—, Москва: Институт востоковедения. (半岡¹⁾)
- ・ Лыдкова В., С. Назарова, М. Симбинов и др., Догий путь к Арирану. Ассоциация корейцев Казахстана – 15 лет Ариранへの遠い道—15 周年を迎えたカザクスタン朝鮮人協会, Алматы: s. n. (半岡¹⁾)
- ・ Пак Б. Д., Бугай Н. Ф., 140 лет в России. Очерк истории российских корейцев ロシアでの 140 年—ロシア朝鮮人概史, Москва: ИНСАН. (半岡¹⁾)
- ・ Ку Светлана, Корейцы – жертвы политических репрессий в СССР, 1934-1938 г, Кн. 4, 5. ソ連政治弾圧朝鮮人犠牲者
- ・ Ли Б. С., Пак Чан Мин, Слово об учителе (о кафедре корейского языка в ТГПУ имени Низами)師についての言葉 (ニザーミー記念タシュケント国立師範大学朝鮮語講座について), Ташкент: Ташкентский государственный педагогический университет имени Низами, 104 стр.
- ・ Dzharlygasinova, R.S. Korejcy Rossii. *Etnograficheskoe Obozrenie* 4:24-27. (Tsay)
- ・ Kim, G. Korean Diaspora in Kazakhstan: Their Problems and Prospects. http://world.lib.ru/k/kim_o_i/dgt7rtf.shtml (Tsay)
- ・ 『ロシア朝鮮研究の過去及び現在. 20 世紀後半のロシアの朝鮮研究者』 (Ju・V・ヴァーニン編) 第 1 巻 «Российское корееведение в прошлом и настоящем: Жизнь и труд, посвятившие Корею: Российские корееведы 2-ой половины XX века» (Сост. Ю. В. Ванин), Том I, Москва, 274 стр., 2004.
- ・ Б. Д. Пак В. Д. Пак, «Россия и Корея» (ロシアと朝鮮), Москва Москヴァ: Российская Академия наук Институт востоковедения ロシア科学アカデミー東洋学研究所, 519 стр., 2004.
- ・ ИВАНОВ, А.Ю. Учебно-практическое пособие по истории и культуре Кореи. 朝鮮の歴史と文化教材 Уч. пособие. —

	<p>Хабаровск: ХГПУ, 98 с.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Корейский язык. Учебное пособие по практике речи (начальный уровень) 韓国語教材/ Сост. Е.Г. Здоровенко, Н.В. Ли, Е.В. Чалая. — М.: Восток – Запад, 96 с. • Россия и Корея. Некоторые страницы истории (конец XIX века). К 120-летию установления дипломатических отношений. Документы и материалы ロシアと朝鮮. 外交関係樹立 120 周年記念歴史断簡 (20 世紀末) / МИД России. Историко-документальный департамент. Архив внешней политики Российской империи. Под рук. А.В. Торкунова. — М.: МГИМО(У), 2004. — 391 с., ил. (Включает 120 документов).
3 月	<ul style="list-style-type: none"> • ウズベキスタンのタシュケントとブハラで連続自爆事件. (中)
5 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> • 小泉首相の 2 度目の平壤訪問. 地村保志, 濱元富貴恵の娘 1 人, 息子 2 人, 蓮池薫, 奥戸祐木子の娘 1 人, 息子 1 人北朝鮮から帰還. (ウィ)
2005 年 (平 17)	<ul style="list-style-type: none"> • 半谷史郎, 岡奈津子, 旧ソ連朝鮮人研究の動向—李愛俐娥著『中央アジア少数民族社会の変貌—カザフスタンの朝鮮人を中心に—』(昭和堂 2002 年)を読んで—, 「アジア経済」, XLVI-10 (2005. 10), pp. 66-79. • Ланьков А. Н., КНДР вчера и сегодня. Неформальная история Северной Кореи 北朝鮮の過去と現在—北朝鮮私史—, Москва: Восток-Запад. (半岡¹⁾) • Ханья С., Секретный доклад Н. С. Хрущева и восстановление автономных территорий в 1957 フルシチヨフの秘密報告と 1957 年の自治領再建, <i>Acta Slavica Iaponica</i> (22): 141-164. (半岡¹⁾) • АЛЕКСЕЕВ, Ю.К. Корейский язык. Базовый курс. 朝鮮語基礎— М.: Живой язык, 208 с. • КОВАЛЬЧУК, М.К. Эволюция японского экспансионизма в Корею в 60-90-е гг. XIX в. 1960-90 年代朝鮮における日本の拡張主義の展開: Моногр. — Влд.: Изд-во Дальневосточ. ун-та, 248 с. • Корейский язык 韓国語: Рабочая программа / Сост. Гонг И Ён, А.Ю. Чехлова, Чжан Хо Чжон; отв. ред. С.А.

	<p>Комиссаров, В.И. Ожогин. — Новосибирск: НГУ, 43 с.</p> <p>・ ХЕГАЙ И.А. Корейская политическая эмиграция в России (1905–1914 гг.) ロシアへの朝鮮人の政治亡命. Иркутск, 2005.</p> <p>・ ЮГАЙ А.С. Очерки истории средневековой корейской литературы 中世朝鮮文学簡史. — Самрканд, 72 с.</p> <p>・ Ку Светлана, Корейцы – жертвы политических репрессий в СССР, 1934-1938 г, Кн. 6. ソ連政治弾圧朝鮮人犠牲者</p> <p>・ Н. С. Пак (N・S・パク), "Корейский язык в Казахстане: проблемы и перспективы" (カザクスタンの朝鮮語：問題と展望), 303 стр., Алматы.</p> <p>・ Игорь・R・Савуэриeff, 『移民と国家—極東ロシアにおける中国人, 朝鮮人, 日本人移民—』, 御茶ノ水書房. (半岡 1)</p> <p>・ Васильев Анатолий Георгиевич (ヴァシーリエフ・アナトリー・ゲオルギエヴィチ) (1930-2005) (ホロドーヴィチ亡き後レニングラード大学 (サンクト・ペテルブルク大学) の朝鮮語学を引き継いできた) 死去.</p>
2006 年 (平 18)	<p>・ 安倍晋三総理大臣.</p> <p>・ 半谷史郎・岡奈津子, 『中央アジアの朝鮮人：父祖の地を遠く離れて』, 東京：東洋書店, 63 ページ.</p> <p>・ 『ロシア朝鮮研究の過去及び現在. 現在のロシアの朝鮮研究, 便覧』 (L・R・コンツエーヴィチ, T・M・シンビーールツェヴァ編) 第 3 巻 «Российское корееведение в прошлом и настоящем: Современное российское корееведение: Справочное издание (Л. Р. Концевич, Т. М. Симбирцева) », Том III, Москва, 622 стр., 2006.</p> <p>・ Chang, E. The Korean Diaspora and Rethinking Asian-American Theory. In <i>The Korean Diaspora and Strategies for Global Networks</i>. 国際日本文化センター, 53-67. (Tsai)</p> <p>・ Yoon, In-Jin. The Korean Diaspora from Global Perspectives. In <i>The Korean Diaspora and Strategies for Global Networks</i>, 国際日本文化センター, 81-114. (Tsai)</p> <p>・ Yoon, In-Jin. Understanding the Korean Diaspora from Comparative Perspectives. <i>Paper Prepared for Asia Culture Forum 2006/ Transformation & Prospect toward Multiethnic, Multiracial & Multicultural Society: Enhancing Intercultural Communication, Session 2 “Diaspora 1”</i>. (Tsai)</p>

5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国籍を取得した脱北者が米国で初めて「政治亡命」を認められた。（ウイ） ・ウズベキスタンでアンディジャン事件。（中）
10 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮初めての地下核実験に成功と発表。（ウイ）
2007 年（平 19）	<ul style="list-style-type: none"> ・日本「先住民の権利に関する国際連合宣言」採択。（ウイ） ・福田康夫総理大臣。 ・政府の平成 19 年度予算に「在サハリン『韓国人』支援」の名目で約 3 億円が盛り込まれた。 ・モスクヴァでは 2007 年現在 『ロシア朝鮮研究年報』 Российское корееведение. Альманах がすでに第 5 冊を数えている。 ・Ким Брутт, Мучнистые росы корейского Ренессанса. К десятилетию газеты «Корё синмун» 고려인 르네상스의 '흰가루병'. 우즈베키스탄 '고려신문' 10 주년 高麗人ルネサンスのウドンコ病. ウズベキスタン「高麗新聞」10 周年, Ташкент: Издательство журнала «Санъат», 351 стр. ・ИВАНОВ, А.Ю. Словарь аффиксов корейского языка 朝鮮語接辞辞典. — Хабаровск: ХВИ ФСБ РФ, 168 с. ・ИВАНОВ, А.Ю. Словарь суффиксов корейского языка 朝鮮語接尾辞辞典. — Хабаровск: Изд-во ДВГТУ, 123 с. ・КАКХУН. Жизнеописания достойных монахов Страны, что к востоку от моря (Хэдон косын чон) 海東高僧伝 / Исследование, пер. с ханмуна, коммент и указатели Ю.В. Болтач. — СПб.: Изд-во СПбГУ, 144 с., ил. ・Китай. Корея. Япония. Библиографічний покажчик 中国・朝鮮・日本文献目録 / Упорядники І.П. Бондаренко, Д.В. Близнюк, А.В. Брожичек та ін. — Київ: ВПЦ «Київський ун-т», 379 с. (на украин. яз.) (Корея. — С. 18–43, 168–221). ・Корея: Взгляд из России 朝鮮：ロシアからの視点. Доклады, представленные на XI научной конференции корееведов России и стран СНГ. Москва, 29–30 марта 2007 г. М.: ИДВ РАН, 2007. — 348 с. ・Ли В.Ф. Региональные конфликты в Азиатско-Тихоокеанском регионе. Уроки Корейской войны 1950–1953 гг. アジア太平洋地域の地域紛争. 1950–1953 年朝鮮戦争の教

	<p>訓 Уч. пособие. — М.: «Научная книга», 2007. — 182 с.</p> <p>・ ТРОЦЕВИЧ, А.Ф.; ГУРЬЕВА, А.А. Описание письменных памятников корейской традиционной культуры. Вып. I. Корейские письменные памятники в фонде китайских ксилографов восточного отдела Научной библиотеки Санкт-Петербургского государственного университета 朝鮮伝統文化書写文献目録. 第1巻. 国立サンクト・ペテルブルク大学学術図書館東方部蔵朝鮮木版本. — СПб.: Изд-во С.-Петерб. ун-та, 2007. — 300 с., ил.</p> <p>・『在日コリアンの言語』科学研究費補助金（基礎研究B）「移民コミュニティの言語の社会言語学的研究」研究成果報告書 生越直樹, 東京：東京大学 132 ページ.</p> <p>・『ディアスポラとしてのコリアン—北米、東アジア、中央アジア—』, 高全恵星監修者, 新幹社.</p>
2月16日	<p>・脱北者遂に 10,000 人を超えたと韓国統一省当局者発表. (ウィ)</p>
4月2日	<p>・韓国「拉北被害者支援法」. 北朝鮮に拉致された人 486 名. (ウィ)</p>
7月9日	<p>・曾我ひとみの夫と娘 2 人北朝鮮から帰還 (ウィ)</p>
2008 年 (平 20)	<p>・韓国李明博大統領.</p> <p>・日本在住の脱北者の女性が朝鮮総連を相手に損害賠償を求める訴訟を大阪地裁に起こした。原告女性によると、「北朝鮮は地上の楽園」などという朝鮮総連の嘘の宣伝により北朝鮮へ帰還したが、実際は過酷な労働を強いられ、拷問され、差別され、囚人や奴隷と変わらない生活を強いられ、「(朝鮮総連は) 人をだまし、組織的に誘拐した。人権と自由を無差別に奪った悪魔みたいな団体だ」「私 1 人の問題ではない。今も強制収容所の中で必死で生き延びようとしている人がいる」と訴えた. (ウィ)</p> <p>・ロシア連邦メドヴェージェフ大統領.</p> <p>・麻生太郎総理大臣.</p> <p>・Ким Брутт (отв. ред.), Ариран 1937. Литературно-художественный альманах газеты Коре синмун и гильдии писателей АККЦ Узбекистана. Выпуск 1 우즈베키스탄 고려인 강제이주 70 년 문예집 (ウズベキスタン高麗人強制</p>

移住 70 周年文芸集) - 아리랑 1937 アリラン 1937. 高麗新聞
及び高麗人文化センター協会作家集団文集, Ташкент:

Издательство журнала «Санъат», 239 стр.

• 곽충구 (郭忠求) · 김수현 (金秀炫), “중앙아시아 이주
한민족의 언어와 생활 - 카자흐스탄 알마티 (中央アジア
移住朝鮮民族の言語と生活 - カザクスタン・アルマトウ)”,
서울: 태학사 (泰学社), 763 페이지.

• «Российское корееведение в прошлом и настоящем Том
VI Korean Studies in Russia: Past and Present (한국학총서
제 VI 권) Л. Р. Концевич L. R. Kontsevich L.R. 콘체비치編
Избранная библиография литературы по Корее на русском
и западноевропейских языках (с XIX века по 2007 год)
Selected Bibliography of Works on Korea in Russian and
Western Languages (since 19th Century till 2007) 러語 및
유럽의 諸言語로 발간된 한국학관련 서지목록 (19 세기 -
2007 년)», Москва Moscow 모스크바: Российская Академия
наук Институт востоковедения 러시아과학원 동방학연구소,
Региональная общественная организация Корейский
культурно-просветительский центр «Первое мая» The First
March 모스크바 삼일문화원, 590 стр., 2008.]

• «Корея глазами россиян (1895-1945)» 러시아인에 비친
조선 1895-1945 년 (ロシア人の目に映った朝鮮 (1895-1945))
Российское корееведение в прошлом и настоящем Том V
(한국학 총서 제 V 권) (ロシア朝鮮学: 過去と現在. 第 5 卷),
Москва 모스크바: Российская Академия наук Институт
востоковедения, Региональная общественная организация
«Первое мая» 한국국제교류재단 지원 러시아 과학아카데미
동방학연구소 모스크바 삼일문화원, 367 стр., 2008.
Составители: Ю. В. Ванин, Б. Д. Пак. 책임편저: 박보리스
D. 유 웨 와닌 편집위원: 와닌 L. V. 이형근 박보리스 D.
보론쑤프 A. V. 콘체비치 L. R.

• Александра Петровна Ким-Станкевич. Очерки, документы
и материалы 概要, 文書, 資料 / Сост. Б.Д. Пак, Б.Б. Пак; отв.
ред. Ю.В. Ванин. — М.: ИВ РАН, 240 с., илл. (Серия
«Российские корейцы» 「ロシア朝鮮人」シリーズ).

• БУГАЙ Н.Ф. Корейцы России: вопросы экономики и

культуры. ロシア朝鮮人：経済及び文化の問題 —М.: ЗАО "Гриф и К", 380 с.

• Вестник Центра корейского языка и культуры 朝鮮語・朝鮮文学センター通報 / Центр корейского языка и культуры, Восточный факультет, СПбГУ. Сост. и отв. ред. С.О. Курбанов. Вып.10. Посвящается памяти А.Г. Васильева. — СПб.: Изд-во СПбГУ, 2008. — 192 с.

• ДМИТРИЕВА, В.Н. Корейский язык. Практический курс. Учебное пособие. 実用韓国語 2-е изд., испр. и доп. — М.: Изд-во МГИМО–Университет, 252 с.

• КИМ, Вон Ил. Роль России в урегулировании военно-политического кризиса на Корейском полуострове. 朝鮮半島における軍事政治危機正常化におけるロシアの役割 — М.: Макс Пресс.

• КІМ Соволь 金素月. Ясний місяць. Лирика / Пер. Івана Бондаренко. Кієв: Грані-Т, 368 с., іл.

• КОНЦЕВИЧ, Л.Р. Избранная библиография работ по Корее на русском и западноевропейских языках с конца XIX в. по 2007 г. 朝鮮関係ロシア語西欧語文献目録（19世紀以後） — М.: «Первое марта», 592 с. (Российское корееведение в прошлом и настоящем, Т. 6).

• Корейское урегулирование и интересы России 朝鮮の正常化とロシアの利害 / Под ред. В.И. Денисова и А.З. Жебина. — М.: ИДВ РАН – НП ИД «Русская панорама», 344 с.

• Корея: История и современность. К 90-летию со дня рождения проф. М. Н. Пака. Сб. статей. 朝鮮：歴史と現在. М・N・パク誕生 90 周年記念論文集 — М. – Сеул: [Namo Communication], 292 с. (на рус., кор. и англ. яз.).

• Корея: на пороге перемен. Доклады, представленные на XII научной конференции корееведов России и стран СНГ 第12回ロシア・独立国家共同体朝鮮研究者大会. Москва, 27–28 марта 2008 г. — М.: ИДВ РАН, 368 с.

• Корея. Северная и Южная. Путеводитель активных путешественников «Шаг за шагом» 韓国・北朝鮮旅行案内書 / Авторы текстов: А. Черкасов, В. Несов. — М. — Прага: Изд-во ДЖЕМ, 368 с., ил.

あまりよく知らない	21%	19%	8%
理解するが、話せない	28%	9%	4%
よく知っている	23%	41%	7%
非常によく知っている	3%	7%	1%
総計	100%	100%	20%

6. 他民族よりも朝鮮人の友人の方が多いか?

	10代	20代	30代	40代	50代	60代
Yes	20	28	6	6	3	1
No	4	13	5	4	7	1
知らない		1		1		

7. 外国に住んだら、まわりに朝鮮人にいてほしいか?

Yes 57% ; No 12% ; 必ずしもそうではない 4% ; どうでもよい 7% ; 分らない 1% ; 答えなし 15% ; 考えたことがない 2%.

8. 他民族よりも朝鮮人と時間を過ごしたいか?

Yes 30% ; No 12% ; それほどでない 41% ; 分らない 3% ; 答えづらい 14%.

9. 異族間結婚についてどう思うか?

肯定的 60% ; 否定的 8% ; 個人の問題 29% ; 他 2% ; 分らない 1%.

10. 朝鮮人であることに誇りを持っているか?

	10代	20代	30代	40代	50代	60代
Yes	24	37	10	8	9	2
それほどでない		1		1		
No		2				
分らない		1			1	
答えづらい		1	1	2		

11. 朝鮮人の強制移住の歴史を知っているか?

よく知っている 29% ; 一般的に 55% ; 知らないが、知りたい 13% ; 答えづらい 3%.

12. ウズベキスタン高麗人の伝統文化を知っているか?

よく知っている 22% ; 一般的 58% ; いくつかだけ 19% ; 知らない 1%.

	10代	20代	30代	40代	50代	60代
よく知っている	7	8	3	3	1	
一般的に知っている	12	24	6	7	7	2

いくつかだけ知っている	5	9	2	1	2	
まったく知らない		1				

13. 朝鮮文化センターを訪れたか? (省略)

14. 朝鮮文化センターの役割は何であると思うか? (省略)

15. 自分をどう思うか?

韓国人あるいは北朝鮮人 4%; ウズベキスタンの朝鮮人 45%; ソヴェト朝鮮人 18%; 多文化的個人 27%; 他 2%; 分らない 4%.

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代
韓国人あるいは北朝鮮人	2	2				
ウズベキスタンの朝鮮人	11	22	5	5		2
ソヴェト朝鮮人	1	1	5	5	6	
多文化的個人	7	14	1	1	4	
他	1	1				
分らない	2	2				

16. 自分の故郷はどこか?

ウズベキスタン 83%; 朝鮮 1%; カザクスタン 2%; タジキスタン 1%; ソ連 1%; 答えなし 8%; 不確か 1%; どこでもよい 1%; 故郷なし 1%.

17. 朝鮮に対する親近感はあるか?

Yes 56% (and 訪れたい 33%; and 住みたい 1%; and 勉強あるいは仕事をしたい 6%; but 住みたくない 16%)

No 40% (but 勉強あるいは仕事をしたい 4%; but 観光客として訪れたい 18%; 故郷はウズベキスタン 9%; 生まれたところが故郷 10%; 考えたことがない 1%; 分らない 1%; 他 2%).

・곽충구 (郭忠求), “중앙아시아 이주 한민족의 언어와 생활—우즈베키스탄 타슈켄트 (中央アジア移住朝鮮民族の言語と生活—ウズベキスタン・タシュケント)”, 서울:태학사 (泰学社), 792 페이지.

・«Вестник российского корееведения ロシア朝鮮学通報 2009 № 1 (спецвыпуск) Proceedings of the Russian Association of Korean Studies in Universities No. 1 (Special number, 2009)», Москва: Российская ассоциация университетского корееведения, Московский государственный университет им. М. В. Ломоносова Институт стран Азии и Африки, Издательская фирма

«Восточная литература» РАН, 239 стр.

• А. А. Холодович А・А・ホロドーヴィチ, Очерки грамматики корейского языка 朝鮮語文法概要, Москва モスクヴァ, 319 стр., 1954 菅野裕臣による日本語訳 (上)『韓国語学年報』第5号, 神田外語大学韓国語学会].

• АСМОЛОВ, К.В. Корейская политическая культура: Традиции и трансформация 朝鮮の政治文化: 伝統と変容. — М.: ИДВ РАН, 484 с

• ИВАНОВ, А.Ю. Словарь счетных слов корейского языка 朝鮮語助数詞辞典. — Хабаровск: Изд-во ДВГТУ, 59 с.

• История Фазана. Корейские повести XIX века. 19 世紀の朝鮮小説「雉伝」 Т. II / Пер с кор. М.И. Никитиной, Г.Е. Рачкова, Лим Су. — СПб.: Гиперион, 288 с. (Серия «Золотой фонд корейской литературы»).

• КУЗИН, А.Т. Переход корейцев в дальневосточные пределы российского государства (Поиски исследователя) ロシア極東への朝鮮人の移住 (研究者の探索). — Южно-Сахалинск. 64 с.

• КУРБАНОВ, С.О. История Кореи с древности до начала XXI века. 朝鮮史. 古代から 21 世紀初まで Испр. и доп. изд. — СПб.

• ЛАНЬКОВ, А.Н. Август, 1956 год: Кризис в Северной Корее. 北朝鮮の危機 — М.: РОССПЭН, 350 с., ил.

• «Историческое значение движения российских корейцев на Дальнем Востоке за независимость Кореи» ロシア極東朝鮮人の朝鮮独立運動の歴史的意義(삼일운동 90 년기념 학술대회 자료집. «극동한국인 항일독립운동의 역사적 의의»). 6.03.2009 г. Общероссийское объединение корейцев. — М.: «Первое марта», 201 с. (на рус. и кор. яз.) (К 90-летию Первомаевского народного движения 1919 г. в Корее).

• НОБУО, СИМОТОМАИ 下斗米伸夫. Ким Ир Сен и Кремль: Северная Корея эпохи холодной войны (1945–1961 гг.) / Пер. с яп. под общ. ред. Д.В. Стрельцова. — М.: МГИМО-У, 332 с.

• ПАК, Б.Д. Борьба российских корейцев за независимость Кореи. 1905–1919. ロシア朝鮮人の朝鮮独立運動 1905–1919 — М.: ИВ РАН, 392 с.

• Практический курс корейского языка. Сборник текстов по

	<p>географии, истории и культуре Кореи 実用朝鮮語. 朝鮮の地理, 歴史, 文化 (для студентов 4-5 курсов) / Сост. И.Е Че., Э.Х. Лим, Нам Хэжюнг. — Южно-Сахалинск, Изд-во Сахалинского Гос. ун-та, 108 с.</p> <p>• Словарь частотных глаголов-синонимов корейского языка с комментариями: учебно-методическое пособие 朝鮮語動詞同義語頻度辞典/ Сост. Э.Х. Лим, Нам Хэжюнг, И.В. Че. — Южно-Сахалинск: Изд. СахГУ, 142 с.</p> <p>• ТРОФИМЕНКО, О.А. Корейско-русско-англо-нероглифический словарь лингвистических терминов 言語学用語朝露英漢字辞典. — Уссурийск: Изд-во УГПИ, 492с.</p> <p>• Чон Чхоль 鄭澈.Одинокий журавль: из корейской поэзии XVI в. Поэтич. пер. А.Л. Жовтиса / Подготовка текста, всиуп. Ст. с примеч...: науч. пер. стихов со старокорейского яз. Л. Р. Концевича и Н.Л. Ицковой 2-е исправл. и лоп. изд. с корейским оригиналом. — М.: Наталис, 224 с. ил., факс. кор. ориг. (Восточная коллекция).</p> <p>• 北海道ウタリ協会を再度北海道アイヌ協会と改称. (ウィ)</p> <p>• 鳩山由紀夫総理大臣.</p>
5 月 25 日	<p>• 北朝鮮の第 2 次地下核実験. (ウィ)</p>
2010 年 (平 22)	<p>• А. А. Холодович А·А·ホロドーヴィチ, Очерки грамматики корейского языка 朝鮮語文法概要, Москва 모스크바, 319 стр., 1954 再版 [初版は 1954 年 ; 2009 年, 2010 年菅野裕臣による日本語訳 (上)『韓国語学年報』第 5 号, 神田外語大学韓国語学会 ; (下)『韓国語学年報』第 6 号, 神田外語大学韓国語学会].</p> <p>• Г. Рамстедт, Грамматика корейского языка, Москва, 1951. [G. J. Ramstedt, “A Korean Grammar”, Helsinki: Suomalais-Ugrilaisen Seura, 199 pp., 1939 のロシア語訳] の再版.</p> <p>• «Первые известия о Корее в России (1675-1884)» 러시아 한국학 원시 자료 - 1675 - 1884 - (朝鮮関係ロシア初期資料 (1675-1884)) Российское корееведение в прошлом и настоящем Том VII (한국학 총서 제 VII 권) (ロシア朝鮮学: 過去と現在. 第 7 卷), Москва 모스크바: Российская Академия наук Институт востоковедения, Региональная</p>

	<p>общественная организация «Первое мая» 러시아 과학아카데미 동방학연구소 모스크바 삼일문화원, 357 стр., 2010. Составители: Ю. В. Ванин, Б. Д. Пак. 책임편저: 박보리스 D. 유 웨 와닌 U. V. 박벨라 B. 편집위원: 와닌 L. V. 박보리스 D. 보론쑈프 A. V. 곧쎄비치 L. R.</p> <p>• 권재일 權在日, “중앙아시아 고려말의 문법 中央アジア 高麗語の文法”, 서울소울: 서울대학교출판문화원 소울 大学校出版文化院, 346 pp., 2010.</p> <p>• «Вестник Российского корееведения»ロシア朝鮮学通報. M., № 2, 2010. —143 с.</p> <p>• Вестник Центра корейского языка и культуры 韓国語・韓國文学センター通報 / Центр корейского языка и культуры, Восточный факультет, СПбГУ. Сост. и отв. ред. С.О. Курбанов. Вып.11. — СПб.: Изд-во СПбГУ</p> <p>• Каталог документов РГИА по истории Кореи и русско-корейских отношений. Вторая половина XIX – нчало XX в.朝鮮史・露韓關係文献集. 18 世紀後半 – 20 世紀初. Вып. I. Отв. ред. В.Б. Пак; Рос. гос. исторический архив; ИВ РАН. — М.: «Вост. лит.», 2010. — 255 с., ил.</p> <p>• Ким, Манчжун 金万重. Сон в заоблачных высях / Пер. и с ханмуна и с кор. А.Ф. Троцевич; пер. стихов Т.Г. Комиссарова. — СПб.: Гиперион, 2010. — 288 с. (Серия «Золотой фонд корейской литературы»).</p> <p>• Материалы Первой российско-корейской научно-практической конференции литературных переводчиков. 第 1 回露韓文献翻訳学術実用会議資料集(Москва, 21-22 декабря 2009 г.) / Московский гос. ун-т им. М.В. Ломоносова. Международный центр корееведения. — М.: «Вост. лит.», 143 с.</p> <p>• 菅直人総理大臣</p> <p>• 北朝鮮金正恩を金正日の後継者とすることを決定.</p> <p>• 北朝鮮韓国領の延坪島を砲撃する.</p>
--	--

・ : 日本関係記事.

無符号: 菅野裕臣の所有する資料.

(ウィ): ウィキペディア「アイヌ」, 「アイヌ文化振興法」, 「慰安婦」, 「学徒出

- 陣」,「樺太」,「韓国の歴史年表」,「北朝鮮核問題」,「北朝鮮による韓国人拉致問題」,「北朝鮮による日本人拉致問題」,「北朝鮮の核実験」,「在日朝鮮人人口の推移」,「在日朝鮮人の帰還事業」,「サハリン」,「シベリア抑留」,「創始改名」,「ソ連の対日宣戦」,「脱北者」,「千島」,「尼港事件」,「北海道旧土人保護法」,「満洲」等.
- (ヴィ): M・S・ヴィソーコフ他著,板橋正樹訳,『サハリンの歴史:サハリンとクリル諸島の先史から現代まで』,札幌:北海道撮影社,237 ページ,2000.
- (小): 小倉進平著,河野六郎補注,『増補補注朝鮮語学史』,東京,677+51+235 ページ,1939.
- (木): 木村英亮,『スターリン民族政策の研究』,東京:有信堂高文社,353+xx ページ,1993 の「第七章 ソ連の朝鮮人と日ソ関係一補 強制移住させられた少数民族について」.
- (郭1) 곽충구 (郭忠求)・김수현 (金秀炫),“중아시아 이주 한민족의 언어와 생활 -카자흐스탄 알마티 (中央アジア移住朝鮮民族の言語と生活-カザクスタン・アルマトウ)”, 서울:태학사 (泰学社),763 페이지,2008..
- (郭2) 곽충구 (郭忠求),“중아시아 이주 한민족의 언어와 생활 - 우즈베키스탄 타슈켄트 (中央アジア移住朝鮮民族の言語と生活-ウズベキスタン・タシュケント)”, 서울:태학사 (泰学社),792 페이지,2009..
- (岸): 岸本葉子,『さよならニナード サハリンに残された人々』,東京:凱風社,140 ページ,1991.
- (ク): アナトーリー・T・クージン著,岡奈津子・田中水絵訳,『沿海州・サハリン 近い昔の話 (翻弄された朝鮮人の歴史)』,東京:凱風社,317 ページ,1998.
- (言): 『소련에서의 한국어학과 한국어 교육 소련における朝鮮語学と朝鮮語教育』, 서울:二重言語學會,706 페이지,1991.
- (高): 고송무 (高松茂),“쏘련 중앙아시아의 한인들” (ソ連中央アジア의韓人たち), 서울: 한국국제문화협회 (韓國國際文化協會),243 페이지,1984.
- (権): 권희영 (権熙英),“한인 사회주의운동 연구 (韓人社会主義運動研究)”, 서울: 국학자료원 (国学資料院),591 페이지,1999.
- (在ソ): 現代語学塾,『レーニン・キチ』を読む会 (翻訳),『在ソ朝鮮人のペレストロイカ』,東京:凱風社,262 ページ,1991.
- (徐): Suh Dae-Sook, Soviet Koreans and North Korea In “Koreans in the Soviet Union”, edited by Dae-Sook Suh, Honolulu: the Center for Korean Studies, University of Hawaii, pp. 101-128, 1987.

- (田) : 田中克彦, 『草原の革命家たち モンゴル独立への道』, 東京 : 中央公論社, 230 ページ, 1973.
- (高木) : 高木健, 『サハリンと日本の戦後責任』, 東京 : 凱風社, 261 ページ, 1990.
- (中) : 『中央ユーラシアを知る事典』, 東京 : 平凡社, 624 ページ, 2005.
- (原) : Hara, Teruyuki, *The Korean Movement in the Russian Maritime Province, 1905-1922 In "Koreans in the Soviet Union"*, edited by Dae-Sook Suh, Honolulu: the Center for Korean Studies, University of Hawaii, pp. 1-23, 1987.
- (半岡¹⁾) : 半谷史郎, 岡奈津子, 旧ソ連朝鮮人研究の動向—李愛俐娥著『中央アジア少数民族社会の変貌—カザフスタンの朝鮮人を中心に—』(昭和堂 2002 年) を読んで—, 「アジア経済」, XLVI-10 (2005. 10), pp. 66-79.
- (半岡²⁾) : 半谷史郎・岡奈津子, 『中央アジアの朝鮮人: 父祖の地を遠く離れて』, 東京 : 東洋書店, 63 ページ, 2006.
- (朴) : 朴亨柱 [著], 民濤社 [編集], 『サハリンからのレポート—棄てられた朝鮮人も歴史と証言』, 東京 : 御茶の水書房, 200 ページ, 1990.
- (堀) : 堀江則雄, 『極東共和国の夢—クラスノシチョコフの生涯—』, 未来社, xi+234 ページ, 1999.
- (ラ) : アンドレ・ランコフ著, 李昞珠^{ピョンヤン}『平壤の我慢強い庶民たち CIS (旧ソ連) 大学教授の“平壤生活体験記”』, 東京 : 三一書房, 244 ページ, 1992.
- (李) : 李尙根, 『韓人露領移住史研究』, 서울 : 探求堂, 354 페지, 1996.
- (李愛) : 李愛俐娥, 『中央アジア少数民族社会の変貌 カザフスタンの朝鮮人を中心に』, 京都 : 昭和堂, 239 ページ, 2002.
- (ロ) : 岩間徹編, 『ロシア史』(世界各国史 IV), 東京 : 山川出版社, 394+53 ページ, 昭和 30 年 (1955).
- (ロシア) 『[新版] ロシアを知る事典』, 東京 : 平凡社, 1089 ページ, 2004.
- (和) : Wada, Haruki, *Koreans in the Soviet Far East, 1917-1937 In "Koreans in the Soviet Union"*, edited by Dae-Sook Suh, Honolulu: the Center for Korean Studies, University of Hawaii, pp. 24-59, 1987.
- (Bok) : Бок Зи Кой 朴壽鎬, *Корейцы на Сахалине* サハリンの朝鮮人, Южно-Сахалинск: Южно-Сахалинский государственный педагогический институт ユジユノ・サハリンスク国立師範大学, 218 стр., 1993.
- (Nam) : Нам С. Г., *Корейский национальный район. Пути поиска*

исследователя 朝鮮民族自治区. 研究者の探索の道, Москва:
"Наука", 23 стр., 1991.

(Shin) : Shin Chey, Young-Cha, Soviet Koreans and Their Culture in the USSR,
In "Koreans in the Soviet Union", edited by Dae-Sook Suh, Honolulu:
the Center for Korean Studies, University of Hawaii, pp. 60-84, 1987.

(Tsay) : Marina Tsay, "Identity, Language and Culture of Koreans in
Uzbekistan: Continuity and the Change", Submitted to the Area
Studies Department in Partial Fulfillment of the Requirements on
Master's Degree of Area Studies at the University of Tsukuba, 90 pp.,
2009.

(V. Kim) : В. Ким (V・キム), "Правда – полвека спустя" (50年後の真実)
О депортации корейского населения из Дальневосточного края в
30-40-х годах в Узбекистан 30-40 년대 러시아극동에서
우즈베키스탄으로의 강제이주 (30-40年代ロシア極東からウズベキス
タンへの高麗人強制移住), 248 стр., Ташкент, 1999.

[注記]

1. これは歴史の非専門家たる菅野裕臣の作成したものである。できるだけ出典に忠実に記載したが、地名などはわかる範囲内で訂正したところがある。
2. 事項の発生年を特定できないものについての記載がなされていない。
3. 直接の引用だけを記し、必ずしも原典には言及していない。
4. 引用された語句は菅野から見て疑わしいものもそのまま載せたものがある。特に（高木）の取り扱いには細心の注意を要する。
5. 在旧ソ連朝鮮人と直接関係のない事項も参考までに挙げられる。
6. 資料の貸与、入手、情報に関して柳田賢二氏、盧明姫氏、Л. Р. Концевич L・R・コンツェーヴィチ氏のご好意に感謝する。
7. 本稿は作りかけの未完のものである。